滿洲日報
八月廿八日發行
編輯人　鈴木昇
發行人　橋本喜代治
印刷人　木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

在滿機構改革問題は來週政治的折衝開始

內閣で裁定案を作成

【東京特電二十八日發】在滿政治機構改革案を繞る陸、外、拓三省間の事務的折衝は既に三旬を經過したるも今なほ何等の進捗を見ず、各省各々自案を固持して讓らず、三竦みの形となつてゐるが、陸軍においては日滿議定書の共同防衛の立場より軍事的觀點を重心とする軍部案の貫徹を期し、滿洲國の不安なる現狀を以てしては軍部案が最も適切なりとの強硬なる態度を持し、事務的折衝には最早希望を繫ぎ得ずとして、今週中に事務的折衝の經過を見た上、來週早々より政治的折衝を開始するといふが、三省案は孰も岡田首相の許に提出され、河田書記官長金森法制局長官等が中心となつて檢討を續くると共に或程度まで步み寄り次第、內閣において公正妥當なる裁定案を作成する事になつてゐる、而して三省の主張が重要な點において根本的に背馳してゐるために、政治的解決を望んでも相當の曲折を要するものと見られる

三省案の相異點

三省案の相異點は左の如し

指導精神　根本精神において陸軍側は武主文從の建前から形式は二位一體制なるも實質において軍部專制とし、對滿關係における拓務省の容喙を排除し、又滿洲國を日本と不可分の關係にある特殊の獨立國と見てゐる、之に對し外務案によれば文武分任によつて外務、軍部の手に統制し、滿洲國を以て英米諸外國と同等の獨立國と見做すものであり、拓務案は形式においても實質においても完全なる文武分任の精神に基き、外交は外交官、行政は行政官が之に當るべしとしてゐる

官廳名稱　現地官廳の名稱は軍部外務は大使館、拓務は全權府を主張しその長官として は三省とも特命全權大使とする に一致してゐるが、軍部は軍司令官を以てこれに當る事を原則としてゐるに對し、拓務はこれを暫定的制度とし、文官を原則と主張する

附屬機構　組織は軍部外務とも全權大使の下に事務總長（勅任文官）を置き拓務案は政務總長（親任官）を置かんとする、また軍部外務案によれば、その下に外交部、監督部、警務部、（憲兵司令官に現役將校並に相當官を配屬し何れも行政官を充つ）を置く事にしてゐる

權限問題　權限問題に關しては現在の關東長官に屬する滿鐵監督權、附屬地行政權、領事に屬する一切の權限を大使又は軍司令官の何れかに歸屬せしむることについては軍部、外務ともに同意見である、これに對し拓務案では軍令軍政系統以外の事務は全權府の各部でこれを司ることとしてゐる

林、廣田兩相首相と懇談

【東京二十八日發國通】林、廣田兩相は二十八日閣議に先だち午前九時五十分より首相官邸にて岡田首相と別個に會見、既に事務的折衝を終り政治的解決の必要に迫られてゐる在滿機關改革問題に關しそれ〴〵省の主張を述べ、之が解決策につき意見の交換を行ひ、更に ソ滿國境問題並びに〇〇事件の眞相を報告の後種々懇談を遂げ閣議に臨んだ

北支の近狀

新坂警視語る

在任六ケ年天津日本領事館警察署長として精勵し今回外務省警視として歸任することになつた新坂狂也氏は家族同伴二十八日朝入港天津丸で來連したが船中語る

北支は現在のところ極めて平穩だ、經濟狀態も緩和して發展しなければならないが、交通の不便、匪賊の跳梁、農民の疲弊による購買力の減退等によつて思はしくないやうだ、この意味において日滿支の提携は必要だと思はれる、北支の政局も變つたこともなく一般に黃郛氏の歸平を待つてゐる

滿鐵重役會議

滿鐵定例重役會議二十八日午前十時より開會、林、八田正副總裁、山西、竹中、河本、山崎、佐々木、宇佐美各理事、市川經理、根橋計畫各部長、[illegible]業務、土肥人事各課長ら出[illegible]午休憩、午後續行した

大藏省首腦招待會

【東京二十七日發國通】岡田首相は大藏省賀屋主計、中島主稅、青木理財、川越銀行各局長、和田營理、荒井預金、關原總務、大熊工務の各部長を招き午餐會を開き所管事務を聽取懇談する處があつた

米國海軍の軍縮方針

現條約連續か相對的縮小

【東京特電二十八日發】ニューヨーク來電によれば、アメリカ海軍首腦部は最近意見交換の結果、ロンドンに再開さるべき軍縮準備會商においてアメリカとしては現行條約の連續又は現行比率における相對的縮小を主張するか或は來年の本會議を二ケ年延期し從つて現行條約の有效期間を二ケ年延長する事を主張すべしとの結論に到達した、而してル大統領は目下豫備會商の對策に關し考慮中で、未だ確定的結論に到達してゐないが、右の海軍當局の方針に對しては同情的態度を示してゐるとの事である、若しこのアメリカの主張が容れられない場合は軍縮協定成立の見込は乏しいと觀測されてゐる

各民政署長の對策を協議

けふ關東廳に會合

在滿機構改革問題はいよ〳〵拓務省案に不利なる情勢を示し關東廳員は益々目的貫徹に強硬なる態度を決意してゐるが二十八日午後零時三十分から關東廳第一應接室に御影池大連民政署長以下各民政署長の會合を求め日下、中村兩局長安永地方、小宮經理各課長列席し極秘裡に商議を行つた右は關東廳首腦部の本問題に對する重大決意につき各民政署側の意向を聽き協議したものとみられ、關東廳首腦部の態度は意外に強硬なるものとして現れて來るものとみられてゐる

本會議手續を主に技術的意見を交換

軍縮豫備會商の方針

【東京二十七日發國通】ロンドン豫備交涉に對するわが對策は九月早々の閣議に附議して正式決定の上十六日横濱出帆の箱崎丸でロンドンへ向ふ山本五十六少將並に秋山外務事務官にその訓令案を携行せしめることゝなつた、よつて山本少將は右訓令の趣旨並に政府の方針を適確明細に松平駐英大使に傳達し同大使を輔佐して列國との折衝に當ることゝなつてゐるが、帝國政府としては豫備交涉は飽まで討議方法、參加國等の手續、目的を主として單に技術的意見の交換を行ふに止めんとする意向である、よつて豫備交涉においては日本より何等かの提案を行ふ企圖を有してゐない、尤も豫備交涉の趨勢によつてわが態度を具體的に聲明すべき必要が生ずれば代表部において訓令案に基き日本の公正なる主張を列國に納得せしむることに努力する事となつてゐる而して豫備交涉は飽迄自由會議として本會議における發言を拘束しないといふ建前で臨む筈である

在滿機關統制は陸軍にやらせよ

法權撤廢は理論的に當然

大藏公望男來連談

去月二十六日滿洲着以來間島から北滿各地を視察中であつた貴族院議員男爵元滿鐵理事大藏公望氏は一年振に二十八日午前七時四十分着の列車で來連、直に大連ヤマトホテルに投宿したが、驛頭には滿鐵武部總裁室長、杉本秘書役、林總務部庶務課長等多數の出迎へがあつた、往訪の記者に大藏男は別に議會の質問材料を集めに來たのではない、自分は一生涯滿洲問題のオーソリチーになる決心でゐるのだから、どうしても一年に一度は滿洲が見たいと思ふ、それに何といつても自分には滿洲程の思出の地はないからどうしても來ずにゐられないのだ

と前提して左の如く語つた

在滿機關統一案について自分が陸軍案に絕對贊成であることは事實だ、在滿機關の統一を痛感してゐるものは唯吾自分一人ではないと思ふ、現在三位三體のやうな形になつてしまつたものを三位一體、または一位一體にしようとするのは當然のことでこの點については滿人異論がなく事實今新國に傳へられてゐる陸軍省案、外務省案、拓務省案といつたやうなものを見てもその內容は大して相異は無く唯異つてゐる點は何れも自分でやりたいといつてゐる點だけである、しからば問題はこれを誰にやらせれば可いかといふ事になるのだが、その時自分はやらせるなら實力のある者にしつかりやらせるのが一番可いといふのだ、事實實力の無いものにやらせたのでは實力のある者に押されるのが當然で、かうした見方からすれば陸軍にやらせるのが當然ではないか、どうも自分にはこの問題を各反對機關が唯自分達の立場だけを考へて反對してゐるやうに思はれてならないもつと國家的に考へて欲しいものだ、然しまあ結局この問題をうるさくしたのは政府の責任で中央政府は一日も早くこの問題を解決しない限り〇〇問題のやうなものがまた起ることになるだらう、とに角この在滿機關統制案は陸軍案と同じものが自分は陸軍案が出る前に發表してゐる

◇

治外法權撤廢及び附屬地行政權の返還または附屬地課稅の問題なども色々喧ましいがこれも滿洲全般的に考へる必要がある、既に時代は張學良時代の對立關係から親善關係に變つて來たのだし、根本的理論において治外法權の撤廢をやるべきことは當然で、また附屬地行政權の返還は貴い犧牲を拂つて獲得した權益であるからこれをオイソレと簡單に返還は出來ぬといふのも尤もで、少くとも附屬地と附屬地外の狀態を大體同じやうな狀態になすべきことは當然のことである、この點理論的に所謂大使館案なるものには贊成である、が唯これを傳へられる如く課稅などを一時に五倍、六倍などにすることは非常識なことで、それは當然漸を追つて永い年月の間に達すべきものでこの點關東廳や在留民の意見に贊成だ、兎に角附屬地の關係を餘り獨立的なものにするのは日本人を自然に附屬地に閉ち込めることになるから相當考へねばならぬことだ。

◇

今年一年振りに滿洲を見て先づ感ずることは殘念ながら滿洲は一向に進步してゐないといふことだ、勿論都市の建築は多少增加し鐵道は相當に伸びたが農民の疲弊は一層深刻なやうだし滿人側も不景氣であり、兎に角なんといつても滿洲でこの三千萬民衆の景氣の向上をはからない限りは滿洲に景氣の出る理由はない、幸ひ最近の大豆値は相當の値が出てゐるやうだが爲政者はこの好況を今秋の收穫期まで持越すやうに努力することが先決問題だ。

なほ氏は約十日間滯連海路歸國の途に就く筈

三教授來滿

林業、財政等研究に

ヴイタミンで有名な東京帝大農學部鈴木梅太郎教授、林業化學の權威京都帝大農學部志方益三教授及び財政學界に重きをなす京都帝大經濟學部汐見三郎教授の三博士は二十八日入港のうすりい丸で相携へて來連した、鈴木、志方兩教授は來る九月二日から奉天にて開催される第二回滿洲農學會に出席のためで

鈴木教授

大連には二、三日の滯在で中央試驗所と今度甘井子に出來る大豆工場とを視察し、奉天の農學會に出席する九月十日頃歸京の豫定である

志方教授

滿洲農學會に出席してから京都大學の滿蒙研究會の仕事としてハルビン、黑河方面の林業を視察する、約三週間の豫定だ

汐見教授

京都大學の滿蒙研究會で滿洲國の財政研究を分擔してゐるのでその方面の視察に二週間程の豫定で新京まで行く、主に專賣と租稅研究をやるのだが未だ研究も手をつけたばかりだし用意もしてゐないので滿洲のことに就いてはお話することがない、內地の財政で今問題になつてゐるのは增稅問題、鐵道益金の一般會計への繰入れ、郵便料金の三つである、增稅論も尤もな議論だが、はじめから增稅をきめてかゝれば財政といふものは膨脹するばかりのものだし、どうしても經費節減が必要だらう、その不足を赤字公債、一部有產者への增稅更には鐵道益金の繰入れ等で補ふのがよからう、軍需品工業家への增稅論も尤もであるが技術的に軍需品と非軍需品の區別が困難で他方非軍需品で利益を擧げてゐるものがある、郵便料金値上げも有產階級の方が年賀狀など澤山出すわけだし大衆への負擔として問題も起さず不景氣なのでその點充分留意する必要がある、歸りには滿洲のことについてどつさりお土產を持つて來るよ

芝罘點描（2）

武田一路

港々の夢を求めてアメリカ水兵のリキシヤ（人力車）が走る、海岸通りはバーにキヤバレーが軒をつられて、女が招く。ジヤズに、ステツプに、港の夜は更けて――。

[illegible]が、チラ〳〵と水に浮く、月[illegible]ボンヤリ山を離れた。[illegible]こかのジヤンクで、胡弓の音[illegible]々と、海風に乗つて、旅愁を[illegible]

旅順電話局の移轉は絕望

米岡旅順市長、竹中同市會議長並に民政署代表は此程、電信電話會社を訪問、山內總裁不在のため西田經理部長に面接し都市美觀上、市役所前面の電々所有空地に電話局を移轉新築されたき旨年來の要望を開陳したが西田經理部長は御趣旨御尤もながら現電話局は手動器制なれど全滿的に見れば寧ろ優秀局であり、而も移轉新築には三十萬圓を要し負擔に堪へぬ會社の實情を述ぶるところあり、右移轉の十年度實現は絕望視される

電々會社の豫算

經常費は一千二、三百萬圓

起業費は八百萬圓

滿洲電信電話會社の昭和十年度豫算は既に出揃ひ目下經理部において鋭意査定中であるが、重役團の方針は經濟緊縮主義を持して大體前年同樣起業費八百萬圓內外、經常費一千二、三百萬圓に止め、起業費の調達は株主の意向を徵して決定の筈なるも、重役團としては今日の金利安が持續すれば今年同樣八百萬圓程度の社債を募集する意向である、右起業費中主なるものは全滿各地における電話七、八千箇の新增設、北鐵東西部沿線その他における電信回線架設、釜山新京間ケーブル電話線新設（繼續事業）等にして民間電話も採算合へば悉く買收する方針の下に今年同樣相當額を計上してゐる、因に大連ラヂオファンが待望する既報の大連放送局新設經費約四十萬圓は營業部において豫算成立を極力主張してゐるが經理部においては經濟的見地より拒否し成立望み薄である

要港部機關長

岩川中佐着任

「陸奥」より旅順要港部機關長に榮轉の岩川隆澄中佐は二十八日入港うすりい丸で來任したが語る

艦隊に居る時度々來連したので大連、旅順は詳しいがこちらに任務に就くのは始めてだ、また來月中旬聯合艦隊が入港するが忙しいだらう、いづれにしても將來よろしく（寫眞は岩川中佐）

米調會委員の顏觸

【東京二十七日發國通】米穀調査會貴族院側委員は河田書記官長の手許で二十七日迄に大體內定、貴族院側と學識經驗者委員は目下農林省で銓衡中であるので、三十一日の定例閣議に附議決定する筈、政友會側委員は前田米藏、島田俊雄、東武、砂田重政、八田宗吉、船田中、梅右衞門、國民同盟側委員は小池仁郞氏と決定、孰も二十七日河田輸長へ通告した

十河前滿鐵理事

前滿鐵理事十河信二氏は二十八日新京から歸連したが、三十日出帆の定期船で歸國の途につく筈

中央試驗所長事務取扱任命

故栗原鑑司博士逝去後、渡邊沙河口研究所長が一時代理をしてゐたが、二十八日重役會議で左のごとく決定した

計畫部長　參事　根橋禎二

中央試驗所長事務取扱を命す

ばいかる丸

二十九日午前時二十分大連港外着豫定

人事

▲鈴木梅太郎博士（東京帝大農學部教授）二十八日入港のうすりい丸にて來連
▲志方益三博士（京都帝大農學部教授）同上
▲汐見三郎教授（京都帝大經濟學部教授）同上
▲吉川英助氏（實業家）同上
▲蟹谷乘養氏（旅順工大教授）歸省中のところ同上歸任
▲伊藤達三氏（三菱重役）同上來連
▲濱田進氏（三菱社員）同上
▲堀元夫氏（同）同上
▲岡野保次郞氏（同）同上
▲藤井深造氏（同）同上
▲笠原博氏（大連市會議員）同上
▲藤井忠兵衞氏（日本生糸重役）同上
▲山崎壽市氏（同神戶支店長）同上
▲根本富士雄氏（滿洲工廠專務）同上
▲糟谷陽二氏（關東軍特務部員）同上
▲岩川隆澄氏（旅順要港部機關長）同上
▲鎌田彌助氏（滿鐵囑託）同上
▲重田恒輔氏（滿洲國馬政局技正）二十八日たこま丸にて離滿
▲福田定四郞氏（關東廳天津特置員）廿八日入港天津丸にて來連
▲新坂狂也氏（外務省警視）同上
▲天理敎滿洲傳道廳團體　二十八日たこま丸にて天理敎本部へ
▲大和田福德氏（朝鮮鐵道局副參事）二十八日午前七時着列車で來連ヤマトホテル投宿
▲李鈞田氏（綏芬河商會長）同日午前六時二十分着列車で來連、同上
▲大藏公望男爵（貴族院議員）同日午前七時四十分着列車で來連
▲河本大作氏（滿鐵理事）同上歸連
▲中西敏憲氏（滿鐵地方部長）同上
▲多田晃氏（同地方課長）同上
▲十河信二氏（前滿鐵理事）同上
▲神鞭常孝氏（昭和製鋼所常務）同上來連
▲梅根常三郞氏（同取締役銑鐵部長）同上
▲張燕卿氏（滿洲國實業部大臣）同上
▲安達二十三大佐（關東軍線區司令官）同日午前八時發飛行機で歸任
▲太田雅夫氏（滿鐵チチハル事務所長）同日午前九時發はとで歸任
▲岩本高次少佐（關東軍線區司令部附）同上

蛇角

◇

支那側「露支密約は無根の風說だが日英同盟はどうですな」日本側「日英同盟は虛說だが露支密約說はどうですな」

◇

だが然し、さういふ問答がまた虛說だつたげな。

◇

遣米使節の次ぎは遣英使節と來た、協和外交の長所でもあり、短所でもある。

◇

蘇聯の在滿機關總退却說つたはる、サテはスネたかれ、スネル奴はスネさせておくさ。

◇

在支不逞鮮人の反滿抗日、虎威を藉る代りに豚威を藉るもの、くさい〳〵。

◇

線香煙花爭議が一般勞資抗爭の爆竹となつても困る、マア線香煙花程度で納つて貰ひ度い。

七寶の柱（101）

小島政二郞　岩田專太郞畫

鬼門（二）

「峰さん」

翠る朝、名古屋へ汽車が着いた時、六分停車と知つて、ふみ子は新鮮な空氣を吸ひにプラットホームを步いてゐるところを呼び留められた。

「まあ」

笑顏を見せて、そこに立つてゐたのは、思ひも掛けぬ矢田大藏だつた。

「どうなすつたの？」

「まあ、話は後でするとして、兎に角こゝで降りて下さい」

「まあ、忙がしいこと」

ふみ子は車室へ驅戾つた。その後から、大藏もヅカ〳〵車室へ這入つて來た。

「早く、早く」

寢臺の枕許や、網棚の中へ散らばつてゐる身のまはりのものを小さなカバンの中へ放り込んでゐる傍から、大藏が忙き立てた。

「駄目よ、そんなに慌てさせちや」

「だつて、もうベルが鳴つてゐるもの」

「ぢや、濟みません、あなたこれだけ持つて先へ降りてらしつて」

放り投げるやうにカバンを大藏の手へ渡しながら、ふみ子は何か忘れものはないかと寢臺の上を身廻した。

帽子を被りながら、ふみ子がステップのところへ姿を現したのとベルが鳴り止んだのと同時だつた。

「ああ、忙はしないこと」

大藏に話し掛けながら、步きながら、ふみ子は氣になるらしく、

ハンドバッグの鏡に顏を映して見てゐた。

「どうしたんですの一體？」

自動車に揺られながら、ふみ子が聞いた。

「話は宿に着いてから――」

「……」

ふみ子はハンドバッグの鏡の中を覗きながら、頰にパフを使つてゐた。

「あなたは名古屋は？」

「始めて」

「ぢや、一休みしたら、お城へ案內しませう」

「お城、どつち？」

「生憎お城とは反對の方角へ走つてゐるんで、見えない」

まだ朝霧の去り切らない町々は既に活動を開始してゐた。

「ホテルがいゝですか」

「ええ」

「ホテルでなければいけませんか」

「そんなことないけど――」

「ぢや、僕に任せといて下さい」

「どこへ行くの？」

「あ、ここが柳橋。あすこから、犬山へ行く電車が出るんです」

「犬山？」

「ええ。日本ラインを脚下に見る白帝城のあるところ」

「ああ、さうお」

「この邊が榮町通り」

「大須の觀音は？」

「大須は通り過ぎてしまつた。それに、このメーン・ストリート（大通）から右へちよいと逸れなきや――」

「私の知つてることつて云へば、お城と大須の觀音位のものだわ」

「いゝか――」

臨終を前に口述した熱誠"仕事の遺書"

中央試驗所員を泣かした 故所長 栗原鑑司博士

さる二十五日朝逝去した滿鐵中央試驗所長栗原鑑司博士は仕事と研究以外は何事も念頭に置かなかつた人格高潔な科學者で

逝去の 間際まで中央試驗所員と仕事の相談をした位であつたが果然死の前夜に口述した長文の遺書があることが死後に發見された、即ち故博士は二十二日夜食鹽注射を行ふ際死期近きを悟つて自ら鉛筆で

青野千里重荷負ふて一里かな　司

と辭世の一句を認めたが、死期迫つた二十四日夜親近者を呼び

苦しい 息の下に口述したので、極めて長文だが一字一句も私事に亘ることなく徹頭徹尾中央試驗所の事業と研究について試驗所員に後事を依頼したものである、この遺書は二十七日中央試驗所において渡邊試驗所長代理より一同に披露されたが、句々人に迫る熱誠に、冷靜な科學者たちも痛く感激して涙を流す者もあり、滿鐵社員で

仕事に ついてかゝる眞劍な遺書を殘したことは前例がないだけに滿鐵社內でも非常な評判になつてゐる、遺書の全文大意は次のごとくで、署名は鉛筆の自筆である(寫眞は栗原博士)

自分が こちらに來任した時はこの大試驗研究機關を擔任することを名譽とし大きな希望を抱き、從つて色々の計畫を持つて來た、その第一は石炭液化である、これは海軍でもやつてゐるが滿鐵でもやるべきことを主張し小規模ながら工業的裝置を造つた、現在としてはあれでやらればなるまいが、何分これは國家的大事業だから滿鐵も利害を超越して是非完成せねばならず、それには將來は現在の位置を變へてやらねばならぬ

第二に マグネシウムは試驗の結果工業化されたしかしなほよい方法がある筈だから研究して案出して貰ひたい第三にアルミニウムは目下工業的試驗中だが、現在の乾式のみが唯一の方法でないから濕式をも研究して完成されたい、第四に耐火材料は滿洲の資源中重要なものだが、未だ研究に着手してゐない、しかしこれは工業用材料として重要なものだから十分力を注いでよい耐火材料を作り出して欲しい

第五に 大豆工業は試驗所の試驗の結果が既に工業化された、しかしその副產物方面の研究はまだ着手してゐない、本工業は油や粕は安くとも副產物の利用方法如何によつては工業そのものゝ經營を樂にし價値を高めるものであるから是非着手して欲しい、第六にセール油の水素添加は現在研究中だが、將來內燃機關に使用するガソリン及び重油の製法として重視せねばならぬ

沙河口 研究所關係では第一に現在作つてゐる冷凍室低溫度の各種材料試驗を行つて滿洲に適する材料の選擇をなすべく、第二に建設中の無經濟研究室は各種工業に熱利用の經濟價値を增すために努力されたく、第三に機關車試驗裝置は滿洲の鐵道に適切なる機關車の製造に必要なものだから滿洲特有の試驗をなすべきである

第四に 無線電信電話は直に實用試驗にかゝり、水質調査および水處理研究は滿洲工業に重大なる影響があるから是非完成されたい

◇

自分は一度出社して訣別の辭を述べるつもりであつたが今はそれも出來なくなつた、時局重大な際、各自社業に全力を盡すと共に自分がかれて主張した合同技術の精神で事に當られたい、自分は最早筆をとることが出來ないから親近者に口述筆記せしめた

昭和九年八月二十四日　栗原鑑司(印)

滿鐵モーター研究會が州內一周の壯擧

本社後援・九月一日決行

滿鐵モーター研究會では創設三周年の記念事業としてかれてより關東州內一周の計畫を立て着々準備中であつたが來る九月一日の關東州始政記念日を期し本社後援の下にこの壯擧を決行することゝなつた、尙一行は總勢十五名で、ビック、フォード、シボレーその他トラック、オートバイ等に分乘し途中各種の性能試驗を行ふと共に金州、貔子窩等に於て映寫會を催しモーターに關する思想普及を計る豫定で來る八月三十一日午後四時本社前を出發點として左記日程の下に全コース、二百五十哩突破の壯擧に就くことに決定した

八月三十一日(第一日)
午後四時　滿日本社前出發
午後五時半　滿日旅順支局着
午後七時　南關嶺通過
午後八時　金州民政署前着(一泊映畫會開催豫定)

九月一日(第二日)
午前六時　金州民政署前出發
午前七時半　愛川村着
午前十一時　普蘭店着
午後三時　貔子窩通過
午後五時　城子疃着
午後七時　貔子窩民政署前着(一泊映畫會開催の豫定)

九月二日(第三日)
午前八時　貔子窩民政署前出發
午前十一時　普蘭店民政署前着
午後四時　滿日本社前着

大型の新料金九月から實施

けふ組合から認可申請

揉み拔いた大型タクシー料金問題は關東廳案に基き組合役員の手で合理的な料金作成が行はれてゐたが二十八日午前漸く完成し、櫻井梅野正副組合長は大連署保安係を

通じ 關東廳に認可申請を行つた、之れが手續は全く形式的なもので關東廳としては出願內容に異議なかるべく折返し認可指令あり、いよいよ來る九月一日から新料金の實施を見ることゝなつた即ち關東廳案に基く新料金は既報の如く空車(車庫、街頭、埠頭、驛の駐車)乘り込みは一區四十錢で、聖德街或は櫻花臺方面の中間料金及び星ケ浦、老虎灘方面の郊外料金は

更に 十錢引となる、例へば中間料金は六十錢、郊外料金は一圓十錢といふ値下を見る譯である、更に電話呼出は一區料金のみ從來通り五十錢であるが中間料金及び郊外料金は一割から二割までの値下げが行はれてゐる、例へば中間料金は七十錢郊外料金は二割引の一圓二十錢である、なほ組合發行の共通乘車券を使用すれば、前記料金より更に九分引の格安となる譯である

右の料金表は營業者は勿論運轉手間の諒解を

得た 結果出願となつたものであるが、自然化してゐる豆タクシーの競爭と勢ひ空車四十錢制度は最初の計畫通り三十錢を以て走ることゝなるであらうと見られ、タクシー界の料金競爭はなほ當分續けられるであらう

梅若流兩大家

謠曲による日本古來の持味を、改めて在滿の日本人の胸に蘇へらせ尙隣邦滿洲國の人士に謠曲の好さを知らしむべく謠曲の梅若流滿洲支部では特に今回宗家代理として土田快介氏並に青木永三氏を招聘したが、兩氏は二十八日入港うりい丸で來連した、土田氏は梅若流における第一流の師匠で十月六日迄一般稽古に從ひ九月一日、二日羽衣女學校において國民歡迎謠曲大會が行はれる、船中土田、青木兩氏は交々語る

初めての土地で巧く行けば好いと思ひます、本氣でやるつもりですが御承知の如く二人で來た丈ですから單に素謠、獨吟、仕舞をやる丈で、當地支部の方にもお力となつて頂きます(寫眞左土田、右青木兩氏)

日召ら四名に死刑の求刑

けふ血盟團事件公判

【東京廿八日發國通】社會機構の變革を目標に特に政黨財閥の打倒を企て一人一殺主義の下に井上準之助氏、團琢磨男を暗殺し全日本を震駭せしめた所謂血盟團事件の盟主井上日召外十三名に係る殺人並に殺人幇助の公判は二十八日午前九時より開廷木內檢事の論告後十時四十分左の如く求刑があつた

求刑	氏名
死刑	井上日召
同	小沼正
同	菱沼五郎
同	古內榮司
無期懲役	四元義隆
懲役十五年	池袋正釟郎
同十年	久木田祐弘
同十年	須田太郎
同十年	田中邦雄
同八年	田倉利之
同八年	森憲二
同七年	伊藤弘
同六年	黑澤大二
同	星子毅

眞劍な內地の防空演習振り

小澤太兵衛氏歸連

關東州防空演習の際中央分團長として活躍した小澤太兵衛氏は七月末關西で行はれた三府六縣に亙る防空演習を視察併せて近く關東において行はれる東京川崎橫濱三市聯合の防空演習の豫行をも見られ、部分演習を見學の上二十八日入港うすりい丸で歸連したが語る

內地の方では最近の北鐵交渉に對するロシア側のあの態度を一樣に憤慨し殊に交通機關たる東部線の顚覆陰謀に至つては言語道斷であるとの見解から國民は一樣にイザと云ふ時の肚を作つてゐる、それだけに關西は勿論今度の關東における防空演習も全く本物位の物凄さ、特設防護團員を加へれば百萬人を突破すると云ふのだから素晴らしい、大連市の防護團も單に演習の時のみでなく常に備へる意味で時折綜合演習の必要があると思ふ

今曉京圖線で貨車脫線顚覆

匪賊の仕業と見らる

【新京電話】二十八日午前四時頃京圖線敦化蛟河間第八二貨物列車が額穆、六道河の中間(新京起點一八三粁半)を進行中突如一大音響と共に列車前部七輛目より後部まで十三輛は脫線顚覆し原形を認めぬまでに粉碎他の六輛も脫線した、原因及び損害については目下調査中であるが右地點は目下鐵橋架替工事中にして匪賊の爲に工事道具一切を掠奪されて居り匪賊の仕業と見られてゐる、これが爲に新京發五一列車は現場を徒歩連絡してゐるが午後四時頃までには復舊の見込みである

馬の花婿探し

重田技正內地へ

滿洲國馬政局ではかれてから馬匹改良につき種々考究中のところ最近素質優秀なる日本馬を滿洲馬の花婿として迎へることに決定、馬政局技正重田恒輔氏は二十八日出帆のたこま丸にて內地へ赴いたが、同氏は奧羽、四國、九州の各牧場を廻つて四十五頭の優良種馬を銓衡、十月上旬歸滿四十五頭の花婿連はそれぞれ洮南、ハイラル方面において馬の日滿親善が行はれる筈である

小唄の勝太郎

藤山一郎らと來連

九月十三、四兩日大連で公演

我國小唄界の女王として帝都に君臨してゐる勝太郎が通俗小說の大家長田幹彥氏を監督として同伴九月上旬來滿、大連では大連劇場において滿鐵地方課後援の下に十三四の兩日出演することに決した、一行にはこの外流行唄の寵兒、藤山一郎も加はりビクター專屬バンドを從へて十八名でなほ德山璉も來滿方を交渉中で多分同行する筈であるが、斯くの如く流行小唄界の明星が打揃つて來滿することは珍しいことである、なほ大連出演後は沿線を廻るが新京では十八、九の兩日公演する筈(寫眞は勝太郎)

沿線牛馬の半數斃死

北黑沿線に炭疽病猖獗

【ハルビン二十八日發國通】二站で大黑河間を通ずる北黑線沿線の炭疽病は日に日に猖獗を極め、二十七日

現在の 斃馬牛頭數は既に二千數百頭に達し沿線農民所有牛馬頭數の半數に及ばんとしてゐる一方滿鐵、日本軍、滿洲國から派遣された防疫班一行は不眠不休で防疫に努めると共に沿線住民に豫防注射を行ひその蔓延を極力防止してゐるが既に五十名

以上の 苦力農民が炭疽に罹れ日に日に蔓延の兆あり當地日滿官憲は炭疽病菌のハルビン侵入を極力防止すべく第二段の防疫策を講じてゐる

けさ小崗子の情死

女は絕命、男は助かる

―男には別に情婦があつた―

二十八日午前六時頃市內小崗子料理店敷島樓で朝の靜けさを破り三階の一室から異樣なうめき聲がするのに家人が

驚き かけつけて見ると同家抱藝妓妻吉事龍口芳江(二〇)と登樓客原籍福井縣南條郡武生村、沙河口京町理髮店紀念軒主人小林長二(二七)が劇藥を嚥下し苦悶してゐるのを發見、直に博愛醫院にかつぎこんだが女は間もなく絕命、男は生命危篤である、小林は二三日前初めて敷島樓に登樓し未だなじみも淺かつたが家庭的に複雑な

事情 があり常に死を口走つてゐたところへ女も千八百圓の前借をかゝへ悲觀してゐたのでつい意氣投合し互に世をはかなみ發作的に死を決意したものらしい、情死の枕頭にはつたない男の筆で"二人を一緒に燒いて下さい"と父宛の遺書に最後の願ひが綴つてあつたのも一入哀れであつた

男の愛人

小林は沙河口京町に菓子屋を營んでゐる父親の隣にあつて理髮屋を經營してゐたが最近岡倍某といふ者と知り合ひになりその

世話 で聖德街の野口明治氏より三百圓の金を店を擔保として借り受けてなり敷島樓へは岡倍某と二人で二、三回に亙つて登樓遊興をつゞけた後この始末になつたものであるが、小林は何故死を選ばねばならなかつたか、彼には元沙河口カフエー美人座の女給をしてゐた田島トシ子(一九)といふ愛人があつた、トシ子は二ケ月程前大連を去り營口に赴いたがその後も小林との間に文通があり小林は營口にあるトシ子の許に送金をしなければならなかつたといふ事情もあり、その後トシ子との間に面白くない

空氣 を生じたため悲觀的になり送金すべく都合した三百圓の金もやけ氣分になつた當時の彼には無用の長物となつたわけで敷島樓に登樓し彼の立場に同情をよせる妻吉と短かつたが死を誓り合ふ程の深い仲となつてゐた

三百圓の大金を懷に持つて遊んでゐる息子を見て父親の房太郎はびつくりして二十七日も一旦敷島樓から呼びかへし兄の芳男と共に懇々と注意をあたへたが痴情に狂つた小林は又も夕方家を飛び出し妻吉をさそひ出し映畫見物としやれ込み十一時頃何氣ない風を裝ひ歸樓二十八日午前四時頃カルモチンを昇汞を

嚥下 驚倍の自殺をはかつたものらしい長二の遺書左の如し

父上樣、私は今から死に行きます、ゆるして下さい私の不幸を營口にも金を送らなかつたです、お金は全部費つてしまひました、そしてこの妻吉です、たつた二日の客だつた私を死ぬ程愛してゐたのです、そして私の心に同情し、自分の身を思つて私も死ぬと言ひ出したのです、ではお父上樣御身大切に　長二
父上樣

最後の御願ひです、二人を一緒に燒いて下さい―寫眞(上)妻吉(下)トシ子―

"同性愛"二人娘

母を棄てゝ渡滿

お互にたつた一人の母親をおいてけぼりにして滿洲で大いに花を咲かせようと情熱の南國鹿兒島から手に手を取つて來滿した同性愛の娘さん二人

同縣揖宿郡穎娃村ハツ長女中村ミサエ(二五)同郡チヨ長女野元シマ(二二)の二人はともに母親に無斷二十八日入港うすりい丸で來連したが、それより先に入つた取押へ手配電で「一寸待て」と水上署に引張られたが「妾達死んでも滿洲で働きたいわ、何處で働くにも二人で一緒」と係官の說諭も母親からの涙の手配電も何のその情熱あふれるところを見せつけた、いづれにしても原籍地に同人等の身柄に關しては照會中である

眞野畫伯個展

眞野紀太郎畫伯の個人展覽會は既報の如く愈々來る三十日、三十一日の兩日に亘り本社後援を以て滿鐵社員俱樂部で開催されることになつたが

同畫伯は明治三十四年故大下藤次郎、丸山晚霞兩氏などゝ共に水彩畫研究所を起し更に大正三年石井柏亭、中澤弘光、南薰造諸氏等の贊同を得て日本水彩畫會を起し爾來同會の幹事として活躍して居る斯界の大家であり一方同畫伯は大正十一年歐洲諸國を漫遊し同十三年には海軍練習艦隊に便乗し南洋及び濠洲ニュージランド等を遠航した事がある

同畫伯獨得の力強い描法、筆觸は觀者を魅了するであらう(寫眞は眞野畫伯得意の水彩畫ばら)

小旗理事チチハルへ急行

【大阪特信】一ケ月延期されて九月上旬來朝の豫定だつた黑龍江省滿蒙八十五名の日本商工觀光團は北滿水害の影響をうけて豫定人員の半數にも不足する狀態であるので更に時日を延期するか或は明年に延期するかどうかを決定するため黑龍江輸入組合大阪駐在小旗理事はチチハルに急行した

滿洲體聯と日本體協の提携

兩者間の蟠り全く氷解

【東京二十八日發國通】滿洲體育聯盟の飯澤、難波兩氏は既報の通り二十七日午後五時丸の內中央亭において日本體育協會の平沼副會長、郷名譽主事、小川名譽會計以下各專務理事と會見、先づ滿洲側より

舊滿洲體協の解散、新體育聯盟創立の經過を報告し過去にこだはらず率直に新體育聯盟と日本體協との緊密なる提携を申出たところ日本側もこれを諒とし欣然相提攜相互の進展に努力する事を約した、これによつて極東大會以後の兩者の蟠りは全く氷解したので體協では來る三十一日理事會を開催し如上の成行きを報告して承認を求める事となつた此の提携成立の模樣を滿洲兩代表は直に新京本部に打電その訓令に基いて東洋大會加盟の手續を執る事になり更に日本體協は滿洲側の希望に依り米國陸上チームの渡滿、日滿蹴球對抗戰の企劃等に斡旋する事を快諾した

米軍監督が承諾すれば

滿洲國の招聘實現

【東京二十八日發國通】日本陸上聯盟の日米陸上競技會準備委員會は二十七日午後六時より開かれ左の如く決定

滿洲國の米軍招聘に關しては米國選手團の監督が承諾した場合には競技或は練習をなさず單にティ・パーティに出席するだけの意味で新京に立寄ることに內定しその日程は二十五日朝大連發同夜新京着一泊し、二十六日交驩會出席、二十七日朝京城に向け出發

聯合艦隊歡迎打合

大連市役所では三十日午前十時關係方面の參集を求めて聯合艦隊歡迎打合せをなす筈

●●●●●● 滿壽屋モスリン店賣出　磐城町マスヤモスリン店は二十七日から三十一日まで決算前の大安賣を行つてゐるが夏秋冬物の大破格提供と云ふのでなかなか盛況である

石田家不幸 市內監部通大信洋行專務石田榮造氏嚴父榮吉氏は郷里に於て病氣加療中の處藥石効なく九十一歲の高齡を以て二十六日死去、二十八日市內東本願寺に於て盛大な追悼法要が行はれた

天氣予報 二十九日
南の風曇時々晴

滿潮(午前零時四〇分 午後零時五五分)
干潮(午前六時五五分 午後七時一五分)

各地溫度(二十八日午前十一時)

大連	二四	奉天	二六
旅順	二三	新京	二六
營口	二五	新義州	二四
ハルビン	二六		

今日の小洋相場(十一時半)
金百圓につき百十三圓五十五錢

丹下左膳 (208)

新講談　林不忘作　小田富彌畫

藝心阿修羅(二)

さ、愚ふさ……再び。

「コラ〜、動いちやいかん！うむ？何？もう疲れたといふのか。ぢつと立つて居るのは、辛抱が出來んか、はゝはゝゝ、宜し。休ませ〜」

別人のやうに若やいだ、艶のある作阿彌の聲。

獨り語？

それにしても、變だ。さながら話し相手があるやうな口調である。

若しこゝに、彫上げるまで人に見られたくないといふ絶對境の作阿彌の藝術心に、些少の尊敬しか拂はない人があつて、今この小屋の隙間から、ソッと覗いたとしたら……。

アッ！——とその人は、おどろきの叫びをあげるに相違ない。

矢つ張り一人なんだが、話相手はあるのです。

馬だ。

今で言へばモデル。一世一代の思ひ出に、生けるがごとき馬を彫らうと、鑿の先に心臓のすべてを傾けることになつた作阿彌は、馬の骨格、體形などは隅の隅まで知つてゐる彼だが、それでも、今度はモデルが欲しいと思ひ立つて、

「單に、手本にするだけでは御座りませぬ。活きた馬と朝夕起居をともにし、その習性を忠實に木彫に寫してみたいといふのが、愚老の心願で御座りまする」

かういふ作阿彌の願ひ出を受けた柳生對馬守は、これ猿の茶壺がなければこの日光にも事を缺き、手も足も出ない程の貧藩ですけれども、武張つた家柄だけに、名馬名槍などゝともに、馬には逸物が揃へてある。

またこれは、この日光へ發足前江戸の上屋敷にゐる時分だつたので、さつそく作阿彌を廐の前へ連れて行き、一頭づゝ廐舎へ引きだして見せたのだが、どの馬にも、默つて首を振るばかり。

最後にひき出した馬は「足引」といふ名のある對馬守第一の乘馬で、一と眼見た作阿彌は、初めて、うむと大きく頷いたのだつた。

あしびきの山鳥の尾のしだり尾の……。

古歌にちなんで足引と命名されたこの駿馬は、野に放したが最後山鳥のやうに俊敏に、草を踏みしだき、林をくゞり、いや、鳥のごとく天空をも翔けんず尤物。

これを措いて、ほかにモデルはない。その足引が、今この日光の山奥の仕事小屋に、連れこまれて燃え上がるやうな作阿彌老人の制作慾の對象に置かれてゐるのだ。

「さア、かひばをやらうなア」

と作阿彌は、まるで人にもの言ふやうに、しきりにたてがみを撫でながら

「今度は、ぐつと首を上げて、正面を睨んでゐて呉れよなア」

優しく賴むやうに言ふのですが、いくら利口な馬でも、さう註文通りにはいきません。

道具を拋り出した作阿彌は、すこし離れて、半ば彫かけた馬の像に、見入つてゐる。

首から胴は一木で、刻みのあとの荒い馬の姿が、半ば出來かゝつたまゝ立つてゐる。

が、この未成品、すでに惻々と人に迫る力を有つてゐるのは、矢張り、作阿彌の作阿彌たる所以であらう。

「ウ、ム、陽明門の登り龍と下り龍か、夜な〜水を飲みに出るといふなら、この、おれの彫つた馬はその龍を乘せて霧降の瀧を跳び越ぜッ！」

「いや、見事〜！」

作阿彌の獨りごとに答へて、別の聲がした。

馬が口を？

と、作阿彌老が振り返つた時——。

映畫演藝

パ社映畫紹介　ボレロ　日活館上映

待望されてゐたパラマウント映畫「ボレロ」がいよいよ上映される「ボレロ」はフランスの新進作曲家モーリス・ラベールの作品中最も大衆より喜ばれてゐる名曲「ボレロ」を主題にしたもので、ジョージ・ラフトに扮する處のアマーチュア舞踊家が本當のダンサーとして次第に出世して遂にはパリで堂々と自分のナイト・クラブまで持ち心のまゝに踊らうとするが、苦心創作した舞踊「ボレロ」發表の夜われるが如き喝采を聞きながら息を引きとつて行くといふ感傷的なものである

この映畫には二つの見方がある一つは名曲「ボレロ」を中心とした音樂ダンス映畫として見ることと、他の一つは世界一のダンサーを夢みて踊りの前に戀を押へて行く舞踊家の物語り——即ちメロドラマとして見ることとこの二つであるが、メロドラマとしては前半がよく、ダンス映畫としては「ボレロ」を盛り込んだ後半がよい

映畫的に見るならば先づメロドラマとして批評せねばならぬが、前半ラフトの扮するダンサーが相手役に選んだ女からの求愛にも拘らず仕事に精進する物語りは脚色も無理がなく、ウエズリイ・ラッグルス監督のメガホンも好調を示してゐる、そしてラフトの美しく冷たい演技にもかうした役柄では矢張り第一人者だと思はせるものがある、ラフトはダンスに於ても水際立つた腕前を見せるし、色事師としても相當野心的な氣力に滿ちてゐる、前半のラフトには充分好感を持つことが出來る

だが後半は——戀と仕事の二筋道を追ふ事件に入つてからはベルギー旅行が現れたり歐洲大戰になつたり、物語りを纏めるだけにも相當無理が見え、ラフトの演技にも全然力が拔けて唯だ感傷的な男として表現されてゐる、これでは前半の好さが安全に打ちこはされる、一言にしていへば前半は藝術的であり、後半は「ボレロ」の踊り「ラフテロ」を見せるためのみの非常に俗ッぽいものとなつてゐる

問題の踊り「ボレロ」の「ラフテロ」はスペイン民族舞踊を基調としたもので單なるステージ・ダンスの域は離れてなり珍しいものであるし、又ラフトのダンス振りも相當魅力を持つてゐる—S—

◇◇利根の朝霧◇◇　蒲田オール・トーキー、栗島すみ子、川崎弘子、岡讓二、江川宇禮雄四大スター競演、野村芳亭監督、中央館上映中

プッテス

●●●大連會館(二)安東水災義捐ダンス會開催——來る九月二日午後一時より四時まで〆入場料一人一圓踊り次第、特別餘興として「ボレロ」の公演、福引等(二)「ボレロ」の公演は三十一、一日兩夜松永教師と小倉幸子が上演することに決定これに使用するフイギユアーは映畫「ボレロ」東京封切の際、日本舞踊教師協會市村讓治夫妻によつて初公演されたそのまゝのものでその外關西封切の際に武内忠雄教師が使用した足型を入手目下練習中である

"七寶の柱" 撮影見物記(五)

太秦新興撮影所にて　S記者

壽々喜多監督の話が終つたのが二時過ぎ、それからセットへ案内してもらふ、四時半からの「七寶の柱」セット撮影はダンス・ホールの場面でこのホールで淺田君の惣兵衛と桂珠子のふみ子が踊るのださうだ。

芝居の舞臺裏を雨ざらしにしたやうな現代劇、時代劇のセットを通り拔けて行くと、小ッぽけな池に軍艦の模型がさかしまになつたり、ヒックリ返つたりして浮んでゐる、これは東郷元帥哀悼映畫、荒木忍、森靜子主演の「東郷盃」のトリックに使つたものださうだ、その池の横に築山があり、一寸小イキな奥座敷がこしらへられてゐる、大谷日出夫第二回作品「恩讐子守唄」のセットだ。

「七寶の柱」のセット、ダンスホールの場面はグラス・スタヂオの中央部に組んであつた、助監督が道具方を指揮して小道具、大道具を配置してゐる、パイプ椅子が六七脚、ゴムの樹の鉢が二ッ三ッ、張りボテのダンスホールの壁ぎわに並べられてゐる。

これが映畫になると堂々たるホールに見えるのだから相當なものだ、撮影は四時からでまだ時間があるからといふので女優部屋を襲ふことにした

小豆色に塗られた幹部女優部屋に入ると先程まで企畫部にゐた中野かほるがヤケに髪のモシャ〜した女性と話をしてゐる、ヒョイと振り返つた顔を見るとおタマだ、まさに桂珠子だ、だが何んとオデコの廣いことよ……映畫で見ても相當なモノだが、素顔で見るとまた一段と廣々と見える

記者・御病氣は？

珠子・えゝ、仕事してゐると仲々よくならないデスわ

記者・「七寶の柱」のふみ子何うです

珠子・ふみ子は映畫女優なんですが映畫女優の私が映畫女優の役をやつて見ると、始めて映畫女優になつたやうな氣がしますワ

どうもやゝこしい、結局、映畫女優の生活なんかアンナものかしらとおタマ女史は云ふのだ、中野かほるが相槌らず、口をまげて笑つてゐる

そこへ助監督がやつて來てメーキアップにかゝつてくれと云ふ

撮影が始まるのだ——

セットに入るともう惣兵衛氏(淺田)千葉君(坂内)三枝君(由利)等が待つてゐる、撮影は四時から始まつた「キャメラ、ハイ」壽々喜多監督のメガホンでダンスが始められた、ポータブルからトロットが流れ出す、桂珠子は病を押しての撮影だから苦しさうだ、相手役の淺田健二や、中野かほるが休憩毎に桂をいたはつてゐる……撮影の終つたのが六時過ぎ、メーキアップをおとした「七寶の柱」組の人々と撮影所の前の「うさぎ屋」でお茶を飲んで別れた、太陽は嵯峨の山なみに沈みかけてゐる

これから夜間撮影です、きつといい映畫をつくり上げますよ、ロケーション自動車で大阪まで歸る記者と握手した壽々喜多監督は自信に充ちて記者の手を強く握つた(終)

(日刊)

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

怖るべきソ聯の陰謀暴露

北鐵從業員と連絡 極東軍司令部の暗躍

軍用列車顚覆事件 犯人の自白で判明

【ハルビン特電二十八日發】滿洲國官憲により逮捕された赤系從業員の自白により彼等の犯行が單なる列車妨害でなく、極めて大がゝりな陰謀であることが判明した、卽ちソ聯極東軍司令部は當然來るべき日ソ開戰の時機は愈々迫つたとの斷定の下に開戰の豫備行動として北滿における軍事輸送妨害に着手したもので、これがため充分訓練した黨員多數を潛入させ赤系從業員に對しては彼等の行動を援助するやう密令したもので執拗な彼等の輸送妨害もこれがためであつた、右極東軍司令部の司令は駐哈ソ聯總領事館から北鐵專用電話に連絡し直接沿線の黨員に傳へられてゐたがその主要事項は軍用列車及び貨物列車の爆破または顚覆、匪賊の操縱、滿洲國軍隊の買收等で殆んど無制限に運動資金を出してゐる、匪賊に對しては掠奪品を全部與へるとを交換條件としてゐる、更に驚くべきとは開戰の場合黨員は踏止まつて列車や重要機關の爆破民衆の煽動などに任ずるが從業員及びソ聯國籍居留民は東部國境ニタンに引揚げるやう一般人にまで密令を出し滿洲國領土內に於て滿ソ開戰の大がゝりな演習をしてゐるごとき傍若無人の行動をなしてゐたものである

秘密電話で發車通報 ハルビン驛から匪賊へ

【ハルビン特電二十八日發】北鐵東部線における軍用列車顚覆事件の連類者は續々滿洲國官憲に逮捕され取調べの進行に伴れて彼等の犯行は愈々白日の下に曝されやうとして居るが、彼等が匪賊と結合して如何に巧妙なる手段を用ひて列車顚覆を圖つたかを實證する一例として驚くべき周到さが彼等の自白により判明した

卽ち彼等は東部線鐵道電話線に秘密の電話線を引つかけ匪賊の巣窟に導きハルビン驛の一味は沿線驛に通報する如く見せかけ列車の通過時間を通知するとこれを受けた一味は直に匪賊に通報し列車の通過直前にレールの犬釘を拔き又は爆破裝置をなし路警處員をして事前に防禦不可能ならしめた

右犯人の自白により現場檢證を行つた所、果して一面坡、サモフラウ驛間一、一一八キロ（滿洲里起算）の地點から三哩にわたり秘密電線をひき叢中に受話裝置あるを發見した

ポグラの北鐵クラブ閉鎖 陰謀本部發覺

【ハルビン特電二十八日發】ポグラニチナヤの北鐵クラブは嚮て滿洲國當局が睨んだ通り北滿に於ける前衞分子の參謀本部と化して蘇聯領事館と連絡をとつて屢々會合し沿線の黨員に指令してゐたことが判明したので二十七日閉鎖を命ぜられた、これと同時に全線に亘り嚴重な監視を行つてゐるので各地のクラブも一齊閉鎖さるゝに至るやも知れず

從業員逃亡

【ハルビン特電二十八日發】北鐵全線にわたり滿洲國官憲の赤系從業員檢擧によりハルビン及び沿線に潛伏中の共產黨員は續々逃亡しつゝあるが二十七日には東部線近藤林區に白系露人自警團に化けて潛入してゐた黨員ドウジコフ、タリンコフ、ポチカリヨフの三名は私かに自動銃二、小銃五、彈丸千一五百發を持出し逃亡した

損害卅七萬圓の賠償を北鐵に要求 關東軍當局から

【新京電話】最近北鐵東部線に於て頻發する貨物列車事故は北鐵ソ聯側從業員の拘禁取調べによりソ聯側の計畫的陰謀であることが漸次明白となりつゝあるがこの被害貨車は既報の如く主として軍用貨物を積載せるものでその額は莫大な數字に上つてゐる右に關し關東軍鐵道線區司令部ハルビン支部では右は北鐵運送規定第四十五條の不可抗力によるとは認められず、これは當然北鐵側の負擔すべきものとなし、最近北鐵管理局長宛に右損害賠償を要求したがこれによれば被害件數九件、被害貨車數六十車、要償額約三十七萬圓である

益々結束を固め 靜觀の申合せ 關東廳の職員會議

關東廳判任官以下の主要者會議は昨日に引續き二十八日午後一時から關東廳會議室に於て各委員その他各課主任者が列席開催し在滿機構問題對策につき

一、更に上京者を派遣する件

一、最近新聞紙上に現はれる現地の反對氣勢を以つて愚なりとする論者に對する對策

その他につき協議を重ねたが結局左の如く申合せ午後五時半散會

關東廳員として在滿機構問題に對しては當然深き關心を持つべきであるが、現狀に於ては官吏としての本分に基き益々結束を固め靜觀の態度を持續すると共に種々本問題につき充分なる研究を遂げ情勢の如何に對し夫々の活動に移り得るの萬端の用意を整へ滿を持して放たざるの備へをなす

民政署長關東廳兩局長會合 機構改革問題

御影池大連民政署長外、伴旅順、貔子窩、山口金州、林田普蘭店各民政署長、並びに關東廳日下、中村兩局長等首腦部との會合は二十八日午後零時半より開催されたが各民政署長より在滿機構改革問題の近況につき質問するところあつたに對し關東廳首腦部は在滿機構問題に對しては總ゆる手段を以て目的貫徹に努力しつゝあることを說明し更に署長の上司信賴を希望しなほ結束せしむるやう努力されたいと種々懇談をとげ更に首腦部との連絡を密にすることを申合せ午後二時半散會した

伴署長訓示

旅順民政署では二十八日午前八時伴署長は署員一同を集め在滿機構問題に關し官吏としての態度に遺憾なからしめる樣一場の訓示を與へた

米人農民團 排日氣勢を揚ぐ アリゾナ事件收らず

【東京特電二十八日發】フエニックス來電、外人土地法違反として起訴された日本農民十六名の公判が二十七日行はれる豫定のところ延期となつたため裁判所前に集まつた多數の農民は各都市を巡行して一大デモを敢行、東洋人に土地を貸したアメリカ人を膺懲せよとの大幟を擁き廻り排日氣勢を揚げた、フエニックス勞働組合協議會は二十八日緊急會議を開きこの事件を審議し農民の行動を是認し、勞働大衆に對しアメリカ人の栽培した農作物のみ購入すべきことを要請し農民側の指導者は各所に見張り番を置いて日本人、印度人等の作物をブラックリストに記載する一方日本人排斥事件の裏面には日本農民をして不法な移住をなさしめたアメリカ人があり、輿論の攻擊を受けて居るが日本農民はこれらの論議を一切避けてゐるけれども、領事館や日系市民聯盟の支持がなかつたら二十五日の撤退要求日に全部引き揚げの不運に際會したらうと言はれ市民聯盟の役員は土地法に問はれる日本人には全く惡意なく米國土地會社と個人が共謀して日本農民を陷いれるためやつたものであると日本人の立場を辯護しつゝ、米人側の執拗な非道を暴露してゐる

【フエニックス二十七日發國通】アリゾナ州土地法違反事件に關する公判は二十七日フエニックス地方法院において開廷審理の結果米人地主ウエブスター氏及び印度人ラマトルラ氏は外人土地法違反の廉で更に高等法院に於て審理に附されることゝなつた、排日農民團數百名は開廷前示威運動を決行し日印農民よ平和に退去せよとのスローガンを掲げて市中を練り歩いた後法廷に乘り込み公判廷は異常な緊張を呈した

卽行か自重か 華府條約廢棄通告で三相協議 首相の裁斷注目さる

【東京特電廿八日發】廣田外相、大角海相は二十八日閣議に先き立ち岡田首相と會見軍縮會議に對する我對策について協議し、閣議散會後また居殘り、三相鳩首協議したが豫備交涉を前にして海軍部內特に艦隊派を中心として華府條約卽刻廢棄通告を唱へ强硬態度をとり、末次長官の如き公開の席上我主張が通らねば國防を責任を負ひがたしと言明してゐる程で外務省が豫備會商の經過を見て廢棄通告を考慮するといふのとは大なる相違がある、海軍、外務の衝突といふよりも海軍部內が一齊に强硬態度に猛進しつゝある形勢に對し、我が對策の萬遺憾なきを期して內外に善處せんとし、二相より首相の決意を促さんとしたもので首相のこの問題に對する態度が注視の的となつてゐる

大角海相談

【東京二十八日發國通】大角海相は語る

豫備交涉訓令案並びに廢棄通告問題については大體整調の域に達したので閣議の機會を利用して散會後廣田外相と會見したわけである、未だ字句の修正その他整理の必要があるので近く成案の上來月中旬頃の山本少將の出發迄には關係閣僚にも諒解を求める考へである

米海軍 建艦四隻追加 ス提督の聲明

【ワシントン二十七日發國通】條約限度迄の軍艦建造に躍起となつてゐる米國海軍では一九三五年度においても一九三四年度と同じく二十四隻の建艦を行ふ計畫を樹てゝ二十七日海軍省總務局は右計畫を來るべき議會に提出するに決定した、一九三四年度建艦計畫の原案は二十隻となつてゐたが總務局は更に四隻の追加を要求するに決したもので右四隻の內譯は左の如くである

一、一萬五千噸航空母艦一隻

一、七千五百噸巡洋艦二隻

一、大型驅逐艦一隻

右につき作戰部長スタンドレー提督は左の如く聲明した

一九三五、六年度において更に四隻を追加建造する事になつたのは一九三五年の海軍會議とは全く無關係で純然たる老朽艦の代艦建造に外ならない

財源捻出のため 地方貸付金回收 大藏省各省と協調

【東京二十八日發國通】大藏省では明年度豫算編成に當り新規財源の捻出について考慮を重ねてゐるが二十七日省議を開催先づこれが對策として一般會計の歲出に基く公共團體に對する貸附金を整理する事に決定した卽ち關東震災復舊費を主體とする政府の東京府市神奈川縣橫濱市等に對する貸附金は總額二億三千萬圓餘の巨額に達し昭和三月末現在に於ける元利延滯額を含む未償還金總額は一億九千五百七十一萬八千圓となつて內往の元利償還義務額を見ても六千五百十九萬圓に達してゐるに拘らず償還のものは僅かに三百八十九萬圓に過ぎず地方公共團體の豫算に於ても償還金を全然計上して居らぬものが多く國民の負擔に於て復舊したものが國家財政の困窮の際返濟義務を怠ることは負擔均衡の立場から見ても面白からずとの見地から大藏省が主動的立場に立つて內務、文部、外務、拓務等の關係各省と協調して右貸附金回收に關する具體策を練る事になつたものである

尙は回收せんとするもの、內にはブラジル、天津、青島等の居留民團に對する貸附も當然問題となるべく之等貸附の回收によつて政府は年額千六百萬圓乃至千三百萬圓の增收を期してゐる

內務省反對

【東京二十八日發國通】大藏省では米償還の國庫貸附金を每年約一千萬圓餘を强制回收する方針に決定したが內務省は地方財政を壓迫するものとしてこれに對し强硬に反對の意向で近く大藏省と折衝する筈である

ソ聯の一石二鳥策 ジュネーヴ紙素破拔く

【ジュネーヴ二十七日發國通】ジユネーヴの有力紙ジユルナール・ド・ジユネーヴ紙は日蘇兩國が戰端を開くに至る懸念が無いとの論斷を下しソウエート外務人民委員長リトヴイノフ氏の一石二鳥策を素つ破拔き左の如く述べてゐる

日蘇兩國の關係は漸次緊張を呈しソウエートは極東における挑戰的行動に出でつゝ頻りに對日軍備充實に努めてゐる、此の情勢に直面し日本政府が危險防止の對應策を講じてゐるのは極めて當然なことであるが日本の國內經濟及び財政事情は戰爭に堪へることを許さず、ソウエートとしても今のところ平和維持に汲々たる有樣である、平和維持の一策としてリトヴイノフ外務人民委員長は日本政府との間にギアエンドテークを企圖し自國のために新疆省、アフガニスタン、ペルシヤ、印度における自由行動の權利を要求しその代償として日本に對し東亞における自由行動を容認する肚だとも傳へられる、但し他方蘇聯邦は歐洲において聯盟加入及び東歐ロカルノ協定締結の重要懸案を抱いてをりその實現には英國政府の支援を必要とする事情に在り而も上述日蘇兩國間の交換條件は英國の損失に於て實現されるところだから惹いて英國に對する蘇聯邦の關係を惡化するのは免れない、仍つてリトヴイノフ氏は暫く日蘇間の緊張關係をそのまゝ放任し先づジユネーヴに於てその欲するところを獲得しようとするものと解せられる

失踪せる劉湘の責任を糺す 蔣介石氏代表を四川へ派す

【南京二十八日發國通】劉湘の失踪は對英借款、共產軍討伐の失敗、英蘇經濟侵略の重壓に對する無能暴露等で處分を免れずと見て打つた芝居である事が愈々明かとなつたが蔣介石氏は飽くまでその責任を追及すべく、代表楊虎城を派し嚴重調査中である、尙劉湘の居城たる重慶市中は事件の發生當時何等關知せず他よりの照會電に接して俄に騷ぎ立てるの奇觀を呈してゐる

〃法〃の危機 十月から年末迄

【東京特電二十八日發】パリ來電 弗が再び引き下げられないといふ事に拘らず磅の低落は爾が法との連携を斷つて弗に追隨するのではないかとの不安あり、法孤立の形勢を示して居る、然し目先法金本位停止の危機はないやうだが國內農村不振、產業不況等はなほ法の危機を語り一般の輿論は依然金本位維持を根强く支持して居り政治的經濟的に十月の議會開會後年末までを法の危機と見て居る

日蘭會商 本格會議遷延

【バタヴイア二十八日發國通】日蘭會商は漸くピッチを上げランネフト代表が總督代理となり來月中旬までには少くとも大綱を決定するやう準備を急いでゐるが總督代理中はランネフト氏も多忙で長岡代表との折衝も殆ど不可能であるから右期間中は委員會のみとなり代理解任の十月十七日以後に至つて漸く委員會の結果に基く長岡、ランネフト兩氏間の折衝開始となるべく大した難局に當らず順調に進行しても協定成立までには十一月一ぱいかゝると我が代表部では見てゐる

米調官制 愈よ卅日公布

【東京二十八日發國通】政府は米穀對策を樹立する爲め二十八日の閣議は「米穀對策調査會官制」を決定したが來る三十一日の閣議で委員を任命同時に官制を公布し來月中旬第一回顔合せを行ひ米穀對策の審議に入り成案を急ぐ事となつた、政府としては臨時議會を召集する意志はないけれども通常議會には根本對策を提出しなければならない關係上農林省も諮問案を急速に決定九月二十日頃より眞劍な審議が開始される筈である米穀對策委員會の構成は大體左の如し

會長 岡田首相

副會長 山崎農相、藤井藏相

委員は三十五名以內にして米穀に關する權威者を貴衆兩院議員、官吏、民間より任命する

幹事は荷見米穀局長以下關係者若干名

都會は好況 農村は疲弊 笠原市議視察談

日本各地の農村を視察中であつた大連市議笠原博氏は二十八日入港うすりい丸にて歸連、船中語る

都會と農村とを同じこの目で見て來た、一般に都會殊に工業都市はすこぶる景氣がよく、これを稅金方面から見ると神戶、大阪の如きは九十九％の納稅率、惡いといはれる名古屋ですら九十四％といふ有樣で概して都會は好景氣だ、しかるに一歩農村に目を轉ずると實に慘澹たる有樣だ、生糸は安い、米も安い、おまけに北陸、山陰が水害で困憊したに反して九州は旱魃で苦惱をなめてゐる

米屑鐵禁輸か

【ワシントン二十七日發國通】商務省等より二十七日發表せられたところに依れば七月中における米國の屑鐵の輸出總額は十一萬五千八百噸であるが右の內十一萬三千百噸は日本向け輸出となつてゐる右日本向け屑鐵は主として武器製造を目的とするものとして米國朝野の注目を惹いてゐるが上院軍需品調査委員會は來る九月四日開會と共に屑鐵輸出問題を調査することになる模樣で右調査の結果或は屑禁輸案と同樣屑鐵禁輸問題が持上るのではないかと考へられてゐる

設關には敏活 支那側の態度

【天津二十八日發國通】古北口、義院口に設關、徵稅を開始した天津海關では更に三十日冷口にも正式設關同日より徵稅を開始する事となつた、界嶺口、喜峰口に就いても目下夫々準備中、但し右設關は全然支那側の一方的のものにして土貨に對し舊東三省稅率を認めたる如き日滿との協議の上に非ず通車問題に對しては飽く迄遷延策に出た支那側が實際收入を伴ふ設關に對してはテキパキと日滿側に相談も無く徵稅を開始して居る事實は日滿側を苦笑せしめて居る

點心

東拓の使命は農村金融 渡邊得司郎氏

◇…東拓新京支店長の渡邊得司郎氏は、その昔遼東新報に記者生活をしたことがあり在社中は雄辯會などを發起して商工會議所の樓上を會場に得意のフレノロジーから一般學術講演などをやつて大に氣を吐いて居たものだ。

◇…この渡邊さんが新聞記者をやめて東拓入りをするとき、〃渡邊君の會社生活は一寸板につきさうもないネ〃などゝ批判したものであつたが、爾來春風秋雨二十年、近ごろの渡邊さんはからだも肥え太つて何處から見ても押しも押されもせぬ立派な實業家タイプだ。

◇…處がこの渡邊さんにも一つの惱みは建築資金の借金申込者にワイ〜攻め立てられてることだ、中にも手强い連中はあの手、この手で攻めかゝるが、渡邊さんは何時も柳に風と受け流してほどよく扱つてる。

◇…そして東拓の使命は都市金融よりは農村金融が第一義だと說き聞かせ道に農學士だと對手を感心させてる。（新京）

人事

▲青村常次郎中佐（滿鐵囑託將校）二十八日午後四時二十分發列車で北行

▲中田末廣氏（電々會社技術部長）同新京へ

▲ピネーター氏（ニューヨーク・タイムス記者）同上

▲滿鐵新入社員北滿見學團一行四十名 同午後四時四十分着列車で歸連

▲羅振玉氏（滿洲國監察院長）午後七時半着はとにて來連

▲高橋茂壽慶氏（參謀本部附）同上

▲吉武正男氏（ハルビン地方事務所運輸課調査係主任）同上

▲前田鐵雄氏（滿鐵鐵嶺地方事務所長）同上

▲久留島武彥氏（童話家）同上來連三十日出帆うすりい丸にて離連の豫定

大小鏡

滿鐵中央試驗所長栗原鑑司博士、死に臨んで試驗所の仕事に關する抱負希望を陳べて遺書と爲す▲これこそ眞の學者、事業家、紳士、人間▲世の寶、人の鑑として、どの方面にも欲しい人物▲滿鐵衛生研究所の笠井久雄博士天然痘退治の注射液精製に成功す▲種痘で安心出來ないことも明白な今日、實に天來の福音、世界への日本の誇り▲廣く實驗を重ね、早く法的效果を持たせたい▲血盟團井上日召等十四名の檢事論告求刑があつた、死刑、無期懲役から十五年乃至六年の懲役▲當時世間に漂つてゐた沈鬱な空氣を破つて一般に與へた衝動、新に思ひ出される▲實に怖るべきは北黑線の炭疽病、馬牛の斃るゝもの既に二千數百頭、人にも傳染して、防疫班不眠不休の活動▲人爲的に撒き散らした疑ひがあるといふに至つては、その非人道驚くに餘る▲正岡子規三十三回忌の法要並に俳句大會、郷里松山市の海南新聞主催で行はれる▲あの頃の文學者の氣魄、態度、一般に追憶してもよいらしいが、殊に子規のそれは神々しい。

本日朝夕刊十六頁

特輯ページ、第五面に小野實雄氏の「機構改革問題と治外問題の考察」並に國際點描、第七面に日笠旭東氏の「內地の高原避暑地」を掲載

社說

十大政綱を取出して見る

岡田内閣は七月二十日その十大政綱を發表した。而して着々之れを實行に移す可きを聲明した。爾來一月有餘、所謂政治季節に入らんとして、此政綱が如何に政府によりて取扱はれつゝあるかを検討するも無用であるまい。その中只今問題になつてゐるもの一は外交に關する事だ。政府の聲明は列國との諒を一層厚くすると共に帝國の使命遂行に遺漏なきを期すといふのであつた。現在歐米にて專ら問題になつてゐるのは日蘇間の問題で、日蘇間が如何にも不穩なるが如くに傳へられてゐる。北鐵交渉停頓以來、蘇聯の態度も頗る怪しむべきものあるやうだが、我外交は最も愼重の態度を執りて之れに對してゐる。

◇

而して東洋和平に最も密接な關係ある日、英、米三國間の國際關係に注意してゐるが、英米亦同樣な注意を拂つてゐるやうだ。さすがにウカと日蘇間の空氣に卷添喰はぬ心掛を示す。米國には我國から義に非公式親善使といふやうな形で近衞公が行き、米國もよく之を容れて我言を聞いてゐる。最近アリゾナ州の排日騷ぎの如きに於いて米國政府は我外務省の注意に應じて適當愼重な態度を執りつゝある。英國では政府の方針を助けてゐる。英國では政府に近き有力な新聞紙が、苟くも他の煽動に乘つて日英間の離間を受くることなきやうに一般に警告してゐる。是れ同國の目下の外交情形に基くものであるが、又我政府の對英外交の反映でもある。最近は遣英使節を出さんとの議もあり、かたぐ日英再同盟説すら傳へられる。日英會商も最近稍軌道に乘つて來る可し。今の處、我政府は聲明通りに各方面に働きかけつゝあるを看取し得る。

◇

次は國防に關する事だが、その中にて海軍會議に關すること、既にその方針決定されんとするに近く、ワシントン條約を廢棄し、軍備平等權を主張し(平等は數量ではない)且つ何國と雖も進んで他を攻むることの不可能な程度に各國海軍を制限せんことを主張せんとするが如くである。これは、國防の安全を主張し公正妥當なる方針に依りその實現に努めんとするといふ聲明に向つて進みつゝあると見てよい。

◇

財政的基礎確立の爲めに善處するといふ聲明に對しては、増税か公債かの問題研究中である。豫算編成の當面の必要上とは云へ、等閑に附されてゐるのでないことは首肯さる。國民生計の安定に關しては、主として政友、民政及び蠶糸關係者から臨時議會の召集を要求されてゐるが、政府は蠶糸救濟の爲めに三百萬圓支出の議を決し、臨時議會は召集せざる方針を聲明してゐるが、米穀問題には近く調査會を開かんとするが、農漁山村の經濟的打開に努むるといふのはこれだけのことである。未だ甚だ物足らぬ感あり、政府自身も不滿であるに相違ない。勤勞者の福利增進の爲めには如何の考慮が拂はれてゐるかを知らない。

次に日滿兩國の關係に就て目下最も問題と爲されてゐるのは例の在滿機關統制の問題である。即ち三位一體改革で、軍部、拓務、外務三方面の競り合ひの形になつてゐるが、何とか取り纏めんとして大に努力してゐること明白である。

◇

その他政界淨化、官紀肅正、國民精神涵養、綜合的產業政策の確立、敎育制度の改善、行政の公正敏活の爲めにその機構の全般的改正の如きは、近く改正選擧法が公布されるとか、官紀肅正の訓令が出るとか、國策審議會が設けられるとか、設けられないとかの説がある外、何等の着手あるを聞かない。而して此等の問題も事に由ると、却つて政界淨化、官紀肅正、日本精神……

税率の低減統一　木税法を制定　九月一日より實施

【新京電話】滿洲國財政部發表＝從來木税に關する法令は各地區々にして殊に税率は甚だしく異り吉林、黑龍江省の如きは二割乃至三割の高率にして奉天省等に比すれば數倍の高率でありこれに加へて木税に對する各地方團體の附加捐もまた酷なりしをもつてこゝに木税を統一し且つ附加税の限度を改めて木税の負擔を輕減するため左記木税法を制定九月一日より實施することになつた、本木税法に規定せる税率は從價の百分の八で地方税は主管大臣の許可を得て百分の二十五以内の課税をなし得られることに制限されてゐる木税法左の如し

第一條　木税は木材をその伐採地より搬出するときその搬出者よりこれを徵收す、但し財政部令の定むるところにより税捐局の承認を得て木税未納の木材を搬出する場合においては税捐局長の指定したる場所に到着したるときこれを徵收す

第二條　木税の税率は木材價格の百分の八とす、但し木枠についてはその價格の百分の四とす　前項の木材の價格は課税地最寄集散市場における木材の時價を基準として税捐局長之を決定す

第三條　税務官吏木税の逋脫を防止するため必要ありと認むるときは木材の伐採者木材の運搬者木材業者その他のものを訊問し木材若しくはこれに關する帳簿書類を檢査し罪證となるべき物件を押收し又は木材の運搬の停止その他必要なる事項を命ずることを得

第四條　木税を逋脫したるものは木税を徵收するの外逋脫税額の一倍以上十倍以下の罰金に處す

第五條　第三條の規定による税務官吏の職務執行を阻害しその訊問に對して答辯をなさず若しくは虛僞の答辯をなし又はその命令に違反したるものは三百圓以下の罰金に處す

第六條　地方團體は主管大臣の定むるところにより木税の百分の二十五以内の附加捐を課することを得　地方團體は前項附加捐を課する外木材に對し一切の課税をなすことを得ず

附則

本令は康德元年九月一日よりこれを施行す　木材の課税に關する從來の法令はこれを廢止す　本令施行前徵收を猶豫したる木材に對する税金にしてその徵收期日の本令施行後において到來するものについては第二條の税率によりこれを徵收す

參考資料

一、改正税率と舊税率との比較(木枠を除く)

△奉天、黑龍江材その他　舊税率從價百分の六・六、百分の七・二六　改正税率從價百分の八

△吉林、ハルビン木税局＝舊税率百分の二四・三六、百分の三一・八六、百分の二五・二

△黑龍江省　舊税率百分の二三・八

△熱河省　舊税率百分の四・四

木税法施行細則

【新京電話】木税法施行細則左の通り

第一條　木税の納税義務者は木材を伐採地より搬出する時その伐採地所轄所税捐局に當該木材の種類名稱數量價格及び伐採地を申告すべし

第二條　木税の課税標準は前條の申告による申告なき時又は申告不相當と認める時は税捐局長これを決定す

第三條　税捐局長木税を徵收せんとする時はその税額を納税義務者に告知すべし税捐局長木税を徵收したる時は納税義務者に納税濟照を交付し且つ當該木材に税訖印を押捺すべし

第四條　木税の納税義務者伐採地より搬出する木材について木税法第一條但し書の規定によりその到着地所轄税捐局に木税を納付せんとする時は當該木材の種類名稱數量價格伐採地到着地及び到着豫定日を伐採地所轄税捐局に申告してその承認を申請すべし　税捐局長前項の規定を承認する時は第二條の規定に準じその木材の價格を決定し申請者に木材……

北鮮羅津港築港　用地買收問題終幕　近く總督府の裁決で

北鮮羅津港用地買收に關する滿鐵對一部地主間の紛爭は三年越の懸案となつて未解決のまゝにあるが滿鐵側は既に本問題に關する限り總てを朝鮮總督府の裁定に一任する意向であるため、その後の地主側の妥協に應ずる模樣もなく、いよいよ本問題も近く總督府の裁決によつて大詰となる形勢である、即ち本問題は昭和七年十二月に起つたもので、その後買收……において二百四十七名の……十九名(その土地の地……無く全部内地居住者)……折合がつかず、その内……分の要點は……滿鐵が地主に土地買……知を發したのは十二……羅津港が日滿連絡港……發表された八月二十三……三ケ月を經てなり當……坪二十圓までを唱へて……

鐵道營業法　國務院會議で議決

【新京電話】二十七日の國務院會議に於いて議決されたるもの左の如し

一、鐵道營業法

二、徵税交附金法

三、商標局官制中修正……

四、中央觀象臺官制中……

五、康德元年度第二……の件

早川頑鐵翁は語る(6)

政、長閥係還元　明敏果斷の原氏

代議士を一期勤めてからは成るべく政界から遠ざかつてゐたけれども大正七年原内閣が成立した時は原とは以前から懇意だつた關係もあり、同鄕で仲善しの綾井三郎が原のために懸命に奔走してゐるので默つて見てゐる譯に行かなかつた。尤も綾井の考へでは以前山本内閣の時、陸軍大臣だつた楠瀨(幸彥)を今一度陸相にするやうに盡力してゐたやうだが、吾輩は斷然反對して必ず田中(義一)を陸軍大臣にせねばならぬと頑張つた。こゝが原の聰明なところで一言いへば直ぐ分る、山縣(有朋)元帥の眞意もハッキリ見透しがついたので、どうしても田中でなくてはいかぬといふことでその通りになつた。だから山本内閣以來薩派關係を有する政友會内閣としては一寸意外のやうだが、寺内内閣が米騷動で倒れて原内閣になる成行から見ても政黨關係では駄目、矢張政長關係に還元されれば本筋といふものがあつて、陸軍には傳統といふものがあつて、桂が同志會を組織して以來文官方面の人は多く其の方に走つたが、山縣の正統は田中といふことに定つてゐたのだ。

▼……▲

その田中が後年高橋(是淸翁)の後を襲つて政友會總裁になつたのも偶然ぢやない。吾輩は原内閣の時から總理大臣候補者として山縣の意中にチャンと描かれてゐたことを知つて、元老(西園寺公)の意向も考へて極力田中を支持した。

所が茲に山梨(半造)が飛び出して來て何かに有り附かうといふので、吾輩は山梨とも懇意だし元來正直な男だから、同じ陸軍で田中が引き立てねばならぬものと考へて色々相談した。も……

……

毛皮類

御買求めの絶好期

シーズンに魁けて

割引大賣出し

逐年倍加の御愛顧御引立を戴いて居る弊店は、より一層よき品をお安く願ふ事を信條に當年も又品共多量仕入只今は加工も夫れ〳〵濟來店を只管御待ち申上て居ります

如何に勉强して居るか?

兎に角一度御散步の節御立寄御一覽の程願ひます

品質絶對保證

返品、返金御自由の店

ロシヤ毛皮商會

御詫び

每度有難う御座います、却說去二十四日弊店食堂部……ールの狹隘の爲め折角の御來店に御斷り申上げ何とサービス係の方でも開店匆々不馴れの爲め不行屆勝に二番コックは過勞に打ち伏し主任獨りにて調理に待たせ致す次第どうか御同情を以て今暫らく御許し上げます、何れ近々調理部にサービス係に增員の豫の御滿足を得る事と存じます、先は不取敢御詫び……

洋酒、洋食料品、菓子輸入元

浪速町の　オリエンタル

Joy of the Taste

日本各地名產・珍物

世界各國酒類・食料品

新入荷

紅茶の王座を占めた

リジウエー　テイ

一ポンド　二・六〇

半ポンド　一・三五

四分の一ポンド　・七五

大山通　宅の店

鐵路總局

安東貯水池の設計に根本的誤りあり
地方委員一行現場を調査し 意見を島所長に通告

【安東】安東大水災の慘害を重大化せしめた六道溝第一水源地の堰堤決潰は未曾有の大豪雨に因る不可抗力であるとの結論に技術家の意見が殆ど一致してゐるが一面には同水源地の設計施設に不滿を抱く意見も少くなく今なほ論議の中心となつてゐるが安東地方委員會の大津議長及瀬之口、滕平、鹽見、横畑、山縣各議員は二十六日水源地現場を調査した結果次の如き注目すべき意見を決定し口頭を以て島地方事務所長に通告した

一、貯水池の設計は根本的に誤りありと認む
二、滿鐵の調査を基準として土堰堤の高低を測量せしに土堰堤は波越し位ゐの程度と認む
三、昭和七年土堰堤の築造については遺憾ながら完全とは認むることを得ず
四、堤防決潰直前においてゲートバルブの開閉に關し遺憾の點ありと認む
五、堤防決潰數日前鴨江日報所載の危險場所と今回の決潰場所とはその位置を異にせり
六、罹災者救濟については萬遺憾無きを期せられ度し
七、今後工事の施行については最善を期し速かに復舊せられたし

水害後の防疫計畫
三部門一齊に活動
清掃は二十六日完成

【安東】安東大水害後の防疫計畫は清掃、消毒、豫防三部門とも二十日から一齊に活動を開始したが

一、清掃は屎尿馬車六十五臺、人夫百七十三名、塵芥馬車三十六臺、人夫五十二名で全市を六區に分ち掃除し、二十六日でほゞ完成した
二、消毒は井戸、浸水家屋、野菜の三班に分ちそのうち浸水家屋の消毒は二十六日で約七千六百戸のうち四千三百九十五戸の消毒を終り二十八日で完成する
三、豫防は赤痢、チフスの豫防注射を施行した者は二十六日現在で一千八百七十五名であるがなほ二週間繼續する、豫防錠はチフス、赤痢各二千人分を用意してゐたが更に二萬人分が近日到着する、このほか救急班の施療係は二十六日迄に九百二十五名を診療してゐるがこれもあと二週間繼續する筈である

排水設備を擴張改善

【安東】安東地方事務所は十八日の市内の大浸水に鑑み排水設備を擴張改善すべく鋭意立案中であるが南北に雨水暗渠二本を東西にモルタール管を増設し六道溝に水門一個を新設し山手の排水溝を擴張改善するほか各所の誘水地ポンプ所開渠等を全部改善する筈である

復興助成記者聯盟組織

【安東】水災後の安東はあらゆる方面をあげて復興に努めてゐるが復興事業にして若し一歩を誤るにおいては再び今回の慘を繰り返す惧れなしとせずとの見地から安東における新聞通信記者有志は市民の輿論を代表し復興完成の一助たるべく今回安東水災復興助成記者聯盟を組織することゝなり安東商工會議所内に事務所を置き右組成の趣意書を各方面に發送した

研究的態度で愼重に善處
機構改革問題と鞍山

【鞍山】附屬地課稅問題に係る機構改革問題に對する當地の態度は當初は大連、奉天に次いで直に在住民の要望として附屬地返還乃至課稅反對の一氣勢を揚ぐべき模樣であつたが、新京における全滿居留民大會に出席したる長井地方委員會議長の歸來報告とその後における大使館乃至滿洲國當局の態度判明や二十七日野添奉天總領事館囑託の來鞍懇談等により軽々に騷ぎ立つべき問題でないといふので目下地方委員會、實業協會乃至在鞍有志の懇談機關たる二十日會等各方面に於ては夫々會合を開き所謂研究的態度を以つて愼重研究調査し對策につき考慮中である

安東商議 態度決定

【安東】安東商工會議所は附屬地課稅問題に關し態度を決定するため二十六日午後三時から常議員會を招集し秘密會として岡本領事、大津地委議長等も列席意見を交換討議の結果課稅案には絶對反對を決議し當局に提出すべき決議文の起草を理事者に一任し更に水害善後に關して協議した後同七時散會した

なほ課稅問題については地方委員會と緊密に聯繫し若し奉天に全滿市民大會の如きものが開催さるゝ場合は市民會と協力しこれに參加することになる模樣である

營口鮮人大會

【營口】營口附近に在住する一萬二千餘人朝鮮人の時局問題批判大會は二十七日午後一時から營口座において開かれた、定刻前代表者數十名入場し白源豹氏の開會の辭に次いで各代表の演說あり結局治外法權撤廢は時期尚早、附屬地返還並に課稅は絶對反對なる決議をなし午後五時五分散會した

奉天に強盗

【奉天】二十七日午前零時半頃市內淀町七番地滿人雜貨商宗茂成方に二人組強盜が侵入し拳銃の如きものを擬して脅迫し大洋、金票等取混ぜて三十餘圓を強奪逃走した急報により奉天署では非常召集を行ひ犯人搜査に努めたが發見せず引續き嚴探中である

憲兵、巡査及路警の管掌事務區分決定
岩佐憲兵司令官語る

【奉天】關東軍憲兵司令官兼大使館警務部長岩佐祿郎少將は全滿各關係機關巡視の途二十七日午前六時二十分來奉、各關係機關を二日間に亘つて巡閲二十九日撫順に向ふが二十七日瀋陽館で語る

着任以來まだ約四週間程しか經たないので滿洲の事情が充分解つたとはいへない、然し相當熱心に勉強してゐる積りだ、邊陬地の皇軍は尙不安があるのでこの方面は特に意を用ひたいと思つてゐる、憲兵、巡査及路警の管掌、事務の區別については後宮少將が歸任される前に具體的に決ひされた、いよいよ陣容も整ひ充分機能の發揮も期す事だらう、滿洲の發展は實に素晴らしいもので官民眞劍に建設に從事してゐる

なほ稻垣副官は左の如く語つた

閣下は滿洲へは初めてなので常人の及ばない程の勉強して居られる朝など早く乘馬で街を一巡され新京についてはわれわれより詳しい位だ、毎日八時半には大使館に出られ後憲兵司令部へ出られるのだが、凡ゆる書類を熱心に精讀さるゝ、司令官として全く得難き人格者だ

熊岳ファンへ謝禮
二日溫泉と林檎デーを催して 湯の街秋のサービス

【大石橋】冬籠りの解放から引續き眞夏の溫泉聚落に列車毎吐き出さるゝ客は廣き熊岳城驛構內に溢るゝの殷盛を極めつゝあるが驛當局並に地方有力者及び溫泉經營者彩田寬氏と協議の上各機關出來る限りの奉仕を爲し驛主催の下に本年最終の熊岳ファンへの謝禮の意味と更らに熊岳城を色鮮かに飾る意をも多分に取り入れ九月第一日曜(二日)を卜し溫泉と林檎デーを催すべく計畫された

今や高天晴朗の秋日和に惠まれて各農園の果實は熊岳城を文字通り林檎色に色どり彌が上に味覺を唆つて居る、溫泉では秋味滿喫のサービスを奉仕すべく形田氏自ら全員を總動員して準備に忙殺され各農園でも當日は果樹園を開放して觀賞と味覺とを欲しい儘に提供し、更に歸途土產として一こたま携へてもらふと云ふ利害と切り離れた眞に熊岳城特產奉仕を爲すべしと云へば家族團欒好調の秋のピクニックで遠くは大連、奉天方面よりの團體申込みも相當にあるらしく營口、大石橋方面盛んな前人氣を呼んでゐる

なほ熊岳寮旅館では創設滿三周年を謝する意味において九月中團體十名以上(家族をも含み)一人前一圓也といふ普通宿泊料の半額で奉仕の意を表すといふ昨今の熊岳城は特產スモモ、ブドウ、バートレット、林檎(祝、新倭)等果實の洪水を出現してゐる(寫眞は溫泉と林檎デーを待つ熊岳城溫泉ホテル)

日滿美術展 出品書畫

【奉天】第二回日滿美術展覽會は旣報の如く愈々來る九月十五日より二十二日まで新京にて開催されるが、奉天省教育廳にも右展覽會に出品する各名流の書畫がぞくぞく搬入されつゝあり、現在旣に百二十二點の多數に達したので同廳では一兩日中新京の會場に發送することになつた

無許可賴母子講嚴に取締る
科料處分既に三十件

【奉天】事變以來小規模の事業其の他金錢の必要に迫られて各種講會が著しく增加して來たが、その中には疑はしいものもあり弊害を伴ふことが少くないので奉天署ではその內容を詳細に調査し許可を與へ許可せぬ賴母子講は夫々戒告、科料處分をなすなど嚴重な取締を勵行してゐる

現在まで奉天署で許可した講が四十一講、手續中のものが三十講、掛金最高一口二百圓、最低二圓となつてゐるがその他怪しい無許可の講が相當ある模樣でこれまで科料處分に附した講だけでも實に三十講の多きに達し更に聞き入れぬものは拘留處分に附することゝなつてゐる無許可の講中には多數名士連が加入してゐるので奉天署の取締り嚴になると共に或は意外な犧牲者を出すに至るであらうと

事變記念日

【錦州】滿洲事變三周年を迎へた錦州では九月十八日の事變勃發當日を意義あらしむべく午前十時より事變戰歿者の慰靈祭を行ひ且つ記念講演會、活動映寫會を催すべく目下計畫中である

南熱河の棉作試作成功か
凌源の成績頗る良好

【凌源】滿洲棉花協會凌源駐在に派遣された清水指導員は今春より五島參事官の好意にて縣公署內に陣取り棉作の指導に餘念なかつたが、縣所有棉花試作地の各種棉が一齊に色とりどりに花が咲き非常に好成績にて南熱河棉作の成功に確信を得、青龍、凌南、朝陽等を視察し此程歸凌した、清水氏を訪へば

大體熱河の棉作好適地たる事は旣に判つて居ましたが南熱河を今度親しく視察の結果と凌源棉花試作の成績から見て多少危ぶまれて居た棉作業が大變良好で南滿遼西方面の棉作等羨ぐべき實に大した立派なものです、今後の天候が問題ですが成功を祈り努力して居ります

と語つた

齋藤松樹驛長

【大石橋】大石橋驛助役齋藤貞治氏は今回鐵道部異動の波に乘じ二十四日附松樹驛長として榮轉の發令を見た

齋藤氏は大正十五年七月三日九奈驛より大石橋驛助役として赴任以來滿八箇年餘歷代の驛長を輔佐し部下各驛員に對して懇切に指導對外部各人に對して又親切模範驛員として定評ありたるが今回拔選驛長として榮轉を見たものである新松樹驛長齋藤貞治氏は卅日頃出發の豫定である

〃〃〃お月樣を狙擊

【鞍山】二十六日午後十一時半頃絃歌さんざめく柳町で時ならぬ銃聲二發スハ匪賊襲來とばかり派出所員及鞍山署佐藤刑事部長以下數名自動車にて急行取調べたるところ匪賊ではなくて實は同夜三浦屋に登樓せる滿電技術課員下田榮(三)假名が醉拂つてお月樣めがけて拳銃試射をやつたものと判明したが、恰も匪賊警備に緊張せる折柄醉狂にも程があるとて二十七日主署に呼び出し散々油を絞られた上科料十圓に處せられた

風子兒

深山に踏み入つて鹿を打ち貴藥鹿茸を採集する吉林省富錦縣の獵人たちは大事な鹿砲をお上に取りあげられた爲め商賣が出來ず市場に出る鹿茸も激減した。

◇滿洲國實業部の第二回全滿農作物收穫豫想調査に據れば今年の收穫は三割減りの見込み。

◇奉天省瀋陽縣の最近人口は

戶數	九二、四五五
人口	五九五、〇六八
(男)	三三〇、〇五七
(女)	二六五、〇一一

◇吉林省九臺縣の電燈會社長の令息杜春榮君は、あはれな籠の鳥傳琴舫を救ひ出さうとして親父から叱り飛ばされ、琴舫と抱き合つてカルモチン心中を遂げた。

◇支那安徽省滁縣大蠡山の溪流の瀧壺から鐵棺が發見された、昔水葬に使つたものだといはれる。

◇天津の劉德發(三)といふ男は細君(〇)のおしやべりに慣みぬいたあげくキッスに藉りて妻の舌を噛み切つた。

◇華々しき文壇生活から突然姿をかき消した孫伏園氏は實は一昨年から模範農村建設の汗愛鄉支那河北省定縣に隱れ泥だらけの菜ッ葉服に着換へて自ら鍬鍬を握り農民文藝の創作に渾身の心血を濺いでゐる。

窮鼠の鳳好匪

【チチハル】這般來通北、克東方面に於て猛威をふるひ、日滿人を拉致して江省殘匪中においてその名を知られてゐる鳳好匪の討伐は江省治安維持上緊急の目的とされてゐるが、最近各地自衛團の聯繫よろしきを得、神出鬼沒を誇る一味も遂に通北奧地に追ひ込まれて糧餉に陷りこのまゝ盤居せんか餘命幾何もなく、拉致者の運命すら危まれてゐるので、軍憲においても之等拉致者救出に贓をいため、結局歸順せしむるものと見らる

大石橋に十六戸滿鐵社宅を新築
住宅難緩和されん

【大石橋】大石橋滿鐵各箇所勤務員にして鐵路總局や其他建設事務所或は派遣員として相當北滿地方に轉出する者多かつたが宿舍の關係上何れも家族を大石橋に殘した爲め現業員に對する宿舍難が稱へられ殊ろ現在當地勤務者に對しては氣の毒な思ひを掛けてゐる現況なると業態伸展に伴ふ增員に鑑み滿鐵社員宿舍建築は本社において も相當考慮を拂ふところとなり取敢す本年度結氷期までに十六戸の宿舍を建築する事となり本社入札によつて近く起工の運びとなるらしいが敷地狹隘に苦しむ宿舍係においては審議の結果永昌街に三棟六戸盤龍街に四棟八戸昌平街に一棟二戸を配置建設する事となつた九月初旬に起工し遲くも十一月杯迄には十六戸が殖える事となり滿鐵社員の住宅難も一大緩和が出來るわけで多大の期待で迎へられてゐる

小學校のミシン四臺盜まる
鞍山富士小學校に賊

【鞍山】富士小學校では二十七日朝同校內家政科裁縫室に備へ付けてあつたミシン四臺が何者かに盜み出されてゐるのを發見、直に鞍山署にその旨屆出たので警察では現場見聞の上犯人手配中であるが賊は二男教室前の窓硝子を破り內側の掛金を外して侵入したもので內部の事情に通じた者の所爲と睨んでゐる

杉原部隊演習

【錦州】事變後三周年を迎へて遼西熱河の治安も漸く確立したので杉原〇團では來る十月四日より十五日まで、匪賊の巢窟といはれる朝陽、錦の兩縣下に亘り機動演習を行ふべく計畫中である、なほ觀兵式は十五日錦州驛前廣場において擧行の筈

千山に巢喰ふ匪團徹底的に討滅
遼陽縣當局大討匪戰

【遼陽】遼陽城南千山を根據に各地に出沒し高粱收穫期を控へて人質を拉去し或は民家を燒却する等益々暴威を逞しうする匪首青山の一團約五十名がまたもや二十二日朝千山の東方達連溝外二ケ村を襲うて十數軒の民家を燒據つたとの情報に接した遼陽縣では李局長自ら久馬指導官と共に中大隊長以下警察步騎隊〇〇名を率ゐて二十四日朝出動、自衛團及び駐在警察所員を督勵して各方面に密偵を放ち賊の所在搜査中青山が率ゆる一團が千山南部大黑峪密林內に潛伏中なることを確め千山東部の警戒網を嚴重にすると共に李局長の一隊は二十五日未明鞍山の東方七嶺子を出發午後一時頃大峪溝を經て大黑峪に進擊賊團を發見一齊攻擊を開始するや賊は密林中に逃走を企てたがこの攻擊において副頭目の助國、興華、老來好の三名を斃し(捕虜となつた副頭目格得國の自白)た外得國を捕虜とし小銃、拳銃四挺を鹵獲した、小銃中には三八式騎銃があるが該銃は匪首青山が常に携帶せるものであると或は青山も重傷を負ひ銃器を棄てゝ逃走せるものゝ如く討伐隊はこの機に賊團を殲滅すべく引續き千山深く追擊中である

列車顚覆の犯人懸賞金附で搜査
民心の不安を一掃

【錦州】旣報坂後線の列車顚覆事件に關しては日滿官憲協力し犯人搜査中であるが未だ目星さへつかず漸く迷宮入りを傳へられんとする折柄朝陽駐屯警備隊では治安維持の萬全を期し一日も早く犯人を逮捕して民心の不安を一掃すべく今回警備司令官の名を以て「犯人所在の探知を容易ならしめたもの には賞金二百圓を贈與する」意味の布告文を附近一帶の各部落に貼附し徹底的搜査を行ふとになつた

二人組強盜

【奉天】二十六日午後十時頃商埠地二十經路二五八稻香村方に二人組強盜が押入り一名は拳銃を擬し家人を脅迫、大洋四十五元を強奪して逃走した訴へにより瀋陽警察廳では目下犯人搜査中

2A—0 遼陽優勝
滿鐵都市對抗南部豫選

【瓦房店】全滿鐵都市野球大會奉天以南豫選遼陽對蘇家屯の決勝戰は廿七日午後二時二十五分より瓦房店球場に於て神部(球)肥塚、中野、小名(壘)四氏審判、蘇家屯先攻で開始したが野手の好守に阻まれ二A對零で蘇家屯惜敗す、閉戰四時十四分

蘇家屯	000 000 000＝0
遼陽	000 100 10A＝2A

蘇家屯　田川林本堀中賀田玉　飯瀬村熊深田古米兒　536129784

遼陽　崎田山木谷井井上川　尾山樺勝原酒平井長谷　752683491

經過

◇一回　蘇家屯飯田、瀬川、村林三者共に四球に無死滿壘となつたが(遼陽長谷川遊擊手投手となる)熊本一飛深堀捕前ゴロに飯田深堀併殺▼遼陽三者凡退

◇二回　蘇家屯田中四球に出て直ちに二盜古賀遊飛兒玉三匍失に一死滿壘となつたが飯田の投匍に田中飯田併殺▼遼陽一死後原谷投手強襲單打に出たのみ

◇三回　蘇家屯一死後林遊擊右をライナーで拔く單打に出て熊本投匍に野手封殺せんとして二壘に惡投し林一擧三壘を望んで中堅よりの好送球に刺され深堀三匍▼遼陽長谷川遊匍失に出たのみ

◇四回　蘇家屯一死後古賀中前單打米田四球に出たが後援續かず▼遼陽一死後樺山左翼線に沿ふ本壘打して一點を先取後續凡退

◇五回　蘇家屯二死後熊本右中間三壘打に出たが深堀三匍▼遼陽平井四球に出て井上の遊飛に併殺長谷川投匍失に出てたが尾崎左飛

◇六回　蘇家屯三者凡退▼遼陽山田四球に出て樺山左飛後勝木左前單打に山田一擧三進勝木二進したが原谷三振酒井中飛

◇七回　蘇家屯三者凡退▼遼陽一死後井上二匍失に出て長谷川二壘ベース上を拔く單打に井上二進尾崎の三匍に走者三三二進山田四球に二死滿壘となり樺山遊匍失に井上還り勝木三振

◇八回　蘇家屯三者凡退▼遼陽原谷遊匍失に出たが酒井の三直に併殺平井二邪飛

◇九回　蘇家屯田中四球に出て二盜ならず古賀三匍一失PH溝口(米田の代打)三匍二壘惡投に兩者生き兒玉四球に一死滿壘となつたが飯田三飛瀬川三振

鞍山排球大會

【鞍山】全鞍山秋季排球大會は二十六日井々寮前コートに於て開催參加チームはA組七B組十一計十八チームに及び盛況を呈したが、次の通りA組は製鋼所人事、B組は同銑鐵部が夫々優勝體育協會の優勝盃及賞品を授與された

▲A組

第二回戰

○工務—研究△　○工作—工事△

○人事—會計△　中學不戰—勝

決勝戰

○工作—工務△　○人事—中學△

▲B組

○人事三——一工作△

準決勝戰

○機械—用度△　○銑鐵—研究△

決勝戰

○銑鐵三——○機械△

鞍山大勝す

【鞍山】鞍山庭球部對全大石橋の庭球試合は二十六日午後一時から富士コートにおいて開催されたが左の如く鞍山の大勝に歸した

大石橋　鞍山

坂見、松田三——四田中、野村

荒川、矢倉四——二藤井、早田

淺尾、平田二——四稻田、長山

富山、辻本一——四下村、久德

佐藤、加藤二——四田原、尾中

原、竹下二——四山田、金子

第二回戰

荒川、矢倉〇——四田中、野村

赤十字診療所

【錦州】日本赤十字社錦州支部では市中における醫療機關の不備と一般社員の要望とにより赤十字診療所を開設すべく準備中であつたが旣に本社との諒解も得、場所家屋の選定も終つて城內の元張作相公館と決定したので兩三日中に模樣替その他の工事にかゝり遲くとも九月中旬までには開所の運びである、開所の曉は一般人の診察醫療入院は勿論特殊婦女子の診察收容等も行ふ筈

鳳凰城西に匪賊
驛でも萬一を警戒中

【奉天】安奉線鳳凰城西方に數名乃至十數名の小匪賊が一團となり附近村落を襲擊し金品を掠奪し人質を拉去してゐるため村民は戰々兢々としてゐるが二十五日同地鐵西々方一支里部落豪農艾德會方に十數名の賊が來襲したので急報により警察隊から討伐隊出動したが彼等は暗夜地物を利用して巧に逃走し是を追擊するや賊は發砲しつゝ、支那式長銃一挺、洋砲二挺を遺棄して逃走

又二十六日驛西方三支里の時家隈子部落居住時玉田方に煙草乾燥所一戸につき五千元を指定期日までに支拂ひ若しこれを聞かざる時は村內乾燥場の全部を燒拂ふといふ凄文句を並べた脅迫狀が舞ひこんだので目下警戒中である、廿五日同地南方廿五支里の大梨樹村內王家溝豪農徐成升方にも十數名の賊が現はれ徐善淑(一七)と稱する愛娘を人質として拉去したこの匪首は天好江と稱し數百名の部下を有し相當優勢なもので滿洲國側警察署では引續き討匪中であるが鳳凰城驛でも萬一を慮り附近を警戒中である

廢墟の如き家屋 奉天整理に着手
調査員を市中に派遣

【奉天】現在奉天城內には到る處廢墟の如き家屋多數あり、之等は殆ど家主不在のものが多いが、市政公署では市街美から も亦街の發展上からもよろしくないので豫てより之が整理を企圖しつゝあつたが愈々調査員數名を市中に派し右廢家屋の整理を行はしむることゝなつた

會と催し

◇杉森孝次郎氏講演會　廿九日午後七時から安東クラブにおいて

◇大藏男講演會　廿七日午後四時半より富士小學校にて演題「第六十五議會と其後の政況」

◇久留島武彦氏講演　二十七日午後一時より鞍山中學校にて

◇大石橋地方委員會研究會　二十七日午後一時より地方事務所會議室に於て

◇本田訓導送別宴　二十七日小學校教職員一同末廣旅館で

◇鳳凰城警察署精勤證授與式　二十七日午前九時より守部巡查部長以下七十四名に

◇旅順第一小學校　二十七日午前八時半始業式

◇同第二小學校　同上

◇老鐵山麓不動明王祭典　在旅漁業家並に水產會支部員一同が二十八日擧行

◇奉山沿線遊覽旅行(山海關驛主催)二十六日出發

各地人事

▲岩佐祿郎氏(陸軍少將關東軍憲兵隊司令官)初度檢閱の爲め七日午前九時十分來旅

▲滿鐵新入社員沿線見學團一行二十七日來石南滿礦業會社視察同日十四時三十五分營口へ

▲國光一孝氏(電々會社技術員)北滿〇〇の建設出張中の處二十六日歸石

▲奧川憲兵分駐所長軍務打合の爲廿七日奉憲へ、廿九日歸所の筈

▲郡山智氏(新滿鐵理事)沿線視察の爲め近く來石の筈

▲鄉朝鮮民會長　營口鮮人大會出席の爲め二十七日赴營即日歸石

▲山口十助氏(滿鐵々道部次長)二十六日來奉、二十七日安奉線視察の後二十八日歸奉の豫定

家庭

初秋の鋪道の人氣者　ステッキの流行線　フック物の全盛時代

初秋 のプロムネードに新しいソフトがあれば矢張り新鮮な一本のステッキを要求するでせう。ステッキは春と秋のもの、わけてさわやかな秋の鋪道にふさはしいもの。そのステッキのABC――ステッキの本場といへば英國、その英國では紳士と勞働者との區別をステッキの有無によつてつけるとさへきゝます。苟くも紳士たる限り散歩や漫歩は無論のこと、朝の出勤に、旅行に必ずステッキを携へるといふのが通例です。だから出勤にステッキを携へるのが新聞記者とデカに限られたやうな日本とちがつてサラリーマンであらうとお店の番頭さんであらうとステッキを

愛好 することは非常なもので、どんな獨身者でも大抵五本や六本のステッキは必ず所有してその時々の氣分や場合によつてステッキを變へるのださうです。がまあアチラのお話は別として日本でもプロムネードにステッキ無くては不恰好な時代が追々目の前に來てゐるやうです。犬の好きな人が犬の頭の彫刻をくつゝけたステッキを持つたり、乘馬の好きな人が小さい鞭樣のもの、劍道をやる人が木刀見たいな大きなステッキを引ずつて歩いたり……そうした自分の特殊の趣味によつてステッキを選ぶ方もありますが、一般の傾向としては別に飾りなどつけないアッサリしたフック（曲り）が全盛で若向には少し細目がスマートだとされ、年配には太目のフックがよろこばれてゐます。一部の若い人の間にはヅンドウを一寸氣どつて振廻すのも流行つてゐますが、これは氣をつけないとキザになり易いやうです。

材は 何といつてもスネークと籐が上品ですが、若い方にはお値段の大衆向なアッシュが斷然優勢です。籐には籐のよさがあり、スネークのあの重厚な味は又格別ですし、アッシュの青々として新鮮輕快な持味も亦一種の魅力ですが、籐とスネークの氣品に較べてアッシュは餘りに粗雜でうすつぺらで、やはり山登りだの遠足だの、浴衣がけの散歩位にとゞむべきでせう。でこの中間を行く大衆的なものとして紫檀、ピンロー、ブドー、ネムチなどがあります。籐とスネークは相當なものになると三十五、六圓から五、六十圓といふ

高價 なものですから從つて加工物や模造品が多く、油斷するとさんだものを掴まされます。

で籐の上物は節が無く色が透きとほるやうな淡茶色をして下になるほど自然に細くなつてゐます。又曲りの裏を見ますと上等のものは節らないでそのまゝ曲げてありますが安物は節つてありますから明るい所でよく檢べると判ります。石突のあまり長いもの、矢鱈に金や銀を卷いたのもケンノンです。スネークは目方の重いのが身上ですから餘り輕いのは似せ物と御承知下さい、色は濃くて斑が蛇の腹のやうに満遍なく平均してしかもはつきりしてゐるものほど上等です。およそステッキの長さは貴下の胸の中心から眞直に左右にのばした腕の高指の先までといふのが標準で、中背の日本人で先づ三十二吋見當、それより長いのは野暮臭く、餘り短くては却て氣品をおとします（浪華洋行山本三郎氏）

奥さまの手帳

胸やけ療法 胸やけは胃酸過多のためですから、大コップ一杯の牛乳に茶さじ二杯の酸化マグネシウムを入れて飲むと治ります。水でも利きますが、牛乳の方がよく利きます。

清々しい日本髪　爽かな秋の氣分を

◇…八月といへば耳にも目にも既に聽へない秋のけはひです。久しく油氣を用ひなかつた洋髪ももうそろ〳〵日本髪におあげになるもよろしいでせう、で丸髷としますと髷型は大き過ぎるより心持小さ目のが秋口には輕やかでいゝものです。前髪、ビンタボ等もあんまり大きく結ふと如何にも暑苦しく見えますから全體を少し詰加減に、殊にビンや前髪をあんまり前に持出さぬことです。

◇…若い方でしたら根も心持上目の方が清々しくてよろしいのですが、中年以後は低加減の方が落着いて上品に見えます。ピンツケや水油も控へ目に使つてなるべく自然な氣分を現したいものです。手柄の鹿の子は中年向には淡鼠か水淺黄系のうすい色など新鮮な秋の氣分ですが、藤色系は寧ろ春のものでせう。

◇…丸髷初々しい若奥樣とすれば肉色か白地に赤の角絞り、或は白地に肉色、稍濃目のトキ色も憎くはありません。簪は翡翠か紫水晶のどちらでも結構、根がけは若向でも赤珊瑚珠には一寸早すぎます、まづ眞珠か白珊瑚翡翠でせう。櫛笄は黒鼈甲に淡鼠の漆塗でその上に朝がほやすゝきなどの秋草の蒔繪を施したものなどこの頃の氣分に一番シツクリいたしませう（樋口淺子氏）

愈よ來春より〃花嫁學校〃　技藝女校、女子專修と改稱　當局に認可申請中

大連技藝女學校では既報の通り、いよ〳〵來春から市内桔梗町の同校内に家庭科を新設することになり過般關東廳に、これが認可方を申請したが、該計畫に對しては夙に民政署方面の諒解もあり、近く關東廳の認可が下るだらうとなほ家庭科の修業年限は一ケ年、入學資格は同校四年卒業生又は官公私立の四年又は五年を卒へたもので、學科目は國文學、日本音樂、家事、裁縫、常識講座、趣味講座等の外將來主婦として緊要な家庭諸禮式、諸屆書の書式等を教へ、諸方面の實地見學なども ある筈なほ學校の附近に適當な普通住宅を借入れ、生徒はなるべくこの住宅（家庭寮）に寄宿させて、所謂寄宿舍式でなく極力家庭的な訓練を與へるとこれと同時に同校の名稱を大連女子專修學校と改むるべくこれ亦申請中である。

前田若尾女史　歡迎座談會　けふ後一時より社員倶樂部で

過般渡滿、沿線各地の女子教育界を視察中だつた東京洗足高等女學校並に同裁縫女學校長前田若尾女史の來連を機とし滿日婦人欄では本二十九日午後一時より滿鐵社員クラブに彌生、神明、技藝、羽衣等市内各女學校長を招待し同女史を中心とする歡迎座談會を開催することになつた、話題は前田女史の觀察談を中心に在滿各地の女子教育界批判や内地における最近の傾向などに亘り忌憚なき意見の交換を行ふ筈であるが凡ゆる方面より注視されつゝある女子教育問題の八釜しいこの頃頗る有意義な催しとして各方面より注目されてゐるなほ前記招待者以外の一般有志者の參加をも希望する（會費不要）寫眞は前田若尾女史

家庭顧問　結核の素人診斷法を

【問】左右の乳、或は其上下が不規則的に痛む事が多いので困つてゐます、多少倦怠肩凝の氣味もありますが身體は普通以上肥滿し外見の體格は申分ありません、動悸息切れの氣味もあります、結核の素人診斷法を御教示願ひたいのです（黄金町一讀者）

【答】**殆ど不可能　早く醫師にみて貰ふこと**　結核、殊に其の初期に於ては醫師でさへも診斷に苦しむ事さへある程ですから之を素人で診斷する事は殆ど不可能と言つてもよいでせう。而して結核の症候は甚だ多種多樣ですが全身の倦怠感、食慾不振、最も注意すべきは體溫で多くは午後二、三時頃から六、七時頃の間に卅六度八分乃至三十七度一、二分位の微熱が出ます、その頃には罹患側の肩がコル樣になり就眠中に汗をかく樣になります又よく腋窩部に汗を流すのも結核患者によく見る樣です、所謂「カラセキ」が出たり澤山の喀痰を伴つたりします、之が一層進行しますと遂に肺の小血管が破れて血痰が出る樣になり更に喀血する樣になります。胸部の疼痛は結核以外の肋膜炎肋間神經痛、帶狀匍行疹（所謂ドウマキ）脊椎骨の異狀等に依りても起り得ますが多くは結核性疾患時に起る現象でよく呼吸時に疼痛を覺えます、其の他初期は輕度の頭痛、頭重感、食慾不振、輕度の疲勞感や胃を惡くした樣な感じがあります、以上が大體の自覺症狀ですが兎に角早く專門の醫師の診察を受け一日も早く病苦より脱せられんことを祈つてゐます。（土井三郎）

赤ちゃんの寢卷は　さらしが良い

幼兒のための理想的の寢卷の用布は洗ひざらしたさらしなどが一番適當してゐます。タオル地の寢卷が多く用ひられますが幼兒には刺戟が荒くて無理です。腹卷もさらした三枚位の厚みを重ねたものが一番身體のためにもよく汗も吸ひ取ります。そこで薄い洗ひざらしのさらしとか手拭地とかで、下は足首までの長ズボンのやうなものをはかせ、上は手の無い腕あけと胸あきを十分に明けた簡單な襦袢のやうなものを着せ、五、六尺のサラシをぐるぐると三卷くらゐ腹に卷付けて紐でとめるのが着せ代へにも洗濯にも第一身體の爲めに一番よい方法です。

最小の旅行案内書

モスクワの作家協會で最近パリから切手ぐらゐしかない小さな書籍を買ひ入れた。この本は「美しいパリ」と題され今から約百年ばかり前にパリで出版されたもので内容はパリの旅行案内であると、殘念なことにその著者が解らないが恐らくこれは世界でも最小の旅行案内だらうといはれてゐる。

レース洗濯法 レースのカーテン、テーブル掛等は鹽を一握り程入れてとかした冷水に一晩浸して置いてからざつと鹽氣をゆすぎ出して普通の石鹸水の中でふり洗ひをする。

縁側の光澤 縁側や柱などは只拭き込んだのではなかなか思ふやうな艶はでませんが糠をよく炒つて、それを布に包み、それで拭くとぐんぐん光澤を増して來ます。新築の拭き込みなどに最も理想的です。

野菜の茹で方 すべて野菜は地上に出てゐた部分はお鍋の蓋をしないで茹で、地下に入つてゐたものは蓋をして茹でることです、例へば前者は枝豆、いんげん、菜類、後者は大根、ごぼう、玉葱、芋類等です。

學藝

滿洲の〃アイヌ〃赫哲（ゴルチ）族を語る【下】

吉林にて　有岡生

彼等の葬儀は野鹿の皮を以て作り夫婦揃つて狩獵に出る時には子供を野鹿の袋に入れ樹枝に吊るして出掛ける。又雪の上にこれをぶつてころ轉ぶと洒落込む。寒さに馴れた彼等は、こんな事は平氣らしく子供が生れた際は冬でも氷を割つた冷水を以て産湯を使はすといふから相當なもの。そして氣の強いママは一ケ月も、二ケ月も寢込む産後を一時間もすればもう外へ狩とか、釣に出掛けるといふからガッチリしたものである。

それでも死人の葬には丁寧な棺に納め彼等の葬式に關し古書に「人死すれば之を葬り、木を以て人を形どり、鼻口を具へ、熊皮を着せしめて食物を口邊に供す」とあるから大體想像される。

年々殘り少くなつて行く彼等を奪つて行く天然痘のアバタには、さすがに閉口すると見え一部落にこれが發生すれば全部落が他に逃げ出し、或は患者を山中に送つて隔離するが、しかも年々これに斃されて行く者は夥しい數に達するといふ。

△　△

過日東北地方政治工作班長として、また邦人として最初の撫遠入りをした省公署總務廳の宮本調査股長は彼等の一番賑やかな部落額圖で貴爾（五）と呼ぶ物識りに會つて彼等の事情を聽取したが、唯二百年前黒龍江より移り住んで現在に至つた、とのみで更に要領を得なかつたといふ。

病疫と洪水で滅亡して行く彼等は更に滿人との結婚によつて漸減して行くため縣當局では彼等の滿人との結婚を禁じ同族結婚を獎勵して居る。

現在彼等の分布は撫遠縣の合流點を中心として饒河の一部、ウスリー江沿ひに僅少、沿海州沿岸に極少數の同族が散在して居るが、撫遠縣における分布は判明して居るもののみで

額圖七戸三六人、秦皇魚浦五戸二八人、秦得万五戸二五人、三又口四戸二〇人、十家子二戸一一人、其他三戸一〇人、計二六戸一三〇人

といふはかない數である。然も、この内女子の數が斷然男子より多く結局殘りの彼女達は泣きの淚（？）で滿人、特に山東からの稚古先生の許へお腰入れ遊ばされる譯で、かうして段々血が混じつて來て純赫哲族が減つて行く。

△　△

約三千年の昔、殷の箕子が部隊五千を率ゐて朝鮮の王として君臨した時代の、その上より漢族の滿洲侵潤は早くもその根を下したもので先史時代より南滿地方には先住民族があり北滿民族と異つて居た事は考古學的遺物の研討により充分證明されて居る。山東から海を越えて遼東半島に上陸し北進を開始し一つは渤海沿岸を傳つて遼河流域に出でたものである。そしてこの遼河流域を挾んで東北吉林の山奥に根據を有したツーグース民族は興安嶺方面に據つた蒙古民族及び漸次北上して來た漢民族を向ふ前後三千年に亘つての血みどろな民族爭鬪を續けたのであつた然し生存力の旺盛な漢民族の敵ではなく遂に敗れたツングースは北遯し、その陣地を漢族に讓つたのである。

この痛ましい鮮血にまみれた爭霸史の犧牲となつて北遯した赫哲族に今省公署當局より溫かい救ひの手がさし伸ばされやうとしつゝある。そして彼等は今では我がアイヌ族と同樣滿洲國の保護民族の一に算されて居る。

△　△

今年も又朔北の身を刺す冬が近づいた。彼等は何の希ひも望もなく、然も屈託の無い嚔嘆はんがため、唯扉と雪と魚を見んが爲の生命の糧として、早くも矢を研ぎ弓を張つて居る事であらう。（完）

【寫眞說明】松花江と黒龍江の合流點附近を滿洲國沿岸に沿ひゲ・ペ・ウの監視を受けつゝ交易に向ふ赫哲人、なほ是等の寫眞は宮本調査股長の撮影になるもので赫哲族を知る唯一の貴重な資料で恐らく世に發表された最初のものである。筆者附記

學藝消息

◇文藝座談會　大連新聞學藝部主催で本二十九日午後七時半から電鐵内伏見臺圖書館で開催

◇〃經濟評論〃（九月號）東京麴町區九段四丁目叢文閣から創刊　執筆者矢島淳二郎、鈴木小兵衛、小林良正、深谷進、河本勝男氏等

新刊紹介

海戰秘話（中島武著）著者は海軍少佐、東西の戰死を讀む間に日清、日露の歷戰者たる海軍諸將星を訪れ思ひ出話をきゝ、それを集錄したのが本書である、海軍中將川島令次郎氏は「世に海戰に關する著書多しと雖も、本書の如く奇譚秘話を集錄し得たるものは稀れなり、而もこれ、荒唐無稽の想像にあらず、記する所皆事實の眞相を穿つもの…」と序において太鼓判を押してゐる、その內容は日本海戰の卷、世界大戰軍艦の卷、同潜水艦の卷、同帆船の卷の四篇にわかれ、一讀行文流暢、興味津々たるものがある（發行所東京下谷區下車坂町一五學而書院、價一圓八十錢）

◇つはもの（八月十五日號）發行所東京麴町區九段一ノ五軍人會館事業部、價四錢

◇滿洲公論（八月號）日滿經濟ブロック成立の基本的資料解剖特輯號（發行所大連紀伊町九其社、價五十錢）

◇月刊滿洲（八月號）曾我旋次郎の「馬賊頭目を語る」粕谷秀樹の「吉家の危機」等（發行所撫順東八條通四七其社、價五〇錢）

盛夏賦（上）　後藤末雄

私は今、房州の保田へきてゐる、もと私の家で使つてゐた女中が二人とも、それぞれ、一家の主婦になり、いろいろ世話をして呉れるから、毎年一家を擧げて此の海岸に避暑するのである。今年は暑中に入つてから、却て梅雨となり、毎日、ジメジメした天氣が續いてゐたので暫く出發を控へてゐた。

其頃、私は半掃庵也有の「鶉衣」を繙いて、著者が俳友、嘯花、草風などの死を悼む誄詞を讀み「誠にはまだ早ければ初時雨」、「蚊やりにも泣いて見る野の煙かな」といふ誄句に出逢ふと、雨だれの音が心に沁み入るほど淋しかつた。恰度其時、房州から手紙が來て、もとの女中の死を報じたのであつた。暫くリョーマチスを患つてゐたが、末の子はハシカがうつり、其上、懐姙したまゝ心臓痲痺を起して急死したといふ。私はこの特異な死に方に一そしほ哀れを覺えたのである。この女中は私が結婚して本郷駒込町に新居を營んだ時から來てゐて、三年ほど勤め上げて永の暇を取つたのであつた。

相當な家の娘であつたが、東京へ奉公に出て行儀作法を見習はなければ、結婚資格を缺くといふのが土地の風習であつた。そして眉目形も鄙育ちとは思はれなかつたから、當時、私の家へ遊びに來た卒業したての友達もとかく評判してゐた。當人も此の噂には一種の誇りを感じてゐた。かれがれ東京で嫁ぎたいといつてゐたが、勤頭、故郷に歸つて或る料亭の若い御上さんになつてしまつた。併し斯ういふ商賣には有りがちな複雜な事情から、行末の幸福を賴りにして現在の苦勞を忍んでゐた。毎年「私の代になりましたら、もと御恩返しを致します」と繰返してゐた。先年、私達が巴里にゐた時、避暑にきてゐた女子大學生に賴んで、大使館宛てに暑中見舞を寄越して呉れた。とにかく昔の主從が久しぶりで出逢ふことは、お互に何ともいへない樂しみなのである。

蟬時雨の頻な暑い日、私は妻子と連れ立ち、今は故郷の土となつた「眞信大姉」の墓前に香華を手向けた。此日照りには槇の葉も、蝦夷菊の花も黄いろく干からびてゐた。

保田から出た唯一の偉人は菱川師宣である。彼は元、縫箔師の悴であつたが、江戸に出て畫を學び遂に浮世繪の始祖となり、自から日本繪師と稱してゐた。そして出生地の保田には元祿七年、友竹入道師宣寄進の鐘が別願院といふ海邊の寺に殘つてゐる。毎年、避暑客の出盛る頃、保田在住の金森南耕畫伯、京都畫伯、井上幾太郎大將が施主となり、師宣の後裔、某さんといふ漁夫を請じて「師宣祭」を行ふ。避暑客が來會して、いろ〳〵餘興が催される。私も以前には山村耕花、不如庵、原阿佐緒、紀太藤一君などと一緒に席を設けたことがあつた。そして名ばかりの鐘樓につるされた師宣寄進の鐘が今は消防用の警鐘に利用されてゐるのを悲しんで

大和繪の昔、聞かばや瀟寺の
鐘ふく風に肴さびし鐘

機構改革問題と治廢問題考察

小野實雄

（1）機構改革問題

滿洲國成立前に在つては三頭政治若しくは四頭政治の弊害が論ぜられたが、滿洲國成立後は所謂三位一體的機關として、同一人が全權大使、關東軍司令官、關東長官を兼任する事により在滿政治及び軍事機關の人的結合が爲され、この人的結合機關と經濟機關たる滿鐵の合作に因り滿洲經營が爲されて來た。然しこの三位一體的機關なるものは滿洲建國に對應する爲め匆々の間に繼ぎ綴つた間に合せ手段であり、中途半端の制度である。從つて滿洲の狀況整備に伴ひこれが改革を論ぜられ、又これが決定を爲すべきは必然の要求である、今やこの問題が關係官廳たる陸軍省、拓務省、外務省の間において各自案を作成し折衝が進められてゐる。然しこの問題は滿洲經營の將來に根幹を爲す重要性のものであり民人の利害休戚に係ること多大の制度に鑑み單に一部官憲のみに委し得べき問題ではない、宜しく民間よりもその所信を披瀝し以て制度改革に資する事を緊要と信ずる。

今陸軍、外務、拓務の三案なるものを觀るにその多くは自己權限の擴張に汲々たり、或はその縮小に躍起となつて反對せるの感なきを得ない。外務省は滿洲國は獨立國家なりとしてその全權大使の中心性に主力を注ぎ、拓務省はその所管たる事業の見地よりして他の小植民地的同樣にその機構を定めんとしてゐる、然し滿洲國成立の原因と其建國の精神とに鑑み滿洲國が日滿議定書に基く日本と不可分的一體關係にある獨立國として存在し日本と特殊性を有する國柄たるに想到すれば、外務省案の如く歐米諸國の如き獨立外國と滿洲國とを同一視し同一に取扱ふ事は斷じて出來ない。從來のこの外務省根性が張政權時代におけるわが對滿政策を如何に阻害したるかを顧みれば、この際の對滿政策に外務省は一言の容喙權は無いと言つても過言ではあるまい、又過去に於て苦き經驗を嘗めたる三頭政治の弊を此の機會に矯正する必要も忘れてはならぬ。從つて日本と滿洲國の特殊的關係は當然對滿機關の特殊的機關ならざるを得ない、卽ち滿洲に對しては外交機關も他の列國に對すると異りたる機關とする事を必要とす、この意味において現行外交官々制は日本の滿洲國に對する限りに於てはこれを排外變更する事を絕對的必要事と信ずる。以上の趣旨に因り在滿政治機關は左の如く改革するを以て適當と信ずる。

一、滿洲國における日本最高機關の官名はこれを「駐滿全權」と稱し、その官廳名を「駐滿全權府」と稱す。

駐滿全權府內に外交部、行政部及び軍事部を置き外交部は滿洲國との外交に當り、且滿洲國內日本領事を統轄す。行政部は滿鐵附屬地の行政を司り產業、財政、地方、警務（附屬地外日本人關係の警務をも含む）の事項を所管す、軍事部は從來の關東軍司令官の職務を行ふものにしてこの制度に因り關東軍司令官の名稱はこれを廢止す、駐滿全權が軍事を司る關係上當然駐滿全權は陸軍武官たるを必要とし又對滿關係上その階級は大將たるを必要とす。駐滿全權は一般行政及外交に關しては內閣總理大臣を經て上奏を爲し及裁可を受け軍令に關しては參謀總長軍政に關しては陸軍大臣の管掌を受くるものとしその駐滿全權の地位は大體朝鮮總督と同樣にすること。

一、關東州はその租借地たる特別の區域たるに鑑み獨立の行政區劃と爲し勅任の「州廳長」若くは「州知事」を置き其の直接監督機關は拓務省とす、抑々關東州租借地たるや租借期間內は日本帝國の名に於て完全に自國の統治權を行使し租貸國又は第三國の主權行使を包括的に排除するものであつて單に特別行政區域として統治作用の形式に幾分の變化あるに止まり統治權を有する點に於て領土主權と何等の差異を認めない。從つてこの鐵道を經營するに必要なる區域として司法權を除外され教育土木衞生等行政施設が滿鐵の業務に屬し關東廳は單に間接に此等を監督するのみにして直接には警察權のみを有する南滿洲鐵道附屬地とは到底これを同一視し若しくは同一に取扱ふことは能はざるものである、從來關東長官に關東州の外滿鐵附屬地に對する前記述ぶるが如き權限を附與したるは租借地關東州を本據としこれに接壤する小地域の附屬地に有する日本の行政權を便宜附加的に與へ之れを統一したるに過ぎない。

然るに滿洲事變以來事情は一變し關東州を本據としたる日本の政治的勢力は北進し往時と顚倒するの狀況を呈するに至つた、茲に現行制度の關東長官を廢止するの必要を見るに至つたのである。而して滿洲國に駐滿全權を置くもこの外國たる滿洲國に駐在する駐滿全權に於て我完全なる統治權下に在る租借地關東州の行政に手を伸ばして監督することは出來ない、蓋し完全なる我國統治權の存在する關東州に本據を置きその行政長官たる關東長官にして始めてそれに接壤する、より狹き面積と、より狹き行政權とを有する滿鐵附屬地に對する行政權が附加的に併せ附與するを得るも、之れに反し外國たる滿洲國に本據を置く全權が我完全なる統治權下たる關東州の行政を監督することには、その妥當性と法律的根據を見出し得ないのである。更に換言すれば外國の滿洲國におけるわが政治機構とわが租借地たる關東州における行政機構と截然區別する事を徹底するにある。この理由に因りて關東州は他の新附の地域と同樣純然たる植民地として又その行政機構は臺灣南洋程度に取扱ひ拓務大臣の直接監督下に置く事を以て適當とする。

（2）附屬地返還問題

南滿洲鐵道附屬地は日露戰役において我等先輩幾萬の英靈と鮮血と十數億の國帑を犧牲として明治三十八年九月五日調印同年十一月二十五日批准の日露講和條約第六條により當時露國の有したる權利を日本において讓渡を受け、次に同年十二月十二日調印翌三十九年一月二十三日批准の日淸間の滿洲における條約及びその附屬議定書に基き軍用安奉鐵道線を工業用鐵道に改め引續き滿鐵に於て併せ經營する事となつて得たものである。

斯る歷史を有し且我が日本の大陸發展の根據地たり支那に對する模範行政區域となつた滿鐵附屬地の返還若しくは讓渡といふ事は左に述ぶる二つの場合にのみ起る問題である。

一の場合は日本の勢力的減退を意味する場合、卽ち往年の露國の如く戰に敗れその戰勝國に讓渡し若しくは滿洲國の勢力下に日本が置かれ附屬地を滿洲國に返還するの餘儀なきに至りたる場合

二の場合は日本の勢力的伸張を意味する場合、卽ち滿洲國が日本の完全なる勢力下に置かるゝ場合、この場合の一は日本の滿洲國併合の場合にして他の一は滿洲國が日本との條約に因りて日本の隸屬國若しくは被保護國となりたる場合である

以上列擧の場合を外にして附屬地返還のことを考ふべき餘地毫も存しないわけである、從つて現下の日滿關係を觀るに、以上列擧の內のその一つにも該當すべき狀態に置かれてゐないのであるから、現在の狀態において附屬地返還問題を云爲することは誤れるも甚だしきものであるといはればならぬ。

（3）領事裁判權撤廢

領事裁判權の撤廢は時期の問題であつて滿洲國內の裁判、檢察、監獄、警察の諸制度整ひ且これを運用する官吏の實質的向上改善に伴ひ、これに對應、正比例して地域的漸進若しくは全般的に撤廢を行ふべきものであるから是等の情勢を無視して徒に撤廢を急ぎ、若しくはこの撤廢と何等の關係を有せざる附屬地とを關聯せしめて領事裁判撤廢の時期が附屬地返還の時期といふが如きは迂愚も亦甚だしき論といはざるを得ない。

現下の滿洲國裁判制度を觀るに涉外部を設けて日系官吏の裁判官を加へ、これに日本人關係事件の審判を掌理せしめてゐる、然しながら日本政府は滿洲國建國の精神に鑑み其の政治機構の全般に及んで指導的立場に立つてゐるのである、其の中央たると地方たるとを問はず又行政、軍事、警察、財政、稅關等各方面に亘り悉く日系官吏がこれに參與しその指導に當つてゐる。而してそれは日本人に關係あると否とを問はない。從つて司法權運用上にのみこれと異なる理由を見出し得ない。然るに現在の裁判機構を見るに前述の如く內に涉外部を設けて日本人關係事件にのみ日系官吏を配置したるは日本の指導精神が裁判機構には除外されてゐるものと言はれても仕方あるまい。この點は速かに方針を改め裁判機關の全體に更に進んで司法機關全體（裁判のみならず檢察監獄機關）に通して日系官吏を配置してその指導に當る事の必要を痛感する。（カットは小野氏）

工を急ぐトラック（新京國際運動場）

國際點描

巨頭廬山に集る

「廬山に入るものは廬山を見ず」といふのは古い。「靑年支那」の指導者は牯嶺の勝地に夏を過ごし乍ら、內治外交の根本策を練らうといふのだ、事實上に於ける獨裁執政蔣介石氏を中心に、行政院長汪精衞氏―財政部長孔祥熙氏それに久しく莫干山にお神輿を据ゑて靜かに形勢を觀望してゐた黃郛氏が加はり、此の所全支那の智能は廬山に集まつた隨だ、蔣介石氏の懷刀で日本通として自他共に許す湖北省主席張群氏は既に御大のお膝元に控へてゐるのだから、廬山會議第一の議會が北支那の諸懸案を中心とする日支兩國關係の調整に存することは想像に難くない。

避暑がてら靑島に集まつた所謂歐米派のお歷々、曰く宋子文、曰く王正廷、曰く顏惠慶、曰く顧維鈞等々、日支紛爭事件當時ジュネーヴと南京上海と相呼應して暗躍を逞しうした「失業」外交官諸公が打倒親日政策の一枚看板で、盛んに策動を續けて居るらしいが、ガッチリ手を握つた蔣、汪兩巨頭の限り廬山會議の山は見えた。對日策に「承認」の太鼓判を得た好漢黃郛氏が、片腕北寧鐵路局長殷同氏を帶同半年振りで北上するのも餘り遠い將來のことでもあるまい通車辦法の實施に引續き通郵設關等長城線に山積する懸案の處理と捲土重來のゼネラル・ホワンフに期待しやう。

滿洲國への認識

國民府政が表面「擬國」と惡口言ひ乍らも通車通郵と事實上段々滿洲國を承認して來るのと同樣聯盟總會の不承認政策を棚に上げた儘全世界は今や「紛爭の嬰兒」滿洲國の前に脫帽し始めたではないか滿洲國不承認案の火元リットン調査團の次ぎに高慢ちきなジョン・ブルの國土から「產業經濟視察團」がやつて來ると言ふのは、何と云つても世の中は皮肉だ。タイムス紙やモーニング・ポスト紙等英國の一流新聞が筆を揃へて

「滿洲國は土地肥沃で天然資源に富んでゐる」

とお世辭を並べ、英國產業界は此の東洋の處女地を開拓せねばならぬと力說して居るんだから痛快千萬、視察團は全く商業的で、何等政治的意義を持たぬやうだが、「商業的」にでも滿洲國を承認することは何といつても不承認政策崩壞への大きな一步に違ひない。

銀の復位

「世界工場」英本國の產業界が、失はれた市場の回復新販路の開拓に大童となつてゐる時、弗帝國主義の合衆國は通貨操作に忙しい。弗貨の平價切下げ斷行以來銀に關する大統領令が何遍出たか、一々覺えても居られぬ位だが最後に飛出したのが銀國有令、八月九日以後九十日間に國內に現存する銀を全部買上げ、新しく銀證券を發行しやうと言ふのだ。尤も國內における銀浮動在荷は精々一億五千萬オンス、オンス五十仙で買上げて七千五百萬弗の通貨增發に過ぎないから恐ろしいインフレーションが誘致されさうにもない。シルヴァライトの急先鋒、上院外交委員長キー・ピトマン氏の如き、銀國有案の斷行に有頂天となり

「銀問題は永久に片付いた。世界の過剩銀は漸次吸收されて、結局一オンス一弗二十九仙の法定平價に達するだらう」

と嘯いてゐるが、さう簡單に銀價が騰貴するかどうかは疑問だ。

然し何れにせよ米國政府の關する限り銀問題は一段落だ。そこで流產に終つた國際通貨經濟會議を復活させようではないかとの說が有力となる譯、タイムス紙のワシントン特派員なぞ早くも弗價の再平價切下げを豫言して居る。ルーズヴェルト大統領の投じた一石が意外な波紋を起して國際金融界は漸く多事だ。

祝創刊第壹万號並三十周年記念

內地の高原避暑地

輕井澤にて　日笠旭東

四萬と伊香保
滿員の溫泉地風景

カラ梅雨だらうといはれた梅雨季から一箇月後の東京の霖雨は七月一杯で打切り、八月になつて今迄の冷氣を一氣に解消して初めて灼熱の夏季に入つた。だから暑さが滅切こたへる。人は海や山やへ涼を趁うて走る。「かもめ」だの「さざなみ」だのと命名された快速列車が湘南方面や房總方面へ頻發される一方には「高原列車」と銘打つた山地行きの臨時列車が信州方面へ突つ走るし、又上越地方や其の他の溫泉地行きが何の列車も超滿員の盛況さである。

四萬溫泉が滿員だから伊香保へ引返した東京の客が、伊香保で又滿員を喰ひ六疊の室へ三人押し込まれた等々、到る所の溫泉が大入客止めは驚くばかりの繁昌振りである。箱根もあるし伊豆地方もあるが夏は矢張山地方面へ客足が向くので、近いだけに上州の溫泉地が最も振つてゐる。併しそれは單に便利なためばかりではない、重點は安價なからだ。

×

伊香保では二代續きの武太夫代議士の小暮旅館が率先號令し絕對茶代廢止をやつたのが最もよく利いた。尤も茶代廢止とは怪しからぬといふので、權利や義務に關係なき茶代は旅館側から廢止すべきものではなくて、入らなければ辭退すべきもの又謝絕すべきものだといふので、態々茶代謝絕や辭退といふことに改めたところもあるが、兎に角茶代が入らぬことが何れほど便利か。特に一泊旅行の客は宿料よりは茶代の方が多くなるやうな苦痛があつたのだが、今はそんな氣遣ひもなく堂々と歡迎されてゐるので、旅館側でもこの多數の一泊客が最も上得意だと汽車の三等客見たいで或意味から優遇されてゐる。

箱根では茶代謝絕の看板はあつても遣れば取るのだから、これでは駄目だ。だから絕對謝絕の熱海が近來大發展を遂げてゐるが、伊香保や四萬や等々、此の方面の溫泉旅館は絕對辭退の上に、第一宿料が安い。箱根方面の三分の一、贅澤をしても半分の費用で、濟むので無論安いには安いだけのことがあるけれども、人間はさう上層人物ばかりはゐないから、裟許ワンサ／＼と上州方面へ押し出す。家族づれ特に子供づれの女客が多いので、何所の家でもハチ切れさうな收容客で、他愛なく喜んでゐる。

×

お客の九九％までは東京人である。何しろ人口五百萬の大都會を控へてゐる手近な避行地は、これから繁昌しても寂れる心配なしさいふ上々の景氣である。伊香保では最近別館流行で三十六軒の溫泉旅館中別館のない家は皆無の狀態で、競爭的に第二、第三の別館を拵へてゐる。榛名山の中腹、それも急峻な尾根の一角に豐富な溫泉が湧き出るだけで三階四階の所謂別館が次第に建て込んで來た。何の家にも若い婦人客と子供のお客さんが多い。賑やかなことだ。が農村は目下疲弊困憊の窮境に追ひ込まれてゐるから、直接の御利益はなくとも都會のインフレ景氣に煽られて東京人が最も多いのだが之を困り切つてゐる養蠶地の群馬の農民がどう見るだらうか？。澁川から四萬へ伊香保へ、自動車は都人士を乘せて遠慮會釋なく土埃を農民の面へ浴せかけて行くのだ。

寒冷な輕井澤
高原避暑地風景

東京を一歩郊外に出ると武藏野の原が深綠のうねりを縱橫に見せてゐる間に、既に稻葉が伸びて浦和附近の早稻田には穗波が動く。高崎線は信越、上越の兩線と兩毛線とを擁して、此の森と林と稻田この間を滿員の乘客を載せて走る東京から上信越方面の避暑客と、必ず三等車と二等車とも間違へて入つて來るこの方面の地方人とを運んで行くのだが、輕井澤への臨時列車は「高原列車」と銘打つて鐵道省旅客課が體の良い命名を誇つてゐるのだ。

碓氷川の流れに沿うてうねりうねりつゝ例のアブト式で碓氷嶺を登り切つた列車は、輕井澤でモダンな內外の都人士を景氣好く吐き出す。海拔二千五百尺の高原輕井澤は西洋人村と呼ばれたものだが、今は外人に負けぬ裝ひのブルジョア階級の日本人特に若い男女が多い。ゴルフや色々の運動具を態さらしく背に懸けたハイカラな洋裝の人々は肩で風を切つて步く。自動車上に斷髮洋裝の婦人が高慢ちきな顏をして馳驅する間を、草津溫泉への地方客が呆れて見てゐるが、小娘は指を銜へさうな羨ましげな光景だ。

輕井澤にはもう秋風が立つてゐる、落葉松の下葉が赤く色づき出した。涼しいといふよりは朝夕は寒い。東京の九十度の暑熱に反して僅か四時間足らずで、風邪を引かぬ用心をせねばならぬ變り方だが、此の用心をしながら八月一杯ゐなければ肩身が狹いブルジョアほど厄介なものはないと思ふ。

輕井澤の別莊地は草津電鐵に沿うて舊輕井澤の方へ、奧へ／＼と伸びてゐたものだが、此所數年來方面轉換をして信越線に沿うて西へ伸びて行く。虻の多い雜木のある安價な草原の彼所此所にチラホラ別莊なるものがある中に、芳澤謙吉氏や鳩山一郞氏のもあるし鈴木喜三郞氏のも一昨年から本格的の別莊となつたのださうな。が木造の二階屋は震災後のバラックへ手を入れたやうなものだ。相變らず本邸下の自動車溜りに白服の警察官が數名ゐるのは、別莊地風景としては映りがよくないけれども大政黨の總裁とあつて長野縣當局も放任を許さぬらしい。

×

鈴木總裁と私との對談は長時間に亘つたが夫は此の避暑地高原を描く中へ投げ込むには餘りに現實的な問題で且つ殺風景だから省くことだから、相當な批判が加へられるであらう。私は廣大な新ゴルフ場から吹いて來る夕風に寒氣を催しつゝサッサとこの高原を退却し引返して灼熱の東京へと急ぐ。

實る秋（內地風景）

大連防空獻金寄附者（大連市役所取扱）
（滿洲土木建築協會四萬五百圓の內譯）

▲七千五百圓大倉土木株式會社大倉商事株式會社▲五千五百圓榊谷組▲二千五百圓高岡組▲二千圓宛株式會社大林組、株式會社清水組▲一千五百圓宛株式會社間組、吉川組、合資會社長谷川坂本組岡原組、合資會社三田組▲九百圓宛株式會社飛島組、福井高梨組▲八百圓宛合資會社大同組、碇山組合資會社西松組、合資會社鈴木梅本組、鐵道工業株式會社▲七百圓西本組▲六百圓宛株式會社松本組、合資會社志岐土木組▲五百圓宛合資會社鳥井組、今井組▲四百圓宛合資會社池內市川工務所、辻組▲三百五十圓合資會社共進組▲三百圓宛合資會社原組、合資會社草場組▲二百圓株式會社多田工務所▲百五十圓合資會社星野組▲百圓宛東洋コンプレッソル會社、名越工務所、合資會社間瀨組、株式會社福井組、白川洋行倚厚溫、組合名會社京城阿川組株式會社錢高組、日本工業合資會社、荒井組、栗原組▲五十圓宛、松浦組、合資會社長門組

▲一萬圓滿洲化學工業株式會社▲二千五百圓宛滿洲製麻株式會社、昭和製鋼所▲百圓宛大內成美、小川順之助▲九十圓大連醫院八千代會▲七十七圓橫濱正金銀行大連支店內有志▲七十圓原田ケイ▲七十二圓五十錢大連沙河口公學堂生徒一同▲六十九圓十五錢大連土佐町公學堂生徒一同▲六十五圓大連伏見臺公學堂生徒一同▲六十二圓六十錢大連西崗子公學堂生徒一同▲六十一圓八十錢大連秋月公學堂生徒一同▲六十圓三十錢大連ツラナ舞踊會▲六十圓大連農事會社小倉鐸二外十八名▲五十二圓六十六錢產靈教會大連婦人會▲五十圓宛小川慶次郞、ジャパン・ツーリスト・ビューロー、池田義夫、滿鐵育成學校生徒一同、岡元爲吉、大隆公司、立花福男、大連株式商品取引所內株榮會、株式會社山田商店店員一同、日野恒次郞、淡月席藝妓一同、檜崎隆藏、滿電會計係員一同、三越支店員一同、酒井秀一、滿鐵董婦人會、秋元米三、田崎豐作、太田伊之助、橫山サキ、橫爪ツタ、小林庄五郞、大連取引所信託株式會社々員一同▲四十一圓六十五錢沙河口勸商場出店者一同▲四十圓宛富田荒太郞、田中源次郞、大連伏見臺西區町內會、西崗子實尾組合田村浩人外五名▲三十六圓五十錢電々會社々員養生所生徒一同▲三十五圓七十三錢大連取引所員一同▲三十五圓大阪商船會社々員一同▲三十三圓四十五錢大連石炭商組合從業員川口俊惠外六十四名▲三十圓宛　池田敏之、大連取引所錢鈔信託會社內一同、松本一造、岩井勘六、猪口勇、大連霞婦人會、今泉作治及江口喜代次關東廳刑務支所十河竹次郞外職員一同▲二十一圓七十三錢金光教大連青年會▲二十五圓宛伊藤平八、天の川發電所員一同▲二十二圓二十四錢關東廳刑務支直三、園部又三郞、大連產婆會、谷口春美、草川大華電氣冶金公司社員一同、

十錢大原康生▲三圓三十錢關東廳大連救療所職員一同▲三圓三十錢金重明▲三圓十五錢大連朝日小學校四年伊藤少年外九名▲三圓一錢大連朝日小學校三年生有志▲三圓宛河野淸治郞、靑木貞子、高田愛次、大神某、安元光三、片山諒太郞、千歲町住人、村田保、荒井淸石村不三吉、田邊修、小濱中澄、上田宗太郞、日高岩吉、須田千代子、伊藤淸一郞、三谷繁太郞、福尾彥枝▲二圓七十錢大連朝日小學校五年生島鎭江外四名▲二圓十六錢大連伏見臺小學校五年生三組女子部一同▲二圓十錢名越壽太郞▲二圓宛佐藤政八、靑木邦子、伊藤呂崎峰吉、吉野享、坂田眞雄、龍長太郞、木村某、和泉太兵衞、風門ヒデ、森本芳太郞、山本修平、中村議一▲一圓五十三錢大連朝日小學校六年生中西不二子外二名▲一圓四十錢宛別府龍、小城末喜、西脇幸次郞、岡田末吉、加來善一郞、國川作市、田邊敏吉、山根哲次郞、吉村定吉、河野義三郞、辻松太郞、安藤勝次郞、大田十一郞江守順太郞、小竹伊助、辻一二三上野深照、中溝新一、原安五郞▲一圓三十七錢大連朝日小學校大連大廣場小學校兒童有志▲一圓二十錢松林小學校六年生橋場秀衞外七名▲一圓十錢中野嘉江外一名▲一圓宛大正通住人、一市民、一市民白濱藤六、岩下傳一郞、畑中表具店、宮田甚太郞、竹田憲司、一女學生、山川シゲ、磯部きくゑ、江口長右衞門、木下紀代子、▲六十錢小野ハル子▲五十錢一小學生▲二十錢木全純一▲參千圓首藤定武拾五圓園山民平、今永茂▲拾圓鈴木ふみ▲二千圓東洋棉花株式會社大連支店▲一百圓濱崎商店▲五十二圓東洋棉花株式會社大連支店員一同▲五十圓八十錢村井啓次郞外一同▲十三圓昭和製鋼所大連出張所員一同▲十圓ナニワ藥房▲一圓四十錢宛河內洋行、安東浦藏須藤安治、▲五千圓國際運輸株式會社▲五百圓不破洋行▲二百五十二圓國際運輸株式會社築島信司外三百名▲二百四十三圓六十七錢大日本關西相撲協會▲三十四圓五十六錢日本赤十字社大連病院職員一同▲三百圓株式會社山葉洋行大連支店▲二百二十圓南滿洲工業專門學校生徒一同▲一百圓星ケ浦區員一同▲十圓日吉勇▲五圓大正通信社員一同▲二十圓藤田半七

圓星乃家從業員一同▲二十圓宛埠頭船客待合所內營業者一同、大連會屯金融組合、日本生命保險會社大連出張所一同、小松駒吉、片岡貝治、山內勇吉、明照寺內淨友會橋國三一、安富義安、合名會社三淸洋行、大連春日小學校六年生有志吉野號、澤田捨三、今井眞澄、河島礒志、福田顯四郞▲十八圓三十錢昌和洋行支店員一同▲十八圓無名氏▲十六圓七十五錢市川金太郞▲十五圓宛濱岡辰雄、落合周市鈴木玄吉、安藤ユキ▲十四圓鳥羽まさ▲十三圓五十錢原田孝七▲十三圓二十錢荻野修康▲十二圓八十錢大連商業學堂生徒一同▲十二圓五十錢長澤圭五▲十二圓十六錢東亞煙草會社大連在勤員一同▲十二圓七錢大連常盤小學校六年生松本佳子外十名▲十二圓須鼻梁平▲十一圓九十七錢關根忠篤外十一名▲十一圓大連第二中學校軍事研究會▲九圓二十五錢中川邦四郞▲九圓小川精一▲八圓七十五錢カフェーミス・ダイレン女給一同▲八圓山縣嘉一、黑澤謙吾▲七圓五十錢今泉勉一、田村詢一、柳田昌一、田部井定雄、長尾重雄、中村勝人、田中勝藏、桂小六、鶴田幾十郞▲六圓五十八錢大連朝日小學校五年西岡少年外六名▲六圓四十七錢大連嶺前小學校五年生有志▲六圓菊地敏夫▲五圓三十二錢鬼頭正太郞外五名▲五圓二十六錢大連朝日小學校五年生有志▲五圓宛松田兼德鈴木兼重、平塚しう子、靑木梅子藤本協一、及方吉山、北島保、伊藤芳太郞、廣松正滿、櫻井正春、中出久次郞、上山雅敏、川南溫知潘海臣、張雅軒、碇子隆三、金森忠吉、大塚娛作、山鳥ミツ子及山本ナヨ、宮崎健郞、佐藤平次、山田乙治、菊地秀之、山室房一、小澤篤次、田端恒雄、高木明、小林吉五郞、深澤幸一、大連旭會、松木キヨ、和田淸太郞、藤井萬次郞渡邊スガ、北澤義雄、久保田正直上地旭輝、長谷川昇、日下四郞、圓橋六太郞、丹治春代及すゑ子、田中有二、森房子、田岡正樹、大陸窯業會社々員一同、惟神婦人會礒部達美、今井健五郞、早川正雄シャーレルデ、フローレンス、山浦貞、高田綱吉、福泉榮造、名越高太郞、千葉豐治▲四圓八十五錢木下長八外四名▲三圓八十五錢大連朝日小學校四年生有志▲三圓五

祝創刊第壹万號並ニ三十周年記念

滿洲國參議府

宮内府大臣 沈瑞麟
侍衛官長 工藤忠
侍從武官長 張海鵬
尚書大臣 耶宗熙
宮内府次官 入江貫一

滿洲國參議府

議長 張景惠
參議 袁金鎧
同 貴福
同 筑紫熊七
同 田邊治通
同 增韞
同 矢田七太郎
同 寶熙
同 胡嗣瑗
秘書局長 荒井靜雄

滿洲國國務院

國務總理兼文教部大臣 鄭孝胥
民政部大臣 臧式毅
外交部大臣 謝介石
軍政部大臣 張景惠
財政部大臣 熙洽
實業部大臣 張燕卿
交通部大臣 丁鑑修
司法部大臣 馮涵清
興安總署長官 齋默特色木丕勒
總務廳長 遠藤柳作

立法院長 趙欣伯
檢察院長 羅振玉

市政公署

市長 金壁東
總務處長 橋口勇九郎
行政處長 董暘

中央銀行

總裁 榮厚
副總裁 山成喬六

新京鐵路局

局長 金壁東
副局長 山領貞二

國都建設局

局長 阮振鐸
總務處長 結城清太郎
技術處長兼建築科長 近藤安吉
庶務科長 江崎猛
計畫科長 溝口五郎
土地科長 草地一雄
土木科長 武藤吉治
水道科長 重住文雄

國道局

直木倫太郎

滿洲國協和會 中央事務局

新京市場株式會社

鐵道事務所 芳野千代太

新京吳信臺所 清水末一

滿洲自動車交通股份有限公司 新京西五馬路十二號 交通タクシー 電話 四八八七 世は花

船越商會

林田寫眞館

賓宴樓

スポーツとしての 釣と獵【三】

南山與太郎

獵と釣との共通點があるやうにこの兩道にいそしむ者は殆ど片一方の獵ばかり、或は釣ばかりの者は至つて少なく一人で兩道行く者が多い。のみならず之等の人は大抵近代スポーツの一技に秀でる者である事も釣と獵とが近代スポーツに一脈相通ずるもの、ある結果ではあるまいか。

此處まで來ると筆者與太郎も非常に困つた。筆者自身の大馬鹿者は少しも構はぬが他人樣を捉へて馬鹿者呼ばはりすることは恐縮千萬で書けなくなつて仕舞ふ。

だが與太郎のいふ馬鹿は現今の社會に小悧巧な人が多い反面を指した馬鹿で小悧巧者でないといふ代名詞に過ぎないといふことを諒解して頂いて與太郎の與太だと見逃して貰へば以下並べる御歴々も恕して頂けるものと思ふ。

釣天狗の中に滿鐵監査役の八木聞一氏がある。氏はベラボーにスポーツ愛好者である。スポンヂボールの選手でもある、彼氏も多分與太郎の氣持に共鳴するに違ひない。

實業團の安チヤンで通る安藤忍君大學時代からの野球選手だが滿洲へ來て大連の實業グランドで大切な試合最中敵の強ゴロが來ると同時に頭上をカスメて飛ぶ鴫の群に氣を取られてトンネルした實例もある位に獵も好きだが、夏家河子のキス釣りや蟹釣りは彼氏安ちやんの大好物で、釣の方も一方の旗頭であるばかりでなく獵の方に於ては將に大連に於ける第一流に介在してゐる處を見ると全くスポーツ界の第一人者と尊稱を奉り度くなる程三者共通の趣味を感ずるらしい。其他實例を擧げると數限りない程三點共通の獵者がザラに在るが餘り他人樣の名を並べると差障りがあるから遠慮するが、釣天狗にしろ、獵天狗にしろ何れを見ても山家育ちならぬスポーツマンならざるはなく、何故に？と云ふやうな理窟抜きにした愛好者ばかりなのは夫れ自體が立派なスポーツであるからに外ならない。之が總ては名聲の爲にと云ふやうな利己的なものであつたら何を苦しんで迄夜を徹して歩いたり高價な材料を仕入れたり貴重な時間を空費する小悧巧者はあるまい。依而次而與太郎は釣と獵とを行る者は馬鹿が多いと喝破したのだ、兩天狗の御寛恕を乞ふ。

◇

「馬鹿多き人の中にも馬鹿はなし馬鹿になれ人馬鹿になれ人」と一首を殘して死んだ畸人もないやうだが吾々は釣つて馬鹿になり、獵して馬鹿になり、馬鹿の眼から今日の世の相を見渡して見たいものだ。

近代スポーツに依つて人格の陶冶をするのも一つの方法なら釣と獵とに依つて精神の修養を爲すのも一方法だ、吾々釣好き獵好きの同好の者は宜敷く馬鹿同志俱樂部を組織して世の未だ釣の味、獵の味を知らない人々に其の味はひを嘗させてやりたいと思ふ。這は單なる趣味の普及などゝ云ふ小さな問題でなく今日の大日本帝國に瀰漫せる淫靡惰弱の氣風を一掃する國家非常時の一大救國運動となるかも知れない。果して與太郎の期待する成果が得られたら釣と獵とを唯の道樂と見る時代は遠く過ぎ去つて立派なスポーツとして萬人景仰の的となるに相違ない。吾人はこの見地から一般にこの釣と獵とを推獎すると共に旣に天狗の免許を得たる人々は宜敷く世に宣傳し以て自己だけのスポーツとせず廣く他に分割すべきである。若し本文に不贊成の者があれば宜敷く一度び實地に自分で行ふべし。（完）

スポーツ用語（一）

リキシノカイキユウ（相撲）力士社會における階級制度は相當にやかましい、大關、關脇、小結、前頭、幕下十兩、二段（俗に幕下十兩を十枚目、二段目を幕下と稱する）三段目、序二段、序の口の九階級に分れ、更に番付面へ記されないものも容れゝば本中、前角力の二階級が序の口につく、橫綱は元來大關の技倆優秀なる者に與へる稱號であるが、現在では一種の階級となつてゐる、俗にいふ褌かつぎは序の二段あたりまでの力士をいひ十兩以上を關取とよんでゐる

ラヂオ　廿九日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・〇〇 ラヂオ體操
六・三〇 ラヂオ體操
一一・〇〇 經濟市況、公設市場値段

午後の部

〇・〇〇 經濟市況、ニュース
三・三〇 經濟市況、ニュース
六・〇〇 ニュース、職業紹介事項
六・三〇 童話久留島武彥

義太夫さわりの夕

七・〇〇（大阪より）一、繪本太功記十段目（尼ケ崎の段）淨瑠璃竹本清糸、三味線豐澤仙糸
七・一七（大阪より）二、艶姿女舞衣（酒屋の段）淨瑠璃竹本三蝶、三味線豐澤小住
七・三四（東京より）三、本朝二十四孝（十種香の段）淨瑠璃竹本越駒、三味線鶴澤紋枚
七・五一（東京より）四、御所櫻堀川夜討（辨慶上使の段）淨瑠璃竹本綾千代、三味線竹本重八
八・〇八（東京より）五、伊賀越道中双六（沼津の段）淨瑠璃竹本素昇、三味線豐竹巴住
八・三〇（東京より）時報
八・三一 ニュース、氣象通報
八・五〇 滿洲音樂「梨花太鼓」銀姑娘、金花、師付劉長和

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・二〇（新京より）ラヂオ體操
六・四〇（新京より）滿語講座―（滿語）高宮盛逸
七・〇〇（新京より）日語講座―植松金枝
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一一・四〇（東京より）ニュース

午後の部

〇・〇五 經濟市況（日滿語）
〇・三〇 ニュース
一・〇〇（新京より）滿語演藝
一・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・三〇 經濟市況（日滿語）
四・〇〇 公示事項、ニュース（日滿語）
四・五〇（新京より）ニュース（英語）
五・〇〇 子供の時間―童話「顏に落ちた涙」千代田小學校足立敏郎
五・三〇（新京より）講演（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニュース
六・三〇（大阪より）趣味の話藝談十二選（八）「人形使ひの話」文樂座吉田榮三
◆義太夫さわりの夕
（大阪より）一、繪本太功記十段目（大連同）
（大阪より）二、艶姿女舞衣（大連同）
（東京より）三、本朝二十四孝（大連同）
（東京より）四、御所櫻堀川夜討（大連同）
（東京より）五、伊賀越道中双六（大連同）
八・三〇（東京より）時報、全國ニュース
八・四五（新京より）ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇（東京より）演藝（滿語）

京城（JODK 九〇〇KC）

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・三〇（東京より）夏期英語講座（二の八）高垣松雄
一〇・〇〇 氣象通報
一一・〇五 料理献立、日用品値段、鮮魚卸相場、京城府廳水産市場發表

午後の部

〇・〇五 映畫物語「紅頰縋する時」泉史鄕
〇・四〇 ニュース
二・〇〇 家庭講座「情操の世界」京城師範校長渡邊信治
二・五〇（東京より）野球試合實況、ハーバード對明治―明治神宮外苑野球場より中繼―
四・〇〇 ニュース、職業紹介事項
六・〇〇（熊本より）お話「南島の輝き」（テキスト三八ページ）立石尙純
六・二〇（東京より）コドモの新聞 關屋五十二
六・二五（東京より）講演「私の體驗せる歐米の飛行旅行」淺野良三
七・〇〇 ニュース、天氣豫報
七・三〇（大阪より）趣味の話、藝談十二選（大連同）
◇義太夫さわりの夕
八・〇〇 一、繪本太功記十段目（大連同）
八・一七 二、艶姿女舞衣（大連同）
八・二四（大連同）
九・三〇 時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

新進指切棋戰【其七】

平香交 香落番　五段 建部和歌夫　四段 梶一郎

【圖は七一金迄の局面】

梶氏持駒 歩歩　建部氏持駒 飛桂

▲九七角成 △七六桂 ▲七五馬 △八四桂 ▲八四馬 △二一飛 ▲七五馬 △二二飛成 △一一龍 ▲六四馬 △四六角 ▲五五歩 △三五香 ▲五四飛 累計八十六手

土居八段講評 梶君は九七角と成り込み敵桂を八四へ飛ばしたのは惡い、目下の狀態は敵を攻むるに難く、防戰に努め敵の戰鬪力を無くする意味に出なくては成功困難である、因て七五角と上り桂跳を豫防する方が安全である建部君の二一飛の打ち込みは面白い、斯樣な形となつては梶君としては敵桂が八四に居ては自玉が危險だから八四馬は已むを得ない。

萩原七段解說 建部氏の七六桂は、敵の三六歩打を防ぐ意味に敵角を攻めるもので三六歩と打たれては危險になる、次に二一飛は三一銀なら同飛と切つて七二銀打の詰めを狙ふもので、梶氏の八四馬は當然の飢ぎであるが、この順に至つては陣形が亂れてゐるだけに苦戰の樣である、次に七五馬は六四歩では五三桂成で惡いので六四馬と引いて三六歩打の決戰を狙ふ準備で、建部氏の一一龍は悠々と駒得を圖つて攻撃の準備をしてゐるのである、建部氏四六角の應手は、先に敵の三六歩の順を消す意味である、梶氏の五五歩、四六同馬では自玉の防備が薄くなるので、五五歩と突いて同角なら五四馬と寄つて敵の玉頭を狙ふ含みである。

日本棋院 春季大手合戰譜（十三局）

先 三段 增淵たつ子　初段 鈴木憲章

制限時間各七時間（但し一分以內は切捨）

——【2】——

●二一ぬノ四（3分）　○二二にノ十（11分）　●二三かノ十三　○二四よノ十二（2分）
●二五かノ十二（1分）　○二六よノ十一　●二七とノ十七（3分）　○二八とノ十五（12分）
●二九はノ八（1分）　○三〇ほノ九（15分）
○一八ツグ

所要時間累計（白 一時三分 黒 十七分）

一は二十二の星より此方が合理的と思ひましたが―
二十二の星を占められては堪りません

對局者の言葉

（黒）二十二は二十三のケイマなども考へゐてはなかつたが、黒にしたが―
（黒）二十三は必爭點かと考へました
（白）二十四の受けは甘かつたのでせうか（ち十七）又は一路高く（ち十六）と打つのだつたかも知れません
（黒）二十七は（と十六）と高い方が正しいのでせう
（白）二十八とボーシ出來たのはうまいやうでしたが―
（白）三十で（は十）の並びは黒（ほ八）とトバれるし（ほ八）のケイマは三十にツケコサれるのが恐かつた

戰の跡

◇黒二十一は左上隅の白四、二十が（た三）（た五）の一間シマリになつて居るもの同視出來るから二十二でなく譜の方が正しい事が直ぐ分る◇黒二十三は天元や七との關係上首肯出來るが、白二十四と受けた手は共鳴し兼ねる、黒の手についた鎮びがありはせぬか―白の意中は、これを脅くと黒から（た十）あたりに打込まれるのを懸念したものであらうが、これは打込ませて捌く方が棋が廣くなりはしなからうか此手で（ち十六）に高くツメて居たい◇黒二十五は（わ十一）にケイマする形らしい、白も（よ十）に受けてゐればなるまいから―◇黒二十七は（と十六）と高いのでないと、初め天元に打つてからの中の棋の本旨に副はない、白からの（と十八）の走りなどは然して重視する場合でない◇白二十八とよくボーシして二十二と相俟つて右邊の模樣に資する事が出來、同時に黒の厚味を消して居るのは黒二十七の低い罪に歸する◇白三十は感想の如き考慮の末の手で、天元の黒の威力を殺いで居る點も等閑視出來ない

ラヂオ相談

短波の發振には矢張り許可が要るか

【問】乾電池式三球を作らうとしてゐますがA電池の消耗が早いとの事です。ベル・トランスがありますがA電池の代用にならないでせうか。單球の短波發信器を作り發振するには矢張り許可が要りますか、庭に置いて行ふのです。（老虎灘一少年）

發振は許可が要る

【答】眞空管の種類及ベルトランスの電流容量が解らないと使用出來るか何うかお答へ出來ませんが、先づ困難と思はれます。短波に限らず發振する事は必ず遞信局の許可を得なければなりません。（電々會社係）

アンテナ一つを數個の受信機で共有

【問】二十戸ほどのアパートで各戸にラヂオを聽きたいのですが次の件につき御教示願ひます。
一、一本の大アンテナを利用して各戸各樣の受信機により聽取可能なりや
二、各自アンテナを持ち各機の受信機を以て他の妨害を受くることなしに聽取可能なりや
以上著し故障あらば他の良法を御教示下さい（KP生）

相互に干渉し合ふ

【答】一、一つのアンテナを數個の受信機で共有しますと相互に干渉し合ふ結果一方で調整を變へると他の一方も調整を變へる必要を生じ又分離にも好ましくありません。
二、再生式及スーパー・ヘテロダイン受信機以外のものでしたら大體相互に妨害することはありません。なほ一臺の高級受信機より各個にスピーカーだけを引張つて聽取することも出來ますが但しこの場合でも各戸每に施設願を提出しなければなりません（電々會社係）

支那語檢定模擬試驗問題集

（南滿工專宰勉氏著）三、四等程度上、下卷共答案式三百餘頁六千の問題を收め支那語檢定受驗者及新學研究者には必携の良書である（各價一圓卅五錢送料十二錢、大阪屋號發行）

九州高等豫備校 新學期開始

西部受驗界の權威たる福岡市藥院出口なる九州高等豫備校にては今夏受驗準備大講習會を開催し非常なる盛況裡に終始したるが來九月一日より更に新學期を開始し高等學校、專門學校並に高師、陸海軍諸學校への入學試驗準備に勵む中等學校卒業生の爲に畢生の努力をなす由なれば上級學校に進まんとする學生には最適の學習所たるべし

婦人俱樂部（九月號）

◆婦人俱樂部九月號は「手紙用語日用儘くづし字一萬語手本」と例の「凸凹黑兵衞」「なつけて」六十錢特大號である◆本誌では卷頭から燦然眼を奪ふ「映畫レビュー歌劇人氣花形寫眞大畫報」がすばらしい印象だ◆中間物で非常に感動させられた記事が二つある、その一つは六人の遺兒をもつ小學校の校長さんの再婚體驗記である◆今一は國民同盟の中野正剛の最近逝去せられた夫人への追慕記である◆呼物の懸賞も「西陣本お召三百反」といふので讀者のお氣嫌を奉仕してゐる。

雄辯（九月號）

由來人物論に一特色を見せてゐる「雄辯」が九月號に廣田弘毅論と併せて近衞文麿論を逸しなかつたのは流石である◆「現內閣と今後の政局を語る座談會」「日米國交に就て…齋藤駐米大使」「赤露のゲー・ペー・ウー」と極東軍備「其他固いところも堂々の布陣を見せてゐるが◆德川夢聲松井翠聲漫談會戰「浮世金儲け探訪記」など、ユーモアたつぷりの銷夏讀物にも事缺かぬ。

現代（九月號）

◆「最近思想界の潮流と人物展望」室伏高信「新官僚と政黨との交流」前田多門「ドルフス首相暗殺事件」町田梓樓―と堂々たる押出しの「現代」九月號◆「齋藤駐米大使縱橫談」「一九三五、六年への陣容」岡田・大角・末次「鈴木政友總裁の心境を訊く」「ナチス清掃事件の眞相」「新官僚派の巨將閥十群像」等◆インテリの求める趣味、娛樂、たやすい文學で表した知識、さういつた狙ひの雜誌を求めるなら「現代」はまづそのナンバーワンとして許さるべきであらう。

ビクター九月新譜紹介

九月の邦樂新譜が出た目ぼしいものだけを拾つて紹介しやう、松永和風の「勝三郎連獅子」荻野綾子の獨唱「小諸なる古城のほとり」「朝の出がけに」「つい秋風に誘はれて」「日の歸道」市丸の「つきぬ想」「利根の朝霧」勝太郎の「あやめ踊り」「大阪甚句」童謠お「もちやのお馬」と「母さんのお使」の一枚、男聲合唱團の三部合唱「祭ばやし」四部合唱「ばあやの家」中村淑子の「故鄕の空」德山璉の「秋の浪花節は吉田奈良丸と木村重松の「慶安太平記」全國代表民謠では「山形の和歌山」と三島一聲の「紀州和歌山」である

療養欄 殘暑の卷

打倒"結核病"

榮養第一主義に依る 結核の抵抗療法

結核は恐るべき病氣だが 治癒し得ぬ病氣では無い

夏痩夏負の清算期

灼熱 の猛暑も峠を越して朝夕の涼風は、新秋遠からずの氣配を感じさせ、既に暦の上では立秋も過ぎました。

然し所謂『殘暑』が未練がましく餘熱の追擊を續けてゐますこの時に際し、特に結核疾患のお方は、

身體 の榮養を充實し、抵抗力の恢復を圖り、進んで健康狀態に立ち歸る工夫をせねばなりません。この場合最も有効な方法はサロミンAによるエンブリオ療法であります。

核菌病傳染性慢は

昔……不如歸の浪子さん時代には多くの人々は結核菌が侵入すれば直に結核病に罹ると思つてゐたやうですが、結核病は赤痢とかコレラのやうな急性傳染病ではなく、小兒時代から既に菌が體內に潜伏してゐますが、その人の抵抗力に依つて壓倒され、萎縮してゐるのであります從つて發病の機會を作り得ません。ですから榮養豐富な健康體である限り、菌は體內に居ても居ないと同樣で、何等の威力を現し得ないのです。

榮養不良と結核菌

ところが逆に、食慾不振、榮養缺乏、胃腸疾患、精神の疲勞煩悶といつた心身保健への惡條件が重なれば、今まで無害の狀態で屏息してゐた結核菌は、猛然、躍り上つて、激甚なる繁殖を開始し、肺に喰ひ入つて血を吐かし、次から次へと、病竈を擴げ、遂に鬼籍へと擔いでゆく……憎んでも猶ほ足りない思ひが致します。

強いやうで弱い菌

併し 乍ら斯く結核菌の性狀を確めました上は、それを根據として賢明な治療法を講じなければなりません。即ち、結核病が、赤痢やコレラの如き急性傳染病でなくて、發病の主原因が、榮養不良といふやうな身心の健康條件の不良に基くのですから、よし體內の菌そのものを擊滅せずとも、身體の抵抗力さへ恢復良化すれば、發病前の如く菌は屏息の狀態に抗壓されて、初期の間なら喰ひ止め得られ、重症者とても輕快に赴く事が出來るのであります。

エンブリオ 療法も要するにその根幹は茲に存するのでありまして、サロミンAを連用する事に依つて、疲勞した細胞に榮養を與へて活動を開始せしめ新陳代謝を圓滑になし、病菌に對する抵抗力を與へ、以て合理的に結核菌の活動を抑壓するのであります。

繰返して申しますが『榮養の充實』と『抵抗力の增進』とは結核患者の忘るべからざる治療の鐵則であります。

墨滴

▲精神的に惡思想の跳梁を許さぬ日本であるが遺憾なのは世界有數の傳染病國であり、結核病菌の蔓延も亦甚だしい事だ▲國民の死亡原因中結核で倒れるものが最高位を占め、この非常時に患者數が百萬人を突破し、年々十萬人餘りが纎維千姿と化す▲故に何はさて置いても結核豫防と撲滅對策こそ急務で、內務省が明年度の豫算に、豫防費として七十五萬圓(從來の約十倍)を計上したのは近來の大出來▲現在疾患に惱む人々は、これをチャンスとして、結核菌打倒の覺悟で最良の療法を選んで福音の招來を切望されるために敢て茲に揭げられた『榮養療法』の提灯持ちに及ぶ次第。▲クノップ氏曰く『結核病の撲滅を期せんには賢明なる政府、熟練なる醫師、理解ある國民の協力を要す』と、蓋し至理なり。

健康への福音

三度の献立の味方となつて 體內結核菌を總攻擊

「結核性食慾減退・元氣消沈 消化不良・便秘下痢諸症等」

オール結核病者に急告

胃腸榮養劑の意義

この場合肝心の食餌ですが、これは如何にも容易い事のやうで、中々むつかしく、矢鱈に滋養物さへ食べればよいわけでもなく、必要な榮養素(例へば脂肪、蛋白、ビタミン各種など)を偏らず攝取することと、消化吸收の調子が良いか否かに注意することが肝要であります。ところが必要な榮養素を含んだ食品を萬遍なく取り揃えて調理することは非常に手數を要し、食品だけでは、到底完全に行かぬ場合が多いので、その足らぬ所を手輕に補ふ榮養劑の必要が痛切に感じられます。と同時に

如何 に榮養素が完全に含まれた調理献立でも、胃腸が衰へてゐて消化吸收されないならば、貴重な滋養物が體內を筒拔けするわけですから、胃腸機能を强化する適當な胃腸劑の必要が生じ、この重要な役目を果す胃腸榮養綜合劑西崎博士指導創製のサロミンAが推奬に値するものと考へます。

即ちこのサロミンAは、結核の榮養療法を語る優良劑に先づ第一に擧げらるべきビタミンを始め、衰へた胃腸の機能を正常に引き戻し、食慾を進め、消化を扶けるエンチーム(酵素)など重要成分を澤山含んで居りますから、その作用によつて合理的に食慾を增進し、胃腸の細胞を强化して消化吸收を旺盛に致します。

從つて盛夏酷熱のために衰弱した體でこの殘暑の坂を喘ぎながら下つてゐる人々には何よりの適藥で、理想に近い衰弱豫防元氣恢復の良劑として評判の高いのは蓋し當然でありませう。

この良劑 が、三度の食事の伴侶となり、即ち『食物との二位一體』の榮養陣で、體內に巣喰ふ菌を總攻擊すれば、輕症者は快癒へ、重症者と雖も好調へ、快癒期の人々には治癒への福音を齎し得るものと考へ、それは一つに連續服用者のみが享受される幸福なる特權でありませう。

新案

サロミンAを用ひた 結核榮養料理

最近 家庭的食餌法の研究が愈々盛んになつて參りました殊に肺結核は、前述の通り治療上大切なのが食慾增進榮養佳良にあるのですから、三度の食事が藥以上の役目をするのだと申すことさへ出來やうかと思はれます。そしてこの病氣は療養期が長期にわたりますから、日々月々の献立の工夫苦心は容易ではないと存ぜられます。當人は勿論、看護の方も如何に榮養の攝取が大切であるかを記憶し献立は心をこめた美味、それを病者は舌鼓を打つて食べられるやうであれば、結核菌何ぞ恐るるに足らんやであります。

その献立に際し、例の評判の胃腸榮養劑サロミンAを用ふることが有意義である理由は、別項の記事に述べた通りでありますから、この新しい試みだけは是非とも御實行を切望いたします。

(一人前献立)

朝飯

△粥……二杯―三杯
△生玉子……一個
△葱の味噌汁……一五〇瓦
△菠薐草浸し……七〇瓦
△胡瓜漬物……二〇瓦
△サロミンA……五錠
費用概算 十三錢

晝飯

△米飯……二杯―三杯
△とろろ汁……五〇瓦
△鷄肉モツ燒……五〇瓦
△馬鈴薯の甘煮……一〇〇瓦
△香の物……二〇瓦
△サロミンA……八錠
費用概算 十七錢

夕飯

△米飯……二杯―三杯
△しじみ清汁……一五〇瓦
△鮪の刺身……三〇〇瓦
△豆腐のあんかけ……一五〇瓦
△香の物……二〇瓦
△サロミンA……八錠
費用概算 二十五錢

臺所標語

●三度の食事にサロミンA
●食療養にはサロミンA

西崎博士指導創製のサロミンAは、更にお値段が廉くて約一ケ月分僅か壹圓五拾錢一日の値は鷄卵一個より安價な位で、全國各地の藥店で賣つて居りますが、もし品切の際は、發賣元の大阪市西區阿波堀通一 嘉實商事株式會社藥品部(振替大阪七五七二八番)へ御注文下さい。なほ御希望のお方には『實物見本と說明書』を進呈いたしますから新聞名記入の上、發賣元へ御申込み下さい。

通りがゝりの巡警 群衆を煽動暴行

侮辱毆打され止むなく抵抗 威海衛事件の眞相

【天津二十八日發國通】威海衛において大東公司出張員三名が支那人のため毆打され重傷を負つた事件は詳細不明であつたが、本日當地確實なる方面への來電に依り右は支那側巡警が群衆を煽動重傷を負はせたものなること明白となり居留民は極度に憤慨してゐる負傷者は大東公司所員增田進、吉田薫、高橋昌一の三氏で二十三日午後八時市中散歩中一支那人に侮辱毆打され已むなく之に抵抗せるところ通り掛りの巡警が警笛を吹いて群衆を集め、群衆約二百名と共に前記三名を目茶々々に毆打、吉田、高橋兩氏に重傷、增田に輕傷を負はせたもので吉田、高橋兩氏は内出血の疑ひあり大連病院入院のため二十七日威海衛を出發した、芝罘領事は取敢ず現地に急行し支那當局に對し犯人逮捕處罰、賠償並に今後の保障を要求したが巡警の暴行に對しては當局も嚴重支那側の反省を促す意向である

毆られた兩氏 昌平丸で來連

既報威海衛において支那暴民に包圍され全身に數ケ所の打撲傷をおはされた大東公司威海衛駐在員吉田薫、高橋業の兩名は同地日本領事館警察に助けられ二十八日早朝入港昌平丸で來連したが語る

夕食後ぶらぶら散歩してゐると數百人の支那人が突然現はれめちやくちやに毆られあちらにゐる增田君と三名がその場に倒れました、幸ひたいしたこともなかつたのですが、高橋君は相當手ひどくやられ、これから滿鐵病院に行きます、我々の仕事に反感をもつてゐたもの丶仕業ではないかと思ひます

參考とした佐鄕屋の判決

五章十八頁に亘る 木内檢事の論告

【東京二十八日發國通】血盟團事件井上日召以下十四名に對する木内檢事の論告は

第一章總論、第二章事實關係、第三章情狀論、第四章法律の適用、第五章被告人各個の犯情と求刑

の五章より成り十八頁に亘る長論告で其の求刑理由として昭和八年十一月六日大審院にて言渡された濱口元首相狙擊犯人佐鄕屋に對する判決を參考とした旨述べてゐる

被告の辯論は 九月十一日より

【東京二十八日發國通】二十八日求刑された血盟團被告十四名の辯論は九月十一日より十月四日迄續行される豫定である

文盲一掃に學校新設

磐石縣協和會が

【新京電話】吉海沿線磐石縣内に於ける教育機關の施設は殆ど皆無の現狀にして目下の所未就學兒童六百餘名あり又貧民にして通學の出來得ざる青年二百餘名を算し右は國民教育上甚だ憂慮すべき現狀にして縣當局においても種々考慮中であるが今回同地協和會第四區聯合分會ではこれが對策として協和小學校の設立を企圖し準備中の所最近いよいよ具體化し近く開校の運びとなつた、因に協和小學校設立は全滿最初のことにしてその實現は大いに期待されてゐる

流域五十村 つひに流失

ガンヂス河氾濫

【カルカッタ二十七日發國通】印度を北から東南部へ貫流するガンヂス河の氾濫は依然暴威を逞しくし流域五十餘ケ村は流失するに至つた數千の罹災民は雪崩を打つて安全地帶へ向け避難しつゝあり死者も多數に上る見込みで家畜の溺死も數千に達すると見られる

岩永副參事遺骨

【新京電話】ハルビン郊外に於て汽船營口號襲擊に際し匪賊に慘殺された岩永虎林縣副參事の遺骨は二十九日午後三時二十五分新京着の豫定である

追はれ行く ヘロ密造者の群

活路を求め奉天・天津へ 工場は殆ど潰滅

一時はヘロ密造の魔都と云はれ、花柳界にヘロ景氣すら現出したこともある大連市内におけるヘロイン密造工場は警察當局の彈壓の嵐に遭つて潰滅の一途を辿り、それに加へて自然發火によつて正體を現すものもあつていよいよ密造業者受難時代を迎へたかの如き情勢であつたが去る廿六日火災を起して壞滅した鄭南屯の密造工場を最後として、大連市の内外から一流工場は勿論二流どころの工場すら全く影を潛めるに至つた、現在の内外に散在する密造業者は殆ど手内職程度のもので炊事場又は風呂場の一部を利用して小規模な密造を行つてゐるに過ぎず、所謂秘密工場を設けた大規模な密造業者は嚴重取締方針に應じた大連に見限りをつけてドシドシ工場を閉鎖し、奉天及び天津方面に新天地を求めて移住したと云はれてゐるがこれがため一時大連の暗黑街に活躍したヘロ業者の一流どころは殆ど奉天を中心として集まり最近同地方に於けるヘロ密造は殷盛を極め全滿の需要に應じその餘力を南支方面へ移入するほど多量の製品が産出されてゐると云はれてゐる

燒け跡で自殺

逃れる途なしと悟り？ ヘロ密造の共犯

ヘロ密造中發火したために遂に惡運盡きて捕へられるに至つた鳥居滿義（四）を首魁とする一味に關する事件は既報されたが、一味のうち風を喰つて逸早く逃走してゐた乾澤清（二）の行方につき沙河口署で觀探中であつたが二十八日午前十一時頃モヒ密造現場跡に一邦人の縊死體ありとの報らせに阿部刑事部長等が出張して調査した所果せるかな右乾澤清なること判明した、乾澤は自己の罪惡を悔い逃れる道なきを悟つて覺悟の自殺をなせるものと見られてゐる

匪首秦文元 部下に殺さる

【新京電話】安圖縣、和龍縣、延吉縣、樺甸各縣を股にかけ人民革命軍、中國共產黨などと連絡のもとに反日滿運動をつゞけ活動中なりし匪首秦文元は曩に我が日滿軍討匪行により壞滅的打擊を受け逃走したがその後部下の反感を買ひ暗殺された模樣である

43-0 工專大勝

對大商ラ式戰

南滿工專對大連商業ラグビー戰は二十八日午後三時十五分より工專運動場において鹿毛（主審）田中松田（線審）三氏審判工專先蹴で開始、大商最初元氣で攻め入つたが直に挽回され遂に三十四對零の一方的試合で工專大勝した

（前半）	工專	0	3	3	3
	大商	0	0	0	0
（後半）	工專	6	8	0	11
	大商	0	0	0	0

（五分毎の得點）計 0—34

（工專）FW 蘭長手佐渡井有間東小中佐稻光岩 HB 頭井島藤邊上村瀨 TB 谷村水葉田崎 FB ……

（大商）川田村數原口田松賀井早田子村星 谷増河小河谷柿小佐村鳳阪磯中赤

大連旅順間 太公望列車

九月一日から

釣の王者チヌ釣の季節に入つて早くも南關嶺、夏家河子、營城子あたりの海邊には毎日太公望連が押し掛けてゐるが大連鐵道事務所營業係では一般へのサービスとして來る九月一日より十一月二十五日迄日曜祭日には特に太公望列車を走らすことに決定した、時刻表は左の通り（但し各驛停車）

下り 大連發午前三時五十五分、旅順着同五時三十分

上り 旅順發午後七時四十五分、大連着同九時二十分

久留島武彦氏

昨夜大連に着く

沿線を童話行脚中であつた久留島武彦氏は二十八日午後七時半着のはさて來連、二十九日はラヂオその他で大連の坊ちやん、嬢ちやん達にお目見得し三十日出帆のうすりい丸で離連の豫定、二十九日は本紙記事で一躍日本少女の鑑となつた大廣場小學校中島保枝さんと親しく會見し童話の會にも特別に招待してあげたいと語つてゐた

歸省中に泥棒

貴金屬根こそぎ

市内聖德街一丁目十三番地滿鐵監査役山鳥登氏方では去る八月六日から家族一同内地に歸省、二十八日歸宅してみると不在中賊が侵入赤サンゴ入帶止（百三十圓）ダイヤ入プラチナ指環（八十圓）白金ウオルサム懷中時計（百三十圓）金側懷中時計（型不明三十圓）マクマリン金指環（五圓）の貴金屬及び三圓三十錢入りの蟇口一個を竊取されてゐるのを發見吃驚して大連署に屆出たが犯人は全然不明

國籍を求めて滿洲へ

國際愛に生きる一家が

二十八日早朝横濱から入港した湊路丸で二人の愛兒を連れた日支人の夫婦が來連水上署の取調を受けたが、この夫婦は東京市足立區東本町錦屋居木屋充氏方（三）同妻向島まつ（三）長女蠣子（三）嬢司（二）で張が日本人として歸化を許されず愛兒の入籍も出來ないので滿洲國人となり更生の途を辿るべく渡滿の途中市内小崗子平和街鈴木藤太郎氏方に一時身を落着けたが強い國際愛に結ばれて流轉の生活に生き抜かうとするけなげな夫婦に取調べの係官も非常に同情して色々と力づけてやつてゐた

ペストの防疫に 南部線の運行中止

齊・哈間の旅客檢疫をも實施か 北鐵側の積極對策

【ハルビン二十八日發國通】最近農安、洮南、四平街、昂々溪線方面でペスト猖獗しつゝあるに鑑み北鐵管理局長ルディ氏は北鐵衞生部とこれが對策を考究するところあつたが同惡疫のハルビン侵入を防止するため成行き如何によつてはチチハル、ハルビン間の旅客の檢疫、北鐵南部線は運行を中止することになる模樣である、なほ北鐵當局では防疫費は鐵道關係は北鐵當局で負擔しその他は市公署と交涉して同公署で負擔する方針であるが、北鐵當局も惡疫防止に對しては愈々積極的に重大な關心を持つて來た、なほハイラル方面ではペストを媒介するタルバカン獵を禁止した

少女の危機 我兵に救はる

【奉天電話】二十七日午後八時頃千代田公園の暗闇より突如女の悲鳴が揚がつたので折柄附近を散策中の滿洲國警察外事係主任張興武氏その他が聞きつけかけつけて見ると一名の滿人少女が五人の滿人の爲にあはや落花狼藉の目にあはんとしてゐるので張氏が制止せんとした所却て五人の爲に散々な目に遭はされ危機一髮の際この騷ぎにかけつけた日本兵の爲めに助け……

4-0 仁川大勝

對京城戰

【奉天電話】滿鮮中等學校野球大會決勝戰たる仁川商業對京城中學の一戰は二十八日午後三時三十分より國際球場に於て小島（球審）賀川、村上、大橋（壘審）四氏審判の下に仁川商業先攻で開始されたが結局四對零にて仁川商業快勝した閉戰五時四十五分

バッテリー 仁川商業—山口、曾田、京城中學—黑崎、渡邊、朴

仁川	002	000	110＝4
京城	000	000	000＝0

仁川山口投手完全に京城の打擊を封じノーヒット、ノーラン、これに反し仁川よく打ち四點をうばひ遂に四對零にて快勝した、試合終つて秋山滿日支社長の挨拶あり仁川商業曾田主將に大優勝旗を、更に滿鐵總裁杯其の他優勝杯を授與し京城軍にも賞品を授與、國旗降下式あつて樂ある第一回大會を終へた

滿鮮中等校野球決勝戰

9-3 立教勝つ

八大學戰

【東京二十八日發國通】ハーバード大學野球部對立教戰は二十八日午後三時より開始したが九對三で立教勝つ

立教	120	000	240	＝9
ハ大	000	010	200	＝3

警官を裝ふ匪賊

取調べと稱して拉致

【奉天電話】二十七日午後六時頃三人組匪賊が三二號タクシーで瀋陽警察廳第九區警察西塔分署管内興成二區廠を訪れ同店主に對し自分達は警察の者だが林業銀行經理殺し事件について取調べの必要あるので署に連行すると主人を僞つて自動車に乘せたまゝ何れにか拉致したが不審を抱いた家人はこの旨瀋陽警察廳に屆け出でたが全く匪賊の所爲と判明

仲仕の薩摩守

二十八日入港うすりい丸の三等室の一隅に擧動不審の老人がゐるので取調べると門司市鈴井町二四矢野力太郎方止宿門司港仲仕由三郎（六三）といふ爺さんで門司で、仲仕をしてゐたが衛役中船に乘込みその儘薩摩守をきめこんだものと判明、水上署に引致されたが市内に息子がゐるとのことで目下照會中

指を切斷さる

廿八日午前十時三十分ごろ甘井子滿電建設事務所微粉炭槽内で微粉係り久地浦俊次（二八）が鐵板に穴をあける作業中穴あけ機の空氣ボールの錐に左手手袋を捲き込まれ左手の指三本を折斷されたが、附近の佐藤公醫の手當を受け大連醫院に擔ぎ込まれた

東洋體協加盟

九月上旬の第一回役員會に 滿洲體協、正式申出

【新京二十八日發國通】東洋體協參加要請の爲め滿洲國側體協より派遣された難波、飯澤兩理事は目下東京において日本體協との間に種々懇談を重ね大體加盟と決定したがなほ來る九月上旬東京において比島側クエソン、バルガス正副會長出席の下に開催される東洋體協第一回役員會において正式に加盟を申出でる事になつた

米國記者團 訪問日取り決定

【東京二十八日發國通】八月二十八日開かれた日本新聞協會の米國記者團歡迎準備委員會において米國記者團の各地訪問に就て左の如く決定、九月十八日横濱入港、三十日まで東京滯在、三十日東京發伊勢神宮參拜十月二日名古屋發四日京城着、五日奉天着、新京、ハルビンを經て十五日大連發十八日神戶着大阪、京都訪問の上東京に引返し十月二十五日横濱出帆歸國

工夫墜落

二十七日午後五時ごろ甘井子發電所工事部大林組工夫岡林証（三五）は同發電所工事場で作業中誤つて高さ三十六尺の足場より墜落、後頭部其の他に骨膜に達する重傷を負ひ直ちに附近の病院に擔ぎ込み手當を受けたが生命には別狀なき模樣

車夫の重傷

二十七日午後二時三十分ごろ市内董町六一番地先で滿電市内バス＝運轉手星格（二四）＝と荷車とが正面衝突し車夫祭滿軒（三〇）は全身數ケ所に全治三ケ月を要する重傷を負ふた

秋季競馬

◇……第四日目

秋季本競馬第四日目の成績左の如し

▲第一競馬（新古呼五頭）二千米 1快走（騎手川原）二分四〇秒二 2右左光一馬身3筑波大差、配當單五十圓、複1十圓十錢2六圓五十錢

▲第二競馬（各抽十頭）二千米 1加州（騎手保利）二分四六秒 2七星半馬身3擧六馬身、配當單四十圓五十錢、複1七圓二十錢2六圓三十錢3六圓

▲第三競馬（秋抽七頭）千六百米 1早風（騎手内田）二分一四秒 2金城三馬身3博波一馬身、配當單六圓六十錢、複1五圓十錢2十一圓

▲第四競馬（各抽九頭）千八百米 1奉天富士（騎手川合）二分二七秒一 2殷五馬身3丹陽一馬身、配當單四圓八十錢、複1五圓十錢2五圓三十錢3七圓四十錢

▲第五競馬（各抽八頭）千六百米 1龍（騎手門）二分七秒三 2連寶三馬身3麒麟六馬身、配當單十二圓二十錢、複1四圓九十錢2四圓九十錢3六圓七十錢

▲第六競馬（秋抽十頭）千八百米 1支海（騎手石田）二分三九秒 2太郎首3華王六馬身、配當單十九圓三十錢、複1六圓三十錢2五圓三十錢3六圓七十錢

▲第七競馬（秋抽十頭）千六百米 1白妙（騎手山下）二分二四秒 2美鶴一馬身半3京和五馬身、配當單二十三圓八十錢、複1八圓十錢2五圓八十錢3九圓七十錢

▲第八競馬（各抽十一頭）千八百米 1寶山（騎手長友）二分二八秒 2吉林頭3紀生七馬身、配當單十四圓八十錢、複1七圓六十錢2六圓七十錢3十六圓七十錢

▲第九競馬甲（秋抽八頭）千六百米 1千歲（騎手青木）二分二八秒 2草王飛一馬身3白海九馬身、配當單十六圓四十錢、複1五圓九十錢2五圓七十錢3三十圓四十錢

▲第九競馬乙（秋抽八頭）千六百米 1金星（騎手山下）二分二一秒 2惠比須大差3飛龍大差、配當單六圓二十錢、複1四圓七十錢3五圓二十錢

▲第十競馬（秋抽六頭）千六百米 1一走（騎手藤井）二分四七秒 2三青鳳二馬身3光興三馬身、配當單五十圓、貢馬配當三圓五十錢、複1二十七圓三十錢2二十圓九十錢3二十七圓九十錢

▲第十一競馬（各抽八頭）千八百米 1群梓（騎手山下）二分四四秒 2曉天六馬身3紀南五馬身、配當單七圓九十錢、複1五圓六十錢2六圓五十錢

▲第十二競馬（古抽八頭）二千米 1姫（騎手市原）二分二四秒 2日輪鼻3星一馬身、配當單五十圓、貢馬配當三圓六十錢、複1十圓七十錢2五圓九十錢3五圓五十錢

三土氏再召喚

【東京二十八日發國通】元鐵相三土忠造氏は某事件に關し二十八日午後三時過ぎ又もや召喚され說問を受けた

られた五名の中二名は取押へられた彼等は奉天省生れ仁朝有（一七）陳小雲（二）と云ひ奉天署で取調べの結果他の三名は大東區居住李德才（一）外二名で五人組となり千代田公園を根城に附近を荒し廻つてゐたものであると

中西地方部長

きのふ陸路歸任

嚴父の病篤く郷里福井縣に歸省中であつた滿鐵地方部長中西敏憲氏は安東水災の報に豫定を早め二十八日午前七時四十分着列車で歸連したが、途中安東に立寄り安東から同件の多田地方課長と共に交々語る

父の病氣も大體大丈夫の見込がついたしそれに安東の水害の報で急に豫定を早めて歸つて來た勿論應急處置は皆がやつてくれたさいふ安心はあつたが實地を視察して滿鐵社員および各關係官廳の非常な努力で豫想外に早く應急手段が施されてゐる……

齋藤牧師の講演會

……

大連より長崎鹿兒島行

（毎十日目出帆）

＝九州への最短連絡航路＝

千歲丸

大連發	八月卅日午前十一時（九番バースより出帆）
長崎着	九月一日正午
鹿兒島着	九月二日午前十時

	長崎	鹿兒島
一等	三三圓	三八圓
三等寢臺室甲	一七圓	二〇圓
廣間附室	一五圓	一八圓
ソーファ廣間室	一四圓	一七圓
三等乙	一二圓	一五圓

近海郵船代理店 日本郵船大連出張所

由比正雪 (14)

悟道軒圓玉演
武田一路畫

與四郎と不傳の會見

與四郎は紀伊大納言賴宣公の家臣となつて手腕を揮ひ立身せんと考へ、そこで紀伊家に仕へんものと其手段を種々畫策したが、他の諸侯と異り紀州家は將軍家の一門で新規に召し抱へる者に就いて嚴しく其家系と又經歷を調べるとの事、それでは奉公する事はむづかしい、ハテ何としたものかと頭腦を痛めた、すると其頃牛込榎町に楠不傳と云ふ軍學者が居つて大勢の門人を有し、又多くの諸侯にも出入をするそれが折り〳〵紀州家にも行くと聞いて此の不傳を利用して紀州の家臣に成らうと斯う思つたが、段々不傳の人物を探ると自分の養父高松半兵衞事前名菊池源右衞門を討果した者といふ事が判つた、

然しもう年數も經て居るから、彼は何も知らぬやうにして先づ彼の門人になり、而して信用を得て目的を遂げやうと斯う考へた。

目的を遂げた後に養父の仇を討つも宜からうとそれで榎町の不傳の許に來たが不傳は浪人ながら其の住宅と諸侯の如く堂々たるものです、與四郎は玄關にかゝり案内を乞ふと出て來た若侍、

「何れから お越しにございますか」

問はれて、

「手前事は筑後柳川の浪士にて橘民部之助と申す者にございます、御門入のため推參いたしましたが先生に宜しくお傳へ下さいませ」

名刺を出した、それを受取つて取次ぎの者は不傳に差出した不傳はその名刺の文字を熟と見て暫く考へて居た、今は活字で名刺が出來るが幕府時代は自ら書いたもので拙でおこした名刺は失禮としてあつた、

「これ〳〵木村、其人物は何歳位であつたか」

「左樣でございますな、年は三十歳にも成りませうか、色白の眼の細い物言のしとやかな、上品な人物でございます」

「ウムさうか、左の眉尻に黑子はなかつたか」

「それには心着きません」

「客間に通して茶を出して能く顏を見て知らせろ」

「承知いたしました」

門人は與四郎の民部之助を客間に案內した。

不傳は何も名刺を見ながら考へて居る、そこへ門人が來て、

「先生の仰せの如く左の眉尻に黑子がございましたが能く見ますとあれは書いたものではございません」

「たはけた事を申すな、黑子を描くものはあるまい、時に木村、家に居る門人共を廣間に集めろ申聞ける事がある」

門人は吃驚して何を先生が言はれるかと廣間に來たが三四十人集まつた、そこへ不傳は參つて、

「サテ、一同に申聞ける事がある、それは只今我が門に入り軍法を學ばんと筑後柳川の浪士橘民部之助と云ふものが參つた、これは今より十一年以前、しかも五月の事であつたが駿州江尻の正大寺村に居つた高松半兵衞の養子與四郎と申す者に相違ない、それは彼の差出した名刺の文字にて察した、なれど人違ひなるかとこの木村をして能く相貌を見させたが左の眉尻に黑子があるとの事、愈々其者は與四郎である、拙者は父楠將監の仇高松半兵衞實は名菊池源右衞門を討ち果して亡父の恨みを晴らした、然るに其の半兵衞の養子與四郎は拙者を敵と思ひこれへ參つた事と思ふ、尤も高松を討ち果した際に與四郎に宛てし書面を認めそれを差置いて立退いた、其書面には拙者を敵と思はゞ江戸に出てまゐれ面會いたして尋常の勝負をいたすと斯う書いて置いた、それで彼が今日參つた事と思ふ、次第に依つては彼と死生を事はれば成らぬ、必ず騷動しては成らぬぞ、此の事を申聞け置く」

是を聞いて門人は與四郎の大膽に驚いた、只一人でこれへ參るとは彼奴は全身膽であらうと申したがこれは驚くは當然。

東だんご　アイスクリーム　名物　電八五七四　おやつの人氣者　ひたちや

滿日案內

●三行一回　金壹圓弐拾錢
●被覆度　金九拾錢
●五行一回　金弐圓
●十行一回　金四圓
●十五行一回　金六圓
●二十行一回　金八圓
●姓名在社　金五拾錢增

電話は　三六九五番　四四九一番

人事

運轉 大連市小崗子橋立町橋立 滿洲自動車講習所

裁斷 師募集（通勤）大連市黃金町九四 高田洋服店 電九八一〇番

外勤 社員募履歷持參來談要保證廿九日自後一時三時迄 東公園町技術會館一階熱帶滿洲社

外勤 卅以上男女不問全滿何れに住するも可履歷書持參又は郵送大連山縣通安田生命

寫眞 技師、助手、門生至急入用御來談を乞ふ 西通三八 猪ノ口寫眞館

販賣 員を求む、午前十時より正午まで面談 山縣第一ビル二階四號室

見習 入用十七、八歲の技術を望む方 大連市聖德街一ノ一〇六 向上社

女事 務員募集、二十三、四歲迄履歷書持參本人來談 大連伊勢町二二 伊勢町藥局

店員 入用二十二、三歲迄保證人を要す 山縣通大同ランドリ電七七二二

女中 入用身元確實家事一切責任持つ方面談自午後一時至四時 龍田町一五 利德洋行內森

女中 入用十五六歲より二十歲迄本人來談 電七七七六 尾形病院

女中 を求む、本人來談 櫻花臺七四 中澤

少女 求十五、六、七歲午後本人來談ありたし 埠頭船客待合所喫茶電七四四番

女給 廿四五歲以上の者數名至急入用有給チップ有り前借に應ず電四九番公主嶺構內食堂

女給 募集月收百圓以上確實希望者寫眞送れ 奉天住吉町 カフエーサクラ

看護 婦及見習至急入用、委細面談 聖德街三丁目高橋醫院電九二一三

看護 婦及附添婦募集派遣多忙 神明町三二愛國看護婦會 電話八六四二番 宿舍完備

食堂 擴張につき女給さん數名募集、山縣通第二市場橫 電二一四〇九 大連亭支店

敎授

洋裁 個人敎授、短期修了、九月五日より、千歲町四三 中央試驗所裏大主堂橫 中川

邦文 タイピスト短期養成 大連市大山通 小林又七支店

邦文 タイピスト養成 午前・午後・夜間 日本タイプライタ會社 山縣通

タイ ピスト英文邦文華文短期養成英邦文速記英語印書 近江町映樂館橫電四三〇八英學會

下宿

求下 宿閑靜なる室、親切なる御家庭を望む 電九五〇七

下宿 敷島廣場北に二丁左側 北海館（武藏町十番地）

下宿 大連病院右前滿鐵本社裏 薩摩町九五ホーム寮 米村 電二一九三二九番

貸家

貸家 逢坂町二一〇、八六、風呂付、三〇圓 電話五九一八

貸家 新築高級住宅貸六〇圓、場所靜ケ浦 電四四〇七 奧宮

貸室 寢台付洋間十疊床付煖房水便 若狹町一九八 兎月

二階 又はアパート借り度し御報乞ふ 市內の事 山縣通一四七 電五七一四 上野

旅館

簡易 宿泊所、大連市監部通六番地 敷島廣場電車停留場西四軒目 末廣館

一圓 トマリ、ベットの設備あり、大勉強は名古屋旅館 大連市吉野町六電六三一一番

賣買

古本 高價買入御報次第參上 市內但馬町二〇 文光堂

刀劍 研白鞘鑑定賣買自家製鍔柄止打粉有り 大連市磐城町五八 南滿堂刀劍所

古着 其他御不用品は他店より特別高價買受ます 日隆町ヱビス屋電話二二五九五

ピア ノ、オルガン中古賣買修繕調律稱造外一般 聖德街五丁目二三部井 電話九七五三

食料品

牛乳 バター、クリーム 大連牛乳株式會社電四五三七番

牛乳 バタ、クリーム アイスクリーム 滿州牧場 電話六一三三四番

フヨ 品 書籍骨董 高價買受 イワキ町 新古齋 電七四三五

ミシ ン貴金屬ダイヤ買入及擔保融通 女子商業前太洋社電二二三六一

ミシ ン高價買ます 常盤橋河島ミシン電話六六八四

雜件

印書 邦文タイプライター 印書應需 大連市大山通 小林又七支店

印書 邦文タイプライターの印書いたします 山縣通日本タイプライター會社

實印 の御用は 吉野町 一萬堂 電七八五九番

金融 會社員に小口信用御用達を致します電話〇二二八 早苗町八一番地の二 旭洋行 梶田

寫眞 大連寫眞館晝夜撮影 男女支那服の準備有 日本橋際 電話三五八四番

貸衣 裳 婚禮用葬儀用 日隆町 さかひや電五四三七番

貸衣 裳 日隆町 三浦屋 電話二二六四五番

質 大々的貸出勉强名實共に 西公園町六九番地 紀の國屋質店 電二二一六〇四

人事

技術員 數名募集優遇す徒弟十六七歲より廿一二歲迄（要保證人）大連市大正通七四 高橋看板店 電九〇一六番

店員 某會社にて商業學校出又は事務及外交に自信ある奮鬪家を求む、年齡不問自筆履歷書持參八月卅一日午前中本人來談 北大山通七番地の十 竹內豐一方

家政婦

家政婦 臺所家事一切病人附添一炊即刻派遣 西公園町五七 一日泊込一圓より 共濟寮 電二六六三番

看護婦 附添婦 派遣 寄宿完備 派遣多忙會員至急募集 大連西部看護婦會 產婆 上崎フク子 大連市下萩町十五番地（衞研隣）電話〇二六三番

家政婦 會員募集 寄宿完備 奉仕第一の精神にもえて新らしく生れました 朝日紹介所 朝日會々主 井芹馨子 大黑町一四八電話二九四七〇番

看護婦 家政婦 派遣 家事一切病人附添通勤住込何れも致します 誠心看護婦會主 產婆 三浦芳子 聖德街一丁目三四六 電話九二二六六番 派遣多忙會員至急募集

醫院・治療・名藥

早川齒科醫院 大連市西通九三常盤橋附近 電話三九七一番

性病 皮膚 坂本醫院 佐渡町二〇西廣場幼稚園裏 電話四三三二五番

評判の小松家の「まむし」天賦の滋養强壯劑です。病弱の人、虛弱な子供、劇務の方にお奬め致します。 まむし蒲燒 まむし黑燒 大連市信濃町（帝國館前）小松家本店 振替大連六二九一番

前田整骨 專門 大連西通九三 電話二八五七五番 二九四四五番 レントゲン●電療諸設備 入院應需

整骨 X光線應用 大連市若狹町（電車向陽町前下車若狹町入る）山田行正 電話三七八九番

雜件

得利格諾賓 トリゴノピン Torigonopin 醫學士福原正義先生創設 强力治淋新藥 藥價（六十球 一圓五十錢）（三十球 三圓）大連市信濃町四四 發賣元 日本橋藥局 電話八三六二番 振替大連四四九七

蓄音器販賣修繕 大連東郷町一六 廣瀨電氣商會 電話二三五〇二番 支店 浪速町二丁目

ラヂオ 蓄音器 修繕は 日滿ラヂオへ 電話二二八九一

仕立 衣裳 京吳服卸 さかい本店 大連日隆町 電五四三七

寶 ドライクリーニング商會 大連彌生高女前 電八三一六

家畜

讓犬 純シエパード背黑優秀仔犬格安分讓致ます 西公園町一四三中停近 丘堂

犬 大連家畜醫院 若狹町東本願寺前

犬 ヂステムパー狂犬病豫防注射施行入院貰費其他家畜類診療 石井家畜病院 近江町 電停前電二一〇四七番

犬 セパド準優勢血統 バロンフオン、デンド イツチエンウエルゲ ギリダーフオンダル ニー仔犬ヘクトール、 フオンシユバルツボル フスハイムX二腹仔犬 其他血統書付 籾田畜犬商會 大連市櫻花臺一四九 嶺前莊の橫より入る

映畫案內

帝國館 ●廿八日より● オール・トーキー 日活超特作時代映畫 漫畫 水戶黃門 大河內傳次郞 山本嘉一 河部五郞 尾上多見太郞 料金 廿錢 會主演

寶館 廿九日封切 愛憎秘叉錄 青柳龍太郞・歌川絹枝主演 子爵家と嗣子 高田稔・小式部八重子主演 時雨の長脇差 阿部九州男・木下双葉主演 廿錢

第二松竹館 ●二十九日より毎日晝夜 オール・トーキー 利根の朝霧 岡讓二・栗島すみ子 川崎弘子・江川宇禮雄主演 三日月の健 市川右太衞門主演

日活館 ●二十二日より リリアン・ハーヴェイ主演 女人禁制 W・F式オールサウンド版 雨の佐太郎船 バリカン若樣 料金 六十錢 五十錢

映樂館 廿七日より十錢 廿九日まで 愛すればこそ 高津慶子主演 小笠原壹岐守 寬壽郞二役の熱演

常盤座 廿六日より廿錢 兄さんの馬鹿 田中絹代主演 大林鐵太郞 阪東好太郞主演 與太物と藝者 松竹ヨタモノ大脫線

中央館 ●利根の朝霧 オール・トーキー水郷悲曲 ●三日月の健● 右太衞門の力作 漫畫トーキー二本特別上映 樂で見よい三階席あり●四十錢開放

高級サラダ・フライ・天ぷら用
日清サラダ油
TRADE MARK
夏の涼菜お料理に！
NISSHIN SALADOIL

よごれずいたます皮膚內深く滲透り早く能くきく
不汚不痛 ヨク効ク
皮膚チヤージ
水虫たむしいんきん疥なんむずかゆき所へ一つけ御試し
本家 東京

內科、外科
性病、X光線科
痔疾一切（新設）
近藤病院
ドクトル メヂチーネ 近藤寬次郞
大連市三河町四 電話五四九六〇番

は
主なる取扱品目 冷凍魚、鮮魚、鹽鮭、罐詰各一般
年中在庫品豐富
株式會社 林兼大連出張所
大連乃木町十一番地
電話七五四〇番
本社 下關市竹崎町
資本金 壹千萬圓
支店 三、門司、朝鮮、臺灣、十勝
出張所 哈爾濱販賣部

タバコのみの
齒磨スモカ
ケムリ 出てゆく ヤニ殘る 殘るヤニなら スモカで磨こ
煙草化粧品 書店ニアリ

661

われら海の子 味の素の調味で 食卓へ上れば本望！

原料は小麥

植物性の味の素が動物性の魚介料理に加はると その味がよく調和して、學理的に特別の美味しさになります。

宮內省御用達 味の素本舖 株式會社 鈴木商店

滿洲日報
八月廿八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 喜本治代
印刷人 村武盛
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

在滿機構改革問題は來週政治的折衝開始
內閣で裁定案を作成

【東京特電二十八日發】在滿政治機構改革案を繞る陸、外、拓三省間の事務的折衝は旣に三旬を經過したるも今なほ何等の進捗を見ず、各省各々自案を固持して讓らず、三竦みの形となつてゐるが、陸軍においては日滿議定書の共同防衛の立場より軍事的視點を重心とする軍部案の貫徹を期し、滿洲國の不安なる現狀を以てしては軍部案が最も適切なりとの强硬なる態度を持し、事務的折衝には最早希望を繫ぎ得ずとして、今週中に事務的折衝の經過を見た上、來週早々より政治的折衝を開始するといふが、三省案は孰も岡田首相の許に提出され、河田書記官長金森法制局長官等が中心となつて檢討を續くると共に或程度まで步み寄り次第、內閣において公正妥當なる裁定案を作成する事になつてゐる、而して三省の主張が重要な點において根本的に背馳してゐるために、政治的解決を望んでも相當の曲折を要するものと見られる

三省案の相異點

三省案の相異點は左の如し

指導精神 根本精神において陸軍側は武主文從の建前から形式は二位一體制なるも實質において軍部專制とし、對滿關係における拓務省の容喙を排除し、又滿洲國を日本と不可分の關係にある特殊の獨立國と見てゐる、之に對し外務案によれば文武分任によつて外務、軍部の手に統制し、滿洲國を以て英米諸外國と同等の獨立國と見做すものであり、拓務案は形式においても實質においても完全なる文武分任の精神に基き、外交は外交官、行政は行政官が之に當るべしとしてゐる

官廳名稱 現地官廳の名稱は軍部外務は大使館、拓務は全權府を主張しその長官としては三省とも特命全權大使とするに一致してゐるが、軍部は軍司令官を以てこれに當る事を原則としてゐるに對し、拓務はこれを暫定的制度とし、文官を原則と主張する

附屬機構 組織は軍部外務とも全權大使の下に事務總長（勅任文官）を置き拓務案は政務總長（親任官）を置かんとする、また軍部外務案によれば、その下に外交部、監督部、警務部、（憲兵司令官に現役將校並に相當官を配屬し何れも行政官を充つ）を置く事にしてゐる

權限問題 權限問題に關しては現在の關東長官に屬する滿鐵監督權、附屬地行政權、領事に屬する一切の權限を大使又は軍司令官の何れかに歸屬せしむることについては軍部、外務とも同意見である、これに對し拓務案では軍令軍政系統以外の事務は全權府の各部でこれを司ることとしてゐる

林、廣田兩相 首相と懇談

【東京二十八日發國通】林、廣田兩相は二十八日閣議に先だち午前九時五十分より首相官邸にて岡田首相と別個に會見、旣に事務的折衝を終り政治的解決の必要に迫られてゐる在滿機關改革問題に關しそれ〲省の主張を述べ、之が解決策につき意見の交換を行ひ、更にソ滿國境問題並びに○○事件の眞相を報告の後種々懇談を遂げ閣議に臨んだ

各民政署長の對策を協議
けふ關東廳に會合

在滿機構改革問題はいよ〱拓務省案に不利なる情勢を示し關東廳員は益々目的貫徹に强硬なる態度を決意してゐるが二十八日午後零時三十分から關東廳第一應接室に御影池大連民政署長以下各民政署長の會合を求め日下、中村兩局長、安永地方、小宮經理各課長列席し極秘裡に協議を行つた右は關東廳首腦部の本問題に對する重大決意につき各民政署側の意向を聽き協議したものとみられ、關東廳首腦部の態度は意外に强硬なるものとして現れて來るものとみられてゐる

在滿機關統制は陸軍にやらせよ
法權撤廢は理論的に當然
大藏公望男來連談

去月二十六日滿洲着以來間島から北滿各地を視察中であつた貴族院議員男爵元滿鐵理事大藏公望氏は一年振に二十八日午前七時四十分着の列車で來連、直に大連ヤマトホテルに投宿したが、驛頭には滿鐵武部庶務部長、杉本秘書役、林總務部庶務課長等多數の出迎へがあつた、往訪の記者に大藏男は

別に議會の質問材料を集めに來たのではない、自分は一生涯滿洲問題のオーソリチーになる決心でゐるのだから、どうしても一年に一度は滿洲が見たいと思ふし、それに何といつても自分には滿洲程の思出の地はないからどうしても來ずにゐられないのだ

と前置して左の如く語つた

在滿機關統一案について自分が陸軍案に絕對贊成であることは事實だ、在滿機關の統一を痛感してゐるものは唯啻自分一人ではないと思ふし、現在三位三體のやうな形になつてしまつたものを三位一體、または一位一體にしようとするのは當然のことでこの點については萬人異論がなく事實今新聞に傳へられてゐる陸軍省案、外務省案、拓務省案といつたやうなものを見てもその內容は大して相異は無く唯異つてゐる點は何れも自分でやりたいといつてゐる點だけである、しからば問題はこれを誰にやらせるかといふ事になるのだが、その時自分はやらせるなら實力のある者にしつかりやらせるのが一番可いと思ふのだ、事實實力の無いものにやらせたのでは實力のある者に押されるのが當然で、かうした見方からすれば陸軍にやらせるのが當然ではないか、どうも自分にはこの問題を各反對機關が唯自分達の立場だけを考へて反對してゐるやうに思はれてならない、もつと國家的に考へて欲しいのだ、然しまあ結局この問題をうるさくしたのは政府の責任で中央政府は一日も早くこの問題を解決しない限り○○問題のやうなものがまた起ることになるだらう、とに角この在滿機關統制案は陸軍案と同じものを自分は陸軍案が出る前に發表してゐる

◇

治外法權撤廢及び附屬地行政權の返還または附屬地課稅の問題なども色々喧ましいがこれも滿洲全般的に考へる必要がある、既に時代は張學良時代の對立關係から親善關係に變つて來たのだし、根本的理論において治外法權の撤廢をやるべきことは當然で、また附屬地行政權の返還は貴い犧牲を拂つて獲得した權益であるからこれをオイソレと簡單に返還は出來ぬといふのも尤もで、少くとも附屬地と附屬地外の狀態を大體同じやうな狀態になすべきことは當然のことである、この點理論的に所謂大使館案なるものには贊成であるが唯これを傳へられる如く課稅などを一時に五倍、六倍などにすることは非常識なことで、それは當然漸を追つて永い年月の間に達すべきものでこの點關東廳や在留民の意見に贊成だ、更に角附屬地の關係を除り獨立的なものにするのは日本人を自然に附屬地に閉ぢ込めることになるから相當考へねばならぬことだ。

◇

今年一年振りに滿洲を見て先づ感ずることは殘念ながら滿洲は一向に進步してゐないといふことだ、勿論都市の建築は多少增加し鐵道は相當に伸びたが農民の疲弊は一層深刻なやうだし滿人側も不景氣であり、兎に角なんといつても滿洲でこの三千萬民衆の景氣の向上をはからない限りは滿洲に景氣の出る理由はない、幸ひ最近の大豆値は相當の値が出てゐるやうだが爲政者はこの好況を今秋の收穫期まで持越すやうに努力することが先決問題だ。

なほ氏は約十日間滯連海路歸國の途に就く筈

大藏省首腦招待會

【東京二十七日發國通】岡田首相は大藏省賀屋主計、中島主稅、青木理財、川越銀行各局長、和田管理、荒井預金、關原總務、大熊工務の各部長を招き午餐會を開き所管事務を聽取懇談する處があつた

北支の近狀
新坂警視語る

在任六ケ年天津日本領事館警察署長として精勵し今回外務省警視として歸任することになつた新坂狂也氏は家族同伴二十八日入港天津丸で來連したが船中語る

北支は現在のところ極めて平穩だ、經濟狀態も緩和して發展しなければならないが、交通の不便、匪賊の跳梁、農民の疲弊による購買力の減退等によつて思はしくないやうだ、この意味において日滿支の提携は必要だと思はれる、北支の政局も變つたこともなく一般に黃郛氏の歸平を待つてゐる

滿鐵重役會議

滿鐵定例重役會議二十八日午前十時より開會、林、八田正副總裁、山西、竹中、河本、山崎、郡山、佐々木、宇佐美各理事、石本總務、市川經理、根橋計畫各部長、奧村業務、土肥人事各課長ら出席、正午休憩、午後續行した

米國海軍の軍縮方針
現條約連續か相對的縮小

【東京特電二十八日發】ニューヨーク來電によれば、アメリカ海軍首腦部は最近意見交換の結果、ロンドンに再開さるべき軍縮準備會商においてアメリカとしては現行條約の連續又は現行比率における相對的縮小を主張するか或は來年の本會議を二ケ年延期し從つて現行條約の有效期間を二ケ年延長する事を主張すべしとの結論に到達した、而してル大統領は目下豫備會商の對策に關し考慮中で、未だ確定的結論に到達してゐないが、右の海軍當局の方針に對しては同情的態度を示してゐるとの事である、若しこのアメリカの主張が容れられない場合は軍縮協定成立の見込は乏しいと觀測されてゐる

本會議手續を主に技術的意見を交換
軍縮豫備會商の方針

【東京二十七日發國通】ロンドン豫備交渉に對するわが對策は九月早々の閣議に附議して正式決定の上十六日橫濱出帆の宮崎丸でロンドンへ向ふ山本五十六少將並に秋山外務事務官にその訓令案を攜行せしめることゝなつた、よつて山本少將は右訓令の趣旨並に政府の方針を適確明細に松平駐英大使に傳達し同大使を輔佐して列國との折衝に當ることゝなつてゐるが、帝國政府としては豫備交渉は飽まで豫備交渉として本會議の討議問題たる軍縮の具體的事項には深入りせず本會議の時期、場所、議題範圍、討議方法、參加國等の手續上の目的を主として單に技術的意見の交換を行ふに止めんとする意向である、よつて豫備交渉においては日本より何等かの提案を行ふ企圖は有してゐない、尤も豫備交渉の形勢によつてわが態度を具體的に强調すべき必要が生ずれば代表部において訓令案に基き日本の妥當公正なる主張を列國に納得せしめることに努力する事となつてゐる、而して豫備交渉は飽迄自由會議として本會議における發言を拘束しないといふ建前で臨む筈である

芝罘點描 (2)
武田一路

港々の夢を求めてアメリカ水兵のリキシヤ（人力車）が走る、海岸通りはバーにキヤバレーが軒をつられて、女が招く。ジヤズに、ステツプに、港の夜は更けて——。

灯が、チラ〱と水に浮く、月が、ボンヤリ山を離れた。どこかのジヤンクで、胡弓の音が切々と、海風に乘つて、旅愁を運ぶ。

三教授來滿
林業、財政等研究に

ヴイタミンで有名な東京帝大農學部鈴木梅太郎教授、林業化學の權威京都帝大農學部志方益三教授及び財政學界に重きをなす京都帝大經濟學部汐見三郎教授の三博士は二十八日入港のうすりい丸で相攜へて來連した、鈴木、志方兩教授は來る九月二日から奉天にて開催される第二回滿洲農學會に出席のためで

鈴木教授

大連には二、三日の滯在で中央試驗所と今度甘井子に出來る大豆工場とを視察し、奉天の農學會に出席する九月十日頃歸京の豫定である

志方教授

滿洲農學會に出席してから京都大學の滿蒙研究會の仕事としてハルビン、黑河方面の林業を視察する、約三週間の豫定だ

汐見教授

京都大學の滿蒙研究會で滿洲國の財政研究を分擔してゐるのでその方面の觀察に二週間程の豫定で新京まで行く、主に專賣と租稅研究をやるのだが未だ研究も手をつけたばかりだし用意もしてゐないので滿洲のことに就いてはお話することがない、內地の財政で今問題になつてゐるのは增稅問題、鐵道益金の一般會計への繰入れ、郵便料金の三つである、增稅論も尤もな議論だが、はじめから增稅ときめてかゝれば財政といふものは膨脹するばかりのものだし、どうしても經費節減が必要だらう、その不足を赤字公債、一部有產者への增稅或ひは鐵道益金の繰入れ等で補ふのがよからう、軍需品工業家への增稅論も尤もであるが技術的に軍需品と非軍需品の區別が困難で他方非軍需品は利益を舉げてゐるものがある、郵便料金値上げも有產階級の方が年賀狀など澤山出すわけだし大衆への負擔として問題も惹起すまい、內地の景氣は所謂凸凹景氣なのでその點充分留意する必要がある、歸りには滿洲のことについてどつさりお土產を持つて來るよ

旅順電話局の移轉は絕望

米岡旅順市長、竹中同市會議長並に民政署代表は此程、電信電話會社を訪問、山內總裁不在のため西田經理部長に面接し都市美觀上、市役所前面の電々所有空地に電話局を移轉新築されたき旨年來の要望を開陳したが西田經理部長は御趣旨御尤もながら現電話局は手働器械なれど全滿的に見れば寧ろ優秀局であり、而も移轉新築には三十萬圓を要し負擔に堪へぬ旨會社の裏情を述ぶるところあり、右移轉の十年度實現は絕望視される

電々會社の豫算
經常費は一千二、三百萬圓 起業費は八百萬圓

滿洲電信電話會社の昭和十年度豫算は既に出揃ひ目下經理部において銳意査定中であるが、重役團の方針は經濟線主義を持して大體前年同樣起業費八百萬圓內外、經常費一千二、三百萬圓に止め、起業費の調達は株主の意向を徵して決定の筈なるも、重役團としては今日の金利安が持續すれば今年同樣八百萬圓程度の社債を募集する意向である、右起業費中主なるものは全滿各地における電話七、八千箇の新增設、北鐵東西部沿線その他における電信回線架設、釜山新京間ケーブル電話線新設（繼續事業）等にして民間電話も採算台へば悉く買收する方針の下に今年同樣相當額を計上してゐる、因に大連ラヂオファンが待望する既報の大連放送局新設經費約四十萬圓は營業部において豫算成立を極力主張してゐるが經理部においては經濟的見地より拒否し成立望み薄である

要港部機關長
岩川中佐着任

「陸奧」より旅順要港部機關長に榮轉の岩川隆澄中佐は二十八日入港うすりい丸で來任したが語る

艦隊に居る時屢々來連したので大連、旅順は詳しいがこちらに任務に就くのは始めてだ、また來月中旬聯合艦隊が入港するが忙しいだらう、いづれにしても將來よろしく（寫眞は岩川中佐）

米調會委員の顏觸

【東京二十七日發國通】米穀調査會貴族院側委員は河田書記官長の手許で二十七日迄に大體內定、貴族院側と學識經驗者委員は目下農林省で銓衡中であるので、三十一日の定例閣議に附議決定する筈、政友會側委員は前田米藏、島田俊雄、東武、砂田重政、八田宗吉、中桶右衞門、國民同盟側委員は小池仁郎氏と決定、孰も二十七日河田翰長へ通告した

十河前滿鐵理事

前滿鐵理事十河信二氏は二十八日新京から歸連したが、三十日出帆の定期船で歸國の途につく筈

中央試驗所長事務取扱任命

故栗原鑑司博士逝去後、渡邊沙河口研究所長が一時代理をなしてゐたが、二十八日重役會議で左のごとく決定した

中央試驗所長事務取扱を命す　參事 根橋禎二（計畫部長）

はいかる丸

二十九日午前時二十分大連港外着豫定

人事

▲鈴木梅太郎博士（東京帝大農學部教授）二十八日入港のうすりい丸にて來連
▲志方益三博士（京都帝大農學部教授）同上
▲汐見三郎教授（京都帝大經濟學部教授）同上
▲吉川英助氏（實業家）同上
▲蜷谷乘養氏（旅順工大教授）歸省中のところ同上歸任
▲伊藤達三氏（三菱重役）同上來連
▲濱田進氏（三菱社員）同上
▲堀元夫氏（同）同上
▲岡野保次郎氏（同）同上
▲藤井深造氏（同）同上
▲笠原博氏（大連市會議員）同上
▲藤井忠兵衞氏（日本生糸重役）同上
▲山崎壽市氏（同神戸支店長）同上
▲根本富士雄氏（滿洲工廠專務）同上
▲糟谷陽二氏（關東軍特務部員）同上
▲岩川隆澄氏（旅順要港部機關長）同上
▲鎌田彌助氏（滿鐵囑託）同上
▲重田恒輔氏（滿洲國馬政局技正）二十八日たこま丸にて離滿
▲福田定四郎氏（關東廳天津特置員）廿八日入港天津丸にて來連
▲新坂狂也氏（外務省警視）同上
▲天理教滿洲傳道廳團體 二十八日たこま丸にて天理教本部へ
▲大和田福德氏（朝鮮鐵道局副參事）二十八日午前七時着列車で來連ヤマトホテル投宿
▲李釗田氏（綏芬河商會長）同日午前六時二十分着列車で來連、同上
▲大藏公望男爵（貴族院議員）同日午前七時四十分着列車で來連同上
▲河本大作氏（滿鐵理事）同上歸連
▲中西敏憲氏（滿鐵地方部長）同上
▲多田晃氏（同地方課長）同上
▲十河信二氏（前滿鐵理事）同上
▲神穗常孝氏（昭和製鋼所常務）同上來連
▲梅根常三郎氏（同取締役銑鐵部長）同上
▲張燕卿氏（滿洲國實業部大臣）同上
▲安達二十三大佐（關東軍線區司令官）同日午前八時發飛行機で歸任
▲太田雄夫氏（滿鐵チチハル事務所長）同日午前九時發はとで歸任
▲岩本高次少佐（關東軍線區司令部附）同上

蛇角

支那側「露支密約は無根の風說だが日英同盟はどうですな」日本側「日英同盟は虛說だが露支密約說はどうですな」

だが然し、さういふ問答がまた虛說だつたげな。

◇

遣米使節の次ぎは遣英使節と來た、協和外交の長所でもあり、短所でもある。

◇

蘇聯の在滿機關總退却說つたはる、サテはスネたかれ、スネル奴はスネさせておくさ。

◇

在支不逞鮮人の反滿抗日、虎威を藉る代りに豚威を藉るもの、くさい〱。

◇

綿香煙花爭議が一般勞資抗爭の爆竹となつても困る、マア綿香煙花程度で終つて貰ひ度い。

七寶の柱 (101)
小島政二郎　岩田專太郎畫

鬼門 (二)

「峰さん」

翌る朝、名古屋へ汽車が着いた時、六分停車と知つて、ふみ子は新鮮な空氣を吸ひにプラツトホームを歩いてゐるところを呼び留められた。

「まあ」

笑顏を見せて、そこに立つてゐたのは、思ひも掛けぬ矢田大藏だつた。

「どうなすつたの?」

「まあ、話は後でするとして、兎に角こゝで降りて下さい」

「まあ、忙がしいこと」

ふみ子は車室へ驅け戾つた。その後から、大藏もヅカ〱車室へ這入つて來た。

「早く、早く」

寢臺の枕許や、網棚の中へ散らばつてゐる身のまはりのものを小さなカバンの中へ放り込んでゐる傍から、大藏が忙き立てた。

「駄目よ、そんなに慌てさせちや」

「だつて、もうベルが鳴つてるもの」

「ぢや、濟みません、あなたこれだけ持つて先へ降りてらしつて」

放り投げるやうにカバンを大藏の手へ渡しながら、ふみ子は何か忘れものはないかと寢臺の上を見廻した。

帽子を被りながら、ふみ子がステツプのところへ姿を現したのとベルが鳴り止んだのと同時だつた。

「ああ、忙はしないこと」

大藏に話し掛けながら、ふみ子は氣になるらしく、歩きながら、ハンドバツグの鏡に顏を映して見てゐた。

「どうしたんですの一體?」

自動車に搖られながら、ふみ子が聞いた。

「話は宿に着いてから——」

「……」

ふみ子はハンドバツグの鏡の中を覗きながら、頰にパフを使つてゐた。

「あなたは名古屋は?」

「始めて」

「ぢや、一休みしたら、お城へ案內しませう」

「お城、どつち?」

「生憎お城とは反對の方角へ走つてゐるんで、見えない」

まだ朝靄の去り切らない町々は旣に活動を開始してゐた。

「ええ」

「ホテルでなければいけませんか」

「そんなこともないけど——」

「ぢや、僕に任せといて下さい」

「どこへ行くの?」

「あ、ここが柳橋。あすこから、大山へ行く電車が出るんです」

「大山?」

「ええ。日本ラインを脚下に見る白帝城のあるところ」

「ああ、さうお」

「この邊が榮町通り」

「大須の觀音は?」

「大須は通り過ぎてしまつた。それに、このメーン・ストリート（大通）から右へちよいと逸れなきや——」

「私の知つてることつて云へば、お城と大須の觀音位のものだわ」

「ハハハ」

公園らしいところを通り過ぎると、町幅が廣くなつて、家並が段々まばらになつた。

「どこへ行くの? 淋しくなつて來たわね」

「靜かなところへ行くには、メーン・ストリートを出外れなければ——」

「何てところへ行くのよ?」

「八事」

「東京でいへば、どんなとこ?」

「さあ、どこだらうな? 東京にはちよいとありませんね」

臨終を前に口述した熱誠"仕事の遺書"
中央試驗所員を泣かした　故所長栗原鑑司博士

さる二十五日朝逝去した滿鐵中央試驗所長栗原鑑司博士は仕事と研究以外は何事も念頭に置かなかつた人格高潔な科學者で

逝去の 間際まで中央試驗所員と仕事の相談をした位であつたが果然死の前夜に口述した長文の遺書があることが死後に發見された、即ち故博士は二十二日夜食鹽注射を行ふ際死期近きを悟つて自ら鉛筆で

青野千里重荷負ふて一里かな　司

と辭世の一句を認めたが、死期迫つた二十四日夜親近者を呼び

苦しい 息の下に口述したので、極めて長文だが一字一句も私事に亘ることなく徹頭徹尾中央試驗所の事業と研究について試驗所員に後事を依頼したものである、この遺書は二十七日中央試驗所において渡邊試驗所長代理より一同に披露されたが、句々人に迫る熱誠に、冷靜な科學者たちも痛く感激して涙を流す者もあり、滿鐵社員で

仕事に ついてかゝる眞劍な遺書を殘したことは前例がないだけに滿鐵社內でも非常な評判になつてゐる、遺書の全文大意は次のごとくで、署名は鉛筆の自筆である(寫眞は栗原博士)

自分が こちらに來任した時はこの大試驗研究機關を擔任することを名譽とし大きな希望を抱き、從つて色々の計畫を持つて來た、その第一は石炭液化である、これは海軍でもやつてゐるが滿鐵でもやるべきことを主張し小規模ながら工業的裝置を造つた、現在としてはあれでやられればなるまいが、何分これは國家的大事業だから滿鐵も利害を超越して是非完成せねばならず、それには將來は現在の位置を變へてやらねばならぬ

第二に マグネシウムは試驗の結果工業化された　しかしなほよい方法がある筈だから研究して案出して貰ひたい　第三にアルミニウムは目下工業的試驗中だが、現在の乾式のみが唯一の方法でないから濕式をも研究して完成されたい、第四に耐火材料は滿洲の資源中重要なものだが、未だ研究に着手してゐない、しかしこれは工業用材料として重要なものだから十分力を注いでよい耐火材料を作り出して欲しい

第五に 大豆工業は試驗所の試驗の結果が既に工業化された、しかしその副產物方面の研究はまだ着手してゐない、本工業は油や粕は安くとも副產物の利用方法如何によつては工業そのものゝ經營を樂にし價値を高めるものであるから是非着手して欲しい、第六にセール油の水素添加は現在研究中だが、將來內燃機關に使用するガソリン及び重油の製法として重視せねばならぬ

沙河口 研究所關係では第一に現在作つてゐる冷凍室低溫度の各種材料試驗を行つて滿洲に適する材料の選擇をなすべく、第二に建設中の熱經濟研究室は各種工業に熱利用の經濟價値を增すために努力されたく、第三に機關車試驗裝置は滿洲の鐵道に適切なる機關車の製造に必要なものだから滿洲特有の試驗をなすべきである

第四に 無線電信電話は直に實用試驗にかゝり、水質調查および水處理研究は滿洲工業に重大なる影響があるから是非完成されたい

◇

自分は一度出社して訣別の辭を述べるつもりであつたが今はそれも出來なくなつた、時局重大な際、各自社業に全力を盡すと共に自分がかれて主張した合同技術の精神で事に當られたい、自分は最早筆をとることが出來ないから親近者に口述筆記せしめた

昭和九年八月二十四日　栗原鑑司(印)

眞野畫伯個展

水彩畫殊に「ばら」の水彩畫を以つて知られる日本水彩畫會幹事眞野紀太郎畫伯の個人展覽會は既報の如く愈々來る三十日、三十一日の兩日に亘り本社後援を以て滿鐵社員俱樂部で開催されることになつたが

同畫伯は明治三十四年故大下藤次郎、丸山晩霞兩氏などゝ共に水彩畫研究所を起し更に大正三年石井柏亭、中澤弘光、南薰造諸氏等の賛同を得て日本水彩畫會を起し爾來同會の幹事として活躍して居る斯界の大家であり一方同畫伯は大正十一年歐洲諸國を繪行脚し同十三年には海軍練習艦隊に便乘し南洋及び濠洲ニュージランド等を遠航した事がある

同畫伯獨得の力強い描寫、筆觸は觀者を魅了するであらう(寫眞は眞野畫伯得意の水彩畫ばら)

滿鐵モーター研究會が州內一周の壯擧
本社後援・九月一日決行

滿鐵モーター研究會では創設三周年の記念事業としてかねてより關東州內一周の計畫を立て着々準備中であつたが來る九月一日の關東州始政記念日を期し本社後援の下にこの壯擧を決行することゝなつた、尚一行は總勢十五名で、ビック、フォード、シボレーその他トラック、オートバイ等に分乘し途中各種の性能試驗を行ふと共に金州、貔子窩等に於て映寫會を催しモーターに關する思想普及を計る豫定で來る八月三十一日午後四時本社前を出發點として左記日程の下に全コース、二百五十哩突破の壯擧に就くことに決定した

八月三十一日(第一日)
午後四時　滿日本社前出發
午後五時半　滿日旅順支局着
午後七時　南關嶺通過
午後八時　金州民政署前着(一泊映畫會開催豫定)

九月一日(第二日)
午前六時　金州民政署前出發
午前七時半　愛川村着
午前十一時　蒼家屯着
午後三時　貔子窩通過
午後五時　城子疃着
午後七時　貔子窩民政署前着(一泊映畫會開催の豫定)

九月二日(第三日)
午前八時　貔子窩民政署前出發
午前十一時　普蘭店民政署前着
午後四時　滿日本社前歸着

梅若流兩大家

謠曲による日本古來の持味を、改めて在滿の日本人の胸に蘇へらせ併せて隣邦滿洲國の人士に謠曲の好さを知らしむべく謠曲の梅若流滿洲支部では特に今回宗家代理として土田快介氏並に青木永三氏を招聘したが、兩氏は二十八日入港うすりい丸で來連した、土田氏は梅若流における第一流の師匠で十月六日迄一般稽古に從ひ九月一日、二日羽衣女學校において兩氏歡迎謠曲大會が行はれる、船中土田、青木兩氏は交々語る

初めての土地で巧く行けば好いと思ひます、本氣でやるつもりですが御承知の如く二人で來た丈ですから單に素謠、獨吟、仕舞をやる丈で、當地支部の方にもお力となつて頂きます(寫眞左土田、右青木兩氏)

眞劍な內地の防空演習振り
小澤太兵衛氏歸連

關東州防空演習の際中央分團長として活躍した小澤太兵衛氏は七月末關西で行はれた三府六縣に亘る防空演習を視察併せて近く關東において行はれる東京川崎橫濱三市聯合の防空演習の豫行とも見らるゝ部分演習を見學の上二十八日入港うすりい丸で歸連したが語る

內地の方では最近の北鐵交涉に對するロシア側のあの態度を一樣に憤慨し殊に交通機關たる東部線の顚覆陰謀に至つては言語道斷であるとの見解から國民は一樣にイザと云ふ時の肚を作つてゐる、それだけに關西は勿論今度の關東における防空演習も全く本物位の物凄さ、特設防護團員を加へれば百萬人を突破すると云ふのだから素晴らしい、大連市の防護團も單に演習の時のみでなく常に備へる意味で時折綜合演習の必要があると思ふ

大型の新料金九月から實施
けふ組合から認可申請

揉み拔いた大型タクシー料金問題は關東廳案に基き組合役員の手で合理的な料金作成が行はれてゐたが二十八日午前漸く完成し、藤井梅野正副組合長は大連署保安係を

通じ 關東廳に認可申請を行つた、之れが手續は全く形式的なもので關東廳としては出願內容に異議なかるべく折返し認可指令あり、いよ〳〵來る九月一日から新料金の實施を見ることゝなつた

即ち關東廳案に基く新料金は既報の如く空車(車庫、街頭、埠頭、驛の駐車)乘り込みは一區四十錢で、聖德街或は櫻花臺方面の中間料金及び星ケ浦、老虎灘方面の郊外料金は

更に 十錢引となる、例へば中間料金は六十錢、郊外料金は一圓十錢といふ値下を見る譯である、更に電話呼出は一區料金のみ從來通り五十錢であるが中間料金及び郊外料金は一割から二割までの値下げが行はれてゐる、例へば中間料金は七十錢郊外料金は一圓二十錢である、なほ組合發行の共通乘車券を使用すれば、前記料金より更に九分引の格安となる譯である

右の料金表は營業者は勿論運轉手間の諒解を

得た 結果出願となつたものであるが、白熱化してゐる豆タクとの競爭も勢ひ空車四十錢制度は最初の計畫通り三十錢を以て走ることゝなるであらうと見られ、タクシー界の料金競爭はなほ當分續けられるであらう

日召ら四名に死刑の求刑
けふ血盟團事件公判

【東京廿八日發國通】社會機構の變革を目標に特に政黨財閥の打倒を企て一人一殺主義の下に井上準之助氏、團琢磨男を暗殺し全日本を震駭せしめた所謂血盟團事件の盟主井上日召外十三名に係る殺人並に殺人幇助の公判は二十八日午前九時より開廷木內檢事の論告後十時四十分左の如く求刑があつた

死刑　井上日召
同　小沼正
同　菱沼五郎
同　古內榮司
無期懲役　四元義隆
懲役十五年　池袋正釟郎
同十年　久木田祐弘
同十年　須田太郎
同十年　田中邦雄
同八年　田倉利之
同八年　森憲二
同七年　黑澤大二
同六年　伊藤弘
　　　　星子毅

今曉京圖線で貨車脫線顚覆
匪賊の仕業と見らる

【新京電話】二十八日午前四時頃京圖線蛟河發吉林行第八二貨物列車が額穆、六道河の中間(新京起點一八三粁半)を進行中突如一大音響と共に列車前部七輛目より後部十三輛は脫線顚覆し原形を認めぬまでに粉碎他の六輛も脫線した、原因及び損害については目下調查中であるが右地點は目下鐵橋架け替工事中にして匪賊の爲に工事用道具一切を掠奪されて居り匪賊の仕業と見られてゐる、これが爲に新京發五一列車は現場を徒歩連絡してゐるが午後四時頃までには復舊の見込みである

馬の花婿探し
重田技正內地へ

滿洲國馬政局ではかねてから馬匹改良につき種々考究中のところ、最近勇敢なる日本馬を滿洲馬の花婿として迎へることに決定、馬政局技正重田恒輔氏は二十八日出帆のたこま丸にて內地へ赴いたが、これが爲に日滿馬の花婿は日滿親善を行はれるわけである

小唄の勝太郎
藤山一郎らと來連　九月十三、四兩日大連で公演

我國小唄界の女王として帝都に君臨してゐる勝太郎が通俗小說の大家長田幹彥氏を監督として同伴九月上旬來滿、大連では大連劇場において滿鐵地方課後援の下に十三四の兩日出演することに決した、一行にはこの外流行唄の寵兒、藤山一郎も加はりビクター專屬バンドを從へて十八名でなほ德山璉も來滿方を交涉中で多分同行する筈であるが、斯くの如く流行小唄界の明星が打揃つて來滿することは珍しいことである、なほ大連出演後は沿線を巡るが新京では十八、九の兩日公演する筈(寫眞は勝太郎)

沿線牛馬の半數斃死
北黑沿線に炭疽病猖獗

【ハルビン二十八日發國通】二站大黑河間を通ずる北黑線沿線の炭疽病は日に〳〵猖獗を極め、二十七日

現在の 斃馬牛頭數は既に二千數百頭に達し沿線農民所有牛馬頭數の半數に及ばんとしてゐる一方滿鐵、日本軍、滿洲國から派遣された防疫班一行は不眠不休で防疫に努めると共に沿線住民に豫防注射を行ひその蔓延を極力防止してゐるが既に五十名

以上の 苦力農民が炭疽病で斃れ日に〳〵蔓延の兆あり當地日滿官憲は炭疽病菌のハルビン侵入を極力防止すべく第二段の防疫策を講じてゐる

けさ小崗子の情死
女は絕命、男は助かる
‖男には別に情婦があつた‖

二十八日午前六時頃市內小崗子料理店敷島樓で朝の靜けさを破り三階の一室から異樣なうめき聲がするのに家人が

驚き かけつけて見ると同家抱藝妓妻吉事龍口芳江(二〇)と登樓客原籍福井縣南條郡武生村、沙河口京町理髮店紀念軒主人小林長二(三三)が劇藥を嚥下し苦悶してゐるのを發見、直に博愛醫院にかつぎこんだが女は間もなく絕命、男は生命危篤である、小林は二三日前初めて敷島樓に登樓し未だなじみも淺かつたが家庭的に複雜な

事情 があり常に死を口走つてゐたところへ女も千八百圓の前借をかゝへ悲觀してゐたのでつい意氣投合し互に世をはかなみ發作的に死を決意したものらしい、情死の枕頭にはつたない男の筆で"二人を一緒に燒いて下さい"と父宛の遺書に最後の願ひが綴つてあつたのも一入哀れであつた

男の愛人

小林は沙河口京町に菓子屋を營んでゐる父親の隣にあつて理髮屋を經營してゐたが最近阿倍某といふ者と知り合ひになりその

世話 で聖德街の野口明治氏より三百圓の金を店を擔保として借り受けてなり敷島樓へは阿倍某と二人で二、三回に亘つて遊びをつゞけた後この始末になつたものであるが、小林は何故死を選ばねばならなかつたか、彼には元沙河口カフエー美人座の女給をしてゐた田島トシ子(一九)といふ愛人があつた、トシ子は二ケ月程前大連を去り營口に赴いたがその後も小林との間に文通があり小林は營口にあるトシ子の許に送金をしなければならなかつたといふ事情もあり、その後トシ子との間に面白くない

空氣 を生じたため悲觀的になり送金すべく都合した三百圓の金もやけ氣分になつた當時の彼には無用の長物となつたわけで隙間に乘ずる阿倍某の誘惑に負けフラ〳〵と敷島樓に登樓し彼の立場に同情をよせる妻吉と短かつたが死を誓り合ふ程の深い仲となつてゐた

三百圓の大金を懷に持つて遊んでゐる息子を見て父親の房太郎はびつくりして二十七日も一日敷島樓から呼びかへし兄の芳男と共に懇々と注意をあたへたが煩情に狂つた小林は又もや夕方家を飛び出し妻吉をさそひ出し映畫見物としやれ込み十一時頃何氣ない風を裝ひ歸樓二十八日午前四時頃カルモチンと昇汞を

嚥下 覺悟の自殺をはかつたものらしい長二の遺書左の如し

父上樣、私は今から死に行きます、ゆるして下さい私の不幸を、營口にも金を送らなかつたです、お金は全部費つてしまひました、そしてこの妻吉です、たつた二日の客だつた私を死ぬ程愛してゐたのです、そして私の心に同情し、自分の身を思つて私も死ぬと言ひ出したのです、では父上樣御身大切に　長二

父上樣

最後の御願ひです、二人を一緒に燒いて下さい――寫眞(上)妻吉(下)トシ子――

"同性愛"二人娘
母を棄てゝ渡滿

お互にたつた一人の母親をおいてけぼりにして滿洲で大いに花を咲かせようと情熱の南國鹿兒島から手に手を取つて來滿した同性愛の娘さん二人

同縣揖宿郡頴娃村ハツ長女中村ミサエ(二五)同郡チヨ長女野元シマ(二二)の二人はともに母親に無斷二十八日入港うすりい丸で來連したが、それより先に入つた取押へ手配電で「一寸待て」と水上署に引張られたが『妾達死んでも滿洲で働きたいわ、何處で働くにも二人で一緒』と係官の說諭も母親からの涙の手配電も何のその情熱あふれるところを見せつけた、いづれにしても原籍地に同人等の身柄に關しては照會中である

小旗理事チチハルへ急行

【大阪特信】一ケ月延期されて九月上旬來朝の豫定だつた黑龍江省滿蒙八十五名の日本商工觀光團は北滿水害の影響をうけて豫定人員の半數にも不足する狀態であるので更に時日を延期するか或は明年に延期するかどうかを決定するため黑龍江輸入組合大阪駐在小旗理事はチチハルに急行した

滿洲體聯と日本體協の提携
兩者間の蟠り全く氷解

【東京二十八日發國通】滿洲體育聯盟の飯澤、難波兩氏は既報の通り二十七日午後五時丸の內中央亭において日本體育協會の平沼副會長、緣名幹事、小川名譽會計以下各專務理事と會見、先づ滿洲側より舊滿洲體協の解散、新體育聯盟創立の經過を報告し過去にこだはらず率直に新體育聯盟と日本體協との緊密なる提携を申出たところ日本側もこれを諒とし欣然相提攜相互の進展に努力する事を約した、これによつて極東大會以後の兩者の蟠まりは全く氷解したので體協では來る三十一日理事會を開催し如上の成行きを報告して承認を求める事となつた

此の提攜成立の模樣を滿洲兩代表は直に新京本部に打電その訓令に基いて東洋大會加盟の手續を執る事になり更に日本體協は滿洲側の希望に依り米國陸上チームの渡滿、日滿蹴球對抗戰の企圖等に斡旋する事を快諾した

米軍監督が承諾すれば
滿洲國の招聘實現

【東京二十八日發國通】日本陸上聯盟の日米陸上競技會準備委員會は二十七日午後六時より開かれ左の如く決定

滿洲國の米軍招聘に關しては米國選手團の監督が承諾した場合には競技或は練習をなさず單にティ・パーティに出席するだけの意味で新京に立寄ることに內定しその日程は二十五日朝大連發同夜新京着一泊し、二十六日交驩會出席、二十七日朝京城に向け出發

聯合艦隊歡迎打合

大連市役所では三十日午前十時關係方面の參集を求めて聯合艦隊歡迎打合せをなす筈

・・・滿壽屋モスリン店賣出　磐城町マスヤモスリン店は二十七日から三十一日まで決算前の大安賣を行つてゐるが夏秋冬物の大破格提供と云ふのでなか〳〵盛況である

石田家不幸　市內監部通大信洋行專務石田榮造氏嚴父榮吉氏は鄉里に於て病氣加療中の處藥石効なく九十一歲の高齡を以て二十六日死去、二十八日市內東本願寺に於て盛大な追悼法要が行はれた

天氣予報

二十九日　南の風曇時々晴
滿潮(午前零時四〇分 午後零時五五分)
干潮(午前六時五五分 午後七時一五分)

各地溫度(二十八日午前十一時)
大連 二四　奉天 二六
旅順 二三　新京 二六
營口 二五　新義州 二四
ハルビン 二六

今日の小洋相場(十一時半)　金百圓につき百十三圓五十五錢

御燒香御禮　石田榮造

會葬御禮　男 栗原敬一

弊組土木部主任佐多逸郞儀病氣入院中の處突然病革り昨二十七日午後八時死去仕候間此段辱知各位に御通知申上候　追て三十日午後一時より二時迄奉天西本願寺に於て告別式相營申候　昭和九年八月廿八日　奉天青葉町十四番地　碇山組

新講談 丹下左膳 (208)

林不忘作　小田富彌畫

藝心阿修羅(二)

さ、思ふと……再び。

「コラ〳〵、動いちやいかん!うつと立つて居るのは、辛抱が出來んか、はゝはゝゝ、宜し。休まうナ暫く」

?何?もう疲れたといふのか。ぢつと立つて居るのは、辛抱が出來んか。

別人のやうに若やいだ、艶のある作阿彌の聲。

獨り語?

それにしても、變だ。さながら話し相手があるやうな口調である。

若しこゝに、彫上げるまで人に見られたくないといふ絶對境の作阿彌の藝術心に、些少の尊敬しか拂はない人があつて、今この小屋を隙間から、ソツと覗いたとしたら……。

アッ――とその人は、おどろきの叫びをあげるに相違ない。

矢づ張り一人なんだが、話相手はあるのです。

馬だ。

今で言へばモデル。一世一代の思ひ出に、生けるがごとき馬を彫らうと、鑿の先に心臟のすべてを傾けることになつた作阿彌は、馬の骨格、體形などは隅の隅まで知つてゐる彼だが、それでも、今度はモデルが欲しいと思ひ立つて、

「單に、手本にするだけでは御座りませぬ。活きた馬と朝夕起居をともにし、その習性を忠實に木彫に寫してみたいといふのが、愚老の心願で御座りまする」

かういふ作阿彌の願ひ出を受けた柳生對馬守は、こけ猿の茶壺がなければこの日光にも事を缺き、手も足も出ない程の貧乏ですけれども、武張つた家柄だけに、名劍名槍などゝともに、馬には逸物が揃へてある。

まだこれは、この日光へ發足前江戸の上屋敷にゐる時分だつたので、さつそく作阿彌を厩の前へ連れて行き、一頭づゝ廣場へ引きだして見せたのだが、どの馬にも、默つて首を振るばかり。

最後にひき出した馬は「足引」といふ名のある對馬守第一の乘馬で、一と眼見た作阿彌は、初めてうむと大きく頷いたのだつた。

あしびきの山鳥の尾のしだり尾の……。

古歌にちなんで足引と命名されたこの駿馬は、野に放したが最後山鳥のやうに俊敏に、草を踏みしだき、林をくゞり、いや、鳥のごとく天空をも翔けんず尤物。

これを措いて、ほかにモデルはない。その足引が、今この日光の山奧の仕事小屋に、連れこまれて燃え上がるやうな作阿彌老人の制作慾の對象に置かれてゐるのだ。

「さア、かいばをやらうなア」

と作阿彌は、まるで人にもの言ふやうに、しきりにたてがみを撫でながら

「今度は、ぐつと首を上げて、正面を睨んでゐて呉れよなア」

優しく賴むやうに言ふのですが、いくら利口な馬でも、さう註文通りにはいきません。

道具を拋り出した作阿彌は、すこし離れて、半ば彫かけた馬の像に、見入つてゐる。

首から胴は一木で、鑿みのあとの荒い馬の姿が、半ば出來かゝつたまゝ立つてゐる。

が、この未成品、すでに懍々と人に迫る力を有つてゐるのは、矢張り、作阿彌の作阿彌たる所以であらう。

「ウ、ム、陽明門の登り龍と下り龍が、夜な〳〵水を飲みに出るといふなら、この、おれの彫つた馬はその龍を乘せて霧降の瀧を跳び越ゼッ!」

の聲がした。

「いや、見事〳〵!」

馬が口を?

作阿彌の獨りごとに答へて、別と、作阿彌老が振り返つた時――。

映畫演藝

パ社映畫紹介　ボレロ　日活館上映

待望されてゐたパラマウント映畫「ボレロ」がいよいよ上映される「ボレロ」はフランスの新進作曲家モーリス・ラベールの作品中最も大衆より喜ばれてゐる名曲「ボレロ」を主題にしたもので、ジョージ・ラフトに扮する處のアマーチュアー舞踊家が本當のダンサーとして次第に出世して遂にはパリで堂々と自分のナイト・クラブまで持ち心のまゝに踊らうとするが、苦心創作した舞踊「ボレロ」發表の夜われるが如き喝采を聞きながら息を引きとつて行くといふ感傷的なものである

この映畫には二つの見方がある一つは名曲「ボレロ」を中心とした音樂ダンス映畫として見ること、他の一つは世界一のダンサーを夢みて踊りの前に戀を押へて行く舞踊家の物語り――即ちメロドラマとして見ることこの二つであるが、メロドラマとしては前半がよく、ダンス映畫としては「ボレロ」を盛り込んだ後半がよい

映畫的に見るならば先づメロドラマとして批評せねばならぬが、前半ラフトの扮するダンサーが相手役に選んだ女からの求愛にも拘らず仕事に精進する物語りは脚色も無理がなく、ウエズリイ・ラッグルス監督のメガホンも好調を示してゐる、そしてラフトの美しく冷たい演技にもかうした役柄では矢張り第一人者だと思はせるものがある、ラフトはダンスに於ても水際立つた腕前を見せるし、色事師としても相當野心的な氣力に滿ちてゐる、前半のラフトには充分好感を持つことが出來る

だが後半は――戀と仕事の二筋道を辿ふ事件に入つてからはベルギー旅行が現れたり歐洲大戰になつたり、物語りを纏めるだけにも相當無理が見え、ラフトの演技にも全然力が拔けて唯だ感傷的な男として表現されてゐる、これでは前半の好さが安全に打ちこはされる、一言にしていへば前半は藝術的であり、後半は「ボレロ」の踊り「ラフテロ」を見せるためのみの非常に俗ッぽいものとなつてゐる

問題の踊り「ボレロ」の「ラフテロ」はスペイン民族舞踊を基調としたもので單なるステージ・ダンスの域は離れてをり珍しいものであるし、又ラフトのダンス振りも相當魅力を持つてゐる――S――

◇◇利根の朝霧◇◇　蒲田オール・トーキー、栗島すみ子、川崎弘子、岡讓二、江川宇禮雄四大スター競演、野村芳亭監督、中央館上映中

●●●大連會館(一)安東水災義捐ダンス會開催――來る九月二日午後一時より四時まで入場料一人一圓踊り次第、特別餘興として「ボレロ」の公演、福引等(二)「ボレロ」の公演は三十一、一日兩夜松永教師と小倉幸子が上演することに決定これに使用するフイギュアーは映畫「ボレロ」東京封切の際、日本舞踊教師協會市村讓治夫妻によつて初公演されたそのまゝのものでその外關西封切の際に武内忠雄教師が使用した足型を入手目下練習中である

“七寶の柱” 撮影見物記(五)

太秦新興撮影所にて　S記者

壽々喜多監督の話が終つたのが二時過ぎ、それからセットへ案内してもらふ、四時半からの「七寶の柱」セット撮影はダンス・ホールの場面でこのホールで淺田君の惣兵衛と桂珠子のふみ子が踊るのださうだ。

芝居の舞臺裏を雨ざらしにしたやうな現代劇、時代劇のセットを通り拔けて行くと、小ッぽけな池に軍艦の模型がさかしまになつたり、ヒックリ返つたりして浮んでゐる、これは東郷元帥哀悼映畫、荒木忍、森靜子主演の「東郷盃」のトリックに使つたものださうだ、その池の横に築山があり、一寸小イキな奧座敷がこしらへられてゐる、大谷日出夫第二回作品「恩讐子守唄」のセットだ。

「七寶の柱」のセット、ダンスホールの場面はグラス・スタヂオの中央部に組んであつた、助監督が道具方を指揮して小道具、大道具を配置してゐる、パイプ椅子が六七脚、ゴムの樹の鉢が二ッ三ッ、張りボテのダンスホールの壁ぎわに並べられてゐる。

これが映畫になると堂々たるホールに見えるのだから相當なものだ、撮影は四時からでまだ時間があるからといふので女優部屋を襲ふことにした

小豆色に塗られた幹部女優部屋に入ると先程まで企畫部にゐた中野かほるがヤケに髮のモシャ〳〵した女性と話をしてゐる、ヒヨイと振り返つた顏を見るとおタマだ、まさに桂珠子だ、だが何んとオデコの廣いことよ……映畫で見ても相當なモノだが、素顏で見るとまた一段と廣々と見える

●記者● 御病氣は?

●珠子● えゝ、仕事してゐると仲々よくならないデスわ

●記者● 「七寶の柱」のふみ子何うです

●珠子● ふみ子は映畫女優なんですが映畫女優の私が映畫女優の役をやつて見ると、始めて映畫女優になつたやうな氣がしますワ

どうもややこしい、いゝ、結局、映畫女優の生活なんかアンナものかしらとおタマ女史は云ふのだ、中野かほるが相槌もうたず、口をまげて笑つてゐる

そこへ助監督がやつて來てメーキアップにかゝつてくれと云ふ

撮影が始まるのだ――

セットに入るともう惣兵衛氏(淺田)千葉君(坂内)三枝君(由利)等が待つてゐる、撮影は四時から始まつた「キヤメラ、ハイ」壽々喜多監督のメガホンでダンスが始められた、ポータブルからトロットが流れ出す、桂珠子は病を押しての撮影だから苦しさうだ、相手役の淺田健二や、中野かほるが休憩毎に桂をいたはつてゐる……撮影の終つたのが六時過ぎ、メーキアップをおとした「七寶の柱」組の人々と撮影所の前の「うさぎ屋」でお茶を飲んで別れた、太陽は嵯峨の山なみに沈みかけてゐる

これから夜間撮影です、きつといい映畫をつくり上げますよと記者と握手した壽々喜多監督は自信に充ちて記者の手を強く握つた(終)

食料家庭用品増加 服裝附屬品は激減

大連、奉天の兩地で開かれた 満洲見本市の取引高

七月下旬大連、奉天兩地に開催した第五回満洲見本市の取引高は別表の如く[illegible]に達し[illegible]

第一部(家庭用品)

	九年度	八年度
陶磁器	一〇、九四二	八、八六六
世帶道具	一三七、三一五	一三〇、二〇四
家具裝飾品	七五、八六九	一三七、〇七七
玩具運動具	一二六、四八六	二〇一、五九一
文具	一二八、〇五六	二六三、二六六
金物機械類	一四九、五四四	一〇、八四一
建築材料	二九、一三七	四、一六二
電氣器具	一〇三	一四、七九九
賣藥工業品	一六、六八	二、九三
自轉車	四、四四六	—
雜品	二六六、六四三	
小計	七六六、二九九	七三二、九四九

第二部(服裝附屬品)

	九年度	八年度
吳服織物	七五、五二一	二四九、〇四八
綿及綿製品	一〇七、五六三	一三八、八六一
絹及毛織	四七、八六六	八三、八六六
布	二七、八六六	八八、八九六
メリヤス	三八、〇八七	一〇八、八八七
ゴム製品	四七、〇六四	五三、一六六
小間物雜貨	二八、六〇一	一六九、九三三
履物皮革	二、一〇九、七四九	二、三五九、七七九
化粧品		
貴金屬	三、四五三	一八、四〇三
時計	四五二、一四八	四八六、七七五
小計	三、〇四〇、〇六六	三、九六二、三三六

第三部(食料品)

	九年度	八年度
食料品	二六〇、一三〇	—
菓子雜貨	二三五、一四八	二一〇、四〇六
醸造物	二三、二三〇	二七、五九七
茶及同原料	四、七六六	四、六七五
煙草	一〇、七〇〇	—
小計	二九一、九六四	二三二、六六八

たので、それを見に來たのである、生糸の問題で來たのでない、しかし生糸界の將來は我々は勿論國家として大に考慮を拂ふ必要がある、大體に於いて將來悲觀を說くものが多い、しかしこの安い間にそこに光明を求めて進路を定むべきだと思ふ、そして輸出物は優良綸による生糸をアメリカに出し、その他のものは絹糸布と共に利用してこれを綿糸界に進出させてもつと大衆的なものにしたいと思ふ

反動時を考慮し 愼重に經營

我國重工業の將來 來連の伊藤三菱重役語る

満洲を經濟的方面より視察すべく三菱重工業會社常務取締役伊藤達三氏は堀社員以下五名を帶同二十八日入港うすりい丸で來連した、同重役一行の満洲視察はある意味で三菱財閥の満洲における積極的活動の第一歩とも見られ頗る注目されるところである、船中伊藤氏に景氣觀を叩けば

自分が満洲に旅行なするといへばすぐ世間では三菱が満洲で仕事を始めるといふ風にとり色々取沙汰されるが、今度の來滿は單に満洲の實際を見に來たに過ぎない何處まで行くか何日まで居るかも大連の支店と打合せの上だ、同時にこの機會に事變以來第一線で働いて居らるゝ皇軍に敬意を表したいと思つてゐる、内地の景氣か、工業都市は軍需工業の殷盛で豫想外の活氣を呈し、造船所、船渠の方も頗る多忙である、しかし御承知の如く生糸の値下がりに原因して農家は全く火の消えた樣な有樣で政府にしても我々にしてもこれが對策に就いては考慮を拂つてゐる、なるべく我々の方で人手の足りない場合は農村から採るといふ方法を講じてゐるが、何分この重工業景氣が何處まで續くかゞ問題で萬一その反動が來た場合を考へると相當愼重に考へねばならぬと思ふ、海外貿易の方は日本品の輸入禁止、關稅障壁なんてわけで面白くない對策を各國で取られてゐるが、好い物は好いて、それ等の障壁を巧みに潜つてよき日本品をグングンその販路を開拓しつゝある好き物に勝利あれてである、排日の本場南支なぞへも臺灣からドシく戎克によつて日本品が運ばれ、印度の如きも日本品に限るの聲が高いと云はれてゐる從つて我々としてもこの際大いに踏張る必要がある、まあ老人の満洲見物でも何か得るところがあれば幸甚だ

上陸と共にヤマトホテルに投宿した(寫眞は伊藤氏)

海運問題で 日蘭代表會見

【バタヴイヤ二十七日發國通】二十六日蘭印側は一般方針並に海運問題に關する本國政府よりの回訓に接したので、二十七日代表部會議を開き協議した結果、二十八日會談する事となりその旨我方に申出てあり長岡代表、越田總領事は蘭印代表と會談する事となつた

銘仙物語(下)

伊勢崎現代風景

新に製出されてゐる輸出向きの廣幅物は白無地を主とし、多くは南洋方面へ出るといふ。伊勢崎の今後は目下此の輸出向きの盛衰如何に依存するといふべく、福井や名古屋が支那向きを占領してゐるに對し、遠く南洋から印度方面を狙つてゐる所が新着眼ださうな。無論傳統的の銘仙は改良に改良を加へて盛んに産出されてゐるが、昔と違つて織物よりは模樣銘仙が發達し流行してゐる。圖案も劃期的の進歩を現したために御召縮緬のやうなものが出來るし、絹糸絹紡の交織を原則とするけれども安いものには人絹を加へたのも出すさうだ。又東京向きと關西向きとは縞柄と模樣が極端に違つて製産され、東京は色が濃く關西は薄色でパツとしてゐる點はお定まりの通りで、花模樣や色模樣や百花繚爛のあでやかさだ。

◇

橋本織物會社の專務橋本康治君は、此の春滿洲への販路調査のために縣下の同業者を代表した資格で渡滿したが、民度低く殊に農村疲弊して購買力皆無の滿洲國人へ今頃伊勢崎銘仙を賣らうなどとは毛頭考へてゐないし、又賣れもせぬと諦めてゐる。が在滿邦人への販路は相當發展して行くので、滿モデパートが引受けてやつてゐるから、注文は何でも引受けるし大量のものなら織元で特殊製産をしても可いといふ。元來絹織物は中間工程たる撚糸作業が重要性を有し、糸の強靱性と不揃なき整正さ撚度の如何に依る製織の區分等々繭から取つた生糸は精巧な器械にかけられて調整されるが、最近の製織は特に撚糸に重點を置いてゐる。故細野次郎君が始めた撚糸會社は豫備陸軍大佐の樋口鐵太郎君が經營の衝に當つてゐるが、決して滿洲の事業のやうに軍人萬能で鎭坐した譯でなく、早く既に大正九年から來てやつてゐる。樋口君は阿部、荒木、松井、眞崎の四大將と同期生で、大戰中フランス大使館に在り餘程進んだ頭の持主で

紡織聯隊長になつて陸軍の尖端を行くものとして進み過ぎたために辭めたのださうな。今は熱心なる工場管理者として、六百の工女が學校の校長先生のやうに思つてゐるやうだ。

◇

銘仙には直接關係はないが右の橋本君の親父末吉翁は東郷元帥に親かつた人で、故元帥の寫眞や書や與へられた品々等を澤山持つてゐるので有名だ。小笠原中將が題字を書いた寫眞帖を拵へてこれ等のものを收錄してゐるが、家の中には何の室も元帥の寫眞や書が掲げられてゐる。多年元帥邸へも出入し、丸で親類か何かのやうに待遇され翁も亦元帥を敬慕する事人一倍だつたから、これが有名になつて伊勢崎で良い意味の變り種として尊敬されてゐる「これも元帥の餘德だ」と翁は談一度元帥のとになると形を正して諄々盡きず直接聞かされた敎訓や逸話を語つては、今もなほ元帥の薨去を悼んでゐる。だから故元帥と此の翁との關係が間接に與ふる影響が伊崎のために惡くないことは言はずもがな、後世の銘仙物語には必ず効果的に織り込まれるであらう。

◇

織物同業組合長の平田吉作君の話を聞くと銘仙の製産に悲觀材料はないが、問題は値段の安いことで隨つて利益が薄い。何分にも生糸の値段が今日の慘落振では、職關的に景氣が好いとはいへぬ。マアく購買力の增進を待つことだが、インフレがブル階級の門外不出だから、一般向きの織物の賣行は當分良い筈はない。(伊勢崎にて旭東生)

東京西鮮線を 仁川、安東線に分割

大阪、安東線にも一隻增配

京濱、阪神—西鮮間の往航貨物が逐年激增の一途を辿つてゐる折から從來の日本郵船東京—西鮮線一本では常に船腹不足を告げ航路各地の出廻りに備へるため寄港地徒らに多く、自然航海が長引き多大の不便を感じてゐたが、今度この缺陷を補ふべく東京—西鮮線を東京—仁川線(三週二回)東京—安東線(四週三回)の二本に分割增配し、更に大阪—安東線に二隻を三隻(一週一回)に增配することに決定、來る九月以降實施されることになつた

満洲中銀總會

【新京特電二十八日發】滿洲中央銀行は二十八日の株主總會において今期株主配當六分据置を決定する筈である

れるものと見られてゐる

邊業銀行哈大洋	六七、五二八	一、二五
永衡哈大洋	三三、八三三	一、二五
中國銀行哈大洋	四一、三三九	一、二五
交通銀行哈大洋	二一〇、三三一	一、二五
三省兌換券	一、二九九	一、〇〇
邊業兌換券	五四〇	一、〇〇
三省滙兌換券	四	五〇、〇〇
公濟銅元票	九	六〇、〇〇
永衡官帖	二	五〇〇、〇〇

機構問題討議の經過報告を行ひ今後の對策につき協議する筈

内地左官 五十名來滿

奉天に假宿舍建設收容

内地現業員收容所設置に對しては滿洲土建協會では着々準備を整へつゝあるが、第一前提として來月初旬日滿勞務協會によつて募集選拔されて來滿する奉天左官周旋業神開組行きの左官業者約五十名の渡滿を期とし、奉天に假宿舍を建設し、同左官を收容することゝなつたが、同左官業者數は最初の豫定では約二百名の所、土建協會の規定上資格關係から五十名となつたもので、今後も殘餘の左官業者は工事最盛期を控へて續々來滿すべく明年度設さるべき現業員收容所の試驗的材料としての假宿舍設置の意義も益々重要性を帶びて來たものと見られる

南部線牽制に 偉大な効果

拉濱線假營業中の業績

【新京特電二十八日發】昨年假營業を開始した拉濱線も愈々九月一日より本營業に移らんとしてゐるが、過去一ケ年における拉濱線の營業績を顧みるに、北鐵南部線への牽制線たる同線の効果は實に偉大なるものがある、卽ち輸入方面についてこれを見るに同線經由の輸入貨物總數量は營業用、貨物社局用品、軍需品を合せ十二萬瓲を突破し、營業用貨物のみにても四萬瓲以上にして之れが北鐵に與へたる打擊は實に甚大である、北鐵運賃噸當り五十圓とみて二百萬圓の減收を餘儀なくさせ、又輸入業者へ與へた利益は北鐵運賃に比し小口雜貨七品(綿糸布、鐵作品、生果、砂糖、セメント、鮮魚)平均一噸一圓六十二錢五厘大口扱雜貨七品(品目前に同じ)平均一車當り四百五十三圓二十八錢の運賃減である、而して同線經由の輸出貨物は三十五萬噸を超過し、一噸十三圓とみて約四百五十五萬圓の減收を北鐵に與へた譯である、更に輸出業者に對しては北鐵の秘密割引に比較して噸二圓餘の運賃を輕減してゐる

生糸界の將來 悲觀の要なし

日本生糸の藤井氏語る

日本生糸重役藤井忠兵衛氏は神戸支店長山崎壽市氏を帶同、二十八日入港うすりい丸にて來連したが船中語る

この春から南關嶺の南滿ドロマイト會社の方に關係してゐるので最近第一期工事場が出來上つ

米國絹織物業 減産を中止

【東京特電二十八日發】ニューヨーク來電によれば米國絹織物工業委員會の決定で六百の織機、三萬七千人の職工に一週四日六時間交替勞働を行はしめ、平素の八割に減産することはわが蠶糸業に重大な影響をもたらすものとして恐れられてゐたが、突如實行中止を發表されるにいたつた、中止の理由は

一、減産除外の要求が出て一致の行動がされなかつたこと
二、減産命令で市場が好轉したと
三、人絹その他の侵入を恐れたと

である、減産中止は日本蠶糸業に好材料となるであらう

米穀對策で 政民意見不一致

【東京特電二十八日發】政友會では[illegible]

特産續落

歐洲筋買氣一服から

休日明けの二十七日輸出筋の買見送りとマバラ筋の利喰ひ賣りに四錢乃至六錢と低落を告げた大連特産市場に於ける大豆は二十八日は歐洲筋の買物一服と邦商輸出筋の賣出動により、各限十六錢、十二錢、十五錢、十二錢、十三錢方安と低落を辿つたが、現物大豆も賣隆百十車の買ありしのみにて邦商筋の買物全然なく一等品十四錢三厘方安と暴落、これがため各品も軟化し豆粕、豆油も閑散ながら低落を告げ高粱も九錢乃至十錢方安と暴落に大引した、最近に於ける歐洲筋買ひは在貨拂底と船腹關係による引當てと見られ、それの充足後に於ける買氣一服は當然のこと、相場もこゝ當分はヂリ安を辿るものと見られてゐる

コロンバイル 舊幣回收好績

【ハイラル二十八日發國通】ハイラルを中心とする全コロンバイルの幣制統一は各紙幣の約八割を回收し得て極めて好成績裡に一段落を告げ、北は漠河奇乾から南は新巴爾虎兩旗に至る迄普く國幣が流通され、今や繁雜極まる數々の舊幣も全く影を沒したが六月末現在に於ける當地中央銀行に於ける舊幣回收高は次の如く總計六十九萬圓餘に達してゐる(數字は國幣に換算したる額、換算率毎國幣一圓)

江省大洋	三六六、八八四	一、四〇
江省四屋債券	一、八六七	四〇、〇〇
江省官帖	三	一、六八〇、〇〇
江省哈大洋	三一、九九三	一、二五
三省哈大洋	一〇四、二六八	一、二五

大連商議役員會

大連商工會議所では二十九日午後三時半より役員會を開催、過般新京で開かれた民間懇談會における[illegible]

急速度の發展裡にある 満洲の自動車交通(三)

満鐵經濟調査會調査員 上野清

四、自動車交通網

滿洲の國情より考慮して昭和十九年迄に經濟的に營業成立する自動車線の延長粁程は都市交通を除き約三萬一千五百粁を豫想せらるのが約五、三〇〇粁あり之等を合する滿洲國に於ける十年後の自動車交通線の延長粁程は三六、八〇〇粁となる。

此の三六、八〇〇粁の自動車交通線は鐵道の競爭となるものと、國家的必要に基くものと、經營の便に基くもの等所謂特殊路線となるものは二四、〇〇〇粁にして前項に於て述べたる如く、交通機關の充實を圖るには、鐵道を經營するものを母體とする特殊會社を設立せしめ、該特殊路線の經營を爲さしむるを適策と信ぜられる。

五、自動車交通事業の統制

(イ)關東州及滿鐵附屬地

關東州及滿鐵附屬地に於ける斯業の統制機關は關東廳にあり、その統制方針は大體日本内地の夫れと其の軌を同じうして居るが、其の許可方針には獨自の政策が加味されて居る、關係法令は現在の處自動車取締規則と道路取締規則があるに過ぎない。

(ロ)滿洲國

滿洲國においては從來斯業の統制は民政部の管轄に屬したるが、輓近自動車交通事業の變遷に伴ひ鐵道の蒙る影響の甚大なるに鑑み自動車事業の重大性を痛感すると共に、之が免許に際しては一貫せる交通政策に準據するを可とし、大同二年一月(昨年一月)官制の改正となり、一定路線を運行するものゝ營業免許には之を交通部に於て處理することゝなりたるは誠に適策と信ずる、斯業が滿洲事變を契機として其の黎明時代を脫し今や開拓躍進の第一期に直面せる此の重大時期に於て特に監督官廳の斯業に對する根本方針の確立と關係法規制定の速かならんことを希望する。

六、滿洲の道路

(イ)關東州内の道路

關東州の道路は帝國の租借權承繼直後においては暫く露治時代の各道路を修理するに止めたが、大正元年州内における幹支線道路網の計畫を建て同四年略その完成を見るに至つた所謂旅島道路がこれである。

次で旅順、大連間の南、北、二道、大連、金州間道路、金州、普蘭店道路、甘井子道路等鋪裝道が相次で完成し、中にも旅順大連間南道路の如きは日本内地の京濱道路や阪神道路と比較して多少の遜色ありと雖も自動車のトラフヰツクとしては理想的のものである。

(ロ)滿鐵附屬地道路

滿鐵附屬地における街路は他の土木施設と共に滿鐵會社の管掌に屬する、會社創業當時においては附屬地狀況は大連を除き、露治時代露式家屋の多少各所に點在せしのみにして市街の體裁を爲さず、多くは廣漠たる原野と稱するも敢て過言ではない。

而して滿鐵創業と共に先づ市街計畫の急務を認め、十五の樞要地を選び之が實測を遂げ、市街計畫を建て明治四十年九月遼陽、鐵嶺の二附屬地に主要街路の築造に着手し、次で大正五年末に至り沿線二十五箇所に市街計畫を爲した。爾來大正十四年三月迄市街計畫を立てたるもの四百箇所、之等の箇所にして昭和七年三月末現在道路を築造したるは四十四市街中街路及橋梁に投じたる費用のみにても總計約一千五百萬圓に及んで居る、街路は幅員四間乃至二十間として、區劃内の小道路を三間以上となし、而して、八間以上の道路には車道と歩道とに區別して道敷には並木敷を設け胡藤、ポプラ等を植樹し、なほ廣場には花壇を設けて居住民又は步行者の

級上の郊外道路の幅員八米乃至一四米にして何れも自動車道と荷馬車道の區別があり、路面は自動車道にはターマカダム式鋪裝にして荷馬車道には一部張石の箇所もあるが大體マカダム式鋪裝である

而して道路の兩側には胡藤、白楊、楓等の並樹あり、新緑の季節には美觀を呈して居る、街路の構造については次項に述ぶることゝし茲では省略する。

に供してゐる、車道は總て「マカダム」式とし、支那馬車の通行多年の經驗に徵し漸次張石鋪に改造しつゝあり、なほ主要都市の道路はコールターを撒布し或は、セメントタイル、又は煉瓦である。

黄塵

◇…昨今の大連金融市場をみるに、例年夏枯れ時で極度の閑散をみせるのが常態だが、本年は相當繁忙で銀行方面の取引も活況を呈してゐる、これは特産市場が活氣をみせてゐるのも一原因だが、何としても滿洲國の建設事業が一般財界を潤して居る結果である。

◇…手形交換所なども、交換手形が增加し、殊に大口手形の流通が激增して、本月十日には滿鐵振出し金額一千萬圓の小切手一通、十一日には昭和製鋼所振出しの同じく一千萬圓といふ超弩級の大口手形が交換に廻り、交換所開所以來の大物だと言はれ所員を驚かしてゐる。

◇…關東廳調査の七月末現在全滿人口の動態を見ると、六月に比しての殖え方で第一位が鞍山の千百三十一名、次は奉天の千百二十名、第三位は大連の千七十名、第四位は安東の七百七十六名で、全滿第一の景氣地である筈の新京は僅かに二百二十名に過ぎないとは一寸驚かされる。

市況(廿八日)

特産 大豆暴落 歐洲買氣一服に

今朝の定期は大豆は歐洲の買氣なく邦商の賣出動に暴落を辿り豆粕豆油は人氣引立たず閑散ながら大豆に伴れ低落を示し高粱も邦商の賣物ありて低落を告げた

◇定期前場(銀建)

大豆(暴落)單位厘

	寄付	高値	安値	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

豆粕(低落)單位厘 / 豆油(低落)單位錢 / 高粱(低落)單位厘 [illegible]

◇現物前場(銀建)

大豆 五百四車 出來不申 / 豆粕 五千枚 / 豆油 五百箱 / 包米 百八十四車 出來不申

錢鈔 銀塊高で 鈔票強調

海外市況は倫敦銀塊現物、先物共十六分一高、紐育銀塊八分一高、孟買銀塊十六分一安、米英クロス同事、米支爲替同事、米日爲替二仙安、滙申九七圓三五、滙煙九六圓七五、大洋九六圓一二五、滙水百十七圓臺、上海標金一三三元安を入れ當市は人氣強く二十一圓臺を買進まれたがアト利喰に押されて結局二十錢高に引けた

◇定期前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	二二〇三〇	二二〇四五	二二〇四五	二二〇四五

出來高 三百七十七萬五千圓

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	二二〇五	二二〇〇	一一二六五
十時	二二〇八〇	二二〇〇五	一一三五五
十一時	二二〇八〇	二二〇一〇	一一三三〇
十一時半	二二〇六五	二二〇〇〇	一一三三五

出來高(銀對金三十大萬一千圓 銀對洋二十萬四千圓)

株式 内地株軟弱 土木引緩む

北濱定期の前場寄は大株大新四十錢安、鐘紡八十錢安、鐘新三十錢安、引は保合、東京短期の新東は三十圓臺を割つて氣味ちなく一齊安となり當市も内地株は惡くしたため當市も内地株は引緩んだ▲五品新豆錢鈔なども相變らずの釘付商狀であつたが土木は五六十錢安と引緩んだ▲豫算問題を首め内外環境の不透明から依然氣迷ひを免れず▲期待されてゐる秋相場もどうかと思はれるが可なり持續した低迷商狀からマバラも相當買込んでゐる振合にあり目先的に小戻しなみせる相場ではないかとも思はれる

銘柄				
東新	一四六八	一四六八	一四六五	一四六五
鐘新	一二六八	一二六八	—	—
滿鐵新	六六三	六六三	六六三	—
土木	三六一	三六一	三六一	三六六
日産	一〇〇一	一〇〇一	一〇〇一	一〇五五
電々	一一三	一一三	一一三	一一三
電乙	一〇七	一〇七	一〇七	—
朝取	二六一	二六一	二六一	—

◇爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代引代渡	日步
五品	二三	二三	二三	二五
新豆	三五	一五〇	一〇	二五
錢鈔	二五	五〇	一〇	二五
大新	九五	一	一〇	二五
東新	一〇	一〇	一〇	二五

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	二二八	二二九
中	二二八	二二九
引	二二七	二二九

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二二七	二二七	二二七	—
新豆	—	一二四	一二四	一二四
錢鈔	二二五	二二五	二二五	二二五
氷新	二二五	二二五	二二五	—
大新	九二七	九二七	九二七	—

一圓安、日産一圓四十錢安に引け、當市五品は十錢安、新東八十錢安、日産一圓安、土木六十錢安に引けた。

鐘新	一三〇	一	—	一〇
滿鐵新	一二三	三〇	一二〇	一三五
土木	三一五	五〇	一〇	三五
日産	三一五	一〇	四〇	一二五

株式出來高(廿七日)

定期	一、六七〇枚
延羅	一、六三〇枚
合計	五五〇枚
	三、八五〇枚

商品 綿糸反落 麻袋強硬

麻袋 産地鐵同事、青八分五高爲替保合、當市は銀高の好感もあり依然強氣配にて現物三十九錢賣三十八錢八厘買唱へ、先物三十九錢賣、卅八錢七厘買唱へてあつた

綿糸 米棉現物十ポイント安、先物十三、四錢安、印棉一、二留安、大阪三品は各限二圓摑み安を入れ當市は買滿服の折柄とて見送つた

上海爲替情報

外銀の磅弗賣は目先一元模樣支那人は安値手仕舞氣分なりしも值柄關係にて見送る圓のみは北方筋の賣物にて強し、金業取組は四萬臺より三萬一千本に減る、賣方六十一店、買方三十八店依然賣方多し

上海標金

寄値	五四元七
高値	五四元〇
安値	五五元六
止値	五二元五

手形交換高(廿八日)

金	一、二五五枚	九八〇、二六七圓
銀	四三枚	五二三、三三圓

爲替相場

鮮銀

倫敦向電賣(一圓)	一志二片一六分三
紐育向電賣(金百圓)	三〇弗〇分〇
同上海電賣(百弗)	一一七圓五〇
同 賣(銀百圓)	九七圓六〇
日本向電賣(同)	一一〇圓五〇
同五日拂賣(同)	一一二圓〇〇

奧地相場

錢鈔

金票對奉天票	(現物)	三、三〇〇	—
國幣對鈔票	(現物)(奉天)	一〇四、一〇	一〇四、四〇
國幣對金票	(現物)(奉天)	一一二、一〇	一一二、四〇
金票對國幣	(先物)	八八、八〇	八八、〇〇
開原國幣對金	(現物)	一一二、〇〇	一一二、〇〇
新京國幣對金	(現物)	一一二、四〇	一一二、四〇
哈國幣對金票	(現物)	一一二、一五	一一二、一五

特産

▲大豆

	寄付	大引
安東鐵平銀 當限	一、九九	—
先限	一、八〇五	—
哈爾濱 九月限	八三〇〇	八四〇〇
十月限	—	—
十一月限	七三五〇	七三七五
十二月限	—	—

市場電報(廿八日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二〇片一六分九
同 先物	二〇片一六分九
紐育銀塊	四九仙八分五
孟買銀塊	六九留比八分五
スチール	三四弗八分三
アナコンダ	一三弗四分三
英米爲替	五弗〇六仙〇分五
米日爲替	三〇弗三〇仙
米支爲替	三四弗七仙

神戸日米

第一回	—
第二回	—
第三回	—

棉花

●米棉

現物	一三仙三五
十月	一三仙〇七
十二月	一三仙二五
一月	一三仙二九
三月	一三仙三五
五月	一三仙四四
七月	一三仙五二

●印棉

ベンゴール	一四三留比
ブローチ	二二三留比

大阪株式

オムラ 一四四留比

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇六〇	一〇七〇
大新	九〇二〇	九〇三〇
鐘紡	二三七〇	二三四〇
鐘新	一四五〇	一四三〇
日糖	七六〇	—
郵船	—	—
滿鐵	—	—
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新	一四八〇	一四八五
(短期)大新	九〇〇〇	九〇三〇

	大新東新	鐘新日産	帝人滿鐵
寄値	九〇〇〇	一四二〇	一二八〇
引値	九〇二〇	一四三〇	一二六〇
高値	九〇三〇	一三八〇	一二八〇
安値	九〇二〇	一三九〇	一二四〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米 / 神戸期米 / 東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三五〇	二三五〇
中限	二三六〇	二三六〇
先限	二三七〇	二三七〇

大阪綿糸

限	前場寄	前場引
八月	二一七〇	二一七〇
九月	二一九〇	二一九〇
十月	二二〇〇	二二〇〇
十一月	二二三〇	二二三〇
十二月	二二四〇	二二四〇
一月	二二三〇	二二三〇
二月	二二五〇	二二五〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	六六五	六六五
先限	六七五	六七〇

横濱生糸

限	前一節	前二節
八月	四八〇	四九〇
九月	四九〇	四九〇
十月	四九〇	四九〇
十一月	四九〇	四九〇
十二月	四九〇	四九〇
一月	四九〇	四九〇

印度麻袋

鐵筋直積	二三留比八分一
青筋直積	三三留比一六分五
爲替相場	一志六片

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
發行所 株式會社 滿洲日報社 大連市東公園町三十一番地

遣英使節を特派し親善工作に一歩前進
政府適任者人選着手

【東京特電二十八日發】岡田首相は組閣以來、わが國際諸關係における危局を最も有力化し過般の十大政綱中においても外交關係の調整につき隣邦諸國との親善關係を深めんとするの方針を明らかにしこれが具體化工作に就いて廣田外相を初め林、大角兩相とも意見を交換してゐたが、對ソ工作に就ては現在のところ如何とも方途なく情勢の好轉を待つ外ないとし米國に對しては近衞公を初め民間の努力により相當對日空氣の緩和を來してゐるが目下何等かの積極的外交工作を最も切實に感じてゐるのは英國に對してゞあつて過般來首相は外相と意見を交換した結果、能ふべくんば此際いはゆる民間外交の實を擧ぐるため民間の有力なる實業家より適任者を得て遣英使節を派した方がよいといふに傾き目下人選中である、即ち英國一部に於てはソ聯邦が西部國境に於てその外交工作に着々として成功しつゝあり而も更に東歐ロカルノ協定の締結交渉が行はれつゝあるのみならず佛ソ協定交渉の進行しつゝある國際情勢に鑑み、漸く日英接近の必要が力說されてゐるし、英國海軍方面に於ても此說を支持するものが現れて來てゐるところへバーンビー卿一行の英國產業聯盟による滿洲視察團が既に出發せるなど聊か親日空氣の擡頭を認められるので此際帝國政府に於ても積極的に對英工作を考慮すべきだといふにあり、若し民間の遣英使節派遣が實現するにおいては外交上意義大なるべしとされ各方面から刮目されてゐる

匪賊と秘密電話連絡
逮捕犯人の自白で一切判明
北鐵東部線 軍用列車 顚覆事件眞相

【ハルビン特電二十八日發】北鐵東部線における軍用列車顚覆事件の連類者は續々滿洲國官憲に逮捕され取調べの進行に伴れて彼等の犯行は愈々白日の下に曝されやうとして居るが、彼等が匪賊と結合して如何に巧妙なる手段を用ひて列車顚覆を圖つたかを實證する一例として驚くべき周到さが彼等の自白により判明した

即ち彼等は東部線鐵道電話線に秘密の電話線を引つかけ匪賊の巢窟に導きハルビン驛の一味は沿線驛に通報する如く見せかけ列車の通過時間を通知することれを受けた一味は直に匪賊に通報し列車の通過直前にレールの犬釘を拔き又は爆破裝置をなし路警處員をして事前に防禦不可能ならしめた

右犯人の自白により現場檢證を行つた所、果して一面坡、サモフラウ驛間一、一一八キロ(滿洲里起算)の地點から三哩にわたり秘密電線をひき叢中に受話裝置あるを發見した

檢擧の嵐に堪らず 赤系從業員續々逃亡

【ハルビン特電二十八日發】北鐵全線にわたり滿洲國官憲の赤系從業員檢擧によりハルビン及び沿線に潛伏中の共產黨員は續々逃亡しつゝあるが二十七日には東部線近藤林區に白系露人自警團に化けて潛入してゐた黨員ドウジコフ、タリンコフ、ボチカリヨフの三名は私かに自動銃二、小銃五、彈丸千五百發を持出し逃亡した

滿洲國官憲閉鎖を命ず ボグラの北鐵クラブ

【ハルビン特電二十八日發】ボグラニチナヤの北鐵クラブは據て滿洲國當局が睨んだ通り北滿に於ける前衞分子の參謀本部と化して蘇聯領事館と連絡をとつて屢々會合し沿線の黨員に指令してゐたことが判明したので二十七日閉鎖を命ぜられた、これと同時に全線に亘り嚴重な監視を行つてゐるので各地のクラブも一齊閉鎖さるゝに至るやも知れず

宮內省の外廓出來上る

お濠を隔てゝ坂下門內の彼方翠松を背景に白堊の宮內省新廳舍が出來上つた、純日本美の雅致豐かな宮城內外の景觀に調和させるため樣式、色彩その他に內匠寮の苦心が拂はれてゐる、地下共に四階建て總近代式、工費二百萬圓、明秋竣工の豫定=寫眞は建築美を誇る宮內省の外觀

損害卅七萬圓の賠償を北鐵に要求
頻發する軍用列車の事故に 關東軍當局から

【新京電話】最近北鐵東部線に於て頻發する貨物列車事故は北鐵ソ聯側從業員の拘禁取調べによりソ聯側の計畫的陰謀であることが漸次明白となりつゝあるがこの被害貨車は殆ど主として軍用貨物を積載せるものでその額は莫大な數字に上つてゐる右に關し關東軍鐵道線區司令部ハルビン支部では右は北鐵運送規定第四十五條の不可抗力によるとは認められず、これは當然北鐵側の負擔すべきものとなし、最近北鐵管理局長宛に右損害賠償を要求したがこれによれば被害件數九件、被害貨車數六十車、要償額約三十七萬圓である

米價問題協議 きのふの閣議

【東京二十八日發國通】二十八日の閣議に於て岡田首相より政府拂米を鋭米として拂下げた爲めその壓迫を受けて米價が下落したといふ事だがこの眞相は如何との質問があり、之に對し山崎農相は今日の程度では拂下げ米の壓迫に依つて米價が低落したとは思はれぬ寧ろ落つき氣味となつたものと見てゐる大體穩當な米價であると考へてゐると述べた、次に後藤內相より各地の水害被害につき報告、北陸地方の水害は約九百萬圓、また秋田縣よりの報告に依れば三百萬圓に達すると述べた

失踪せる劉湘の責任を糺す
蔣介石氏代表を四川へ派す

【南京二十八日發國通】劉湘の失踪は對英借款、共產軍討伐の失敗、英蘇經濟侵略の重壓に對する無能暴露等で處分を免れずと見て打つた芝居である事が愈々明かとなつたが蔣介石氏は飽くまでその責任を追及すべく、代表楊虎城を派し嚴重調査中である、尚劉湘の居城たる重慶市中は事件の發生當時何等關知せず他よりの照會電に接して俄に騷ぎ立てゐる奇觀を呈してゐる

四川金融界 動搖を續く

【南京二十八日發國通】成都來電に依れば劉湘の失踪は成都金融界に大恐慌を捲き起し二十六日同地各銀行は一齊に取付を受け又市內では銀行紙幣の受入れを拒絕し動搖を續けてゐる

徐配下の飛行將校を逮捕

【南京二十八日發國通】蔣介石氏は前航空處長徐培根銃殺と同時に徐の配下と見られる南昌行營航空司長唐文悌その他飛行將校等七十名を逮捕、目下嚴重取調中であるなほ徐一味の放火による空軍の損[illegible]

第二次國防充實費
絕對に讓步拒絕と意見一致
陸軍省部聯合會議

【東京二十七日發國通】陸軍では二十七日午前九時半から陸相官邸で新規要求に關する省部聯合首腦部會議を開き林陸相、橋本次官、杉山參謀次長等主として地上兵力の充實、諸部隊諸施設充實等の實現を圖る事、是に伴ふ第二次國防充實計畫に就き協議した結果具體的結論に達しなかつたが最少限度の國防必要費には讓步絕對拒絕と意見一致した、而して今月末迄に大藏省へ提出する新規要求は先月末大藏省へ廻附した滿洲事變費一億三千萬圓、國防空充實一千七百萬圓、兵備改善費八千萬圓、資材整備費一億一千萬圓、其他合計四億圓を突破すべく標準豫算二億圓を加へ豫算總額は六億圓を突破する事動かぬところと察せられる

首相海相會談

【東京二十八日發國通】岡田首相は二十八日閣議に先立ち大角海相と會見したが右はロンドン海軍豫備交渉對策並に華府條約廢棄問題等に關して更に意見の交換を遂げたもので九月上旬の閣議で之等の問題の根本方針を決定する筈である

上海事變第二回論功行賞 九月初旬發表

【東京二十八日發國通】上海事變第二回論功行賞は七了口に敵前上陸をなし同事變最後の總攻擊を行つた第十一師團及び野村大將(當時中將)の率ゐた第三艦隊三千餘名を加へた約一萬名に就て行はれる豫定であるが、內閣賞勳局においては既に陸軍側受賞者の審査を終り目下海軍側受賞者の審査を急いでゐるので、九月初旬には發表の運びに至るだらうと見られてゐる

華商行商取締 緩和要求

【東京二十八日發國通】駐日支那公使蔣作賓氏の廣田外相との會見內容につき支那公使館は左の如く發表した

蔣公使は二十七日廣田外相との會見において最近秋田縣、山形縣、廣島縣その他において行商その他に從事する支那居留民に對する取締が頗る嚴重で退去を命ぜられる者相當多數あるのに鑑み、之が緩和方を要請したが廣田外相は內務省に移牒した上何分の回答をすると述べられた本日の會見においては新聞に傳へられるが如く日英同盟說の問題には一切觸れなかつた

機關改革問題
關東廳職員大會 廿七日廳內で幹部會

在滿政治機關改革問題に關し組成されたる關東廳全職員大會は依然上司に絕對信賴の下に靜觀を續けつゝあつたが二十七日午後一時より各委員初め各課主任らは本廳會議室に日下、中村兩局長以下各課長の出席を求め

概況

一、東京並に新京方面における改革案に對する狀況
一、局課長らの執りつゝある對策
一、新京における民團懇談會の

等に就き說明を聽取し更に今後の對策に就き協議に移り、關東廳案實現不可能の場合に處する關東廳員としての對策を如何になすべきかの萬一の場合のことなども上議されその間強硬論を吐く者もあつたが結局何等纏まるところなく二十八日に持ち越し同日午後一時から續行することゝなり午後四時半散會した

國策審議會設置
床次遞相さへ消極的

【東京二十七日發國通】國策審議會設置は政府內外の反對論が有力となり立消えとなるのではないかと觀られるに至つた、卽ち後藤內相や河田翰長は政黨工作としての審議會設置には反對だが純然たる國策審議の機關設置の趣旨には贊成意見を述べて居り、町田商相松田文相も贊成し岡田首相の氣持も動いたが床次、內田、山崎三相の意向は對政友工作なる事明かなので政友會の某氏は岡田首相に對し審議會設置は委員の銓衡で政友會との關係惡化の惧れがあるから設置を見合せた方がよいと進言し、政友會內の床次系も床次氏に黨內の情勢上審議會設置の不利を注意し更に貴族院方面でも政治工作としての設置は失敗を招くものであり又眞に國策審議のための設置の理由薄弱で寧ろ次官會議活用に如かずとの意見有力なので岡田首相も漸次氣乘薄となり床次氏等も消極的となつて來たやうである

選擧肅正費

【東京二十八日發國通】內務省では選擧肅正は岡田內閣の使命に鑑み選擧肅正費約三十萬圓を明年豫算に計上したが、之れが奏效を期するため本年より始め必要な經費は豫備金より支出せよとの意見を有し、事務當局に調査を命じた結果、事務當局は十月より運動を開始しこれが經費四十萬圓を豫備金より支出する事となり二十八日大藏省と折衝を行ふ事となつた、卽ち十月より各府縣に選擧肅正委員會を設け選擧啓蒙運動をする筈

大阪―松江―羅南 連絡飛行實施
遞信省來年豫算計上

【東京二十七日發國通】遞信省では過日開催の航空事業調査委員會の希望に基き明年度航空事業豫算中に內地北鮮連絡飛行實施に伴ふ經費を追加計上するため立案中のところ明年度に總額十二萬圓を計上するに決定し、床次遞相以下の決裁を經て二十七日大藏省に廻附した、その實施計畫の大要を擧ぐれば

一、航空路、大阪基點松江經由、北鮮羅南に至る
一、飛行距離、千十八キロ
一、所要時間、四時間十分
一、使用機大型水陸兩樣旅客機
一、定期航空實施補助、十五ケ年繼續總額四百二十七萬圓、內初年度八萬圓
一、航空路開設費四萬圓

實施の上は新京、大阪間僅か六時間餘を以て結ばれるわけである

財源捻出のため地方貸付金回收
大藏省各省と協調

【東京二十八日發國通】大藏省では明年度豫算編成に當り新規財源の捻出について考慮を重ねてゐるが二十七日省議を開催先づこれが對策として一般會計の歲出に基く公共團體に對する貸附金を整理する事に決定した卽ち關東震災復舊費を主體とする政府の東京府市神奈川縣橫濱市等に對する貸附金は總額二億三千萬圓餘の巨額に達し昭和三月末現在に於ける元利延滯費を含む未償還金總額は一億九千五百七十一萬八千圓となつて內既往の元利償還義務費を見ても六千五百十九萬圓に達してゐるに拘らず償還濟のものは僅かに三百八十九萬圓に過ぎず地方公共團體の豫算に於ても政府に對する償還金を全然計上して居らぬものが多く國民の負擔に於て復舊したものが國家財政の困窮の際返濟義務を怠ることは負擔均衡の立場から見ても面白からずとの見地から大藏省が主動的立場に立つて內務、文部、外務、拓務等の關係各省と協調して右貸附金回收に關する具體策を練る事になつたものである

尚は回收せんとするもの內にはブラジル、天津、青島等の居留民團に對する貸附も當然問題となるべく之等貸附の回收によつて政府は年額千六百萬圓乃至千三百萬圓の增收を期してゐる

新義州の滿人 領事館設置待望

【新京電話】新義州の滿洲國領事館設置の報に同地中國領事館は大いに狼狽し頻に該問題に關する情報蒐集と對策に腐心しつゝあるが朱領事は南京政府に該問題に關する報告の爲に三週間の豫定で歸國することになつたが、該問題に關する同地有力者の意向は

新義州居留民は滿洲國領事館がない爲に支那領事の管轄であり安東の同胞が滿人として恩惠を受けてゐるに反し、吾々は支那人として扱はれてゐる、それに吾々は中國領事館からは何等の恩惠も受けて居らずこの點より滿洲國の領事館の設置は大いに待望してゐる

羅振玉院長

【奉天電話】滿洲國監察院長羅振玉氏は二十八日のはとで過奉大連に向つた

人事

▲青村常次郎中佐(滿鐵囑託將校)二十八日午後四時二十分發列車で北行

大觀小觀

滿鐵中央試驗所長栗原鑑司博士、死に臨んで試驗所の仕事に關する抱負希望を陳べて遺書と爲す▲これこそ眞の學者、事業家、紳士、人間▲世の寶、人の鑑としてこの方面にも欲しい人物▲滿鐵衞生研究所の笠井久雄博士天然痘退治の注射液精製に成功す▲種痘で安心出來ないこと明白な今日、實に天來の福音、世界への日本の誇り▲廣く實驗を重ね、早く法的效果を持たせたい▲血盟團井上日召等十四名の檢事論告求刑があつた、死刑、無期懲役から、十五年乃至六年の懲役▲當時世間に漲つてゐた沈鬱な空氣を破つて一般に與へた衝動、新に思ひ出される▲實に怖るべきは北黑線の炭疽病、馬牛の斃るゝもの既に二千數百頭、人にも傳染して、防疫班不眠不休の活動▲人爲的に撒きちらした疑ひがあるといふに至つては、その非人道驚くに餘る▲正岡子規三十三回忌の法要並に俳句大會、鄉里松山市の海南新聞主催で行はれる▲あの頃の文學者の氣魄態度、一般に追憶してもすがすがしいが、殊に子規のそれは神々しい。

本日朝夕刊十六頁

特輯ページ、第五面に小野實雄氏の「機構改革問題と治廢問題の考察」並に國際點描、第七面に日笠旭東氏の「內地の高原避暑地」を揭載

〃法〃の危機
十月から年末迄

【東京特電二十八日發】パリ來電=弗が再び引き下げられないといふに拘らず磅の低落は磅が法との連繫を斷つて弗に追隨するのではないかとの不安あり、法孤立の形勢を示して居る、然し目先法金本位停止の危機はないやうだが國內農村不振、產業不況等はなほ法の危機を語り一般の輿論は依然金本位維持を根強く支持して居り政治的經濟的に十月の議會開會後年末までが法の危機と見て居る

附屬地居住者代表大會 九月二日奉天で

【奉天電話】奉天聯合町內會、地方委員會、居留民會聯合分會主催のもとに、來る九月二日午後三時から奉天公會堂に於て全滿附屬地居住者代表大會を開催し附屬地行政權移管問題について一致して反對の決議をなし要路に打電することになり二十八日州外附屬地居住者各團體機關に對し代表者參列方案內狀を發送した

點心 東拓の使命は農村金融 渡邊得司郎氏

◇…東拓新京支店長の渡邊得司郎氏は、その昔遼東新報に記者生活をしたことがあり在社中は雄辯會などを發起して商工會議所の樓上を會場に得意のフレノロジーから一般學術講演などをやつて大に氣を吐いて居たものだ。

◇…この渡邊さんが新聞記者をやめて東拓入りをするとき、〃渡邊君の會社生活は一寸板につきさうもないネ〃など批評したものであつたが、爾來春風秋雨二十年、近ごろの渡邊さんはからだも肥え太つて何處から見ても押しも押されもせぬ立派な實業家タイプだ。

◇…處がこの渡邊さんにも一つの惱みは建築資金の借金申込者にワイワイ攻め立てられてることだ、中にも手強い連中はあの手、この手で攻めかゝるが、渡邊さんは何時も柳に風と受け流してほどよく扱つてる。

◇…そして東拓の使命は都市金融よりは農村金融が第一義だと說き聞かせ道に農學士だと對手を感心させてる。(新京)

社説

十大政綱を取出して見る

岡田內閣は七月二十日その十大政綱を發表した。而して着々之れを實行に移す可きを聲明した。爾來一月有餘、所謂政治季節に入らんとして、此政綱が如何に政府によりて取扱はれつゝあるかを檢討するも無用であるまい。その中只今問題になつてゐるもの〻一は外交に關する事だ。政府の聲明は列國との誼を一層厚くすると共に帝國の使命遂行に遺漏なきを期すといふのであつた。現在歐米にて專ら問題になつてゐるのは日蘇間の問題で、日蘇間が如何にも不穩なるが如くに傳へられてゐる。北鐵交涉頓挫以來、蘇聯の態度も頗る怪しむべきものあるやうだが、我外交は最も愼重の態度を執りて之れに對してゐる。

◇

而して東洋和平に最も密接な關係ある日、英、米三國間の國交圓滑に注意してゐるが、英米も亦同樣な注意を拂つてゐるやうだ。さすがにウカと日蘇間の空氣に卷添喰はぬ心掛を示す。米國には我國から曩に非公式親善使といふやうな形で近衛公が赴き、米國もよく之を容れて我意向を聞いてゐる。最近アリゾナ州の排日騷ぎの如きに於いても、米國政府は我外務省の注意に應じて適當愼重な態度を執り同國の有力な新聞紙も政府の方針を助けてゐる。英國では政府黨に近き有力な新聞紙が、苟くも他の煽動に乘つて日英間の離間を受くることなきやうに一般に警告してゐる。是れ同國の目下の外交情形に基くものであるが、又我政府の對英外交の反映でもある。最近は遣英使節を出さんとの議もあり、かた〲日英再同盟說すら傳へられる。日蘭會商も最近稍軌道に乘つて來たと傳へられ、南京政府も兎角の消息はあるが、日支外交には格別惡氣流はなく、先づ順調と見る可し。今の處、我政府は曩の聲明通りに各方面に働きかけつゝあるを看取し得る。

◇

次は國防に關する事だが、その中にて海軍會議に關することは、既にその方針決定されんとするに近く、ワシントン條約を廢棄し、軍備平等權を主張し(平等數量ではない)且つ何國と雖も進んで他を攻むることの不可能な程度に各國海軍を制限せんことを主張せんとするが如くである。これは、國防の安全を主張し公正妥當なる方針に依りその實現に努めんとするといふ聲明に向つて進みつゝあると見てよい。

◇

財政的基礎確立の爲めに善處するといふ聲明に對しては、增税か公債かの問題研究中である豫算編成の當面の必要上とは云へ、等閑に附されてゐるのでないことは首肯さる。國民生計の安定に關しては、主として政友會、及び蠶糸關係者から臨時議會の召集を要求されてゐるが、政府は蠶糸救濟の爲めに三百萬圓支出の議を決し、臨時議會は召集せざる方針を聲明してゐる更に米穀問題には近く調查會を開かんとするが、農漁山村の經濟的打開に努むるといふのはこれだけのことである。未だ甚だ物足らぬ感あり、政府自身も不滿であるに相違ない。勤勞者の福利增進の爲めには如何の考慮が拂はれてゐるかを知らない。次に日滿兩國の關係に就て目下最も問題と爲されてゐるのは例の在滿機關統制の問題である。卽ち三位一體改革で、軍部、拓務、外務三方面の競り合ひの形になつてゐるが、何とか取り纏めんとして大に努力してゐることは明白である。

◇

その他政界淨化、官紀肅正、國民精神涵養、綜合的產業政策の確立、敎育制度の改善、行政の公正敏活の爲めにその機構の全般的改正の如きは、近く改正選擧法が公布されるとか、官紀肅正の訓令が出るとか、國策審議會が設けられるとか、設けられないとかの說がある外、何等の着手あるを聞かない。而して此等の問題も事に由ると、却つて政界淨化、官紀肅正、日本精神作興などの聲明を裏切る結果にならぬとは云ひ難い。今の政情、官情、民情の下に、此等の根本問題の振肅は頗る困難であらう、特に注意を必要と爲す。先づは差當つての大問題として海軍會議の方針決定、豫算方針の決定、在滿機構の決定があるのだから、他の方面にまだ手が廻らぬのは無理ともいはれないが、政府が此の十大政綱を時々棚から下して塵を拂ふことを忘れないことは望ましい。

税率の低減統一　木税法を制定　九月一日より實施

【新京電話】滿洲國財政部發表＝從來木税に關する法令は各地區々にして殊に税率は甚だしく異り吉林、黑龍江省の如きは二割乃至三割の高率にして奉天省等に比すれば數倍の高率でありこれに加へて木税に對する各地方團體の附加捐もまた酷なりしをもつてこゝに木税を統一し且つ附加税の限度を改めて木税の負擔を輕減するため左記木税法を制定九月一日より實施することになつた、本木税法に規定せる税率は從價の百分の八で地方税は主管大臣の許可を得て百分の二十五以內の課税をなし得られることに制限されてゐる本税法左の如し

第一條　木税は木材をその伐採地より搬出するときその搬出者よりこれを徵收す、但し財政部令の定むるところにより税捐局の承認を得て木税未納の木材を搬出する場合においては税捐局長の指定したる場所に到着したるときこれを徵收す

第二條　木税の税率は木材價格の百分の八とす、但し木枠についてはその價格の百分の四とす
前項の木材の價格は課税地最寄集散市場における木材の時價を基準として税捐局長之を決定す

第三條　税務官吏木税の逋脫を防止するため必要ありと認むるときは木材の伐採者木材の運搬者木材業者その他のものを訊問し木材若しくはこれに關する帳簿書類を檢查し罪證となるべき物件を押收し又は木材の運搬の停止その他必要なる事項を命ずることを得

第四條　木税を逋脫したるものは木税を徵收するの外逋脫税額の一倍以上十倍以下の罰金に處す

第五條　第三條の規定による税務官吏の職務執行を阻害しその訊問に對して答辯をなさず若しくは虛僞の答辯をなし又はその命令に違反したるものは三百圓以下の罰金に處す

第六條　地方團體は主管大臣の定むるところにより木税の百分の二十五以內の附加捐を課することを得
地方團體は前項附加捐を課するの外木材に對し一切の課税をなすことを得ず

附　則

本令は康德元年九月一日よりこれを施行す
木材の課税に關する從來の法令はこれを廢止す
本令施行前徵收を猶豫したる木材に對する税金にしてその徵收期日の本令施行後において到來するものについては第二條の税率によりこれを徵收す

參考資料

一、改正税率と舊税率との比較(木枠を除く)
△奉天、黑龍江材その他　舊税率從價百分の六・六、百分の七・二六　改正税率從價百分の八
△吉林、ハルビン木税局＝舊税率百分の二四・三六、百分の三一・八六、百分の二五・二
△黑龍江省　舊税率百分の二三・八
△熱河省　舊税率百分の四・四

木税法施行細則

【新京電話】木税法施行細則左の通り

第一條　木税の納税義務者は木材を伐採地より搬出する時その伐採地所轄税捐局に當該木材の種類名稱數量價格及び伐採地を申告すべし

第二條　木税の課税標準は前條の申告による申告なき時又は申告不相當と認める時は税捐局長これを決定す

第三條　税捐局長木税を徵收せんとする時はその税額を納税義務者に告知すべし税捐局長木税を徵收したる時は納税義務者に納税濟照を交付し且つ當該木材に税記印を押捺すべし

第四條　木税の納税義務者伐採地より搬出する木材について木税法第一條但し書の規定によりその到着地所轄税捐局に木税を納付せんとする時は當該木材の種類名稱數量價格伐採地到着地及び到着豫定日を伐採地所轄税捐局に申告してその承認を申請すべし
税捐局長前項の規定を承認する時は第二條の規定に準じその木材の價格を決定し申請者に木材保税運照を交付すべし

第五條　税捐局長前條の承認をなす場合に於て必要ありと認むる時は納税義務者に對し確實と認める納税保證人を立てしめることを得

第六條　第四條の規定により木材運送の承認を受け居るものその運送を了したる時は到着地所轄税捐局に木材保税運照を提出し直ちに税金を納付すべし前項の場合に於ける木材の課税標準は第四條第二項により決定したる價格とす

第七條　木材を運送するものはその運送中當該木材の納税濟照又は保税運照を所持すべし
一通の納税濟照に表示せられたる木材を分割して運送せんとするものは當該木材の所在地所轄税捐局に其の納税濟照を提出し分割納税濟照の交付を受くべし

附則　本令は康德元年九月一日よりこれを施行す

鐵道營業法　國務院會議で議決

【新京電話】二十七日の國務院會議に於いて議決されたる議案左の如し

一、鐵道營業法
二、徵税交附金法
三、商標局官制中修正の件
四、中央觀象臺官制中修正の件
五、康德元年度第二準備金支出の件

板垣少將赴奉

【奉天電話】滿洲國軍政部最高顧問板垣少將は二十九日のはとにて來奉商埠地公館に投宿するが同日在奉滿洲國軍隊を視察し卅日夜には日滿代表をヤマトホテルに招待卅一日夜日滿官民合同歡迎會に臨む

北鮮羅津港築港用地買收問題終幕　近く總督府の裁決で

北鮮羅津港用地買收に關する滿鐵對一部地主間の紛爭は三年越の懸案となつて未解決のまゝにあるが滿鐵側は既に本問題に關する限り總てを朝鮮總督府の裁定に一任する意向であるため、その後の地主側の妥協に應ずる模樣もなく、いよ〱本問題も近く總督府の裁決によつて大詰となる形勢である、卽ち本問題は昭和七年十二月に起つたもので、その後買收價格の點において二百四十七名の地主中六十九名(その土地の地主は一名も無く全部內地居住者)は滿鐵側と折合がつかず、その內地地主の言分の要點は

滿鐵が地主に土地買收の正式通知を發したのは十二月十七日で羅津港が日滿連絡港に正式決定發表された八月二十三日から約三ケ月を經てなり當地の地價は坪二十圓までを唱へてゐた、從つて滿鐵は當然十二月末の地價で買收すべきである

と言ふにありこれに對し滿鐵側は羅津の土地は終端港決定一年前は坪十錢、二十錢で賣買され八月二十三日直前大體滿鐵の言値程度の相場となつてゐた、しかして地主側は滿鐵の買收通知遲延を滿鐵の責任の如く言ふが實際問題として役場で地主名を調べ種々の手續を執るのに數ケ月を要するのは當然のことで、かつ八月二十三日の發表當時總督府の公報で以て羅津港築港用地區域も正式發表になつてゐるため、その時既にその區域內は賣買不可能の狀態になつたものと見るべきで滿鐵の查定方針は正當である

との見地からこれに應ぜず遂に滿鐵では幾部土地の買收に關しては土地收用令に據るの他ないとして八年八月末迄に監督官廳たる富永咸北知事の決裁を仰ぐこととなつた、而して富永知事は愼重事態を調查の結果滿鐵側の要求通りに裁決したのであつたが殘り地主中四十七名は更に朝鮮總督府の裁定を求め遂に今日に至つてゐるものである、而して此間仲裁役として守屋榮夫代議士の運動等があり地主側も何等かの形においてより有利に滿鐵と妥協せんとした模樣であるが滿鐵の總督府一任の態度は依然變りなく滿鐵としては全部を總督府の裁定に信頼して今後も妥協には全然應じない事になつてゐる

北鮮にも混保　總局實施を研究　暫定規定を恒久制に

【奉天電話】拉濱線の本營業開始により日滿連絡新徑路の實現によつて特產大豆取引に重大關係ある混合保管制の北鮮に於ける實施が研究されるに至つた、從來北鮮に於いては未だ營業を行つてゐないが混合保管暫定規定を實施するの外滿鐵との間には特約を以て國線社線の直通混合保管制を實施し大豆取引の著るしい圓滑を期して居り、今時勢の進展に應じ北朝鮮においても大豆混保の實施によつて國線北鮮の直通混合保管制の要望高くなつたものであるが、この實施を見れば北鮮の港を大豆輸出港として指定することになるので同地における取引諸機關の完備程度その他からして大連港に及ぼす影響等目下研究が進められてゐる

大連醫院の掲示文

投書歡迎　五十行以內

或る患者

◇大連醫院のカナモジの掲示文が最近漢字書きに變つた、しかも縱書きに、だがその掲示文にはなぜか誤字が多い、小學生でも知つてる文字に特にそれが多い

◇一例として「御知らせ」といふ掲示文を擧げると先づ始めに傘といふ字が學校で習はない字である事に誰でも氣付くだらう、漢和大辭典にもあんな字はない次に類の左下の犬の字に點がない、若しこんな字がどれかの辭典にあつたとしても一般向でない、學校でも敎へない方がいい、子供達のためにも書かない方がいい、かういふ誤りはカナモジ時代の掲示文には見受けなかつた事である、それに縱書は目のために惡く近視眼を作る一原因ともなる事は眼科のお醫者樣方は百もご承知の筈だのに。

◇カナモジを止めて漢字縱書に直した理由は在來の掲示文が讀みにくい事と小學校が橫書でないからと云ふのだそうか、たしかに今のカナモジ文は字形を工夫しない以上いくら讀み慣れても讀みにくい、併し誤つた文字一般向でない字で讀めないよりは讀みにくゝても讀める方がいゝ。

◇子供達同伴で大連醫院に行くと子供達が讀みたい頃の彼等はカナモジ掲示文を盛んに讀む、そしてシハハハツとかショホーセンなど彼等の知らないコトバを探し出しその意味を尋ねて彼等の知識を增して行く、コトバは漢字に依らなければ覺えられないものだと思つてる大人達の考へをよそにカナモジでどし〱コトバを覺え込む彼等を見る時に、カナモジの掲示文や廣告文がコトバの學習に偉大な力を與へてゐる事に驚く。

◇小學生のためなども慮つて變更されたと云ふ新掲示文に彼等に讀めない誤字があるのは却つて小學生のために惡い、それよりはむしろ今迄のカナモジ文の字形を讀みよく工夫した方が結果がいゝのではなからうか、當事者の再考を促す。

政、長關係還元　明敏果斷の原氏

早川頑鐵翁は語る(6)

代議士を一期限りで罷めてからは成るべく政界から遠ざかつてゐたけれども大正七年原內閣が成立した時は原と以前から懇意だつた關係もあり、同縣で仲善しの總井三郎が原のために懸命に奔走してゐるので默つて見てゐる譯に行かなかつた。尤も總井の考へでは以前山本內閣の時、陸軍大臣だつた楠瀨(幸彥)を今一度陸相にするやうに盡力してゐたやうだが、吾輩は斷然反對して必ず田中(義一)を陸軍大臣にせねばならぬと頑張つた。こゝが原の聰明なところで一言いへば直ぐ分るし、山縣(有朋)元帥の眞意もハツキリ見透しがついたので、どうしても田中でなくてはいかぬといふことでその通りになつた。だから山本內閣以來薩派關係を有する政友會內閣としては一寸意外の樣だが、寺內內閣が米騷動で斃れて原內閣になる成行から見ても政黨關係では駄目、矢張政長關係に還元されれば本筋といふものがあつた。特に陸軍には傳統といふものがあつて、桂が同志會を組織して以來文官方面の人は多く其の方に走つたが、山縣の正統は田中といふことに定つてゐたのだ。

▲……▲

その田中が後年高橋(是清翁)の後を襲つて政友會總裁になつたのも偶然ぢやない。吾輩は原內閣の時から總理大臣候補者として山縣の意中にチヤンと描かれてゐたことを知つて、元老(西園寺公)の意嚮も考へて極力田中を支持した。

所が茲に山梨(半造)が飛び出して來て何かに有り附かうといふので、吾輩は山梨とも懇意だし元來正直な男だから、同じ陸軍で田中が引き立てねばならぬものと考へて色々相談した。もうソロ〱田中に政權が廻つて來さうだといふ二、三箇月前、アノ原の別莊だつた腰越の別莊へ山梨を連れて行つて田中と三人、飯を食ひながら一日大に談じたものだ。

その時の話題は源賴朝房州落の一條で、賴朝は彼の如き悲運に際會しながら和田義盛が侍所別當を認むのを快諾した。當時の賴朝は何時になつたら天下が取れるやら分らなかつたのだが、この一事既に天下を吞んでゐるので、又この意氣あり必ず天下を取ることが豫約されてゐたといへる。所が田中はこの時の賴朝以上に天下の權を執る好條件が備はつてゐるから、山梨が朝鮮總督を望むなら、賴朝流に一つ引受けてやれといふことになつたのだ。

▲……▲

賴朝談を頻にやるものだから、田中は「早川、話が長いぢやないか」と半疊を入れる。「マア待て〱」で結局和田義盛の賴朝に對する侍所別當と、山梨の田中に對する朝鮮總督とを比喩して「だから山梨を總督にしてやれ」といふと田中は、「フームさういふことか」と考へたらしい。仍て吾輩は「貴公はマサカ賴朝に及ばない人間とは思つてゐるまい、だから山梨に安心さしてやれよ」と念を押すと、初めて田中が「よし分つた」といふので山梨は田中內閣が出來てとう〱朝鮮總督になつた。

不幸にしてあんな事件が起つたが、詰り山梨が和田義盛のやうにやつて吳れなかつたことになるのだが、端的に言はゞ取卷きが惡かつたのだ。一時朝鮮總督が暇がかゝるので臺灣でも可いなどといつて來た程で、頻りに任官を急いでゐたが、兎に角目的を達して朝鮮總督になつたのだから、吾輩は頼まれた責任だけ盡した。

が、後に起つた事件で責任を持ち込まれる筋合でもあるまいし、又山梨だけは無罪だつたらマアよかつたし、田中も已むを得ない成行だと諦めてゐたやうだ。

▲……▲

こんな關係で田中內閣の時には吾輩が外務大臣になるとか滿鐵總裁になるとかいはれたものだが、噂ほど當てにならぬものはないのでこの通り無位の大夫が三十六年續いて七十歲になつた。お蔭で身體は頗る丈夫だからまだ〱老い込まぬつもりだが、無論野心などは持つてゐないから以後直接政界のことに携はらぬ。だから田中內閣の時勅選議員の話があつた際も氣が進まなかつたのでその儘になつた。マア吾輩の歷史は前半相當に振ひ、後半全く振はずだが、同じやうに外務省にゐた內田(康哉伯)が近頃滅切り弱つてゐると聞いて、內田のやうに振はなかつたから吾輩は矢張り元氣だと大に驕つてゐるよ。鰥夫暮しも隨分久しいものだが若い折に相應にやつたから近頃は品行方正だよ、もう碁の喧嘩も止めた、馬鹿々々しいから。しかし氣力だけは衰へぬつもりで實は養生法があるのだがそれを發明しても效果的だと友人からお禮をいはれてゐるから發表しやうかな。寫眞は故原敬氏(東京Y・H生)

連絡運輸會議

第十回內鮮滿旅客貨物連絡運輸會議は來る十月二十四日から二十六日まで臺北において開かれることに決定したが、滿臺直通開始後最初の會議であり滿洲鐵道關係の問題は相當愼重に論議される筈で滿鐵から小林運輸係主任ほか係員二名出張することになつてゐる

滿洲炭礦會社株主總會

【新京電話】滿洲炭礦會社第一回の株主總會は二十八日午前十時よりヤマトホテルに於て開催、實業部、財政部、中銀、滿鐵等より關係者出席し左記二項を承認會合十分餘で散會した

一、第一回營業報告書、貸借對照表、財產目錄及び損益計算書承認の件
二、損益金處分案承認の件

中西地方部長　きのふ陸路歸任

嚴父の病篤く鄕里福井縣に歸省中であつた滿鐵地方部長中西敏憲氏は安東水災の報に豫定を早め二十八日午前七時四十分着列車で歸連したが、途中安東に立寄り安東から同伴の多田地方課長と共に交々語る

父の病氣も大體大丈夫の見込がついたしそれに安東の水害の報で急に豫定を早めて歸つて來た勿論應急處置は皆がやつてくれたといふ安心はあつたが實地を視察して滿鐵社員および各關係官廳の非常な努力で豫想外に早く應急手段が施されてゐるのを見て全く感謝してゐる、根本的處置としては水源池、下水道の根本策を樹てることが必要だがこれも手際良く運んでをり傳染病も今のところ日滿協力してやつてゐるから安心だ

都會は好況　農村は疲弊　笠原市議視察談

日本各地の農村を視察中であつた大連市議笠原脩氏は二十八日入港うすりい丸にて歸連、船中語る

都會と農村とを同じこの目で見て來た、一般に都會殊に工業都市はすこぶる景氣がよく、これを税金方面から見ると神戶、大阪の如きは九十九%の納税率、惡いといはれる名古屋ですら九十四%といふ有樣で概して都會は好景氣だ、しかるに一歩農村に目を轉ずると實に慘澹たる有樣だ、生糸は安い、米も安い、おまけに北陸、山陰が水害で困憊したに反して九州は旱魃で苦惱をなめてゐる、九州なぞ水田が眞赤に乾き上つてゐるには驚いた、軍需工業による都會が受けた景氣の甘酒がそのまゝ田園農村まで延びて行くかといふにそれは恐ろしくスローモーションで、その餘波が行く迄農村が現狀を持ち支へるか否かが問題である、同時に農村救濟に關しては政府なぞでも色々考慮して對策を講じてゐる樣だが現在のやうななまぬるい事では燒石に水で何等救濟の意味にはならないと思ふ、同時に自分達はこの或る特殊な事業による景氣が萬一反動的になつた際の時を考へて慄然たらざるを得ないものである

後場市況(廿八日)

株式

地株保合　內地強保合を入れ地株保合なるも新京七十錢高、日產六十錢高に引けた

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	[illegible]	[illegible]
五品 中	[illegible]	[illegible]
五品 引	[illegible]	[illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
永新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同二新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電々	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

鈔票保合

後場材料薄で氣配變らず閑散

◇定期(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百四十二萬圓

◇現物(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 卌萬三千六百圓／銀對洋 三千圓)

商品

麻袋强調

●麻袋　產地高の好感と現物に買氣あり氣配ます〱强硬となつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵紡	十二月限	三八九	二〇

出來高　二萬枚

奧地市況

奉天奉票對金票	[illegible]
奉天國幣對金票	[illegible]
同　先限	[illegible]
奉天國幣對鈔票	[illegible]
新京國幣對金票現物	休み
哈爾濱國幣對金票	[illegible]
安東鎮平銀	[illegible]
同　先限	[illegible]
哈爾濱大豆寄	十一月 [illegible]

市場電報

株式(單位十錢)

大阪(長期)　大株、日糖、大新、滿鐵　[illegible]
大阪(短期)　鐘紡、滿新、鐘新、東新　[illegible]
東京(長期)　大新、東新、鐘紡、日產、帝人、滿鐵　[illegible]
東京(短期)　東株、五品、東新、鐘新、日產、滿鐵二新　[illegible]
東新　豆　當・中・先　[illegible]

期米

	當限	中限	先限
大阪 寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪 引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶 寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶 引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京 寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京 引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸(單位十錢)　八月、九月、十月、十一月、十二月、一月　[illegible]

橫濱生糸(單位十錢)　八月、九月、十月、十一月、十二月、一月　[illegible]

神戶特產　大豆現物、豆粕現物、滿洲小麥　[illegible]

運輸營業開始

濱江拉法間　三棵樹三棵樹碼頭間　小姑家新站間

驛名：濱江、三棵樹、周家、拉林、五常、水曲柳、小城、新站

間河蛟法拉站新

驛名：新站、拉法、蛟河

列車時刻 [illegible]

康德元年八月　鐵路總局

安東貯水池の設計に根本的誤りあり

地方委員一行現場を調査し意見を島所長に通告

【安東】安東大水災の慘害を重大化せしめた六道溝第一水源地の堰堤決潰は未曾有の大豪雨に因る不可抗力であるとの結論に技術家の意見が殆ど一致してゐるが一面には同水源地の設計施設に不滿を抱く意見も少くなく今なほ論議の中心となつてゐるが安東地方委員會の大津議長及瀬之口、藤平、鹽見、横畑、山縣各議員は二十六日水源地現場を調査した結果次の如き注目すべき意見を決定し口頭を以て島地方事務所長に通告した

一、貯水池の設計は根本的に誤りありと認む

二、滿鐵の調査を基準として土堰堤の高低を測量せしに土堰堤は波越し位ゐの程度と認む

三、昭和七年土堰堤の築造については遺憾ながら完全とは認むることを得ず

四、堤防決潰直前においてゲートバルブの開閉に關し遺憾の點ありと認む

五、堤防決潰數日前鴨江日報所載の危險場所と今回の決潰場所とはその位置を異にせり

六、罹災者救濟については萬遺憾無きを期せられ度し

七、今後工事の施行については最善を期し速かに復舊せられたし

營口鮮人大會

【營口】營口附近に在住する一萬二千餘人朝鮮人の時局問題批判大會は二十七日午後一時から營口座において開かれた、定刻前代表者數十名入場し白源豹氏の開會の辭に次いで各代表の演説あり結局治外法權撤廢は時期尚早、附屬地返還並に課税は絶對反對なる決議をなし午後五時五分散會した

水害後の防疫計畫

三部門一齊に活動

清掃は二十六日完成

【安東】安東大水害後の防疫計畫は清掃、消毒、豫防三部門とも二十日から一齊に活動を開始したが

一、清掃は屎尿馬車六十五臺、人夫百七十三名、塵芥馬車三十六臺、人夫五十二名で全市を六區に分ち掃除し、二十六日でほゞ完成した

二、消毒は井戸、浸水家屋、野菜の三班に分ちそのうち浸水家屋の消毒は二十六日で約七千六百戸のうち四千三百九十五戸の消毒を終り二十八日で完成する

三、豫防は赤痢、チフスの豫防注射を施行した者は二十六日現在で一千八百七十五名であるがなほ二週間繼續する、豫防錠はチフス、赤痢各二千人分を用意してゐたが更に二萬人分が近日到着する、このほか救急班の施療係は二十六日迄に九百二十五名を診療してゐるがこれもあと二週間繼續する筈である

排水設備を擴張改善

【安東】安東地方事務所は十八日の市内の大浸水に鑑み排水設備を擴張改善すべく鋭意立案中であるが南北に雨水暗渠二本を東西にモルタール管を埋設し六道溝に水門一個を新設し山手の排水溝を擴張改善するほか各所の誘水地ポンプ所開渠等を全部改善する筈である

復興助成記者聯盟組織

【安東】水災後の安東はあらゆる方面をあげて復興に努めてゐるが復興事業にして若し一歩を誤るにおいては再び今回の慘を繰り返す懼れなしとせずとの見地から安東における新聞通信記者有志は市民の輿論を代表し復興完成の一助たるべく今回安東水災復興助成記者聯盟を組織することゝなり安東商工會議所内に事務所を置き右組成の趣意書を各方面に發送した

研究的態度で愼重に善處

機構改革問題と鞍山

【鞍山】附屬地課税問題に係る機構改革問題に對する當地の態度は當初は大連、奉天に次いで直に在住民の要望として附屬地返還乃至課税反對の一氣勢を揚ぐべき模樣であつたが、新京における全滿居留民大會に出席したる長井地方委員會議長の歸來報告とその後における大使館乃至滿洲國當局の態度判明や二十七日野添奉天總領事囑託の來鞍懇談等により輕々に騷ぎ立つべき問題でないといふので目下地方委員會、實業協會乃至在鞍有志の懇談機關たる二十日會等各方面に於ては夫々會合を開き所謂研究的態度を以つて愼重研究調査し對策につき考慮中である

安東商議 態度決定

【安東】安東商工會議所は附屬地課税問題に關し態度を決定するため二十六日午後三時から常議員會を招集し秘密會として岡本領事、大津地委議長等も列席意見を交換協議の結果課税案には絶對反對を決議し當局に提出すべき決議文の起草を理事者に一任し更に水害善後に關して協議した後同七時散會した

なほ課税問題については地方委員會と緊密に聯繫し若し奉天に全滿市民大會の如きものが開催さるゝ場合は市民會と協力しこれに參加することになる模樣である

奉天に強盜

【奉天】二十七日午前零時半頃市内淀町七番地滿人雜貨商宗茂成方に二人組強盜が侵入し拳銃の如きものを擬して脅迫し大洋、金票等取混ぜて三十餘圓を強奪逃走した急報により奉天署では非常召集を行ひ犯人搜査に努めたが發見せず引續き嚴探中である

憲兵、巡査及路警の管掌事務區分決定

岩佐憲兵司令官語る

【奉天】關東軍憲兵司令官兼大使館警務部長岩佐祿郎少將は全滿各關係機關巡視の途二十七日午前六時二十分來奉、各關係機關を二日間に亘つて巡閲二十九日撫順に向ふが二十七日瀋陽館で語る

着任以來まだ約四週間程しか經たないので滿洲の事情が充分解つたとはいへない、然し相當熱心に勉強してゐる積りだ、邊陬地の皇軍は尚不安があるのでこの方面は特に意を用ひたいと思つてゐる、憲兵、巡査及路警の管掌、事務の區別については後宮少將が歸任される前に具體的に決ひされた、いよ〳〵陣容も整ひ充分機能の發揮も期す事だらう、滿洲の發展は實に素晴らしいもので官民眞劍に建設に從事してゐる

なほ稻垣副官は左の如く語つた

閣下は滿洲へは初めてなので常人の及ばない程の勉強して居られる朝なぞ早く乘馬で街を一巡され新京についてはわれ〳〵より詳しい位だ、毎日八時半には大使館に出られ後憲兵司令部へ出られるのだが、凡ゆる書類を熱心に精讀さるゝ、司令官として全く得難き人格者だ

無許可賴母子講 嚴に取締る

科料處分既に三十件

【奉天】事變以來小規模の事業其の他金錢の必要に迫られて各種講會が著しく増加して來たが、その中には疑はしいものあり弊害を伴ふことが少くないので奉天署では、その内容を詳細に調査し許可を與へ許可せぬ賴母子講は夫々戒告、科料處分をなすなど嚴重な取締を勵行してゐる

現在まで奉天署で許可した講が四十一講、手續中のものが三十講、掛金最高一口二百圓、最低二圓となつてゐるがその他怪しい無許可の講が相當ある模樣でこれまで科料處分に附した講だけでも實に三十講の多きに達し更に聞き入れぬものは拘留處分に附することゝなつてゐる

法網を潛りひそかに開いてゐる無許可の講中には多數名士連が加入してゐるので奉天署の取締り嚴になると共に或は意外な犧牲者を出すに至るであらうと

事變記念日

【錦州】滿洲事變三周年を迎へた錦州では九月十八日の事變勃發當日を意義あらしむべく午前十時より事變戰歿者の慰靈祭を行ひ且つ記念講演會、活動寫眞會を催すべく目下計畫中である

熊岳ファンへ謝禮

二日溫泉と林檎デーを催して 湯の街秋のサービス

【大石橋】冬籠りの解放から引續き眞夏の溫泉聚落に列車毎吐き出さるゝ客は廣き熊岳城驛構内に溢るゝの殷盛を極めつゝあるが驛當局並に地方有力者及び溫泉經營者形田寛氏とも協議の上各機關出來る限りの奉仕を爲し驛主催の下に本年最終の熊岳城を色鮮かに飾る意味と更らに熊岳ファンへの謝禮の意をも多分に取り入れ九月第一日曜（二日）を卜し溫泉と林檎デーを催すべく計畫された

今や高天晴朗の秋日和に惠まれて各農園の果實は熊岳城を文字通り林檎色に色どり彌が上に味覺を唆つて居る、溫泉では秋味滿喫のサービスを奉仕すべく形田氏自ら全員を總動員して準備に忙殺され各農園でも當日は果樹園を開放して觀賞と味覺を欲しい儘に提供し、更に歸途土産としてしこたま攜へてもらふと云ふ利害を切り離れた眞に熊岳城特産奉仕を爲すべしと云へば家族團欒好調の秋のピクニツクで遠くは大連、奉天方面よりの團體申込みも相當にあるらしく營口、大石橋方面盛んな前人氣を呼んでゐる

なほ熊岳寮旅館では創設滿三周年を謝する意味において九月中團體十名以上（家族をも含み）一人前一圓也といふ普通宿泊料の半額で奉仕の意を表すといふ昨今の熊岳城は特産スモモ、ブドウ、パートレツト、林檎（祝、新倭）等果實の洪水を出現してゐる（寫眞は溫泉と林檎デーを待つ熊岳城溫泉ホテル）

日滿美術展 出品書畫

【奉天】第二回日滿美術展覽會は既報の如く愈々來る九月十五日より二十二日まで新京に於て開催されるが、奉天省教育廳にも右展覽會に出品する各名流の書畫がどし〳〵搬入されつゝあり、現在既に百二十二點の多數に達したので同廳では一兩日中新京の會場に發送することになつた

お月樣を狙擊

【鞍山】二十六日午後十一時半頃絃歌さんざめく柳町で時ならぬ銃聲二發スハ匪賊襲來とばかり派出所員及鞍山署佐藤刑事部長以下數名自動車にて急行取調べたるところ匪賊ではなくて實は同夜三浦屋に登樓せる滿電技術課員下田權藏（二）假名が醉拂つてお月樣めがけて拳銃試射をやつたものと判明したが、恰も匪賊警備に緊張せる折柄醉狂にも程があるとて二十七日署に呼び出し散々油を絞られた上科料十圓に處せられた

齋藤松樹驛長

【大石橋】大石橋驛助役齋藤貞治氏は今回鐵道部異動の波に乘じ二十四日附松樹驛長として榮轉の發令を見た

齋藤氏は大正十五年七月三日九寨驛より大石橋驛助役として赴任以來滿八箇年餘歷代の驛長を輔佐し部下各驛員に對して懇切に指導對外部各人に對して又親切模範驛員として定評ありたるが今回拔選驛長として榮轉を見たものである新松樹驛長齋藤貞治氏は卅日頃出發の豫定である

風子兒

深山に踏み入つて鹿を打ち貴藥鹿茸を採集する吉林省宮鐵縣の獵人たちは大事な鐵砲をお上に取りあげられた爲め商賈が出來ず市場に出る鹿茸も激減した。

◇

滿洲國實業部の第二回全滿農作物收穫豫想調査に據れば今年の收穫は三割減りの見込み。

◇

奉天省瀋陽縣の最近人口は

戶數 九二、四五五
人口 五九五、〇六八
（男）三三〇、〇五七
（女）二六五、〇一一

◇

吉林省九臺縣の電燈會社長の令息杜春榮君は、あはれな籠の鳥傳琴舫を救ひ出さうとして親父から叱り飛ばされ、琴舫と抱き合つてカルモチン心中を遂げた。

◇

支那安徽省潁縣大磊山の溪流の瀧壺から鐵棺が發見された、昔水葬に使つたものだといはれる。

◇

天津の劉德發（五三）といふ男は細君（四〇）のおしやべりに惱みぬいたあげくキツスに藉りて妻の舌を噛み切つた。

◇

華々しき文壇生活から突然姿をかき消した孫伏園氏は實は一昨年から模範農村建設の汗愛鄉支那河北省定縣に隱れ泥だらけの菜ッ葉服に着換へて自ら鋤鍬を揮り農民文藝の創作に渾身の心血を灑いでゐる。

南熱河の棉作試作成功か

凌源の成績頗る良好

【凌源】滿洲棉花協會凌源駐在に派遣された清水指導員は今春より五島參事官の好意にて縣公署内に陣取り棉作の指導に餘念なかつたが、縣所有棉花試作地の各種棉が一齊に色とりどりに花が咲き非常に好成績にて南熱河棉作の成功に確信を得、青龍、凌南、朝陽等を視察し此程歸凌した、清水氏を訪へば

大體熱河の棉作好適地たる事は既に判つて居ましたが南熱河を今度親しく視察の結果と凌源棉花試作の成績から見て多少危ぶまれて居た棉作業が大變良好で南滿遼西方面の棉作等蠹喰へで實に大した立派なものです、今後の天候が問題ですが成功を祈り努力して居ります

と語つた

大石橋に十六戶 滿鐵社宅を新築

住宅難緩和されん

【大石橋】大石橋滿鐵各箇所勤務員にして鐵路總局や其他建設事務所或は派遣員として相當北滿地方に轉出する者多かつたが宿舍の關係上何れも家族を大石橋に殘した爲め現業員に對する宿舍難が稱へられ寧ろ現在當地勤務者に對しては氣の毒な思ひを掛けてゐる現況なると業態伸展に伴ふ增員に鑑み滿鐵社員宿舍建築は本社においても相當考慮を拂ふところとなり取敢ず本年度結氷期までに十六戶の宿舍を建築する事となり本社入札によつて近く起工の運びとなるらしいが敷地狹隘に苦しむ宿舍係においては審議の結果永昌街に三棟六戶盤龍街に四棟八戶昌平街に一棟二戶を配置建設する事となつた九月初旬に起工し遲くも十一月一杯迄には十六戶が殖える事となり滿鐵社員の住宅難も一大緩和が出來るわけで多大の期待で迎へられてゐる

千山に巢喰ふ匪團 徹底的に討滅

遼陽縣當局大討匪戰

【遼陽】遼陽城南千山を根據に各地に出沒し高粱收穫期を控へて人質を拉去し或は民家を燒却する等益々暴威を逞しうする匪首靑山の一團約五十名がまたもや二十二日朝千山の東方達連河外二ケ村を襲うて十數軒の民家を燒拂つたとの情報に接した遼陽縣では李局長自ら久馬指導官と共に中大隊長以下警察步騎隊〇〇名を率ゐて二十四日朝出動、自衞團及び駐在警察所員を督勵して各方面に偵察を放ち賊の所在搜査中靑山が率ゆる一團が千山南部大黑峪密林内に潛伏中なることを確め千山東部の警戒網を嚴重にすると共に李局長の一隊は二十五日未明鞍山の東方七嶺子を出發午後一時頃大峪溝を經て大黑峪に進擊賊團を發見一齊攻擊を開始するや賊は密林中に逃走を企てたがこの攻擊において副頭目の助國、興華、老來好の三名を斃し（捕虜となつた副頭目格得國の自白）た外得國を捕虜とし小銃、拳銃四挺を鹵獲した、小銃中には三八式騎銃があるが該銃は匪首靑山が常に攜帶せるものであると或は靑山も重傷を負ひ銃器を棄てゝ逃走せるものゝ如く討伐隊はこの機に賊團を殲滅すべく引續き千山深く追擊中である

鳳凰城西に匪賊

驛でも萬一を警戒中

【奉天】安奉線鳳凰城西方に數名乃至十數名の小匪賊が一團となり附近村落を襲擊し金品を掠奪し人質を拉去してゐるため村民は戰々兢々としてゐるが二十五日同地鐵西々方一支里部落豪農艾德會方に十數名の賊が來襲したので急報により警察隊から討伐隊出動したが彼等は暗夜地物を利用して巧に逃走し是を追擊するや賊は發砲しつゝ支那式長銃一挺、洋砲二挺を遺棄して逃走

又二十六日驛西方三支里の時家隈子部落居住時玉田方に煙草乾燥所一戶につき五千元を指定期日までに支拂ひ若しこれを聞かざる時は村内乾燥場の全部を燒拂ふといふ凄文句を並べた脅迫狀が舞ひこんだので目下警戒中である、廿五日同地南方廿五支里の大梨樹村内王家滿豪農徐成升方にも十數名の賊が現はれ徐善淑（一七）と稱する愛娘を人質として拉去したこの匪首は天好江と稱し數百名の部下を有し相當優勢なもので滿洲國側警察署では引續き討匪中であるが鳳凰城驛でも萬一を慮り附近を警戒中である

窮鼠の鳳好匪

【チチハル】道殷來通北、克東方面に於て猛威をふるひ、日滿人を拉致して江省殘匪中においてその名を知られてゐる鳳好匪の討伐は江省治安維持上緊急の目的とされてゐるが、最近各地自衞團の驅逐よろしきを得、神出鬼沒を誇る一味も遂に通北奧地に追ひ込まれて陰末覺に喘ぎつゝあるが、今や食糧難に陷りこのまゝ盤居せんか餘命幾何もなく、拉致者の運命すら危まれてゐるので、軍憲においても之等拉致者救出に頭をいため、結局歸順せしむるものと見らる

小學校のミシン四臺盜まる

鞍山富士小學校に賊

【鞍山】富士小學校では二十七日朝同校内家政科裁縫室に備へ付けてあつたミシン四臺が何者かに盜み出されてゐるのを發見、直に鞍山署にその旨屆出たので警察では現場見聞の上犯人手配中であるが賊は二男教室前の窓硝子を破り內側の掛金を外して侵入したもので內部の事情に通じた者の所爲と睨んでゐる

杉原部隊演習

【錦州】事變後三周年を迎へて遼西熱河の治安も漸く確立したので杉原〇團では來る十月四日より十五日まで、匪賊の巢窟といはれる朝陽、錦の兩縣下に亘り機動演習を行ふべく計畫中である、なほ觀兵式は十五日錦州驛前廣場において擧行の筈

列車顚覆の犯人 縣賞金附で搜査

民心の不安を一掃

【錦州】既報坂凌線の列車顚覆事件に關しては日滿官憲協力し犯人搜査中であるが未だ目星さへつかず漸く迷宮入りを傳へられんとする折柄朝陽駐屯警備隊では治安維持の萬全を期し一日も早く犯人を逮捕して民心の不安を一掃すべく今回警備司令官の名を以て「犯人所在の探知を容易ならしめたものには賞金二百圓を贈與する」意味の布告文を附近一帶の各部落に貼附し徹底的搜查を行ふことになつた

二人組強盜

【奉天】二十六日午後十時頃商埠地二十緯路二五八稻香村方に二人組強盜が押入り一名は拳銃を擬し家人を脅迫、大洋四十五元を強奪して逃走した訴へにより瀋陽警察廳では目下犯人搜查中

廢墟の如き家屋 奉天整理に着手

調查員を市中に派遣

【奉天】現在奉天城內には頹廢せる廢址の如き家屋多數あり、之等は殆ど家主不在のものが多いが、市政公署では市街美からも衞生上からもよろしくないので豫てより之が整理を企圖しつゝあつたが愈々調查員數名を市中に派し右廢家屋の整理を行はしむることゝなつた

會と催し

◇杉森孝次郎氏講演會 廿九日午後七時から安東クラブにおいて

◇大藏男講演會 廿七日午後四時半より富士小學校にて演題「第六十五議會と其後の政況」

◇久留島武彥氏講演 二十七日午後一時より鞍山中學校にて

◇大石橋地方委員會研究會 二十七日午後一時より地方事務所會議室に於て

◇本田訓導送別宴 二十七日小學校教職員一同末廣旅館で

◇鳳凰城警察署精勤證授與式 二十七日午前九時より守部巡查部長以下七十四名に

◇旅順第一小學校 二十七日午前八時半始業式

◇同第二小學校 同上

◇老鐵山麓不動明王祭典 在旅漁業家並に水產會支部員一同が二十八日擧行

◇拳山沿線靈應島遊覽旅行（山海關驛主催）二十六日出發

各地人事

▲岩佐祿郞氏（陸軍少將關東軍憲兵隊司令官）初度檢閱の爲め七日午前九時十分來旅

▲滿鐵新入社員沿線見學團一行 二十七日來石南滿礦業會社視察同日十四時三十五分營口へ

▲國光一孝氏（電々會社技術員）北滿〇〇の建設出張中の處二十六日歸石

▲奧川憲兵分駐所長 軍務打合の爲廿七日奉天へ、廿九日歸所の筈

▲郡山智氏（新滿鐵理事）沿線視察の爲め近く來石の筈

▲鄭朝鮮民會長 營口鮮人大會出席の爲め二十七日赴營即日歸石

▲山口十助氏（滿鐵々道部次長）二十六日來奉、二十七日安奉線視察の後二十八日歸奉の豫定

2A—0 遼陽優勝

滿鐵都市對抗南部豫選

【瓦房店】全滿鐵都市野球大會奉天以南豫選遼陽對蘇家屯の決勝戰は廿七日午後二時二十五分より瓦房店球場に於て神部（球）肥塚、中野、小名（壘）四氏審判、蘇家屯先攻で開始したが野手の好守に阻まれ二A對零で蘇家屯惜敗す、閉戰四時十四分

蘇家屯	000	000	000	＝0
遼陽	000	100	10A	＝2A

蘇家屯		遼陽	
5	飯田	7	尾崎
3	瀬川	5	山田
6	村林	2	樺山
1	熊本	6	勝木
2	深堀	8	原谷
9	田中	3	酒井
7	古賀	4	平井
8	米田	9	井上
4	兒玉	1	長谷川

經過

◇一回 蘇家屯飯田、瀬川、村林三者共に四球に無死滿壘となつたが（遼陽長谷川遊擊勝木投手となる）熊本一飛深堀捕前ゴロに飯田深堀併殺▼遼陽三者凡退

◇二回 蘇家屯田中四球に出て直ちに二盜古賀遊越單打に田中三進古賀二盜米田遊飛兒玉三匍失に一死滿壘となつたが飯田の投匍に田中飯田併殺▼遼陽一死後原谷投手强襲單打に出たのみ

◇三回 蘇家屯一死後林遊擊右をライナーで拔く單打に出て熊本投匍に野手判殺ぜんとして二壘に惡投し林一擧三壘を望んで中堅よりの好送球に刺され深堀三匍▼遼陽長谷川遊匍失に出たのみ

◇四回 蘇家屯一死後古賀中前單打米田四球に出たが後援續かず▼遼陽一死後樺山左翼線に沿ふ本壘打して一點を先取後續凡退

◇五回 蘇家屯二死後熊本右中間三壘打に出たが深堀三匍▼遼陽平井四球に出て井上の遊飛に併殺長谷川投匍失に出でたが尾崎左飛

◇六回 蘇家屯三者凡退▼遼陽山田四球に出て樺山左飛後勝木左前單打に山田一擧三進勝木二進したが原谷三振酒井中飛

◇七回 蘇家屯三者凡退▼遼陽一死後井上二匍失に出で長谷川二壘ベース上を拔く單打に井上二進尾崎の三匍に走者三二進山田四球に二死滿壘となり樺山遊匍失に井上還り勝木三振

◇八回 蘇家屯三者凡退▼遼陽原谷遊匍失に出たが酒井の三直に併殺平井二邪飛

◇九回 蘇家屯田中四球に出で二盜ならず古賀三匍一失PH溝口（米田の代打）三匍二壘惡投に兩者生き兒玉四球に一死滿壘となつたが飯田三飛瀬川三振

鞍山排球大會

【鞍山】全鞍山秋季排球大會は二十六日井々寮前コートに於て開催參加チームはA組七B組十一計十八チームに及び盛況を呈したが、次の通りA組は製鋼所人事、B組は同銑鐵部が夫々優勝體育協會の優勝盃及賞品を授與された

▲A組

○工務—研究△ ○工作—工事△
○人事—會計△ 中學不戰一勝

第二回戰

○工作—工務△ ○人事—中學△

決勝戰

○人事三——一工作△

▲B組

准決勝戰

○機械—用度△ ○銑鐵—研究△

決勝戰

○銑鐵三——一機械△

鞍山大勝す

【鞍山】鞍山庭球部對全大石橋の庭球試合は二十六日午後一時から富士コートにおいて開催されたが左の如く鞍山の大勝に歸した

大石橋　鞍山

坂見、松田三—四田中、野村
荒川、矢倉四—二藤井、早田
淺尾、平田二—四稻田、長山
富山、辻本一—四下村、久德
佐藤、加藤二—四田原、尾中
原、竹下二—四山田、金子

第二回戰

荒川、矢倉〇—四田中、野村

赤十字診療所

【錦州】日本赤十字社錦州支部では市中における醫療機關の不備と一般社員の要望とにより赤十字診療所を開設すべく準備中であつたが既に本社との諒解も得、場所家屋の選定も終つて城內の元張作相公館と決定したので兩三日中に模樣替その他の工事にかゝり遲くとも九月中旬までには開所の運びである、開所の曉は一般人の診察醫療入院は勿論特種婦女子の診察收容等も行ふ筈

家庭

初秋の鋪道の人氣者 ステツキの流行線 フツク物の全盛時代

初秋 のプロムネードに新しいソフトがあれば矢張り新鮮な一本のステツキを要求するでせう。ステツキは春と秋のもの、わけてさわやかな秋の鋪道にふさはしいもの。そのステツキのＡＢＣ――ステツキの本場といへば英國、その英國では紳士と勞働者との區別をステツキの有無によつてつけるさへきゝます。苟くも紳士たる限り散歩や漫歩は無論のこと、朝の出勤に、旅行に必ずステツキを携へるといふのが通例です。だから出勤にステツキを携へるのが新聞記者とデカに限られたやうな日本とちがつてサラリーマンであらうと店の番頭さんであらうとステツキを

愛好 することは非常なもので、どんな獨身者でも大抵五本や六本のステツキは必ず所有してその時々の氣分や場合によつてステツキを變へるのださうです。がまあアチラのお話は別として日本でもプロムネードにステツキ無くては不恰好な時代が追々目の前に來てゐるやうです。犬の好きな人が犬の頭の彫刻をくつゝけたステツキを持つたり、乘馬の好きな人が小さい鞭樣のもの、劍道をやる人が木刀見たいな大きなステツキを引ずつて歩いたり……さうした自分の特殊の趣味によつてステツキを選ぶ方もありますが、一般の傾向としては別に飾りなどつけないアツサリしたフツク（曲り）が全盛で若向には少し細目がスマートだとされ、年配には太目のフツクがよろこばれてゐます。一部の若い人の間にはヅンドウを一寸氣どつて振廻すのも流行つてゐますが、これは氣をつけないとキザになり易いやうです。

材は 何といつてもスネークウツドと籐が上品ですが、若い方にはお値段の大衆向なアツシユが斷然優勢です。籐には籐のよさがあり、スネークのあの重厚な味は又格別ですし、アツシユの青々として新鮮輕快な持味も亦一種の魅力ですが、籐とスネークの氣品に較べてアツシユは餘りに粗野で

うすつぺらで、やはり山登りだの遠足だの、浴衣がけの散歩位にとどむべきでせう。でこの中間を行く大衆的なものとして紫檀、ピンロー、アドー、ネムチなどがあります。籐とスネークは相當なものになると三十五、六圓から五、六十圓といふ

高價 なものですから從つて加工物や模造品が多く、油斷すると、さんだものを掴まされます。

て籐の上物は節が無く色が透きとほるやうな淡茶色をして下になるほど自然に細くなつてゐます。又曲りの裏を見ますと上等のものは節らないでそのまゝ曲げてありますが安物は削つてありますから明るい所でよく檢べると判ります。石突のあまり長いもの、矢鱈に金や銀を巻いたのもケンノンです。スネークは目方の重いのが身上ですから餘り輕いのは似せ物と御承知下さい、色は濃くて斑が蛇の腹のやうに萬遍なく平均してしかもはつきりしてゐるものほど上等です。およそステツキの長さは貴下の胸の中心から眞直に左右にのばした腕の高指の先までといふのが標準で、中背の日本人で先づ三十二吋見當、それより長いのは野暮臭く、餘り短くては却て氣品をおとします（浪華洋行山本三郎氏）

奥さまの手帳

胸やけ療法 胸やけは胃酸過多のためですから、大コップ一杯の牛乳に茶さじ二杯の酸化マグネシウムを入れて飲むと治ります。水でも利きますが、牛乳の方がよく利きます。

清々しい日本髪 爽かな秋の氣分を

白地に肉色、稍濃目のトキ色も

◇…八月といへば耳にも目にも既に聽へない秋のけはひです。久しく油氣を用ひなかつた洋髮ももうそろ〳〵日本髮におあげになるもよろしいでせう、で丸髷とします。髷形は大き過ぎるより心持小さ目のが秋口には輕やかでいゝものです。前髮、ビンタボ等もあんまり大きく結ふと如何にも暑苦しく見えますから全體を少し詰加減に、殊にビンや前髮をあんまり前に持出さぬことです。

◇…若い方でしたら根も心持上目の方が清々しくてよろしいのですが、中年以後は低加減の方が落着いて上品に見えます。ビンツケや水油も控へ目に使つてなるべく自然な氣分を現したいものです。手柄の鹿の子は中年向には青磁か水淺黃系のうすい色など新鮮な秋の氣分ですが、藤色系は寧ろ春のものでせう。

◇…丸髷初々しい若奥樣とすれば肉色か白地に赤の角絞り、或は憎くはありません。簪は翡翠か紫水晶のどちらでも結構、根がけは若向でも赤珊瑚珠には一寸早すぎます、まづ眞珠か白珊瑚翡翠でせう。櫛笄は黑鼈甲に淡い鼠の漆塗でその上に朝がほやすゝきなどの秋草の蒔繪を施したものなどこの頃の氣分に一番シツクリいたしませう（碾口逸子氏）

前田若尾女史 歡迎座談會 けふ後一時より社員倶樂部で

過般朝鮮を經由來滿、沿線各地の女子教育界を視察中だつた東京淀足高等女學校並に同裁縫女學校長前田若尾女史の來連を機とし滿日婦人團では本二十九日午後一時より滿鐵社員クラブに彌生、神明、技藝、羽衣等市內各女學校長を招待し同女史を中心とする歡迎座談會を開催することになつた、話題は前田女史の視察談を中心に全滿各地の女子教育界批判や內地における最近の傾向などに亘り忌憚なき意見の交換を行ふ筈であるが今や凡ゆる方面より注視されつゝある女子教育問題の八釜しいこの頃頗る有意義な催しとして各方面より注目されてゐるなほ前記招待者以外の一般有志者の參加をも希望する（會費不要）寫眞は前田若尾女史

愈よ來春より〝花嫁學校〟 技藝女校、女子專修と改稱 當局に認可申請中

大連技藝女學校では既報の通り、いよ〳〵來春から市內桔梗町の同校內に家庭科を新設することになり過般關東廳に對しては夙に民政署方面の諒解もあり、近く關東廳の認可が下るだらうとこれが認可方を申請したが、該計畫なは家庭科の修業年限は一ケ年、入學資格は同校四年卒業生又は官公私立の四年又は五年を卒へたもので、學科目は國文學、日本音樂、家事、裁縫、常識講座、趣味講座等の外將來主婦として緊要な家庭諸禮式、諸届書の書式等を敎へ、諸方面の實地見學なども ある筈なほ學校の附近に適當な普通住宅を借入れ、生徒はなるべくこの住宅（家庭寮）に寄宿させて、所謂寄宿舍式でなく極力家庭的な訓練を與へるとこれと同時に同校の名稱を大連女子專修學校と改むるべくこれ亦申請中である。

家庭知問

結核の素人診斷法を

【問】左右の乳、或は其上下が不規則的に痛む事が多いので困つてゐます、多少倦怠肩凝の氣味もありますが身體は普通以上肥滿し外見の體格は申分ありません、動悸息切れの氣味もあります、結核の素人診斷法を御敎示願ひたいのです（黃金町「讀者」）

【答】殆ど不可能 早く醫師にみて貰ふこと

結核、殊に其の初期に於ては醫師でさへも診斷に苦しむ事さへある程ですから之を素人で診斷する事は殆ど不可能と言つてもよいでせう。而して結核の症候は甚だ多種多樣ですが全力倦怠羸瘦食慾不振、最も注意すべきは體溫で多くは午後二、三時頃から六、七時頃の間に卅六度八分乃至三十七度一、二分位の微熱が出ます、その頃には罹患側の肩がコル樣になり就寢中に汗をかく樣になります又よく腋窩部に汗を流すのも結核患者によく見る樣です、所謂「カラセキ」が出たり澤山の喀痰をする樣になります、胸部の疼痛を伴つたりします、之が一層進行しますと遂に肺の小血管が破れて血痰が出る樣になり更に喀血は結核以外の肋膜炎肋間神經痛椎骨の異狀等に依りても起り得ますが多くは結核性疾患時に起る現象でよく呼吸時に疼痛を覺えます、其の他初期は輕度の頭痛、頭重感、食慾不振、輕度の寢汗盛や胃を惡くした樣な感じがあります、以上が大體の自覺症狀ですが兎に角早く專門の醫師の診察を受け一日も早く病苦より脫ぜられんことを祈つてゐます。（土井三郎）

赤ちやんの寢卷は さらしが良い

幼兒のための理想的の寢卷の用布は洗ひざらしたさらしなどが一番適當してゐます。タオル地の寢卷が多く用ひられますが幼兒には刺戟が荒くて無理です。腹卷もさらしを三枚位の厚みを重ねたものが一番身體のためにもよく汗も吸ひ取ります。そこで薄い洗ひざらしのさらしとか手拭地とかで、下は足首までの長ズボンのやうなものをはかせ、上は手の無い脇あけとか胸あきを十分に明けた簡單な襦袢のやうなものを着せ、五、六尺のサラシをぐるぐると三卷くらゐ腹に卷付けて紐でとめるのが着せ代へにも洗濯にも第一身體の爲めに一番よい方法です。

最小の旅行案內書

モスクワの作家協會で最近パリから切手ぐらゐしかない小さな書籍を買ひ入れた。この本は「美しいパリ」と題され今から約百年ばかり前にパリで出版されたもので內容はパリの旅行案內であると、殘念なことにその著者が解らないが恐らくこれは世界でも最小の旅行案內だらうといはれてゐる。

レース洗濯法 レースのカーテン、テーブル掛等は鹽を一握り程入れてとかした冷水に一晩浸して置いてからざつと鹽氣をゆすぎ出して普通の石鹼水の中でふり洗ひをする。

緣側の光澤 緣側や柱などは只拭き込んだのではなかなか思ふやうな艷はでませんが糠をよく炒つて、それを布に包み、それで拭くとぐんぐん光澤を增して來ます、新築の拭き込みなどに最も理想的です。

野菜の茹て方 すべて野菜は地上に出てゐた部分はお鍋の蓋をしないで茹で、地下に入つてゐたものは蓋をして茹てることです、例へば前者は枝豆、いんげん菜類、後者は大根、ごぼう、玉葱、芋類等です。

盛夏賦（上） 後藤末雄

私は今、房州の保田へきてゐる。私の家で使つてゐた女中が二人とも、それぞれ、一家の主婦になり、いろいろ世話をして吳れるから、毎年一家を擧げて此の海岸に避暑するのである。今年は暑中に入つてから、却て梅雨となり、毎日、ジメジメした天氣が續いてゐたので暫く出發を控へてゐた。其頃、私は半掃庵也有の「鶉衣」を繙いて、著者が僕友、嘯花、草風などの死を悼む誄詞を讀み「誠とはまだ思はれず初時雨」、「蚊やりにも泣いて見る野の煙かな」といふ形句に出逢ふと、雨だれの音が心に沁み入るほど淋しかつた。恰度其時、房州から手紙が來て、もとの女中の死を報じたのであつた。暫くリヨーマチスを患つてゐたが、末の子はハシカがうつり、其上、懷姙したまゝ心臟痲痺を起して急死したといふ。私はこの特異な死に方に一としほ哀れを覺えたのである。この女中は私が結婚して本郷彌生町に新居を營んだ時から來てゐて、三年ほど勤め上げて永の暇を取つたのであつた。相當な家の娘であつたが、東京へ奉公に出て行儀作法を見習はなければ、結婚資格を缺くといふのが土地の風習であつた。そして眉目形も鄙育ちとは思はれなかつたから、當時、私の家へ遊びに來た卒業したての友達がとかく評判してゐた。當人も此の噂には一種の誇りを感じてゐた。かれがれ東京で嫁ぎたいといつてゐたが、到頭、故鄕に歸つて或る料亭の若い御上さんになつてしまつた。併し斯ういふ商賣には有りがちな複雜な事情から、行末の幸福を賴りにして現在の苦勞を忍んでゐた。毎年「私の代になりましたら、もつと御恩返しを致します」と繰り返してゐた。先年、私達が巴里にゐた時、避暑にきてゐた女子大學生に賴んで、大使館宛てに暑中見舞を寄越して吳れた。とにかく昔の主從が久しぶりで出逢ふことは、お互に何ともいへない樂しみなのである。

連れ立ち、今は故鄕の土となつた「貞信大姉」の墓前に香華を手向けた。此日照りには橘の葉も蝦夷菊の花も黃いろく干からびてゐた闇に咲いて闇に枯れけり月見草 保田から出た唯一の偉人は菱川師宣である。彼は元、縫箔師の悴であつたが、江戸に出て畫を學び遂に浮世繪の始祖となり、自から日本繪師と稱してゐた。そして出生地の保田には元祿七年、友竹入道師宣寄進の鐘が別願院といふ海邊の庭寺に殘つてゐる。毎年、避暑客の出盛る頃、保田在住の金森南耕畫伯、京都書肆、井上幾太郎君施主となり、師宣の後裔、某といふ漁夫を請じて「師宣祭」を行ふ。避暑客が來會して、いろ〳〵餘興が催される。私も以前には山村耕花、石原純、原阿佐緒、紀太藤一君などと一緒に席末を汚したことがあつた。そして名ばかりの鐘樓につるされた師宣寄進の鐘が今は消防用の警鐘に利用されてゐるのを悲しんで

大和繪の昔、聞かばや瀧寺の鐘ふく風に背さびし

蟬時雨の蒸暑い日、私は妻子と

學藝

滿洲の〝アイヌ〟 赫哲（ゴルチ）族を語る【下】 吉林にて 有岡生

彼等の蒲團は野鹿の皮を以て作り夫婦揃つて狩獵に出る時には子供を野鹿の袋に入れ樹枝に吊るして出掛ける。又雪の上にこれをぶつてころ寢と洒落込む。寒さに馴れた彼等は、こんな事は平氣らしく子供が生れた際は冬でも氷を割つた冷水を以て產湯を使はすといふから相當なもの。そして氣の弱いママは一ケ月も、二ケ月も寢込む產後を一時間もすればもう外へ狩とか、釣に出掛けるといふからガツチリしたものである。それでも死人の葬には丁寧を極め彼等の葬式に關し古書に「人死すれば之を葬り、木を以て人を形どり、鼻口を具へ、熊皮を着せしめて食物を口邊に供す」とあるから大體想像される。

年々殘り少くなつて行く彼等を奪つて行く天然痘のアバタには、さすがに閉口すると見え一部落にこれが發生すれば全部落が他に逃げ出し、或は患者を山中に送つて隔離するが、しかも年々これに襲はれて行く者は夥しい數に達するといふ。

△　△

約三千年の昔、殷の箕子が部隊五千を率ゐて朝鮮の王として君臨した時代の、その上より漢族の滿洲侵潤は早くもその根を下したものので先史時代より南滿地方には先住民族があり北滿民族と異つて居た事は考古學的遺物の硏討により充分證明されて居る。山東から海を越えて遼東半島に上陸し北進を開始し一つは渤海沿岸に傳つて遼河流域に出てたものである。そしてこの遼河流域を挾んで東北吉林の山奥に根據を有したツーグース民族は興安嶺方面に據つた蒙古民族及び漸次北上して來た漢民族を向ふ前後三千年に亘つての血みどろな民族爭鬪を續けたのであつたが然し生存力の旺盛な漢民族の敵ではなく遂に敗れたツングースは北遷し、その陣地を漢族に讓つたのである。

この痛ましい鮮血にまみれた爭鬪史の犧牲となつて北遷した赫哲族に今や省公署當局より溫かい救ひの手がさし伸ばされやうとしつゝある。そして彼等は今では我がアイヌ族と同樣滿洲國の保護民族の一に算されて居る。

△　△

今年も又朔北の身を刺す冬が近づいた。彼等は何の希ひも望もなく、然も屈託の無い嘲ひを喰はんがための、喉底と雪と魚を見んが爲の生命の糧として、早くも矢を研ぎ弓を張つて居る事であらう。（完）

【寫眞說明、松花江と黑龍江の合流點附近を滿洲國沿岸に沿ひゲ・ペ・ウの監視を受けつゝ交易に向ふ赫哲人、なほ是等の寫眞は宮本調査股長の撮影になるもので赫哲族を知る唯一の貴重な資料で恐らく世に發表された最初のものである。筆者附記】

て彼等の事情を聽取したが、嘗ては二百年前黑龍江省より移り住んで現在に至つた、とのみで更に要領を得なかつたといふ。病疫と洪水で滅亡して行く彼等は更に滿人との結婚によつて漸滅して行くため縣當局では彼等の滿人との結婚を禁じ同族結婚を獎勵して居る。

現在彼等の分布は撫遠縣の合流點を中心として饒河の一部、ウスリー江沿ひに僅少、沿海州沿岸に極少數の同族が散在して居るが、撫遠縣における分布は判明して居るもののみで

額圖七戸三六人、秦皇魚涌五戸二八人、秦得力五戸二五人、三又口四戸二〇人、十家子二戸一一人、其他三戸一〇人、計二六戸一三〇人

といふはかない數である。然も、この內女子の數が斷然男子より多く結局賣れ殘りの彼女達は泣きの淚（?）で滿人、特に山東からの權古先生の許へお腰入れ遊ばされる譯で、かうして段々血が混じつて來て純赫哲族が減つて行く。

學藝消息

◇文藝座談會 大連新聞學藝部主催で本二十九日午後七時半から電園內伏見臺圖書館で開催

◇〝經濟評論〟（九月號）東京麴町區九段四丁目叢文閣から創刊 執筆者矢島淳二郎、鈴木小兵衛、小林良正、深谷進、河本勝男氏等

新刊紹介

海戰秘話（中島武著）著者は海軍少佐、東西の戰死を讀む間に日清、日露の歷戰者たる海軍諸將星を訪れ思ひ出話をきゝ、それを集錄したのが本書である、海軍中將川島令次郎氏は「世に海戰に關する著書多しと雖も、本書の如く奇譚秘話を集錄し得たるものは稀れなり、而もこれ、荒唐無稽の想像にあらず、記する所皆事實の眞相を穿つもの…」と序において太鼓判を押してゐる、その內容は日本海戰の卷、世界大戰軍艦の卷同潛水艦の卷、同帆船の卷の四篇にわかれ、一讀行文流暢、興味津々たるものがある（發行所東京下谷區下車坂町一五學而書院、價一圓八十錢）

●つはもの（八月十五日號）發行所東京麴町區九段一ノ五軍人會館事業部、價四錢

●滿洲公論（八月號）日滿經濟ブロツク成立の基本的資料解剖特輯號（發行所大連紀伊町九其社、價五十錢）

●月刊滿洲（八月號）曾我旋次郎の「馬賊頭目と語る」粕谷秀樹の「吾家の危機」等（發行所撫順東八條通四七其社、價五〇錢）

機構改革問題と治廢問題考察

小野實雄

(1) 機構改革問題

滿洲國成立前に在つては三頭政治若しくは四頭政治の弊害が論ぜられたが、滿洲國成立後は所謂三位一體的機關として、同一人が全權大使、關東軍司令官、關東長官を兼任する事により在滿政治及び軍事機關の人的結合が爲され、この人的結合機關と經濟機關たる滿鐵の合作に因り滿洲經營が爲されて來た。然しこの三位一體的機關なるものは滿洲建國に對應する爲め匆々の間に繼ぎ繼つた間に合せ手段であり、中途半端の制度である。從つて滿洲の狀況整備に伴ひこれが改革を論ぜられ、又これが決定を爲すべきは必然の要求である、今やこの問題が關係官廳たる陸軍省、拓務省、外務省の間において各自案を作成し折衝が進められてゐる。然しこの問題は滿洲經營の將來に根幹を爲す重要性のものであり民人の利害休戚に係ること多大の制度に鑑み單に一部官憲のみに委し得べき問題ではない、宜しく民間よりもその所信を披瀝し以て制度改革に資する事を緊要と信ずる。

今陸軍、外務、拓務の三案なるものを觀るにその多くは自己權限の擴張に汲々たり、或はその縮小に躍起となつて反對せるの感なきを得ない。外務省は滿洲國は獨立國家なりとしてその全權大使の中心性に主力を注ぎ、拓務省はその所管たる事業の見地よりして他の小植民地的同樣にその機構を定めんとしてゐる、然し滿洲國成立の原因と其建國の精神とに鑑み滿洲國が日滿議定書に基く日本と不可分的一體關係にある獨立國として存在し日本と特殊性を有する國柄たるに想到すれば、外務省案の如く歐米諸國の如き獨立外國と滿洲國とを同一視し同一に取扱ふ事は斷じて出來ない。從來のこの外務省根性が張政權時代におけるわが對滿政策を如何に阻害したるかを顧みれば、この際の對滿政策に外務省は一言の容喙權は無いと言つても過言ではあるまい、又過去に於て苦き經驗を嘗めたる三頭政治の弊を此の機會に矯正する必要も忘れてはならぬ。從つて日本と滿洲國の特殊的關係は當然對滿機關の特殊的機關ならざるを得ない、即ち滿洲に對しては外交機關も他の列國に對すると異りたる機關とする事を必要とす、この意味において現行外交官々制は日本の滿洲國に對する限りに於てはこれを排外變更する事を絶對的必要事と信ずる。以上の趣旨に因り在滿政治機關は左の如く改革するを以て適當と信ずる。

一、滿洲國における日本最高機關の官名はこれを「駐滿全權」と稱し、その官廳名を「駐滿全權府」と稱す。駐滿全權府内に外交部、行政部及び軍事部を置き外交部は滿洲國との外交に當り、且滿洲國内日本領事を統轄す。行政部は滿鐵附屬地の行政を司り產業、財政、地方、警務(附屬地外日本人關係の警務をも含む)の事項を所管す、軍事部は從來の關東軍司令官の職務を行ふものにしてこの制度に因り關東軍司令官の名稱はこれを廢止す、駐滿全權が軍事を司る關係上當然駐滿全權は陸軍武官たるを必要とし又對滿關係上その階級は大將たるを必要とす。駐滿全權は一般行政及外交に關しては内閣總理大臣を經て上奏を爲し及裁可を受け軍令に關しては參謀總長軍政に關しては陸軍大臣の管掌を受くるものとしその駐滿全權の地位は大體朝鮮總督と同様にすること。

一、關東州はその租借地たる特別の區域たるに鑑み獨立の行政區劃と爲し勅任の「州廳長」若くは「州知事」を置き其の直接監督機關は拓務省とす、抑々關東州租借地たるや租借期間内は日本帝國の名に於て完全に自國の統治權を行使し租貸國又は第三國の主權行使を包括的に排除するものであつて單に特別行政區域として統治作用の形式に幾分の變化あるに止まり統治權を有する點に於て領土主權と何等の差異を認めない。從つてこの鐵道を經營するに必要なる區域として司法權を除外され教育土木衞生等行政施設が滿鐵の業務に屬し關東廳は單に間接に此等を監督するのみにして直接には警察權のみを有する南滿洲鐵道附屬地とは到底これを同一視し若しくは同一に取扱ふこと能はざるものである、從來關東長官に關東州の外滿鐵附屬地に對する前記述ぶるが如き權限を附與したるは租借地關東州を本據とし、これに接壤する小地域の附屬地に有する日本の行政權を便宜附加的に與へ之れを統一したるに過ぎない。然るに滿洲事變以來事情は一變し關東州を本據としたる日本の政治的勢力は北進し往時と顚倒するの狀況を呈するに至つた、茲に現行制度の關東長官を廢止するの必要を見るに至つたのである。而して滿洲國に駐滿全權を置くもこの外國たる滿洲國に駐在する駐滿全權に於て我完全なる統治權下に在る租借地關東州の行政に手を伸ばして監督することは出來ない、蓋し完全なる我國統治權の存在する關東州に本據を置きその行政長官たる關東長官にして始めてそれに接壤する、より狹き面積と、より狹き行政權とを有する滿鐵附屬地に對する行政權が附加的に併せ附與するを得るも、之れに反し外國たる滿洲國に本據を置く全權が我完全なる統治權下たる關東州の行政を監督することには、その妥當性と法律的根據を見出し得ないのである。更に換言すれば外國の滿洲國における政治機構とわが租借地たる關東州における行政機構と截然區別する事を徹底するにある。この理由に因りて關東州は他の新附の地域と同樣純然たる植民地として又その行政機構は臺灣南洋程度に取扱ひ拓務大臣の直接監督下に置く事を以て適當とする。

(2) 附屬地返還問題

南滿洲鐵道附屬地は日露戰役において我等先輩幾萬の英靈と鮮血と十數億の國帑を犧牲として明治三十八年九月五日調印同年十一月二十五日批准の日露講和條約第六條により當時露國の有したる權利を日本において讓渡を受け、次に同年十二月十二日調印翌三十九年一月二十三日批准の日清間の滿洲における條約及びその附屬議定書に基き軍用安奉鐵道線をば工業用鐵道に改め引續き滿鐵に於て併せ經營する事となつて得たものである。

斯る歷史を有し且我が日本の大陸發展の根據地たり支那に對する模範行政區域となつた滿鐵附屬地の返還若しくは讓渡といふ事は左に述ぶる二つの場合にのみ起る問題である。

一の場合は日本の勢力的減退を意味する場合、即ち往年の露國の如く戰に敗れその戰勝國に讓渡し若しくは滿洲國の勢力下に日本が置かれ附屬地を滿洲國に返還するの餘儀なきに至りたる場合

二の場合は日本の勢力的伸張を意味する場合、即ち滿洲國が日本の完全なる勢力下に置かるゝ場合、この場合の一は日本の滿洲國併合の場合にして他の一は滿洲國が日本との條約に因りて日本の隸屬國若しくは被保護國となりたる場合である

以上列擧の場合を外にして附屬地返還のことを考ふべき餘地毫も存しないわけである、從つて現下の日滿關係を觀るに、以上列擧の內のその一つにも該當すべき狀態に置かれてゐないのであるから、現在の狀態において附屬地返還問題を云爲することは誤れるも甚だしきものであるといはねばならぬ。

(3) 領事裁判權撤廢

領事裁判權の撤廢は時期の問題であつて滿洲國內の裁判、檢察、監獄、警察の諸制度整ひ且これを運用する官吏の實質的向上改善に伴ひ、これに對應、正比例して地域的漸進若しくは全般的に撤廢を行ふべきものであるから是等の情勢を無視して徒に撤廢を急ぎ、若しくはこの撤廢と何等の關係を有せざる附屬地と關聯せしめて領事裁判撤廢の時期が附屬地返還の時期といふが如きは迂愚も亦甚だしき論といはざるを得ない。

現下の滿洲國裁判制度を觀るに涉外部を設けて日系官吏の審判を掌理せしめてゐる、然しながら日本政府は滿洲國建國の精神に鑑み其の政治機構の全般に及んで指導的立場に立つてゐるのである、其の中央たると地方たるとを問はず又行政、軍事、警察、財政、稅關等各方面に亘り悉く日系官吏がこれに參與しその指導に當つてゐる。而してそれは日本人に關係あると否とを問はない。從つて司法權運用上にのみこれと異なる理由を見出し得ない。然るに現在の裁判機構を見るに前述の如く內に涉外部を設けて日本人關係事件にのみ日系官吏を配置したるは日本の指導精神が裁判機構には除外されてゐるものと言はれても仕方あるまい。この點は速かに方針を改め裁判機關の全體に更に進んで司法機關全體(裁判のみならず檢察監獄機關)に通して日系官吏を配置してその指導に當る事の必要を痛感する。(カットは小野氏)

工を急ぐトラック(新京國際運動場)

國際點描

巨頭廬山に集る

「廬山に入るものは廬山を見ず」といふのは古い。「靑年支那」の指導者は牯嶺の勝地に夏を過ごし乍ら、內治外交の根本策を練らうといふのだ、事實上に於ける獨裁執政蔣介石氏を中心に、行政院長汪精衛氏—財政部長孔祥熙氏それに久しく莫干山にお神輿を据ゑて形勢を觀望してゐた黃郛氏が加はり、此の所全支那の智能は廬山に集まつた態だ、蔣介石氏の懐刀で日本通として自他共に許す湖北省主席張群氏は既に御大のお膝元に控へてゐるのだから、廬山會議第一の議會が北支那の諸懸案を中心とする日支兩國關係の調整に存することは想像に難くない。避暑がてら靑島に集まつた所謂歐米派のお歷々、曰く宋子文、曰く王正廷、曰く顧維鈞、曰く顏惠慶等々、日支紛爭事件當時ジュネーヴと南京上海と相呼應して暗躍を逞しうした「失業」外交官諸君が打倒親日政策の一枚看板で、盛んに策動を續けて居るらしいが、ガッチリ手を握つた蔣、汪兩巨頭の合作に一分の隙もなく、北支那では黃郛政權絕對支持に國策が極つてゐるとすれば外交政策に關する限り廬山會議の山は見えた。對日策に「承認」の太鼓判を得た好漢黃郛氏が、片腕北寧鐵路局長殷同氏を帶同半年振りで北上するのも餘り遠い將來のことでもあるまい通車辦法の實施に引續き通郵設關等長城線に山積する懸案の處理と捲土重來のゼネラル・ホワンフに期待しやう。

滿洲國への認識

國民府政が表面「擬國」と惡口言ひ乍らも通車通郵と事實上段々滿洲國を承認して來るのと同樣聯盟總會の不承認政策を棚に上げた儘全世界は今や「紛爭の嬰兒」滿洲國の前に脫帽し始めたではないか滿洲國不承認案の火元リットン調査團の次ぎに高慢ちきなジョン・ブルの國土から「產業經濟視察團」がやつて來ると言ふのは、何と云つても世の中は皮肉だ。タイムス紙やモーニング・ポスト紙等英國の一流新聞が筆を揃へて「滿洲國は土地肥沃で天然資源に富んでゐる」とお世辭を並べ、英國產業界は此の東洋の處女地を開拓せねばならぬと力說して居るんだから痛快千萬、視察團は全く商業的で、何等政治的意義を持たぬやうだが、「商業的」にでも滿洲國を承認することは何といつても不承認政策崩壞への大きな一歩に違ひない。

銀の復位

「世界工場」英本國の產業界が、失はれた市場の回復新販路の開拓に大童となつてゐる時、弗帝國主義の合衆國は通貨操作に忙しい。弗貨の平價切下げ斷行以來銀に關する大統領令が何遍出たか、一々覺えても居られぬ位だが最後に飛出したのが銀國有令、八月九日以後九十日間に國內に現存する銀を全部買上げ、新しく銀證券を發行しやうと言ふのだ。尤も國內における銀浮動在荷は精々一億五千萬オンス、オンス五十仙で買上げて七千五百萬弗の通貨增發に過ぎないから恐ろしいインフレーションが誘致されさうにもない。シルヴァライトの急先鋒、上院外交委員長キー・ピトマン氏の如き、銀國有案の斷行に有頂天となり「銀問題は永久に片付いた。世界の過剩銀は漸次吸收されて、結局一オンス一弗二十九仙の法定平價に達するだらう」と囃いてゐるが、さう簡單に銀價が騰貴するかどうかは疑問だ。然し何れにせよ米國政府の關する限り銀問題は一段落だ。そこで流產に終つた國際通貨經濟會議を復活させようではないかとの說が有力となる譯、タイムス紙のワシントン特派員なぞ早くも弗價の再平價切下げを揚言して居る。ルーズヴエルト大統領の投じた一石が意外な波紋を起して國際金融界は漸く多事だ。

内地の高原避暑地

輕井澤にて　日笠旭東

四萬と伊香保
滿員の温泉地風景

カラ梅雨だらうといはれた梅雨季から一箇月後の東京の豪雨は七月一杯で打切り、八月になつて今迄の冷氣を一氣に解消して初めて灼熱の夏季に入つた。だから暑さが滅切こたへる。人は海や山やへ涼を趁うて走る。「かもめ」だの「さざなみ」だのと命名された快速列車が湘南方面や房總方面へ頻發される一方には「高原列車」と銘打つた山地行きの臨時列車が信州方面へ突つ走るし、又上越地方や其の他の温泉地行きが何の列車も超滿員の盛況さである。

四萬温泉が滿員だから伊香保へ引返した東京の客が、伊香保で又滿員を喰ひ六疊の室へ三人押し込まれた等々、到る所の温泉が大入客止めは驚くばかりの繁昌振りである。箱根もあるし伊豆地方もあるが夏は矢張山地方面へ客足が向くので、近いだけに上州の温泉地が最も便利なためばかりではない、重點は安價なからだ。

×

伊香保では二代續きの武太夫代議士の小暮旅館が率先號令し絶對茶代廢止をやつたのが最もよく利いた。尤も茶代廢止とは怪しからぬといふので、權利や義務に關係なき茶代は旅館側から廢止すべきものではなくて、入らなければ辭退すべきもの又謝絶すべきものだといふので、態々茶代謝絶や辭退といふことに改めたところもあるが、兎に角茶代が入らぬことが何れほど便利か。特に一泊旅行の客は宿料よりは茶代の方が多くなるやうな苦痛があつたのだが、今はそんな氣遣ひもなく堂々と歡迎されてゐるので、旅館側でもこの多數の一泊客が最も上得意だと汽車の三等客見たいで或意味から優遇されてゐる。

箱根では茶代謝絶の看板はあつても遣れば取るのだから、これでは駄目だ。だから絶對謝絶の熱海が近來大發展を遂げてゐるが、伊香保や四萬等々、此の方面の温泉旅館は絶對謝絶の上に、第一宿料が安い。箱根方面の三分の一、贅澤をしても半分の費用で、濟むので無論安いには安いだけのことがあるけれども、人間はさう上層人物ばかりはゐないから、安許りワンサ〳〵と上州方面へ押し出す。家族づれ特に子供づれの女客が多いので、何所の家でもハチ切れさうな收容客で、他愛なく喜んでゐる。

×

お客の九九%までは東京人である。何しろ人口五百萬の大都會を控へてゐる手近な遊行地は、これから繁昌しても寂れる心配なしといふ上々の景氣である。伊香保では最近別館流行で三十六軒の温泉旅館中別館のない家は皆無の狀態で、競爭的に第二、第三の別館を拵へてゐる。榛名山の中腹、それも急峻な尾根の一角に豐富な温泉が湧き出るだけで三階四階の所謂別館が次第に建て込んで來た。何の家にも若い婦人客と子供のお客さんが多い。賑やかなことだ。が農村は目下疲弊困憊の窮境に追ひ込まれてゐるから、直接の御利益はなくとも都會のインフレ景氣に煽られて東京人が最も多いのだが之を困り切つてゐる養蠶地の群馬の農民がどう見るだらうか?。澁川から四萬へ伊香保へ、自動車は都人士を乘せて遠慮會釋なく土埃を農民の面へ浴せかけて行くのだ

寒冷な輕井澤
高原避暑地風景

東京を一歩郊外に出ると武藏野の原が深緑のうねりを縱橫に見せてゐる間に、既に稻葉が伸びて浦和附近の早稻田には穗波が動く。高崎線は信越、上越の兩線と兩毛線とを擁して、此の森と林と稻田との間を滿員の乘客を載せて走る。東京から上信越方面の避暑客と、必ず三等車と二等車とも間違へて入つて來るこの方面の地方人とを運んで行くのだが、輕井澤への臨時列車は「高原列車」と銘打つて鐵道省旅客課が頭の良い命名を誇つてゐるのだ。

碓氷川の流れに沿うてうねりうねりつゝ例のアプト式で碓氷嶺を登り切つた列車は、輕井澤でモダンな内外の都人士を景氣好く吐き出す。海拔二千五百尺の高原輕井澤は西洋人村と呼ばれたものだが、今は外人に負けぬ裝ひのブルジョア階級の日本人特に若い男女が多い。ゴルフや色々の運動具を態さらしく背に懸けたハイカラな洋裝の人々は肩で風を切つて歩く。自動車上に斷髮洋裝の婦人が高慢ちきな顏をして馳驅する間を、草津温泉への地方客が呆れて見てゐるが、小娘は指を銜へさうな羨ましげな光景だ。

輕井澤にはもう秋風が立つてゐる、落葉松の下葉が赤く色づき出した。涼しいといふよりは朝夕は寒い。東京の九十度の暑熱に反して僅か四時間足らずで、風邪を引かぬ用心をせねばならぬ變り方だが、此の用心をしながら八月一杯ゐなければ肩身が狹いブルジョアほど厄介なものはないと思ふ。

輕井澤の別莊地は草津電鐵に沿うて舊輕井澤の方へ、奥へ〳〵と伸びてゐたものだが、此所數年來方面轉換をして信越線に沿うて西へ伸びて行く。虹の多い雜木のある安價な草原の彼所此所にチラホラ別莊なるものがある中に、芳澤謙吉氏や鳩山一郎氏のもあるし鈴木喜三郎氏のも一昨年から本格的の別莊となつたのださうな。が木造の二階屋は震災後のバラックへ手を入れたやうなものだ。相變らず本邸下の自動車溜りに白服の警察官が數名ゐるのは、別莊地風景としては映りがよくないけれども大政黨の總裁とあつて長野縣當局も放任を許さぬらしい。

×

鈴木總裁と私との對談は長時間に亘つたが夫は此の避暑地高原を描く中へ投げ込むには餘りに現實的な問題で且つ殺風景だから省く唯私の切言した對滿對支政策に就て、直ぐ下の別莊には芳澤氏もゐることだから、相當な批判が加へられるであらう。私は廣大な新ゴルフ場から吹いて來る夕風に寒氣を催しつゝサッサとこの高原を退却し引返して炎熱の東京へと急ぐ

實る秋（内地風景）

大連防空獻金寄附者（大連市役所取扱）
（滿洲土木建築協會四萬五百圓の内譯）

▲七千五百圓大倉土木株式會社大倉商事株式會社▲五千五百圓榊谷組▲二千五百圓高岡組▲二千圓宛株式會社大林組、株式會社清水組▲一千五百圓宛株式會社間組、吉川組、合資會社長谷川坂本組岡組▲一千圓宛株式會社鹿島組、伊賀原組、合資會社三田組▲九百圓宛株式會社飛島組、福井高梨組▲八百圓宛合資會社大同組、碇山組合資會社西松組、合資會社鈴木梅本組、鐵道工業株式會社▲七百圓西本組▲六百圓宛株式會社松本組、合資會社志岐土木組▲五百圓宛合資會社馬井組、今井組▲四百圓宛合資會社池内市川工務所、辻組▲三百五十圓合資會社共進組▲三百圓宛合資會社原組、合資會社草場組▲二百圓株式會社多田工務所▲百五十圓合資會社星野組▲百圓宛東洋コンプレッソル會社、名越工務所、合資會社間瀨組、株式會社福井組、白川洋行尙厚溫、組合名會社京城阿川組株式會社錢高組、日本工業合資會社、荒井組、栗原組▲五十圓宛、松浦組、合資會社長門組

▲一萬圓滿洲化學工業株式會社▲二千五百圓宛滿洲製麻株式會社、昭和製鋼所▲百圓宛大内成美、小川順之助▲九十圓大連醫院八千代會▲七十七圓橫濱正金銀行大連支店内有志▲七十圓原田ケイ▲七十二圓五十錢大連沙河口公學堂生徒一同▲六十九圓十五錢大連土佐町公學堂生徒一同▲六十五圓大連伏見臺公學堂生徒一同▲六十二圓六十錢大連西崗子公學堂生徒一同▲六十一圓八十錢大連秋月公學堂生徒一同▲六十圓三十錢大連ツラナ舞踊會▲六十圓大連農事會社小倉鐸二外十八名▲五十二圓六十六錢產羅教會大連婦人會▲五十圓宛小川慶次郎、ジャパン・ツーリスト・ビューロー、池田義夫、滿鐵育成學校生徒一同、岡元爲吉、大隆公司、立花福男、大連株式商品取引所内株榮會、株式會社山田商店店員一同、日野恒次郎、淡月席藝妓一同、楢崎隆藏、滿電會計係員一同、三越支店員一同、酒井秀一、滿鐵菫婦人會、秋元米三、田崎豐作、太田伊之助、横山サキ、横爪ツタ、小林庄五郎、大連取引所信託株式會社々員一同▲四十一圓六十五錢沙河口勸商場出店者一同▲四十圓宛富田荒太郎、田中源次郎、大連伏見臺西區町内會、西崗子質屋組合田村浩人外五名▲三十六圓五十錢電々會社々員養生所生徒一同▲三十五圓七十三錢大連取引所員一同▲三十五圓大阪商船會社々員一同▲三十三圓四十五錢大連石炭商組合從業員川口俊憲外六十四名▲三十圓宛 池田敏之、大連取引所錢鈔信託會社内一同、松本一造、岩井勸六、猪口勇、大連霞婦人會、今泉作治及江口喜代次關東婦人會、大連產婆會、谷口春美、大華電氣冶金公司社員一同、草川直三、園部又三郎▲二十五圓宛伊藤平八、天の川發電所員一同▲二十二圓七十三錢金光教大連青年會▲二十二圓二十四錢關東廳刑務支所十河竹次郎外職員一同▲二十一圓星乃家從業員一同▲二十圓宛埠頭船客待合所内營業者一同、大連會屯金融組合、日本生命保險會社大連出張所一同、小松駒吉、片岡貝治、山内勇吉、明照寺内淨友會、橋國三二、安富義宏、合名會社三清洋行、大連春日小學校六年生有志吉野號、澤田橋三、今井眞澄、河島磯志、福田顯四郎▲十八圓三十錢昌和洋行支店員一同▲十八圓無名氏▲十六圓七十五錢市川金太郎▲十五圓宛濱岡辰雄、落合周市、鈴木支吉、安藤ユキ▲十四圓鳥羽まさ▲十三圓五十錢原田孝七▲十三圓二十錢荻野修康▲十二圓八十錢大連商業學堂生徒一同▲十二圓五十錢長澤圭五▲十二圓十六錢東亞煙草會社大連在勤員一同▲十二圓七錢大連常盤小學校六年生松本住子外十名▲十二圓須鼻梁平▲十一圓九十錢關根忠篤外十一名▲十一圓大連第二中學校軍事研究會▲九圓二十五錢中川邦四郎▲九圓小川精一▲八圓七十五錢カフェーミス・ダイレン女給一同▲八圓山縣嘉一、黑澤謙吾▲七圓五十錢今泉勉一、田村詢一、柳田昌一、田部井定雄、長尾重雄、中村勝人、田中勝藏、桂小六、鶴田幾十郎▲六圓五十八錢大連朝日小學校五年西岡少年外六名▲六圓四十七錢大連嶺前小學校五年生有志▲六圓菊地敏夫▲五圓三十二錢鬼頭正太郎外五名▲五圓二十六錢大連朝日小學校五年生有志▲五圓宛松田兼德、鈴木兼重、平塚しう子、青木梅子、藤本協一、及方吉山、北島保、伊藤芳太郎、廣松正滿、櫻井正春、中出久次郎、上山雅敏、川南温知、潘海臣、張雅軒、碇子隆三、金森忠吉、大塚娛作、山島ミツ子及山本ナヨ、宮崎健郎、佐藤平次、山田乙治、菊地秀之、山室房一、小澤篤次、田端恒雄、高木明、小林吉五郎、深澤幸一、大連旭會、松木キヨ、和田清太郎、藤井萬次郎、渡邊スガ、北澤義雄、久保田正直、圓橋六太郎、丹治春代及すゑ子、上地旭輝、長谷川昇、日下四郎、田中有二、森房子、田岡正樹、大陸窯業會社々員一同、惟神婦人會、磯部達美、今井健五郎、早川正雄、シャーレルデ、フローレンス、山浦貞、高田綱吉、福泉榮造、名越高太郎、千葉豐治▲四圓八十五錢木下長八外四名▲三圓八十五錢大連朝日小學校四年生有志▲三圓五十錢大原康生▲三圓三十錢關東廳大連救療所職員一同▲三圓十七錢金重明▲三圓十五錢大連朝日小學校四年伊藤少年外九名▲三圓一錢大連朝日小學校三年生有志▲三圓宛河野清治郎、靑木貞子、高田愛次、大神某、安元光三、片山諒太郎、千歲町住人、村田保、荒井清、石村不三吉、田邊修、小濱中澄、上田宗太郎、日高岩吉、須田千代子、伊藤清一郎、三谷繁太郎、福尾彦枝▲二圓七十錢大連朝日小學校五年生島鎭江外四名▲二圓十六錢大連伏見臺小學校五年生三組女子部一同▲二圓十錢名越壽太郎▲二圓宛佐藤政八、靑木邦子、伊藤長太郎、木村某、和泉太兵衛、風呂崎峰吉、吉野享、坂田眞雄、龍門ヒデ、森本芳太郎、山本修平、中村議一▲一圓五十三錢大連朝日小學校六年生中西不二子外二名▲一圓四十錢宛別府龍、小城末喜、西脇幸次郎、岡田末吉、加來善一郎、國川作市、田邊敬吉、山根哲次郎、吉村定吉、河野義三郎、辻松太郎、安藤勝次郎、大田十一郎、江守順太郎、小竹伊助、辻一三三、上野深照、中溝新一、原安五郎▲一圓三十七錢大連朝日小學校大連大廣場小學校兒童有志▲一圓二十錢松林小學校六年生橋場秀衛外七名▲一圓十錢中野嘉江外一名▲一圓宛大正通住人、一市民、一市民、白濱藤六、岩下傳一郎、畑中表具店、宮田甚太郎、竹田憲司、一女學生、山川シゲ、磯部きくゑ、江口長右衛門、木下紀代子、▲六十錢小野ハル子▲五十錢一小學生▲二十錢木全純一▲參千圓首藤定▲貳拾五圓關山民平、今永茂▲拾圓鈴木ふみ▲二千圓東洋棉花株式會社大連支店▲一百圓濱崎商店▲五十二圓東洋棉花株式會社大連支店員一同▲五十圓八十錢村井啓次郎外一同▲十三圓昭和製鋼所大連出張所員一同▲十圓ナニワ藥房▲一圓四十錢宛河内洋行、安東浦藏、須藤安治、▲五千圓國際運輸株式會社▲五百圓不破洋行▲二百五十二圓國際運輸株式會社築島信司外三百名▲二百四十三圓六十七錢大日本關西相撲協會▲三十四圓五十六錢日本赤十字社大連病院職員一同▲三百圓株式會社山葉洋行大連支店▲二百二十圓南滿洲工業專門學校生徒一同▲一百圓星ケ浦區員一同▲十圓日吉男▲五圓大正通信社員一同▲二十錢鶴田半七

祝創刊第壹萬號並ニ三十周年記念

宮內府大臣 沈瑞麟
侍衛官長 工藤忠
侍從武官長 張海鵬
尚書大臣 耶宗熙
宮內府次官 入江貫一

滿洲國參議府

議長 張景惠
參議 袁金鎧
同 貴福
同 筑紫熊七
同 田邊治通
同 增韞
同 矢田七太郎
同 寶熙
同 胡嗣瑗
秘書局長 荒井靜雄

滿洲國國務院

國務總理兼文教部大臣 鄭孝胥
民政部大臣 臧式毅
外交部大臣 謝介石
軍政部大臣 張景惠
財政部大臣 熙洽
實業部大臣 張燕卿
交通部大臣 丁鑑修
司法部大臣 馮涵清
興安總署長官 齊默特色木丕勒
總務廳長 遠藤柳作

立法院長 趙欣伯
檢察院長 羅振玉

市政公署

市長 金壁東
總務處長 橋口勇九郎
行政處長 董暘

中央銀行

總裁 榮厚
副總裁 山成喬六

新京鐵路局

局長 金壁東
副局長 山領貞二

國都建設局

局長 阮振鐸
總務處長 結城清太郎
技術處長兼建築科長 近藤安吉
庶務科長 江崎猛
計畫科長 溝口五郎
土地科長 草地一雄
土木科長 武藤吉治
水道科長 重住文雄

國道局

直木倫太郎

滿洲國協和會 中央事務局

新京市場株式會社

鐵道事務所 芳野千代太

新京吳信臺所 清水末一

滿洲自動車交通股份有限公司 新京西五馬路十二號 交通タクシー 電話 四八八七

船越商合

林田寫眞館

賓宴樓

スポーツ

スポーツとしての 釣と獵 【三】

南山與太朗

獵と釣との共通點があるやうに、この兩道にいそしむ者は殆ど片一方の獵ばかり、或は釣ばかりの者は至つて少なく一人で兩道行く者が多い。のみならず之等の人は大抵近代スポーツの一技に秀でる者である事も釣と獵とが近代スポーツに一脈相通ずるものゝある結果ではあるまいか。

此處まで來ると筆者與太朗も非常に困つた。筆者自身の大馬鹿者は少しも據はぬが他人樣を捉へて馬鹿者呼ばはりすることは恐縮千萬で書けなくなつて仕舞ふ。

だが與太朗のいふ馬鹿は現今の社會に小悧巧な人が多い反面を指した馬鹿で小悧巧者でないといふ代名詞に過ぎないといふことを諒解して頂いて與太郎の與太だと見逃して貰へば以下並べる御歴々も恕して頂けるものと思ふ。

釣天狗の中に滿鐵監査役の八木聞一氏がある。氏はペラボーにスポーツ愛好者である。スポンヂボールの選手でもある、彼氏も多分與太朗の氣持に共鳴するに違ひない。

實業團の安チヤンで通る安藤忍君大學時代からの野球選手だが滿洲へ來て大連の實業グランドで大切な試合最中敵の强ゴロが來ると同時に頭上をカスメて飛ぶ鴫の群に氣を取られてトンネルした例もある位に獵も好きだが、夏家河子のキス釣りや蟹釣りは彼氏安ちやんの大好物で、釣の方も一方の旗頭であるばかりでなく獵の方に於ては特に大連に於ける第一流に介在してゐる處を見ると全くスポーツ界の第一人者と尊稱を奉り度くなる程三者共通の趣味を感ずるらしい。其他實例を擧げると數限りない程三點共通の猛者がザラに在るが餘り他人樣の名を並べると差障りがあるから遠慮するが、釣天狗にしろ、獵天狗にしろ何れを見ても山家育ちならぬスポーツマンならざるはなく、何故に?と云ふやうな理窟抜きにした愛好者ばかりなのは夫れ自體が立派なスポーツであるからに外ならない。之が慾とか名譽の爲にと云ふやうな利己的なものであつたら何を苦しんで迄夜を徹して歩いたり高價な材料を仕入れたり貴重な時間を空費する小悧巧者はあるまい。依而次而與太朗は釣と獵とを行る者は馬鹿が多いと喝破したのだ、兩天狗の御寛恕を乞ふ。

……◇……

「馬鹿多き人の中にも馬鹿はなし馬鹿になれ人馬鹿になれ人」と一首を殘して死んだ賢人もないやうだが吾々は釣つて馬鹿になり、獵して馬鹿になり、馬鹿の眼から今日の世の相を見渡して見たいものだ。

近代スポーツに依つて人格の陶冶をするのも一つの方法なら釣と獵とに依つて精神の修養を爲すのも一方法だ、吾々釣好き獵好きの同好の者は宜敷く馬鹿同志倶樂部を組織して世の未だ釣の味、獵の味を知らない人々に其の味はひを嘗させてやりたいと思ふ。這は單なる趣味の普及など、云ふ小さな問題でなく今日の大日本帝國に瀰漫せる淫靡惰弱の氣風を一掃する國家非常時の一大救國運動となるかも知れない。果して與太朗の期待する成果が得られたら釣と獵とを唯の道樂と見る時代は遠く過ぎ去つて立派なスポーツとして萬人景仰の的となるに相違ない。吾人はこの見地から一般にこの釣と獵とを推奬すると共に既に天狗の免許を得たる人々は宜敷く世に宣傳し以て自己だけのスポーツとせず廣く他に分譲すべきである。若し本文に不贊成の者があれば宜敷く一度び實地に自分で行ふべし。(完)

スポーツ用語辭典

リキシノカイキユウ（相撲）力士社會における階級制度は相當にやかましい、大關、關脇、小結、前頭、幕下十兩、二段目(俗に幕下十兩を十枚目、二段目を幕下と稱する)三段目、序二段、序の口の九階級に分れ、更に番付面へ記されないものも容れゝば本中、前角力の二階級が序の口につく、横綱は元來大關の技倆優秀なる者に與へる稱號であるが、現在では一種の階級となつてゐる、俗にいふ褌かつぎは序の二段あたりまでの力士をいひ十兩以上を關取とよんでゐる

新進指切棋戰【其七】

平香交 香落番
五段 建部和歌夫
四段 梶一郎

【圖は七一金迄の局面】

△建部氏持駒　飛桂

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	王	金		金				車	一
	銀				銀		角		二
歩		歩	歩		歩	桂			三
		歩	角	歩		飛		歩	四
			桂馬				歩		五
			歩兵	歩兵				歩兵	六
歩兵			銀將		歩兵	歩兵	歩兵		七
						銀將	玉將		八
			金將		金將		桂馬	香車	九

▲梶氏持駒　歩歩歩

▲九七角成　△七六桂
▲七五馬　△八四桂
▲八四馬　△二一飛
▲七五馬　△二二飛成
▲六四馬　△一一龍
▲五五歩　△四六角
▲五四飛　△三五香
累計八十六手

土居八段講評 梶君は九七角と成り込み敵桂を八四へ飛ばしたのは惡い、且下の狀態は敵を攻むるに難く、防戰に努め敵の戰闘力を無くする意味に出なくては成功困難である、因て七五角と上り桂跳を豫防する方が安全である建部君の二一飛の打ち込みは面白い、斯樣な形となつては梶君としては敵桂が八四に居ては自玉が危險だから八四馬は已むを得ない。

萩原七段解說 建部氏の七六桂は、敵の三六歩打を防ぐ意味に敵角を攻めるもので三六歩と打たれては危險になる、次に二一飛は三一銀なら同飛と切つて七二銀打の詰めを狙ふもので、梶氏の八四馬は當然の割ぎであるが、この順に至つては陣形が亂れてゐるだけに苦戰の樣である、次に七五馬は六四歩では五三桂成で惡いので六四馬と引いて三六歩打の決戰を狙ふ準備で、建部氏の一一龍は悠々と駒得を圖つて攻擊の準備をしてゐるのである、建部氏四六角の應手は、先に敵の三六歩の順を消す意味である、梶氏の五五歩、四六同馬では自玉の防備が薄くなるので、五五歩と突いて同角なら五四馬と寄つて敵の玉頭を狙ふ含みである。

ラヂオ 廿九日

大連(JQAK 六五〇KC)

午前の部

六・〇〇　ラヂオ體操
六・三〇　ラヂオ體操
一一・〇〇　經濟市況、公設市場値段

午後の部

〇・〇〇　經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況、ニュース
六・〇〇　ニュース、職業紹介事項
六・三〇　童話久留島武彦

義太夫さわりの夕

七・〇〇(大阪より)一、繪本太功記十段目(尼ケ崎の段)淨瑠璃竹本清糸、三味線豐澤仙糸
七・一七(大阪より)二、艶姿女舞衣(酒屋の段)淨瑠璃竹本三蝶、三味線豐澤小住
七・三四(東京より)三、本朝二十四孝(十種香の段)淨瑠璃竹本越駒、三味線鶴澤紋教
七・五一(東京より)四、御所櫻堀川夜討(辨慶上使の段)淨瑠璃竹本綾千代、三味線竹本重八
八・〇八(東京より)五、伊賀越道中双六(沼津の段)淨瑠璃竹本素昇、三味線豐竹巴任
八・三〇(東京より)時報
八・三一　ニュース、氣象通報
八・五〇　滿洲音樂「梨花太鼓」銀姑娘、金花、師付劉長和

奉天(MTBY 八九〇KC)

午前の部

六・〇〇(東京より)ラヂオ體操
六・二〇(新京より)ラヂオ體操
六・四〇(新京より)滿語講座―(滿語)
七・〇〇(新京より)日語講座―高宮盛逸
植松金枝
一〇・四〇(東京より)經濟市況
一一・四〇(東京より)ニュース

午後の部

〇・〇五　經濟市況(日滿語)
二・五〇(東京より)經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況(日滿語)
四・〇〇　公示事項、ニュース(日滿語)
四・五〇(新京より)ニュース(英語)
五・〇〇　子供の時間―童話「顏に落ちた涙」千代田小學校足立敏郎
五・三〇(新京より)講演(滿語)
六・〇〇(東京より)全國ニュース
六・三〇(大阪より)趣味の話藝談十二選(八)「人形使ひの話」文樂座吉田榮三
◆義太夫さわりの夕
(大阪より)一、繪本太功記十段目(大連同)
(大阪より)二、艶姿女舞衣(大連同)
(東京より)三、本朝二十四孝(大連同)
(東京より)四、御所櫻堀川夜討(大連同)
(東京より)五、伊賀越道中双六(大連同)
八・三〇(東京より)時報、全國ニュース
八・四五(新京より)ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇(東京より)演藝(滿語)

京城(JODK 九〇〇KC)

午前の部

六・〇〇(東京より)ラヂオ體操
六・三〇(東京より)夏期英語講座(二の八)高垣松雄
一〇・〇〇　氣象通報
一一・〇五　料理獻立、日用品値段、鮮魚卸相場、京城府廳水産市場發表

午後の部

〇・〇五　映畫物語「紅頬鬢する時」泉史郷
〇・四〇　ニュース
二・〇〇　家庭講座「情操の世界」京城師範校長渡邊信治
二・五〇(東京より)野球試合實況、ハーバード對明治―明治神宮外苑野球場より中繼―
四・〇〇　ニュース、職業紹介事項
六・〇〇(熊本より)お話「南島の輝き」(テキスト三八ページ)
六・二〇(東京より)コドモの新聞闘座五十二
六・二五(東京より)講演「私の體驗せる歐米の飛行旅行」淺野良三
七・〇〇　ニュース、天氣豫報
七・三〇(大阪より)趣味の話、藝談十二選(大連同)
◇義太夫さわりの夕
八・〇〇　一、繪本太功記十段目(大連同)
八・一七　二、艶姿女舞衣(大連同)
八・二四(大連同)
九・三〇　時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

日本棋院 春季大手合戰譜(十三局)

制限時間各七時間(但し一分以內は切捨)

先 初段 鈴木憲章
三段 増淵たつ子

【2】

●二一ぬノ四(3分) ○二二にノ十(11分)
●二五かノ十二(1分) ○二六よノ十一
●二九はノ八(1分) ○三〇ほノ九(15分)
○一八ツグ
●二三かノ十三 ○二四よノ十二(2分)
●二七とノ十七(3分) ○二八とノ十五(12分)
所要時間累計(白一時三分 黑十七分)

對局者の言葉 (黑)二十一は二十二の星より此方が合理的と思ひましたが―
(白)二十二の星を占められては堪りません
(白)二十二は二十三のケイマなども考へぬではなかつたが、黑にしたが―
(黑)二十三は必爭點かと考へました
(白)二十四の受けは甘かつたのでせうか(ち十七)又は一路高く(ち十六)と打つのだつたかも知れません
(黑)二十七は(と十六)と高い方が正しいのでせう
(白)二十八とボーシ出來たのはうまいやうでしたが―
(白)三十で(は十)の並びは黑(ほ八)とトバれるし(ほ八)のケイマは三十にツケコサれるのが恐かつた

戰の跡 ◇黑二十一は左上隅の白四、二十が(た三)(た五)の一間シマリになつて居るもの同視出來るから二十二でなく譜の方が正しい事が直ぐ分る◇黑二十三は天元や七との關係上首肯出來るが、白二十四と受けた手は共鳴し兼ねる、黑の手についた鎹ひがありはせぬか―白の意中は、これを省くと黑から(た十)あたりに打込まれるのを懸念したものであらうが、これは打込ませて捌く方が棋が廣くなりはしなからうか此手で(ち十六)に高くツメて居たい◇黑二十五は(わ十一)にケイマする形らしい、白も(よ十)に受けてゐればなるまいから―◇黑二十七は(と十六)と高いのでないと、初め天元に打つてからの中の棋の本旨に副はない、白からの(と十八)の走りなどは些して重視する場合でない◇白二十八と恰もよくボーシして二十二と相俟つて右邊の模樣に資する事が出來、同時に黑の厚味を消して居るのは黑二十七の低い罪に歸する◇白三十は豫想の如き考慮の末の手で、天元の黑の威力を殺いで居る點も等閑視出來ない

ラヂオ相談

短波の發振には矢張り許可が要るか

【問】乾電池式三球を作らうとしてゐますがA電池の消耗が早いとの事です。ベル・トランスがありますがA電池の代用にならないでせうか。單球の短波發信器を作り發振するには矢張り許可が要りますか、庭に置いて行ふのです。(老虎灘一少年)

發振は許可が要る

【答】眞空管の種類及ベルトランスの電流容量が解らないと使用出來るか何うかお答へ出來ませんが、先づ困難と思はれます短波に限らず發振する事は必ず遞信局の許可を得なければなりません。(電々會社係)

アンテナ一つを數個の受信機で共有

【問】二十戸ほどのアパートで各戸にラヂオを聽きたいのですが次の件につき御教示願ひます。
一、一本の大アンテナを利用して各戸各樣の受信機により聽取可能なりや
二、各自アンテナを持ち各樣の受信機を以て他の妨害を受くることなしに聽取可能なりや
以上若し故障あらば他の良法を御教示下さい(KP生)

相互に干渉し合ふ

【答】一、一つのアンテナを數個の受信機で共有しますと相互に干渉し合ふ結果一方で調整を變へると他の一方も調整を變へる必要を生じ又分離にも好ましくありません。
二、再生式及スーパー・ヘテロダイン受信機以外のものでしたら大體相互に妨害することはありません。なほ一臺の高級受信機より各個にスピーカーだけを引張つて聽取することも出來ます但しこの場合でも各戸每に施設願を提出しなければなりません(電々會社係)

支那語檢定模擬試驗問題集(南滿工專幸勳氏著)

三、四等程度上、下卷共答案式三百餘頁六千の問題を收め支那語檢定受驗者及斯學研究者には必携の良書である(各價一圓卅五錢送料十二錢、大阪屋號發行)

九州高等豫備校 新學期開始

西部受驗界の權威たる福岡市藥院出口なる九州高等豫備校にては今夏受驗準備大講習會を開催し非常なる盛況裡に終始したるが來九月一日より更に新學期を開始し高等學校、專門學校並に高師、陸海軍諸學校への入學試驗準備に惱む中等學校卒業生の爲に畢生の努力をなす由なれば上級學校に進まんとする學生には最適の學習所たるべし

婦人倶樂部(九月號)

◆婦人倶樂部九月號は「手紙用語日用語くづし字一萬語手本」と例の「凸凹黑兵衛」「なつけて、六十錢特大號である◆本誌では卷頭から燦然眼を奪ふ「映畫レビュー歌劇人氣花形寫眞大畫報」がすばらしい印象だ◆中間物で非常に感動させられた記事が二つある、その一つは六人の遺兒をもつ小學校の校長さんの再婚體驗記である◆今一は國民同盟の中野正剛の最近逝去せられた夫人への追慕記である◆呼物の懸賞も「西陣本お召三百反」といふので讀者のお氣嫌を奉仕してゐる。

雄辯(九月號)

由來人物論に一特色を見せてゐる「雄辯」が九月號に廣田弘毅論と併せて近衞文麿論を逸しなかつたのは流石である◆「現內閣と今後の政局を語る座談會」「日米國交に就て…齋藤駐米大使」「赤露のゲー・ペー・ウーと極東軍備」「其他固いところでも堂々の布陣を見せてゐるが◆徳川夢聲松井翠聲漫談會戰」「浮世金儲け探訪記」など、ユーモアたつぷりの銷夏讀物にも事缺かぬ。

現代(九月號)

◆「最近思想界の潮流と人物展望」室伏高信「新官僚と政黨との交流」前田多門「ドルフス首相暗殺事件」町田梓櫻―と堂々たる押出しの「現代」「九月號◆「齋藤駐米大使縱橫談」「一九三五、六年への陣容」岡田・大角・末次「鈴木政友總裁の心境を訊く」「ナチス淸掃事件の眞相」「新官僚派の巨將闘士群像」等◆インテリの求める趣味、娛樂、たやすい文學で表した知識、さういつた狙ひの雜誌を求めるなら「現代」はまづそのナンバーワンとして許さるべきであらう。

ビクター九月新譜紹介

九月の邦樂新譜が出た目ぼしいものだけを拾つて紹介しやう、松永和風の「勝三郎連獅子」荻野綾子の獨唱「小諸なる古城のほとり」「戀の鋪道」「つい秋風に誘はれて」「日朝の出がけに」流行小唄は「つきぬ想ひ」利根の朝霧」勝太郎の「あやめ踊り」「大阪甚句」童謠お「もちやのお馬」と「母さんのお使」の一枚、男聲合唱團の三部合唱「祭ばやし」四部合唱「ばあやの家」中村淑子の「故鄕の空」德山璉の「秋暮れ」浪花節は吉田奈良丸の「山科後日譚」奈良丸と木村重松の「慶安太平記」全國代表民謠では「美はしの和歌山」と三島一聲の「紀州和歌山」である

療養欄

殘暑の巻

打倒"結核病"

榮養第一主義に依る 結核の抵抗療法

結核は恐るべき病氣だが治癒し得ぬ病氣では無い

夏痩夏負の清算期

灼熱 の猛暑も峠を越して朝夕の涼風は、新秋遠からずの氣配を感じさせ、既に暦の上では立秋も過ぎました。然し所謂『殘暑』が未練がましく餘熱の追撃を續けてゐますこの時に際し、特に結核疾患のお方は、

身體 の榮養を充實し、抵抗力の恢復を圖り、進んで健康狀態に立ち歸る工夫をせねばなりません。この場合最も有効な方法はサロミンAによるエンブリオ療法であります。

核菌病傳染性慢は

昔……不如歸の浪子さん時代には多くの人々は結核菌が侵入すれば直に結核病に罹ると思つてゐたやうですが、結核病は赤痢とかコレラのやうな急性傳染病ではなく、小兒時代から既に菌が體內に潜伏してゐますが、その人の抵抗力に依つて壓倒され、萎縮してゐるのであります從つて發病の機會を作り得ません。ですから榮養豐富な健康體である限り、菌は體內に居ても居ないと同樣で、何等の威力を現し得ないのです。

榮養不良と結核菌

ところが逆に、食慾不振、榮養缺乏、胃腸疾患、精神の疲勞煩悶といつた心身保健への惡條件が重なれば、今まで無害の狀態で屛息してゐた結核菌は、勃然、躍り上つて、激甚なる繁殖を開始し、肺に喰ひ入つて血を吐かし、次から次へと、病竈を擴げ、遂に鬼籍へと擔いでゆく 憎んでも猶ほ足りない思ひが致します。

強いやうで弱い菌

併し 乍ら斯く結核菌の性狀を確めました上は、それを根據として賢明な治療法を講じなければなりません。即ち、結核病が、赤痢やコレラの如き急性傳染病でなくて、發病の主原因が、榮養不良といふやうな身心の健康條件の不良に基くのですから、よし體內の菌そのものを撃滅せずとも、身體の抵抗力さへ恢復良化すれば、發病前の如く菌は屛息の狀態に抗壓されて、初期の間なら喰ひ止め得られ、重症者とても輕快に赴く事が出來るのであります。

エンブリオ 療法も要するにその根幹は玆に存するのでありまして、サロミンAを運用する事に依つて、疲勞した細胞に榮養を與へて活動を開始せしめ新陳代謝を圓滑になし、病菌に對する抵抗力を與へ、以て合理的に結核菌の活動を抑壓するのであります。

繰返して申しますが『榮養の充實』と『抵抗力の增進』とは結核患者の忘るべからざる治療の鐵則であります。

墨滴

▲精神的に惡思想の跳梁を許さぬ日本であるが遺憾なのは世界有數の傳染病國であり、結核病菌の蔓延も亦甚だしい事だ▲國民の死亡原因中結核で倒れるものが最高位を占め、この非常時に患者數が百萬人を突破し、年々十萬人餘りが[illegible]姿と化す▲故に何はさて置いても結核豫防と撲滅對策こそ急務で、內務省が明年度の豫算に、豫防費として七十五萬圓（從來の約十倍）を計上したのは近來の大出來▲現在疾患に惱む人々は、これをチャンスとして、結核菌打倒の覺悟で最良の療法を選んで福音の招來を切望されるために敢て玆に揭げられた『榮養療法』の提灯持ちに及ぶ次第。▲グノップ氏曰く『結核病の撲滅を期せんには賢明なる政府、熟練なる醫師、理解ある國民の協力を要す』と、蓋し眞理なり。

健康への福音

三度の献立の味方となつて 體內結核菌を總攻撃

「結核性食慾減退・元氣消沈 消化不良・便秘下痢諸症等」オール結核病者に急告

胃腸榮養劑の意義

この場合肝心の食餌ですが、これは如何にも容易い事のやうで、中々むつかしく、矢鱈に滋養物さへ食べればよいわけでもなく、必要な榮養素（例へば脂肪、蛋白、ビタミン各種など）を偏らず攝取することと、消化吸收の調子が良いか否かに注意することが肝要であります。ところが必要な榮養素を含んだ食品を萬遍なく取り揃えて調理することは非常に手數を要し、食品だけでは、到底完全に行かぬ場合が多いので、その足らぬ所を手輕に補ふ榮養劑の必要が痛切に感じられます。と同時に

如何 に榮養素が完全に含まれた調理献立でも、胃腸が衰へてゐて消化吸收されないならば、貴重な滋養物が體內を筒拔けするわけですから、胃腸機能を強化する適當な胃腸劑の必要が生じ、この重要な役目を果す胃腸榮養綜合劑西崎博士指導創製のサロミンAが推奨に値するものと考へます。

即ちこのサロミンAは、結核の榮養療法を語る優良場合に先づ第一に擧げられるべきビタミンを始め、衰へた胃腸の機能を正常に引き戻し、食慾を進め、消化を扶けるエンチーム（酵素）など重要成分を澤山含んで居りますから、その作用によつて合理的に食慾を增進し、胃腸の細胞を強化して消化吸收を旺盛に致します。從つて盛夏酷熱のために衰弱した體でこの殘暑の坂を喘ぎながら下つてゐる人々には何よりの適藥で、理想に近い衰弱豫防元氣恢復の良劑として評判の高いのは蓋し當然でありませう。

この良劑 が、三度の食事の伴侶となり、即ち『食物との二位一體』の榮養陣で、體內に巣喰ふ菌を總攻撃すれば、輕症者は快癒へ、重症者と雖も好調へ、快癒期の人々には治癒への福音を齎し得るものと考へ、それは一つに連續服用者のみが享受される幸福なる特權でありませう。

西崎博士指導創製のサロミンAは、更にお値段が廉くて約一ケ月分僅か壹圓五拾錢一日の値は鷄卵一個より安價な位で、全國各地の藥店で賣つて居りますが、もし品切の際は、發賣元の大阪市西區阿波堀通一 嘉寳商事株式會社藥品部（振替大阪七五七二八番）へ御注文下さい。なほ御希望のお方には『實物見本と說明書』を進呈いたしますから新聞名記入の上、發賣元へ御申込み下さい。

新案

サロミンAを用ひた「結核榮養料理」

最近 家庭的食餌法の研究が愈々盛んになつて參りました殊に肺結核は、前述の通り治療上大切なのが食慾增進榮養佳良にあるのですから、三度の食事が藥以上の役目をするものだと申すこととさへ出來やうかと思はれます。そしてこの病氣は療養期が長期にわたりますから、日々月々の献立の工夫苦心は容易ではないと存ぜられます。當人は勿論、看護の方も如何に榮養の攝取が大切であるかを記憶し献立は心をこめた美味、それを病者は舌皷を打つて食べられるやうであれば、結核菌何ぞ恐るるに足らんやであります。

その献立に際し、例の評判の胃腸榮養劑サロミンAを用ふることが有意義である理由は、別項の記事に述べた通りでありますから、この新しい試みだけは是非とも御實行を切望いたします。

（一人前献立）

朝飯

品目	分量
△粥	二杯—三杯
△生玉子	一個
△葱の味噌汁	一五〇瓦
△菠薐草浸し	七〇瓦
△胡瓜漬物	二〇瓦
△サロミンA	五錠
費用概算	十三錢

晝飯

品目	分量
△米飯	二杯—三杯
△とろろ汁	五〇瓦
△鷄肉モツ燒	五〇瓦
△馬鈴薯の甘煮	一〇〇瓦
△香の物	二〇瓦
△サロミンA	八錠
費用概算	十七錢

夕飯

品目	分量
△米飯	二杯—三杯
△しじみ清汁	一五〇瓦
△鮪の刺身	三〇瓦
△豆腐のあんかけ	一五〇瓦
△香の物	二〇瓦
△サロミンA	八錠
費用概算	二十五錢

臺所標語

●三度の食事にサロミンA

●食療養にはサロミンA

"あばた"は無くなる！

天然痘の絶滅に科學の凱歌揚る

一本の注射で完全に豫防　笠井博士の研究完成

一七九六年英のヂエンナーが種痘法を發見して以來既に百三十八年を經過した現在、その發見が同病豫防にコペルニクス的轉換を與へたにもかゝはらず未だに地球上からこの病氣を絶滅することは不可能であつた、然るにヂエンナーのなほ爲し得なかつた同病絶滅を企圖してこつ〳〵と數年間の研究を續け遂にその方法を完成の域に到達させ滿洲においてこれを實施せしめんと着々準備を進めつゝある一獸醫學博士が大連に居る

滿鐵衞生研究所痘苗研究室の笠井久雄氏こそその人であるが、同氏は東京帝大傳染病研究所矢追博士と共に夙に從來の種痘法が種痘箇所に

笠井博士

斑點を殘すのみでなくその效果は絶對的でなく年々種痘せるにもかゝはらず同病に罹るものが發生せるに鑑み、斑點を殘さず而もこれを絶滅させるに足る注射方法なきやを同研究所に於いて數年間共同研究をなして來たところ、笠井博士のみは完成への見透しのついたのを機とし昨年七月世界的に痘瘡患者の多き滿洲に於いて獨立的に研究を遂げんとて滿鐵衞生研究所に於いて同研究を續行して來たが、此の程漸く滿洲に於ける同注射に必要なる注射液を製造し得る準備が完了したのだが

この方法による時は注射液も在來の種痘材料と何等變りなく一本の注射によつて百パーセントに豫防の效果を擧げ得ることが既に人體約一千名について試驗濟みとなつた、同博士は頗る謙遜な態度で次の如く語つた

決して私の力のみで發見したのではなく既に或る國ではこの方法に着眼して實行に移し得る處まで行つてゐるものもあり、我が國では先輩矢追博士と共に私達がこの研究を始めたのですがたゞ注射の方が效果のあることは全く判り切つた事なんですがたゞ

その注射液を如何にして精製するかゞ一番難關だつたのです、然し現在ではその難關も突破していつでもその需めに應ずることが出來ると信じてゐます、たゞこれを實施するとなると現在の種痘に關する法令の一部に但し書きでも入れてもらはねばならない事になると思ひます、最近關東廳の衞生課では内地より始めて渡滿する定期船以外の船客約一萬七千名に對して強制種痘を施すやうな準備をなし既に海務局及び大連水上警察署に對してその具體案の作成を要求してゐるといふ話しを聞いてゐるが、それは

誠に結構な事であるが若しそれを實施するといふことになるなら此の際思ひ切つて注射法を採用するやうな事にしたらどうかとひそかに考へて居る次第です、大連でも昨年は日支人とも百三十六名、本年に入つてからは既に三百四十三名の痘瘡患者を出してゐますがそのうちの六七割までが種痘はしたが罹つたといふ結果になつてゐますが若し今後この方法で強制施行することになつたら絶滅し得るものと確信してゐます

なほ同氏の研究が醫學界において如何に貴重なものであるかを推稱するために帝國發明協會より本年七月五百圓の獎勵補助金が與へられた

ヘロ密造者の群　活路を求めて奉天・天津へ　工場殆ど潰滅

追はれ行く

一時はヘロ密造の覽都と云はれ、花柳界にヘロ景氣すら現出したこともある大連市内におけるヘロイン密造工場は警察當局の彈壓の嵐に遭つて漸滅の一途を辿り、それに加へて自然發火によつて正體を現すものもあつていよ〳〵密造業者受難時代を迎へたかの如き情勢であつたが去る廿六日火災を起して壞滅した塞南屯の密造工場を最後として、大連市の内外から一流工場は勿論二流どころの工場すら全く影を潛めるに至つた、現在の内外に散在する密造業者は殆ど手内職程度のもので炊事場又は風呂場の一部を利用して小規模な密造を行つてゐるに過ぎず、所謂秘密工場を設けた大規模な密造業者は嚴重取締方針に應じた大連に見限りをつけてドシ〳〵工場を閉鎖し、奉天及び天津方面に新天地を求めて移住したと云はれてゐるがこれがため一時大連の暗黒街に活躍したヘロ業者の一流どころは殆ど奉天を中心として集まり最近同地方に於けるヘロ密造は殷盛を極め全滿の需要に應じその餘力を南支方面へ移入するほど多量の製品が産出されてゐると云はれてゐる

匪首秦文元　部下のために暗殺さる

【新京電話】安圖縣、和龍縣、延吉縣、樺甸各縣を股にかけ人民革命軍、中國共產黨などと連絡のもとに反日滿運動をつゞけ活動中なりし匪首秦文元は遂に我が日滿軍討匪行により殲滅的打擊を受け逃走したがその後部下の反感を買ひ暗殺された模樣である

滿洲國帝制奉祝献上品

福永晴帆畫伯の〝牡丹に巖〟成る

滿洲國帝制實施を奉賀し皇帝への献上品として國際運輸會社が去る日來福永晴帆畫伯に依囑中の繪畫の一幅は苦心四ケ月この程出來上り、いま同社大連支店の手に……

警官を裝ひ　匪賊の滿人拉致

【奉天電話】二十七日午後六時頃三人組匪賊が三二號タクシーで瀋陽警察廳第九區警察西塔分署管内興成二區職を訪れ同店主に對し自分達は警察の者だが林業銀行……

モヒ火事共犯　一人は逃亡中　根岸遂に死亡

大山市前田果樹園内工場の怪火によつて暴露した鳥居滿義(三)を首魁とするモヒ密造事件は、その後沙河口署司法係において嚴重取調べを續けてゐるが、二十七日には更に新事實を發見するに至り、沙河口署では俄然緊張刑事を八方に飛ばし活動を開始した、即ち密造工場の發火當時現場に居合はせた主魁鳥居、木原、根岸並に逃亡した千隈耕の外更に一名の邦人が居つたことが判明、發火と同時に多少の火傷を負つた模樣であるが官憲の目をくらまして何れへか逃走したもので

此の點については首魁鳥居はあくまで事實を否定してゐるが、種々の事情から右邦人の居たことは疑ふ餘地なく事件の全貌の鍵をにぎつてゐるものと沙河口署では躍起の搜索を開始した

尚發火當時大火傷をうけた根岸は唐澤醫院に入院中二十七日午前八時遂に死亡した

東部線の陰謀　第三インターが指令

【東京二十七日發國通】二十七日夜駐滿大使より外務省への報告に依れば北滿東部線に頻出する列車襲撃事件に關係せる蘇聯從業員從業員側は十四名により彼等の自白に依つてその間に關係ある事が明確に確認された、即ち蘇聯側はあらゆる宣傳を試みるが、要するに今回檢擧された蘇聯從業員は第三インターナショナルの指令に基き北滿赤化反滿抗日の別働隊として計畫的に悪辣なる陰謀を實行してゐたもので事態が斯く明白になつた以上帝國政府としても滿洲國とは別個に獨自の見解に立脚して近く蘇聯政府に有效適切なる措置を講ずべく研究されてゐる

ガンジス洪水

【カルカツタ二十六日發國通】印度を北から東南へ貫流するガンジス河は過般增水甚だしく廣大な流域は到る處洪水に見舞はれ村落の流失、死傷も多數に上ると傳へられる、特にベイハール州一帶に被害甚だしくベンゴール・ノースウエスターン鐵道の幹線はチヤプラ附近で洪水に攫はれ鐵道の運行は杜絶するに至つた、モンギヤールからの報道に依ればガンジス河は恐ろしい勢ひで刻々增水しつゝあり、州内各縣廳當局は縣民を安全地帶に移す爲東印度鐵道會社所有の解舟を全部徵發したといはれる

仲仕の薩摩守

二十八日入港うすりい丸の三等室の一隅に擧動不審の老人がゐるので取調べると門司市鈴井町二四矢野力太郎方止宿門脇由三郎(六三)といふ爺さんで門司で、仲仕をしてゐたが荷役中船に乘込みその儘薩摩守をきめこんだものと判明、水上署に引致されたが市内に息子がゐるとのことで目下照會中

毆られた兩氏　昌平丸で來連

既報威海衞において支那暴民に包圍され全身に數ケ所の打撲傷をおはされた大東公司威海衞駐在員吉田薫、高橋某の兩名は同地日本領事館警察に助けられ二十八日早朝入港昌平丸で來連したが語る

夕食後ぶら〳〵散歩してゐると數百人の支那人が突然現はれめちや〳〵に毆られあちらにゐる增田君と三名がその場に倒れましたた、幸ひたいしたことはなかつたのですが、高橋君は相當手ひどくやられ、これから滿鐵病院に行きます、我々の仕事に反感をもつてゐたもの丶仕業ではないかと思ひます

國籍を求めて滿洲へ　國際愛に生きる一家が

二十八日早朝横濱から入港した淡路丸で二人の愛兒を連れた日支人の夫婦が來連水上署の取調を受けたが、この人達は東京市足立區東本町靴屋唐木耀亮事張耀監(三三)同妻向島まつ(二七)耀子(三)耀司(二)で張が日本人として歸化を許されず愛兒の入籍も出來ないので滿洲國人となり更生の途を辿るべく張の舊主市内小崗子平和街鈴木藤太郎氏は一時身を落着けたが強い國際愛に結ばれて流轉の生活に生き抜かうとするけなげな夫婦に取調べの係官も非常に同情して色々と力づけてやつてゐた

美少女の男裝禍　便衣隊密使と疑はる

二十七日午前十時半頃上海發奉天行丸三等船客の中でカンカン帽に白ズボンの男裝の美少女が水上署員に發見され、便衣隊の密使ではないかと大騷ぎしたが、取調べの結果上海江灣路私立愛國女子中學校初級二年生常桂英(一七)で市内太山街三三居住の實父常玉濤の手許に歸省してゐたもの、川島芳子孃を崇拜する支那のモダンガールと判り係官も苦笑して歸校を許した

少女の危機　我兵に救はる　闇の公園であはや暴行　不良滿人五人組

【奉天電話】二十七日午後八時頃千代田公園の暗闇より突如女の悲鳴が揚がつたのを折柄附近を散策中の滿洲國警察外事係主任張興武氏その他が聞きつけかけつけて見ると一名の滿人少女が五人の滿人の爲にあはや落花狼藉の目にあはんとしてゐるので張氏が制止せんとした所却て五人の爲に散々な目に遭はされ危機一髮の際この騷ぎにかけつけた日本兵の爲めに助けられ五名の中二名は取押へられた、彼等は奉天省生れ仁朝有(一七)陳小雲(一七)と云ひ奉天署で取調べの結果他の三名は大東區居住李繼才(一八)外二名で五人組となり千代田公園を根城に附近を荒し廻つてゐたものであると

在支鮮人の反滿抗日運動　先鋒隊潜滿行動を開始

【奉天二十八日發國通】支那各地に散在する鮮人民族主義者は南京政府より支援を得てその勢力侮り難いものがあり、現在杭州に義烈團長金元鳳、四川に柳東悅、南京に李青天なる者が夫々覇を唱へ鮮人の訓練を爲してゐるが最近某機關に達した情報に依れば南京にゐる金九一派は前記各派を糾合して中韓互助會なるものを組織し

一、滿洲國の經濟機關調査
一、舊東北系要人の動靜
一、滿洲國内における交通並に通信狀況
一、同阿片政策及販賣狀況
一、日本の移民政策

等各般に亘る調査を爲す一方宣傳或は暴動工作を爲す等反滿抗日の積極的運動に着手したもの丶如く既に先鋒は滿鮮に潜入すべく行動を開始した模樣である、なほ右先鋒隊の組織内容左の如し

一、調査班長　金東震外五名
一、宣傳班長　李榮洙外五名
一、通信班長　姜晩湖外五名
一、暴動班長　柳基弘外卅名

不良分子の大檢擧　新京署總動員

【新京電話】本年新京市内の治安は滿洲國の大典秩父宮殿下御來滿に當り日滿軍警の協力して不良分子の檢擧に努めた結果昨年に比し非常に良好で強盜事件發生も僅かに十二件に過ぎず、五月以降は一件の強盜事件もなく極めて平穩であるが目下高粱繁茂期で特に匪賊の跳梁期でもあり市外近郊には相當數の匪賊も出沒するに鑑み新京署では八月九日より九月五日までを四期に分ちて日滿軍警と協力特別警戒を行ひ目下嚴重警戒に努めてゐるが八月二十六日からは第三期に入り全員を動員して市内の警戒に努め各地より不良分子が相當出入する傾向あり、且つ再三警告を發し處罰するも阿片、モヒの密賣者も相當あり、これらの者を徹底的に殲滅する爲め二十七日夜午後六時半より十一時までに全署員を動員して一齊に大檢擧を行ひ阿片密賣者及び不良分子三十七名を檢擧した

右翼團の活動資金に滿洲國幣を大僞造　大連は勿論全滿各地とも連絡　高知署に一齊檢擧

【高知二十七日發國通】高知縣の右翼團體が首謀者となり黨本部の資金活動に供せんがため滿洲國紙幣の大僞造を企て高知縣特高課に發覺一齊檢擧を行つた

即ち縣特高課では高知署その他の應援を得て去る二十三日早曉自動車で高知市内元縣土木課員畑地美代造(三三)元大衆黨員印刷職工安並滿(二七)外八名の寢込みを襲ひ檢擧する傍ら大連、大阪、大分、宮崎の縣外關係者に對しては各府縣特高課と連絡をとり檢擧者は尾崎特高課長自ら取調べに當つてゐたが大體一段落となつたので二十七日事件を高知檢事局に送致した

計畫の詳細は未だ判明せぬが首魁は東京本部より入込んだ二、三名らしく滿洲國紙幣を僞造し滿洲國で印刷を行はんとしてゐたものらしく大連は勿論滿洲國方面迄既に連絡がついてゐた模樣で取調べの進捗と共に更に七、八名の檢擧は免れぬが關係範圍が廣汎な丈けに事件の推移を重視されてゐる

大連より長崎鹿兒島行（毎十日目出帆）

＝九州への最短連絡航路＝

千歲丸

大連發　八月卅日午前十一時（九番バースより出帆）
長崎着　九月一日正午
鹿兒島着　九月二日午前十時

等	長崎	鹿兒島
一等	三二圓	三八圓
二等甲	一七圓	二〇圓
三等室		
特ソーファ附室	一五圓	一八圓
廣間	一四圓	一七圓
三等乙	一二圓	一五圓

近海郵船代理店
日本郵船大連出張所

宮内府假事務所　上棟式を擧行

【新京電話】去る七月初旬起工した宮内府假事務所はその後工事着々進捗し二十九日午後三時より上棟式を擧行すると

參考とした佐鄕屋の判決　五章十八頁に亘る　木内檢事の論告

【東京二十八日發國通】血盟團事件井上日召以下十四名に對する木内檢事の論告は

第一章總論、第二章事實關係、第三章情狀論、第四章法律の適用、第五章被告人各個の犯情と求刑

の五章より成り十八頁に亘る長論告で其の求刑理由として昭和八年十一月六日大審院に於て言渡された濱口元首相狙擊犯人佐鄕屋に對する判決を參考とした旨述べてゐる

被告の辯論は九月十一日より

【東京二十八日發國通】二十八日求刑された血盟團被告十四名の辯論は九月十一日より十月四日迄續行される豫定である

文盲一掃に學校新設　磐石縣協和會が

【新京電話】吉海沿線磐石縣内に於ける教育機關の施設は殆ど皆無の現狀にして目下の所未就學兒童六百餘名あり又貧民にして通學の出來得ざる青年二百餘名を算し右は國民教育上甚だ憂慮すべき現狀にして縣當局においても種々考慮中であるが今回同地協和會第四區聯合分會ではこれが對策として協和小學校の設立を企圖し準備中の所最近いよ〳〵具體化し近く開校の運びとなつた、因に協和小學校の設立は全滿最初のことにしてその實現は大いに期待されてゐる

愈よ開校の高等師範　入試の成績良好

【奉天電話】滿洲國教育體系の最高機關たる高等師範學校はいよいよ九月上旬より舊吉林大學跡に於て開校することになつた、第一回の受驗者は二百五十名でありこの程文教部に於て入學試驗を施行したが何れも成績良好でこの中本年は百名の入學を許可するはずであるが高等師範學校吉林設置は暫行的のものであり將來は奉天又は新京に移轉されるはずで教育方針としては從來と異なり滿洲國の農業立國の精神のもとに農工商方面を主體として教育を施すことになつた、なほ今回の受驗者二百五十名中奉天省からは百六十名で約七十パーセントを占めてゐる

安樂椅子

大連警察署高等係兼關東廳出版物檢閲係といふ厳しい肩書つきの竹下又吉警部補が、およそいかつい肩書に似ぬ「東西珍話集」と題するユーモア文學を近く單行本にして出版することゝなり、一躍〝文學警官〟の名を高めた。

同君が出版檢閲係として勤務すること滿二ケ年、この間道樂的に内外出版物の中から根氣よく蒐集した東西の珍談、奇話百五十種、これを同君天性の文才に任せ、公務の餘暇に記述したのが今度の單行本、形態は四六版竹堂居士のペンネームで世に出るが、その内容は「面喰つた婦人協會」「ふたり美人」「幽靈に誘はれた親子」「セツプン競技大會」など二百五十篇。

……◇……

公私の生活を規律づくめで縛られてゐる警察官の思想からよくこんなユーモア文學が生れたものだといふのが興味を呼んで、既に豫約申込み二千部を突破する素晴らしい前景氣に早くも同僚から「出版成金だ、おごれおごれ」と脅迫され、すつかり悲鳴をあげた竹堂居士「なんとか取締る方法はないものかな…」は參話を地でゆく寸法●

第一回滿日こども會

とき　九月一日午後一時から
ところ　滿鐵協和會館
新聞發刊一周年記念
入場無料　小學生に限る

こども
◎童話　◎映畫（トーキーまんぐわ）
◎ハーモニカ　バンド
くはしいことは九月一日の〝こども新聞〟でお知らせします

主催　滿洲日報社

由比正雪 (14)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

與四郎と不傳の會見

與四郎は紀伊大納言賴宣公の家臣となつて手腕を揮ひ立身せんと考へ、そこで紀伊家に仕へんものと其手段を種々畫策したが、他の諸侯と異り紀州家は將軍家の一門で新規に召し抱へる者に就いて嚴しく其家系と又經歷を調べるものとの事、それでは奉公する事はむづかしい、ハテ何としたものかと頭腦を痛めた、すると其頃牛込榎町に楠不傳と云ふ軍學者が居つて大勢の門人を有し、又多くの諸侯にも出入をするそれが折り〳〵紀州家にも行くと聞いて此の不傳を利用して紀州の家臣に成らうと斯う思つたが、段々不傳の人物を探ると自分の養父高松半兵衛事前名菊池源右衛門を討果した者といふ事が判つた、

然しもう年數も經て居るから、彼は何も知らぬやうにして先づ彼の門人になり、而して信用を得て目的を遂げやうと斯う考へた。

目的を遂げた後に養父の仇を討つも宜からうとそれで榎町の不傳の許に來たが不傳は浪人ながら其の住宅と諸侯の如く堂々たるものです、與四郎は玄關にかゝり案內を乞ふと出て來た若侍、

「何れからお越しにございますか」

問はれて、

「手前事は筑後柳川の浪士にて橘民部之助と申す者にございます、御門入のため推參いたしましたが先生に宜しくお傳へ下さいませ」

名刺を出した、それを受取つて取次ぎの者は不傳に差出した不傳はその名刺の文字を熟と見て暫く考へて居た、今は活字で名刺が出來るが幕府時代は自ら書いたもので判でおこした名刺は失禮としてあつた、

「これ〳〵木村、其人物は何歲位か貴樣の見た眼には何う年齡が映つたか」

「左樣でございますな、年は三十歲にも成りませうか、色白の眼の細い物言のしとやかな、上品な人物でございます」

「ウムさうか、左の眉尻に黒子はなかつたか」

「それには心着きません」

「客間に通して茶を出して能く顔を見て知らせろ」

「承知いたしました」

門人は與四郎の民部之助を客間に案內した。

不傳は尚も名刺を見ながら考へて居る、そこへ門人が來て、

「先生の仰せの如く左の眉尻に黒子がございましたが能く見ますとあれは書いたものではござりません」

「たはけた事を申すな、黒子を描くものはあるまい、時に木村、家に居る門人共を廣間に集めろ申聞ける事がある」

門人は吃驚して何を先生が言はれるかと廣間に來たが三四十人集まつた、そこへ不傳は參つて、

「サテ、一同に申聞ける事がある、それは只今我が門に入り軍法を學ばんと筑後柳川の浪士橘民部之助と云ふものが參つた、これは今より十一年以前、しかも五月の事であつたが駿州江尻の正大寺村に居つた高松半兵衛の養子與四郎と申す者に相違ない、それは彼の差出した名刺の文字にて察した、なれど人違ひなるかとこの木村をして能く相貌を見させたが左の眉尻に黒子があるとの事、愈々其者は與四郎である、拙者は父楠將監の仇高松半兵衛舊名菊池源右衛門を討ち果して亡父の恨みを晴らした、然るに其の半兵衛の養子與四郎は拙者を敵と思ひこれへ參つた事と思ふ、尤も高松を討ち果した際に差置いて立退いた、其書面には拙者を敵と思はゞ江戸に出てまゐれ面會いたして尋常の勝負をいたすと斯う書いて置いた、それで彼が今日參つた事と思ふ、次第に依てば彼と死生を爭はねば成らぬ、必ず助勢しては成らぬぞ、此の事を申聞け置く」

是を聞いて門人は與四郎の大膽に驚いた、只一人でこれへ參るとは彼奴は全身膽であらうと申したがこれは驚くは當然。

滿日案內

◉三行一回　金壹圓貳拾錢
◉被履歷　金九拾錢
◉五行一回　金貳圓
◉十行一回　金四圓
◉十五行一回　金六圓
◉二十行一回　金八圓
◉姓名在社　金五拾錢增
電話は三六九五　四四九一番

人事

運轉　大連市小崗子橋立町 [illegible] 自動車 [illegible]
裁斷　師募集（通勤）大連市黃金町九四　高田洋服店　電九八一〇番
外勤　社員募履歷持參來談要保證廿九日自後一時三時迄　東公園町技術會館一階　滿洲社
外勤　招聘卅以上男女不問全滿何れに住するも可履歷書持參又は郵送　大連山縣通安田生命
寫眞　技師、助手、門生至急入用御來談を乞ふ　西通三八　猪ノ口寫眞館
販賣　員を求む、午前十時より正午まで面談　山縣通第一ビル二階四號室
見習　入用十七、八歲の技術を望む方　大連市聖德街一ノ一〇六　向上社
女事　務員募集、二十三、四歲迄履歷書持參本人來談　大連伊勢町二三　伊勢町藥局
店員　入用二十二、三歲迄保證人を要す　山縣通大同ランドリ電七七二二
女中　入用身元確實家事一切責任持つ方面談自午後一時至四時　龍田町一五　利德洋行內森
女中　入用十五六歲より二十歲迄本人來談　電七七七六　尾形病院
女中　を求む、本人來談　櫻花臺七四　中澤
少女　求十五、六、七歲午後本人來談ありたし　埠頭船客待合所喫茶電七四八四番
女給　廿四五歲以上の者數名至急入用有給チップ有り前借に應ず電四九番　公主嶺構內食堂
女給　募集月收百圓以上確實希望者寫眞送れ　奉天住吉町　カフエーサクラ
看護　婦及見習至急入用、委細面談　聖德街三丁目高橋醫院電九二二三
看護　婦及附添婦募集派遣多忙　神明町三二愛國看護婦會　宿舍完備　電話八六四二番
食堂　擴張につき女給さん數名募集、山縣通第二市場橫　電二二四〇九　大連亭支店

教授

洋裁　個人教授、短期修了、九月五日より、千歲町四三　中央試驗所裏大主堂橫　中川
邦文　タイピスト短期養成　大連市大山通　小林又七支店
邦文　タイピスト養成　午前・午後・夜間　山縣通　日本タイプライタ會社
タイ　ピスト英文邦文華文短期養成英邦文速記英語印書　近江町映樂館橫電四三〇八　英學會

下宿

求下　宿閑靜なる室、親切なる御家庭を望む　電九五〇七
下宿　敷島廣場北に一丁左側　北海館（武藏町十番地）
下宿　大連病院右前滿鐵社宅隣　薩摩町九五ホーム寮米村　電二九三二九番

貸家

貸家　逢坂町二一〇、八、六、風呂付、三〇圓　電話五九一八
貸家　新築高級住宅貸六〇圓、場所靜ケ浦　電四四〇七　奥
貸室　寢臺付洋間十疊床付煖房水便　若狹町一九八　[illegible]
二階　又はアパート借り度し御報乞ふ僕市內の事　山縣通一四七　電五七一四　上野

旅館

簡易　旅館（舊伴旧所）、大連市監部通六番地敷島廣場電車停留場西四軒目　末廣館
一圓　トマリ、ペットの設備あり、大勉强は名古屋旅館　大連市吉野町六電六三一一番

賣買

古本　高價買入御報參上　市內但馬町二〇　文光堂
刀劍　研白鞘鑑定賣買自家製鍔止打粉有り　大連市磐城町五八　有峯堂研究所
古着　其他御不用品は他店より特別高價買受ます　日隆町ヱビス屋電話二二五九五
ピア　ノ、オルガン中古賣買修理調律荷造外一般　電話九七五三　聖德街五丁目　細井

ミシン　常盤橋河島ミシン電話六六八四
ミシ　ン貸金屬ダイヤ買入及擔保融通　女子商業前太洋社電二二三六一　天神町二八

食料品

フヨ　品　書畫骨董高價買受　イワキ町　新古齋　電七四三五
牛乳　バター、クリーム　大連牛乳株式會社電四五三七番
牛乳　バタ、クリーム　アイスクリーム　滿洲牧場　電話六一三八番

雜件

印書　邦文タイプライター印書應需　大連市大山通　小林又七支店
印書　邦文タイプライターの印書いたします　山縣通　日本タイプライター會社
實印　の御用は　吉野町　一萬堂　電七八五九番
金融　會社員に小口信用御用達を致します電話〇二二八　早苗町八一番地の二旭洋行　梶田
寫眞　大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有　日本橋際　電話三五八四番
貸衣　裳　婚禮用葬儀用　日隆町　さかひや電五四三七番
貸衣　裳　日隆町　三浦屋　電話二二六四五番
質　大々的貸出勉强名實共に　西公園町六九番地　紀の國屋質店　電二一六〇四

人事

技術員　數名募集優遇す徒弟十六七歲より廿一二歲迄（要保證人）大連市大正通七四　高橋看板店　電九〇一六番
店員　某會社にて商業學校出又は事務及外交に自信ある奮鬪家を求む、年齡不問自筆履歷書持參八月卅一日午前中本人來談　北大山通七番地の十　竹內豐一方

家政婦

家政婦　臺所一炊事　家事一切　病人附添　即刻派遣　一日泊込一圓より　西公園町五七　共濟寮　電三六六三番
看護婦　附添婦　派遣　寄宿完備　派遣多忙會員至急募集　大連西部看護婦會主　產婆　上崎フク子　大連市下萩町十五番地（衛研隣）電話〇二六三番
家政婦　會員募集　寄宿完備　奉仕第一の精神にもえて新らしく生れました　朝日紹介所　朝日會々主　井芹馨子　大黑町一四八　電話二九四七〇番
看護婦　家政婦　派遣　家事一切病人附添通勤住込何れも致します　派遣多忙會員至急募集　誠心看護婦會主　產婆　三浦芳子　聖德街一丁目三四六　電話九二六六番

醫院・治療・名藥

早川齒科醫院　大連市西通九三常盤橋附近　電話三九七一番
性病　皮膚　坂本醫院　佐渡町二〇西廣場幼稚園裏　電話四三二三五番
評判の小松家の「まむし」天賦の滋養强壯劑です。病弱の人虛弱な子供、劇務の方にお奬め致します。　まむし黑燒　萬病まむし蒸燒　大連市信濃町（帝國館前）小松家本店　振替大連六二九一番
前田整骨　專門　大連西通九三　電話二八五七五番　二九四四五番　レントゲン●電療諸般完備　入院應需
整骨　X光線應用　大連市若狹町（電車向陽門前下車若狹町入る）山田行正　電話三七八九番

雜件

蓄音器販賣修繕　大連東鄉町一六　廣瀨電氣商會　電話二二五〇一番　支店　浪速町二丁目
ラヂオ蓄音器修繕は日滿ラヂオへ　電話二二八九一
仕立衣裳　京吳服卸　大連日隆町　電五四三七　さかい本店
寶　ドライクリーニング商會　大連彌生高女前　電八三一六

家畜

讓犬　純シエパード背黑優秀仔犬格安分讓致ます　西公園町一四三中停近　丘堂
犬　大連家畜醫院　若狹町東本願寺前
犬　ヂステムバー狂犬病豫防注射施行入院賓其他家畜類診察　石井家畜病院　近江町　電停前電二一〇四七番
犬　セパード准優勝血統　其他血統書付　籾田畜犬商會　大連市櫻花臺一四九　嶺前莊の橫より入る

映畫案內

帝國館　●廿八日より●　オール・トーキー　漫畫　日活超特作時代映畫　水戶黃門　大會　山本嘉一　大河內傳次郎　河部五郎　尾上多見太郎　會主演　料金　廿錢
寶館　阿部九州男・木下双葉主演　時雨の長脇差　高田稔・小式部八重子主演　子爵家と嗣子　青柳龍太郎・歌川絹枝主演　愛憎秘双錄　廿九日封切　廿錢
第二松竹館　●二十九日より毎日晝夜　オール・トーキー　利根の朝霧　岡讓二・栗島すみ子・川崎弘子・江川宇禮雄主演　三日月の健　市川右太衛門主演
日活館　●二十二日より　リリアン・ハーヴェイ主演　W・F式オールサウンド版　女人禁制　雨の佐太郎船　バリカン若樣　料金　六十錢　五十錢
映樂館　廿七日より十錢　廿九日まで　愛すればこそ　高津慶子主演　小笠原壹岐守　寬壽郎二役の熱演
常盤座　廿六日より廿錢　兄さんの馬鹿　田中絹代主演　大林鐵太郎　阪東好太郎主演　與太物と藝者　松竹コタモノ大脫線
中央館　●利根の朝霧　オール・トーキー水鄉悲曲　三日月の健●　右太衛門の力作　漫畫トーキー二本特別上映